款 02総務費

項 01総務管理費

日 01一般管理者 事務事業番号 02010101

款 02総務費	項 01総務管	埋費	目 01一般句	管理費		§事業番号	02010101
事業	<b></b>	R1年度		財	源内	訳	
担当部	∄・課	(決算額)	国道支出金	地方	· 债	その他	一般財源
全庁舎ネットワー	- ク基盤整備事業			_			
総務部 情	青報推進課	147,847 千円	<b>1</b>	7	千円	7 PH 1	47,847 千円
根拠法令	710/22/23/1						
実施方法	□ 直接実施 ■	業務委託等	□ 補助金	. 台田仝	. mude		
大肥力压	□ 直接天心 ■	木仿女癿守	口 補助並	- 貝担亚	- 助放亚		
事業の目的・対象	市民サービスの向. 域イントラネット基: に、ゼロクライアン	盤を整備しま	した。また、	業務用端	末として酢	開されてい	る主要職場
事業の必要性	行政事務には端末: ゼロクライアント ルギー等の問題を同!	システムは、	セキュリティ	向上・デ	一タの保全	・費用対効	果・省エネ
事業の内容 SDGs17の目標 11 試験情報	この事業では、政用、ICTを活用した行 全ての基礎となる。 や維持管理を行い、 レベルの向上・費用 したゼロクライアン に関する費用を計上	がサービスの ネットワーク 情報セキュリー 削減を目的に トなどの職員 しています。	)高度化や簡素 整備 ディ 導入 端末 2822	表化·効2		システム	
	公衆無線LANについ			流センター	明月京日	3	小板港管理組合
	市関連施設で稼働し		b	センター	総章センター		協クリーシセンター
	観光客へのサービス	同上を図ってし	\$	図書館	BB79-		沙水場
	す。		-	(10 mm)	見章センタ		水処理センター
			***************************************	_			
		4	797	/E>9-	高新排物的		京事務所 ほか
20	ゼロクライアント党	*	-				
3					人件費		
	コスト		職員構成		算人件費 ·×従事職員	α/	事職員数
事業費 (R1年度決算額)	147, 847		型当正規職員 嘱託職員			円	人
人件費	11, 946	十円)	月任用 (フル) 1任用 (ハーフ)		Ŧ	·用 ·用	<u>Y</u>
総計	159, 793	千円	任期付職員 臨時職員			· 円 · 円	<u> </u>
		 指標名	臨时縣民	単位	RI年度	H30年度	H29年度
ar in the far		相标句		十二元	八十段	1 113044	
評価指標	全庁LAN接続端末数			1.			
	A	5 to 10 = 5 = 5		台	1, 743	1, 781	1, 837
(事業実績)	全庁LAN接続端末数の	うちゼロクライ	/アント端末数				
(事業実績)				女 台	1, 743 1, 296	1, 781 1, 271	1, 837 1, 269
	事業の有効性(効果	の達成状況)	■高	女 台	1,743 1,296 口中	1, 781 1, 271	1, 837 1, 269
(事業実績)		の達成状況)		女 台	1, 743 1, 296	1, 781 1, 271	1, 837 1, 269
	事業の有効性(効果	の達成状況) 用対効果) システムのメリ ニングコスト( い公衆無線LAM	■ 高 ■ 高 リットを最大 の削減を実現	関に享受すること	1,743 1,296 口中 ロ中 い、サーバができまし	1,781 1,271 日本	1,837 1,269
自己評価	事業の有効性(効果 事業の効率性(費 ゼロクライアント ムの安定稼動やラン また、ニーズの高	の達成状況) 用対効果) システムのメリ システムのメリ ニングコストの い公衆無線LAM。 方向性は、今	■ 高 ■ 高 リットを最大 の削減を実現 環境を整備で 後も変わるこ	牧 台 限に享受すること・・・ とがない	1,743 1,296 口中 口中 し、サーバ で、行政サ	1,781 1,271 1,271 口 (集中管理に た。 ービスの向	1,837 1,269 ま ま よるシステ 上に寄与す

款 02総務費

款 U2総務負		- 700 100 100 100 100 100 100 100 100 100		日町一般			争份争		02010	7102
事業	<b>美名</b>	R1年度			財	源	内	訳		
担当部	『・課	(決算額	須)	国道支出金	2 地ブ	方債	その	の他	一般則	け源
住民基本台帳ネ	ットワーク事業	0.054			_				0.054	
	スロサービス課	2, 654	千円	Ť	H	千円	l	千円	2, 654	千円
根拠法令	住民基本台帳法									
			Art.		# HD A	DL -6	_			
実施方法	□直接実施	■ 業務委託		□ 補助金				\		
		ネットワーク								
事業の目的・対象	利便性の向上と									
	民基本台帳をネ	ットワーク化り	U, 3	E国共選の4	- 人催認の	1650	ンステ	42 L	( 博栄し	ょまし
	た。	<u>∞</u>	Dife ed		TLAL # a	N. J. J.		の主点	k± +0 // . a	n 14:14
		の向上及び国								
するのみ事件	が必要不可欠で図ることは、地									
事業の必要性	展と時代の要請									
	な個人情報保護									133
<del></del>		帳ネットワーク			- M - M -	, , , ,	处实心	00 7 8-	7 0	
事業の内容		帳ネットワーク								
		帳ネットワーク			1-年10F	1)				
SDGs17の目標	② 正氏基本口	版イントラー	ノ加地	6天以 (下作	1764107	1)				
	l			(B) THE		-	R			
	著小牧而?	CONT. CCC.		ORL	Mary Co.	22	R			
		ではま	20.20	経際ネットワーク 全 ロットワークシステム	国ネットワーク		3			
	I	Sr - 5.8c	Œ.	ann ann	200	- CO	1 80 B			
		ambd02FL Cs	7	ARDS-7		0.88L	027 # #2500 #2700			
		antabara Ga	W		人権関係権 利益・技術・技術・ 利益・技術・技術・ 住民第 - アモニローの変更要額	-	<b>→</b> # #			
		* W W	#-	(1)		22				
		Section II Sec	15	Cabov-n	事務の回信に関し、 意思のあって人をに振り、 なみ物理とある 8人類は情報である体	58	TO SECOND			
		SHOOZ-A CA		1	y	(国 · 地方2 - 世界の現底を	ET (Broken)			
		* # **		₹ 2	Steady DV-II		eoas			
		N-13	W.	WHEERST		- MARKAGE A	- 6			
		808(D5aD9-94	**************************************	· SESSION CONTRACTO	ACCENAGED	-	CONTRACT CON			
	l	eFW(ファイアウォール		・・・ 不正規入を助止するコンビ		に投稿するコンド	1-9			
	1			TERROCERE PROJEC	7-2					
				TEMPORITY # 19C	1-7	人件	. 西			8.7
	776			TERRORE PROPERTY		人件				1.5
	コスト			職員構成	概:	算人件費	î	従	事職員多	<b>数</b>
	コスト		10	職員構成		算人件費 × 従事	( 職員数)			•
事業費	コスト 2.654	千円 (	10	職員構成	概:	算人件費 × 従事	· 職員数) 8 千円	(	事職員3	人
	1	千円(	推	職員構成 当正規職員 嘱託職員	概:	算人件費 × 従事	i 職員数) 8 千円 千円	(		人人
事業費 (R1年度決算額)	2, 654	——— J	担	職員構成 3当正規職員 嘱託職員 3任用(フル)	概:	算人件費 × 従事	i 機員数) 8 千円 千円 千円	(		<u> </u>
事業費	1	<b>千円</b> <b>千円</b>	<b>担</b>	職員構成 3当正規職員 嘱託職員 3任用(フル) 任用(ハーフ)	概:	算人件費 × 従事	議員数) 8 千円 千円 千円	(		\ \ \ \ \
事業費 (R1年度決算額) 人件費	2, 654 2, 108	于用	<b>担</b>	職員構成 当正規職員 嘱託職員 存任用(フル) 任用(ハーフ) 任期付職員	概:	算人件費 × 従事	( 機員数) 8 千円 千円 千円 千円	(		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
事業費 (R1年度決算額)	2, 654	千円	<b>担</b>	職員構成 3当正規職員 嘱託職員 3任用(フル) 任用(ハーフ)	概; (平均給与	算人件費 +×従事 2,10	<ul><li>機員数)</li><li>8 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	(	). 3	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
事業費 (R1年度決算額) 人件費	2, 654 2, 108	于用	<b>担</b>	職員構成 当正規職員 嘱託職員 存任用(フル) 任用(ハーフ) 任期付職員	概:	算人件費 × 従事	<ul><li>機員数)</li><li>8 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	(	). 3	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	2, 654 2, 108	千円	<b>担</b>	職員構成 当正規職員 嘱託職員 存任用(フル) 任用(ハーフ) 任期付職員	概; (平均給与	算人件費 +×従事 2,10	<ul><li>機員数)</li><li>8 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	(	). 3	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
事業費 (R1年度決算額) 人件費	2, 654 2, 108	千円	<b>担</b>	職員構成 当正規職員 嘱託職員 存任用(フル) 任用(ハーフ) 任期付職員	概; (平均給与	算人件費 +×従事 2,10	<ul><li>機員数)</li><li>8 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	(	). 3	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	2, 654 2, 108	千円	<b>担</b>	職員構成 当正規職員 嘱託職員 存任用(フル) 任用(ハーフ) 任期付職員	概; (平均給与	算人件費 +×従事 2,10	<ul><li>機員数)</li><li>8 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	(	). 3	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	2, 654 2, 108 4, 762	千円 千円 指標名	再再	職員構成 当正規職員 嘱託職員 好任用(パーフ) 任期付職員 臨時職員	概; (平均給与	算人件費 = × 従事 2,10	<ul><li>機員数)</li><li>8 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	H30年度	). 3	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	2,654 2,108 4,762 事業の有効性(	千円 千円 指標名 効果の達成状	担再再	職員構成 聖当正規職員 嘱託職員 延任用(ハ-フ) 任期付職員 臨時職員	概; (平均給与	算人件費 = × 従事 2, 10 R1年	<ul><li>機員数)</li><li>8 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	H30年度	D. 3 H29	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	2,654 2,108 4,762 事業の有効性(	千円 千円 指標名	担再再	職員構成 当正規職員 嘱託職員 好任用(パーフ) 任期付職員 臨時職員	概; (平均給与	算人件費 = × 従事 2,10	<ul><li>機員数)</li><li>8 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	H30年度	D. 3 H29	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	2,654 2,108 4,762 事業の有効性(	千円 千円 指標名 効果の達成状	担再再	職員構成 聖当正規職員 嘱託職員 延任用(ハ-フ) 任期付職員 臨時職員	概; (平均給与	算人件費 = × 従事 2, 10 R1年	<ul><li>機員数)</li><li>8 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	H30年度	D. 3 H29	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	2,654 2,108 4,762 事業の有効性( 事業の効率性	千円 十円 指標名 効果の達成状 :(費用対効果)	( 担 再	職員構成 選当正規職員 延順託職員 延任用(ハ-フ) 任期付職員 高高	概: (平均給与 単位	算人件費 - × 従事 - 2, 10 R1年	職員数)円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	H30年度	D. 3 H29 低 低	人人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	2,654 2,108 4,762 事業の有効性( 事業の効率性 業務継続に係	千円 十円 指標名 効果の達成状 に(費用対効果)	担耳再()	職員構成 選当正規職員 延順託(フル) 近任用(ハ-フ) 任期付職員 高高 ここよ	概: (平均給与 単位	算人件費 - × 従事 - 2, 10 R1年	職員数)円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	H30年度	D. 3 H29 低 低	人人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	2,654 2,108 4,762 事業の有効性( 事業の効率性	千円 十円 指標名 効果の達成状 に(費用対効果)	担耳再()	職員構成 選当正規職員 延順託(フル) 近任用(ハ-フ) 任期付職員 高高 ここよ	概: (平均給与 単位	算人件費 - × 従事 - 2, 10 R1年	職員数)円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	H30年度	D. 3 H29 低 低	人人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	2,654 2,108 4,762 事業の有効性( 事業の効率性 業務継続に係	千円 十円 指標名 効果の達成状 に(費用対効果)	担耳再()	職員構成 選当正規職員 延順託(フル) 近任用(ハ-フ) 任期付職員 高高 ここよ	概: (平均給与 単位	算人件費 - × 従事 - 2, 10 R1年	職員数)円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	H30年度	D. 3 H29 低 低	人人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	2,654 2,108 4,762 事業の有効性( 事業の効率性 業務継続に係	千円 十円 指標名 効果の達成状 に(費用対効果)	担耳再()	職員構成 選当正規職員 延順託(フル) 近任用(ハ-フ) 任期付職員 高高 ここよ	概: (平均給与 単位	算人件費 - × 従事 - 2, 10 R1年	職員数)円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	H30年度	D. 3 H29 低 低	人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	2,654 2,108 4,762 事業の有効性( 事業の効率性 業務継続に係	千円 十円 指標名 効果の達成状 に(費用対効果)	担耳再()	職員構成 選当正規職員 延順託(フル) 近任用(ハ-フ) 任期付職員 高高 ここよ	概: (平均給与 単位	算人件費 - × 従事 - 2, 10 R1年	職員数)円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	H30年度	D. 3 H29 低 低	人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	2,654 2,108 4,762 事業の有効性( 事業の効率性 業務継続に係業の目的は達成	千円 千円 指標名 効果の達成状 に(費用対効果) る大きな障害されているとも	(	職員 選当嘱託 (ハーフ) 任用 付職 高高 こす。	単位	算人件事 2,10 R1年 中中	議 職員数)円円円円円円 度 守がが	H30年度	M29 低低 たことで	人人人人人人度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価の理由	2,654 2,108 4,762 事業の有効性( 事業の効率性 業務継続に係業の目的は達成	千円 千円 指標名 効果の達成状 に(費用対効果) る大きないるとも	世 再再 ( ) 等考 イ対象	職員 選当嘱託 (ハーフ) 任用 付職 高高 こす。	単位	算人件事 2,10 R1年 中中	議 職員数)円円円円円円 度 守がが	H30年度	M29 低低 たことで	人人人人人人度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	2,654 2,108 4,762 事業の有効性( 事業の効率性 業務継続に係業の目的は達成	千円 千円 指標名 効果の達成状 に(費用対効果) る大きないるとも	世 再再 ( ) 等考 イ対象	職員 選当嘱託 (ハーフ) 任用 付職 高高 こす。	単位	算人件事 2,10 R1年 中中	議 職員数)円円円円円円 度 守がが	H30年度	M29 低低 たことで	人人人人人度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価の理由	2,654 2,108 4,762 事業の有効性( 事業の効率性 業務継続に係業の目的は達成	千円 千円 指標名 効果の達成状 に(費用対効果) る大きないるとも	世 再再 ( ) 等考 イ対象	職員 選当嘱託 (ハーフ) 任用 付職 高高 こす。	単位	算人件事 2,10 R1年 中中	議 職員数)円円円円円円 度 守がが	H30年度	M29 低低 たことで	人人人人人度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価の理由	2,654 2,108 4,762 事業の有効性( 事業の効率性 業務継続に係業の目的は達成	千円 千円 指標名 効果の達成状 に(費用対効果) る大きないるとも	世 再再 ( ) 等考 イ対象	職員 選当嘱託 (ハーフ) 任用 付職 高高 こす。	単位	算人件事 2,10 R1年 中中	議 職員数)円円円円円円 度 守がが	H30年度	M29 低低 たことで	人人人人人度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価の理由	2,654 2,108 4,762 事業の有効性( 事業の効率性 業務継続に係成 今後とも、情 ステムの管理・	千円 千円 千円 指標名 効果の建成対象 ではるされないるとも をするされないるとも もないるとも	世 再再 ( ) 等考 イす	職員 選当嘱託 (ハーフ) 任用 付職 高高 こす。	単位	算人件事 2,10 R1年 中中	議 職員数)円円円円円円 度 守がが	H30年度	M29 低低 たことで	人人人人人度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価の理由	2,654 2,108 4,762 事業の有効性( 事事業の効率性 業務継続に係業の目的は達成 今後とも、関・ 平成14年8月5日 平成27年3月30日	千 円 円 名	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職当嘱任任臨 ■ こす に	単位	算人件事 2,10 R1年 中中	議 職員数)円円円円円円 度 守がが	H30年度	M29 低低 たことで	人人人人人度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価実績) 自己評価の理由 事業の方向性等	2,654 2,108 4,762 事業の有効性( 事事業の効率性 業務継続に係成 今後とも、理・ 平成14年8月5日	千円円円 名	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職当嘱任任臨 ■ こす に	単位	算人件事 2,10 R1年 中中	議 職員数)円円円円円円 度 守がが	H30年度	M29 低低 たことで	人人人人人度

款 02総務費

項 01総務管理費

目 01一般管理費

事業	名	R1年度		財	源	内	訳		
担当部	₿・課	(決算額)	国道支出金	地方	債	その	D他	一般則	掠
人事給与シ	ステム事業	00 500	1					00 500	m
総務部 行	<b></b>	32,522 千円	千円	1	千円		+버	32, 522	十円
根拠法令				Į.	-				
実施方法	■ 直接実施 □	業務委託等	□ 補助金・	負担全	• 助成名	<u> </u>			
事業の目的・対象	人事給与システムす。						事務を	適正に行	いま
事業の必要性	国の進める給与構 多様な職員情報の管								ゃ、
事業の内容 SDGs17の目標 8 ************************************	本システムは、行 る様々な事務で使用 平成11年から約20 テムへ更新し、平成	しています。 年間使用してる	きた旧システム	ムのメー					
	テムへ更新し、平成 全庁的な業務負荷: したが、今後も新た す。	軽減のため、	ҍ稼働ととも∫	こ休暇・					
					人件	費			
	コスト		職員構成	概算 平均給与	1人件費		従	事職員数	Ĭ
事業費 (R1年度決算額)	コスト 32, 522	千円(世	当正規職員		算人件費 ×従事職	战員数) 千円 千円	C	事職員数	人人
事業費		千円 世	当正規職員 嘱託職員 事任用 (フル)		算人件費 ×従事職	战員数) 千円	С		人
事業費 (R1年度決算額)	32, 522	千円 世	当当正規職員 嘱託職員 軽任用 (フル) 任用 (ハーフ)		算人件費 ×従事職	<ul><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数</li><li>(計算数)</li><li>(計算数)</li><li>(計算数</li><li>(計算数)<th>C</th><th></th><th>人 人 人 人 人</th></li></ul>	C		人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	32, 522 703 33, 225	千円 千円 再	当正規職員 嘱託職員 事任用 (フル)	平均給与	章人件費 ×従事聯 703	<ul><li>共円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	C	). 1	<u> </u>
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	32, 522 703 33, 225	千円	当当正規職員 嘱託職員 軽任用 (フル) 任用 (ハーフ)		算人件費 ×従事職	<ul><li>共円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	C	). 1	人 人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	32, 522 703 33, 225	千円 千円 再	当当正規職員 嘱託職員 軽任用 (フル) 任用 (ハーフ)	平均給与	章人件費 ×従事聯 703	<ul><li>共円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	C	). 1	<u> </u>
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	32, 522 703 33, 225	千円 千円 再	当当正規職員 嘱託職員 軽任用 (フル) 任用 (ハーフ)	平均給与	章人件費 ×従事聯 703	<ul><li>共円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	C	). 1	<u> </u>
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	32, 522 703 33, 225	千円 千円 再	当当正規職員 嘱託職員 軽任用 (フル) 任用 (ハーフ)	平均給与	章人件費 ×従事聯 703	<ul><li>共円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	C	). 1	<u> </u>
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	32, 522 703 33, 225	千円 千円 千円 指標名	当当正規職員 嘱託職員 軽任用 (フル) 任用 (ハーフ)	単位	章人件費 ×従事聯 703	<ul><li>共円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	C	H294	<u> </u>
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	32, 522 703 33, 225	千円十円十円十円十円では、一手円を表現して、一手円を表現して、一手のでは、一手のでも	型当正規職員 嘱託職員 存任用(フル) 任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	章人件費 ×従事職 703 R1年月	<ul><li>共円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	H30年度	D. 1 H294 低	<u> </u>
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	32,522 703 33,225 事業の有効性(効果	千円 千円 千円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果) 新によが不要とれ	型当正規職員 嘱託職員 存任用 (フル) 任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 □ 高	単位しての電へペーパー	章人件費職 703 703 R1年月 中中	競員数)円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	H30年度	0. 1 H294 低 低	人人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	32,522 703 33,225 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 新システムへの更 署による集計・報告	千円 円 円 円 円 円 不 標本 が で が で が で が で が で が で が で が で が で が	当正規職員 嘱託職員 属任用 (フル) 任用 (ハ-フ) 任期付職員 高高 る場合にいます。	単位しての電のでパー	算人件事職 703 R1年 中中 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	競員 千千千千千千	130年度 □ □ □ styons	ME H294 (低 低 低 低 低 が率化に	人人人人人度

款 02総務費

項 01総務管理費

目 01一般管理費

<b>事</b> 未	<b>美名</b>	R1年度		財	源	内	訳		
担当部	<u></u> 『・課	(決算額)	国道支出金	地力	債	そ(	の他	一般則	才源
建築確認申請支	<u></u>								
都市建設部	建築指導課	1,885 千円	千F	7	千円		千円	1, 885	千円
根拠法令	(注入)								
		₩ 75 T = 1 55		7 15 4		^			
実施方法	■ 直接実施 □	業務委託等	□ 補助金	<u>・負担金</u>	・助成金	<del>È</del>			
事業の目的・対象	   建築行政共用デー  ます。	タベースシス	テムにより、	確認検査	等の業	務の効	率化とī	E確化を	図り
事業の必要性	事務遂行の効率化 テムです。	による迅速性	の確保と情報	の共有化	による	正確性	€の維持Ⅰ	こ必要な	シス
事業の内容 SDGs17の目標									
9 american	建築行政共用デー 等の公文書発行、各 状況等のチェックな	種の調査・統	計作業を効率						
					人件	費			
	コスト		職員構成	概算 (平均給与	算人件費		従	事職員数	女
事業費 (R1年度決算額)	コスト 1,885	千円(	職員構成 世当正規職員 嘱託職員		算人件費 ×従事聯		0	事職員数	<b>女</b> 人
事業費	Г	<u>+H</u>	旦当正規職員		算人件費 ×従事聯	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0		人
事業費 (R1年度決算額)	1, 885	<u>+H</u>	旦当正規職員 嘱託職員 再任用(フル)		算人件費 ×従事聯	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0		人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	1, 885 703	千円	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員	(平均給与	章人件費 · × 従事服 703	<ul><li>銀員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0	. 1	人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	1, 885 703 2, 588	千円千円十月十月十十月十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	(平均給与	章人件費 ·×従事耶 703 R1年	<ul><li>3 千円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円</li></ul>	0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	. 1 H29	人 人 人 人 人 人 人 大
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	1, 885 703	千円千円十月十月十十月十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	(平均給与	章人件費 · × 従事服 703	<ul><li>3 千円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円</li></ul>	0	. 1	人 人 人 人 人 人 人 大
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	1, 885 703 2, 588	千円千円十月十月十十月十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	(平均給与	章人件費 ·×従事耶 703 R1年	<ul><li>3 千円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円</li></ul>	0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	. 1 H29	人 人 人 人 人 人 人 大
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	1,885 703 2,588 確認申請受付件数(	千円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十	世当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	(平均給与	章人件費 ·×従事耶 703 R1年	<ul><li>3 千円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円</li></ul>	0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	. 1 H29	人人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	1, 885 703 2, 588	千円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十	旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位件	章人件費 ·×従事耶 703 R1年	<ul><li>3 千円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円</li></ul>	0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	H294	人人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	1,885 703 2,588 確認申請受付件数( 事業の有効性(効果	千円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十	世当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 存任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位件	章人件費 ×従事耶 703 R1年 852	<ul><li>3 千円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円</li></ul>	0 H30年度 903	. 1 H294 92	人人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	1,885 703 2,588 確認申請受付件数(	十円 千円 千円 指標名 計画通知含む の達成状況)	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位件	章人件費 ×従事耶 703 R1年 852 □ 中	選員数) 千千千千千 度	0 H30年度 903	. 1 H299 92 (低	人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	1,885 703 2,588 確認申請受付件数( 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十一円 千円円 千標名 計画通知会む の達成状況) 用対効果)	旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位件	章人件費 ×従事耶 703 R1年 852 □ 中 □ 中		0 H30年度 903	. 1   H294   92       低低	- 人人人人人 年度 22 - きま

款 02総務費

款 U2総務負	項 UI 総務官					争未留写	02010103
事業		R1年度		財	源内		4.5.
担当部		(決算額)	国道支出会	金 地方	方債 -	その他	一般財源
北海道電子自治体プ	ラットフォーム事業	4, 329 <del>1</del>	- P -	-m	千円	子円 4	4,329 千円
総務部 情	報推進課	4, 023	''] '	13	''']	117	4, 023
根拠法令					_	•	
実施方法	□ 直接実施 ■	業務委託等	□ 補助金	・負担金	<ul> <li>助成金</li> </ul>		
		714 177 24 18 19	1111-7-2	. ,,,			
事業の目的・対象	日本政府の推進す 効果的な電子自治体			本」の取組	胆に対応し、	地方自治体	の効率的・
事業の必要性	住民サービスの向 に実現するためには グモデル(HARP構想)	、市町村と	民間企業との記	重携による			
事業の内容 SDGs17の目標 11 記号語を A	●苫小牧市地域情報化 自治体共同シス体共 1 様々な機外のの 2 委託者以テムの 3 共同システムの 運用を行い、共の 4 共同システムの します。	の機能を有対の 同シスHARP構テス 同シスト 同シスト 同シスト 同シスト は 能能テスト 活 機能 シスト 機能 と スト は は スト は は れ る の し る し る の し る の し る し る し る し る し る	が活用します。 利活用及び啓発 (※)の普及啓発 利用に関し、利 た100ユーザー の利活用に係る	き支援 きに努めます 関極的に利力 以下のグル 5情報を収り	す。 舌用促進しま - ー ブウェア & 集します。	す。 なび公会計シ	ステムの
		生物 共同運動 大同運動	### ##################################	- 2	(R2.4.1時点 (全179、加フ	The state of the s	
					人件費		25
9	コスト			HIE-	算人件費		
			職員構成		#ハロ貝 × 従事職員数	汝) 従事	職員数
事業費	4 200	-m (	担当正規職員		1,405 千	円 0.	2 人
(R1年度決算額)	4, 329	千円(	嘱託職員			円	人
1 11 144	1 105	- m	再任用(フル)			·Ħ	人
人件費	1, 405	千門	再任用 (ハーフ)		Ŧ	·H	人
4/\\ =L	E 704	7 m	任期付職員			· H	人
総計	5, 734	千円し	臨時職員		Ŧ	円	
		指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
評価指標	電子申請手続利用数				0	3	10
(事業実績)	簡易申請手続利用数				4, 961	6, 828	4, 752
1 715 2 5 4267	i=i>o T iii T iiii T iii XX				1,001	0,020	1, 102
	古世の七が姓 / 井田	の達出生に	\ <b> </b> = ÷				<u> </u>
自己評価	事業の有効性(効果						
自己評価の理由	事業の効率性(費 導入時と比較し、が促進されているこ が得られていると考 また、R1年度は電	電子申請の とから、事 えます。	業の有効性が	なっている 疑われるも	しのではなく		きの電子化
事業の課題、 今後の方向性等	電子申請の考え方: ることもあり、本事: より良い住民サー を筆頭とした電子自: ネットワーク基盤整:	業単体とし ビスの向上 治体運営協	ては維持管理の や行政の効率の 議会との協議が	の面が強く 化・高度化 が必要と考	くなってきて となどを目指	おります。 すため、今	後も北海道
特記事項							

款 02総務費

款 UZ総務負	項 UI総務官				争份争未留了	<del>7</del> 02010100
事業	<b>美名</b>	R1年度		財源	内 訳	
担当音	⊮・課	(決算額)	国道支出金	<b>地方債</b>	その他	一般財源
戸籍管理・コンビニ	- 交付システム事業	07 500				n 07 500 ~ m
市民生活部	スロサービス課	- 27,596 <del>千</del> ₽	1 +	円 千円	+	円 27, 596 千円
根拠法令	戸籍法、民法、国籍	法等	Į.	Į.		
実施方法		 │業務委託等	□ ##수	・負担金・助成	<del></del>	
天心力 法						
	戸籍管理システム					
事業の目的・対象	証する戸籍事務の効					
	います。また、マイ				6行を至国コン	ンピーエンスス
	トアで行うことによ					
	戸籍は、人の出生か					
	され、日本国籍をも公		1度です。それ	らの情報を正確に	管理・運用・	保管するにはシ
事業の必要性	ステム化が不可欠です   証明書のコンビニ交	•	珥左 仝国久	<b>州で車業関仏士</b> も	./+実体投討さ	カケハス車業レ
	証明書のコンピース  なります。日中来庁す					
	上においても、一定効				(1)2/	77 「日及千円
				3,20,70		
事業の内容	┃1 戸籍管理システム					
	苫小牧市に本籍を					る事業です。
SDGs17の目標	届出の受理から戸籍 ■ 本 予 算 用 途	への記載、尸業	措謄本の父付を	迅速に行っていま	· 9 。	
50031707日 信	▼▽昇用迹   1 専用回線使用料	L				
	2 システムソフト					
	3 システムハード					
	4 システム賃借料					
	5 システム更新関					
	6 その他設定業務					
	2 コンビニ交付シス		. 2022 . 004	NBB (10 □ 20 □	1 日 2 日 # 除 /	( ) で、 4日の
	│ 苫小牧市の各種証 │ コンビニエンススト					
	住民票の写し、印鑑					
	システム構築に当					
	こととし、事業開始					
	としました。					
	◆予算用途					
	1 利用契約					
	1 利用契約   2 J-LIS負担金 					
				人件	:費	
			min = 1# -4		В	ᄽᆂᇄᄝᄣ
	2 J-LIS負担金		職員構成	人件 概算人件費 (平均給与×従事	ŧ ,	従事職員数
	2 J-LIS負担金 コスト			概算人件費 (平均給与×従事	費 職員数)	0.0
 事業費	2 J-LIS負担金	千円(一	担当正規職員	概算人件費 (平均給与×従事	量 職員数) <sup>1</sup> 2 千円	0.8 人
	2 J-LIS負担金 コスト		担当正規職員 嘱託職員	概算人件費 (平均給与×従事	<ul><li>計</li><li>職員数)</li><li>2 千円</li><li>千円</li></ul>	0.8 人
事業費 (R1年度決算額)	2 J-LIS負担金 コスト 27,596	<u> </u>	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル)	概算人件費 (平均給与×従事	を 職員数) 2 千円 千円	0.8 人 人
 事業費	2 J-LIS負担金 コスト	<u> </u>	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ)	概算人件費 (平均給与×従事	を 職員数) 2 千円 千円 千円	0.8 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	2 J-LIS負担金 コスト 27,596 5,622	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員	概算人件費 (平均給与×従事	を 職員数) 2 千円 千円 千円 千円 千円	0.8 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額)	2 J-LIS負担金 コスト 27,596	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ)	概算人件費 (平均給与×従事 5,62	職員数) 2 千円 千円 千円 千円 千円	0.8 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	2 J-LIS負担金 コスト 27,596 5,622	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員	概算人件費 (平均給与×従事	職員数) 2 千円 千円 千円 千円 千円	0.8 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	2 J-LIS負担金 コスト 27,596 5,622	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員	概算人件費 (平均給与×従事 5,62	職員数) 2 千円 千円 千円 千円 千円	0.8 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	2 J-LIS負担金 コスト 27,596 5,622	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員	概算人件費 (平均給与×従事 5,62	職員数) 2 千円 千円 千円 千円 千円	0.8 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	2 J-LIS負担金 コスト 27,596 5,622	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員	概算人件費 (平均給与×従事 5,62	職員数) 2 千円 千円 千円 千円 千円	0.8 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	2 J-LIS負担金 コスト 27,596 5,622 33,218	千円十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	概算人件費 (平均給与×従事) 5,62	職員数) 2 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	0.8 人 人 人 人 人 大 度 H29年度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	2 J-LIS負担金 コスト 27,596 5,622 33,218 事業の有効性(効果	千円十二十十二十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	概算人件費 (平均給与×従事) 5,62	を 職員数) 2 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	0.8 人 人 人 人 人 度 H29年度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	2 J-LIS負担金 コスト 27,596 5,622 33,218	千円十二十十二十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	概算人件費 (平均給与×従事) 5,62	を 職員数) 2 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	0.8 人 人 人 人 人 大 度 H29年度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	2 J-LIS負担金 コスト 27,596 5,622 33,218 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	千円十二十十二十十十二十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	概算人件費 (平均給与×従事) 5,62 単位 R1年 口中	雅員数) 2 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	0.8 人 人 人 人 人 度 H29年度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	2 J-LIS負担金 コスト 27,596 5,622 33,218 事業の有効性(効果 事業の効率性(費) 戸籍事務の正確か	千円十二十十二十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	概算人件費 (平均給与×従事 5,62 単位 R1年 口中 口中	職員数) 2 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	0.8 人 人 人 人 人 度 H29年度 コ低 コ低
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	2 J-LIS負担金 コスト 27,596 5,622 33,218 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 戸籍事務の正確が 基幹システム更新に	千円 千円 指標名 を違成状況) で対効果) で対対の事的な運 件うコンビニ	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	概算人件費 (平均給与×従事 5,62 単位 R1年 口中 口中	職員数) 2 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	0.8 人 人 人 人 人 度 H29年度 コ低 コ低
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	2 J-LIS負担金 コスト 27,596 5,622 33,218 事業の有効性(効果 事業の効率性(費) 戸籍事務の正確か	千円 千円 指標名 を違成状況) で対効果) で対対の事的な運 件うコンビニ	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	概算人件費 (平均給与×従事 5,62 単位 R1年 口中 口中	職員数) 2 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	0.8 人 人 人 人 人 度 H29年度 コ低 コ低
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	2 J-LIS負担金 コスト 27,596 5,622 33,218 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 戸籍事務の正確か 基幹システム更新に を円滑に進めており	十円 千円 千円 指標名 の達成状況) で加入のでは でである。 でである。	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 高 高	概算人件費 (平均給与×従事) 5,62 単位 R1年 中 中 中 定定した業務を遂	を 職員数) 2 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	0.8 人 人 人 人 人 度 H29年度 コ低 コ低 コます。また、 なく完了し事業
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	2 J-LIS負担金コスト27,5965,62233,218事業の有効性(効果事業の効率性(費)戸籍事務の正確が基幹システム更新に進めており戸籍事務について	十円 千円 千円 指標名 の達成状況) で開対効果) ではずる。 ではずる。	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 高 高	概算人件費 (平均給与×従事) 5,62 単位 R1年 中 中 中 定定した業務を遂	を 職員数) 2 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	0.8 人 人 人 人 人 度 H29年度 コ低 コ低 コます。また、 なく完了し事業
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	2 J-LIS負担金コスト27,5965,62233,218事業の有効性(効果事業の効率性(費戸籍事務の正確が基幹システムの更おり戸籍事務について動向を注視する必要	十一円 千円円 指標名 で達成状況) ででは、かめビースリーでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 高高 用を行い、テム が一制度の戸	概算人件書 (平均給与×従事) 5,62 単位 R1年 中口中 はた業務を適 ででした業務を適用などの実	職員数) 2 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 ・使 H30年 にをできる。 には行できる。 には行できる。 には行いた。 には行いた。 には行いた。 にはいまする。 にはいまる。 にはいな。 にはいまる。 にはいまる。 にはいまる。 にはいまる。 にはいまる。 にはいまる。 にはいな。 にはいな。 にはいな。 にはいな。 にはいな。 にはいな。 にはいな。 にはいな。 にはいな。 にはいな。 にはいな。 にはいな。 にはいな。 にはい	0.8     人       人人人人人人人人人       皮 H29年度       」低       よく完了し事業       れており、国の
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	2 J-LIS負担金コスト27,5965,62233,218事業の有効性(効果事業の効率性(費戸籍事務の正確が 基幹シスに進めて 下籍事務につい必要 と再額につい必要 と再額に を再額に を再額に を表記のコン	T 円 円 指標名	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 高 高 に が で に に に に に に に に に に に に に	概算人件書 (平均給与×従事) 5,62 5,62 単位 R1年 中口中 定定した業携再様 を流データ連携再を目指して	を 職員数) 2 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 ・でを を を を を を を を を を を を を を	0.8     人       人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	2 J-LIS負担金コスト27,5965,62233,218事業の有効性(効果事業の効率性(費戸籍事務の正確から声籍を注明書のである。下籍事務につい必って要いますたどを実施して	十 千 指標名 (根)	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 高 高 に が で に に に に に に に に に に に に に	概算人件書 (平均給与×従事) 5,62 5,62 単位 R1年 中口中 定定した業携再様 を流データ連携再を目指して	を 職員数) 2 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 ・でを を を を を を を を を を を を を を	0.8     人       人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	2 J-LIS負担金コスト27,5965,62233,218事業の有効性(効果事業の効率性(費戸籍事務の正確が 基幹シスに進めて 下籍事務につい必要 と再額につい必要 と再額に を再額に を再額に を表記のコン	十 千 指標名 (根)	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 高 高 に が で に に に に に に に に に に に に に	概算人件書 (平均給与×従事) 5,62 5,62 単位 R1年 中口中 定定した業携再様 を流データ連携再を目指して	を 職員数) 2 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 ・でを を を を を を を を を を を を を を	0.8     人       人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価の理由 事業の課題、 今後の方向性等	2 J-LIS負担金コスト27,5965,62233,218事業の有効性(効果事業の効率性(費戸籍事務の正確から声籍を注明書のである。下籍事務につい必って要いますたどを実施して	十 千 指標名 (根)	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 高 高 に が で に に に に に に に に に に に に に	概算人件書 (平均給与×従事) 5,62 5,62 単位 R1年 中口中 定定した業携再様 を流データ連携再を目指して	を 職員数) 2 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 ・でを を を を を を を を を を を を を を	0.8     人       人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	2 J-LIS負担金コスト27,5965,62233,218事業の有効性(効果事業の効率性(費戸籍事務の正確から声籍を注明書のである。下籍事務につい必って要いますたどを実施して	十 千 指標名 (根)	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 高 高 に が で に に に に に に に に に に に に に	概算人件書 (平均給与×従事) 5,62 5,62 単位 R1年 中口中 定定した業携再様 を流データ連携再を目指して	を 職員数) 2 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 ・でを を を を を を を を を を を を を を	0.8     人       人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人

款 02総務費

項 01総務管理費

目 01一般管理費

水 VZ小心仍良	・ クロールのイカ 日			5 任 貝 山	500	<b>宇切宇木</b> 軍		02010	107
事第		R1年度		財	源	内部		40.5	
担当部	₮・課	(決算額)	国道支出金	2 地方	漬	その他		一般財	<b></b> 打源
財務会計シ	ステム事業	40 000	_	-	~				~
総務部 情	青報推進課	12,060 千円	<b> </b>	H	千円	_	+15	12, 060	千円
根拠法令	TATK/EACHY								
実施方法	■ 直接実施 ■	業務委託等	□ 補助金	・負担金	<ul> <li>助成:</li> </ul>	<u>金</u>			
事業の目的・対象	予算・決算処理、	経理会計等の	財務会計事務	8全般の簡	ĭ素化・	効率化を図	집니됨	きす。	
事業の必要性	各課で独自管理・ 財務情報の一括管理 ズに行え、事務効率	が可能となり	、予算編成か	ら決算ま	での一				
****	従来の紙媒体での:	会計支出伝票	や予算・決算	事務をデ	一タ化	し、構築			
事業の内容	①出納管理	⑤債務	債権者管理	⑨決算網					
	②歳入歳出外現金			(1))契約官	管理 (物	品・工事)			
SDGs17の目標	③歳入管理	⑦予算	編成	①業者等	管理				
11 SARNORS	④歳出管理	(8)決算	管理	(12)公会	ST .				
11 159008									
II . II A	【導入前】		処理では	【導入	後]	BOTH EXPENSES	-2 -014-	one Francisco Rosa	() per
A:100	WATOA TO	Committee and the second	わらない		1	サータル	mese.		
	Die 1		-		-	DECEMBER OF THE	100 m	COMMON ACCORDING TO STATE OF S	
	M. Kill		9		1622	June Com	99 at	TOP THE PARTY.	
<i>Y</i>	数字が	合わないン			12	00. NO DE DE	CO OF	BOWN NAME OF	
	XX T //	H17.00	(3)		-	*****	500 mm	BOARD CO.	
		- (	340				69m	テムイメー	
									->
	※手書き伝票による					-タベースで			
	●各課で手処理での					こより効率化			川瀬
	●転記誤りや事務作					川減、各種分		可能	
	●各課決算、不一致	対が多発		●業	務全体の	D効率がアッ	ノブ		-
					人件	書			123
	コスト			#RE ♦	人件		1000000		
	コスト		職員構成		章人件費		従马	事職員数	ķ
	コスト			概算(平均給与	A人件費 ×従事	競員数)	10000		
事業費	16 1	<b>∓</b> B (	旦当正規職員		章人件費	競員数)	10000	事職員数 2	人
0	コスト 12,060	+H	担当正規職員 嘱託職員		A人件費 ×従事	競員数) 5 千円 千円	10000		人人
事業費 (R1年度決算額)	12, 060	+H	旦当正規職員 嘱託職員 再任用(フル)		A人件費 ×従事	競員数) 5 千円 千円	10000		人
事業費	16 1	+H	担当正規職員 嘱託職員		A人件費 ×従事	競員数) 5 千円 千円	10000		人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	12, 060	千円	旦当正規職員 嘱託職員 再任用(フル)		A人件費 ×従事	機員数) 5 千円 千円 千円 千円	10000		<u> </u>
事業費 (R1年度決算額)	12, 060	+H	旦当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 耳任用(ハーフ) 在期付職員		A人件費 ×従事	議員数) 5 千円 千円 千円 千円 千円	10000		人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	12, 060 1, 405 13, 465	千円	旦当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 耳任用(ハーフ)	(平均給与	章人件費 ×従事 1,405	競員数) 5 千円 千円 千円 千円 千円	0.	2	人 人 人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	12, 060 1, 405 13, 465	千円	旦当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 耳任用(ハーフ) 在期付職員		A人件費 ×従事	競員数) 5 千円 千円 千円 千円 千円	0.		人 人 人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	12, 060 1, 405 13, 465	千円	旦当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 耳任用(ハーフ) 在期付職員	(平均給与	章人件費 ×従事 1,405	競員数) 5 千円 千円 千円 千円 千円	0.	2	人 人 人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	12, 060 1, 405 13, 465	千円	旦当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 耳任用(ハーフ) 在期付職員	(平均給与	章人件費 ×従事 1,405	競員数) 5 千円 千円 千円 千円 千円	0.	2	人 人 人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	12, 060 1, 405 13, 465	千円	旦当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 耳任用(ハーフ) 在期付職員	(平均給与	章人件費 ×従事 1,405	競員数) 5 千円 千円 千円 千円 千円	0.	2	人 人 人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	12, 060 1, 405 13, 465	千円千円	旦当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 耳任用(ハーフ) 在期付職員	単位	章人件費 ×従事 1,405	競員数) 5 千円 千円 千円 千円 千円	0.	2 H294	人 人 人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	12,060 1,405 13,465 事業の有効性(効果	千円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 耳任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	章人件費 ×従事事 1,400 RI年	競員数) 5 千円 千円 千円 千円 千円	6.	2 H294	人 人 人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	12, 060 1, 405 13, 465	千円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 耳任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	章人件費 ×従事事 1,409 R1年	競員数) 5 千円 千円 千円 千円 千円	0.	2 H294	人 人 人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	12,060 1,405 13,465 事業の有効性(効果	千円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 耳任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	章人件費 ×従事事 1,400 RI年	競員数) 5 千円 千円 千円 千円 千円	6.	2 H294	人 人 人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	12,060 1,405 13,465 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	千円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果)	担当正規職員 嘱託職員 再任用(ハーフ) 任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	章人件費 ×従事事 1,405 R1年	機員数) 5 千円 千円 千円 千円 千円 乗 H30:	年度	2 H294 氏	人人人人人度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	12,060 1,405 13,465 事業の有効性(効果	千円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果)	担当正規職員 嘱託職員 再任用(ハーフ) 任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	章人件費 ×従事事 1,405 R1年	機員数) 5 千円 千円 千円 千円 千円 乗 H30:	年度	2 H294 氏	人人人人人度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	12,060 1,405 13,465 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	千円 千円 千円 指標名 の達成状況) 円対効果)	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	章人件費 ×従事事 1,405 R1年	機員数) 5 千円 千円 千円 千円 千円 乗 H30:	年度	2 H294 氏	人人人人人度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	12,060 1,405 13,465 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	千円 千円 千円 指標名 の達成状況) 円対効果)	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	章人件費 ×従事事 1,405 R1年	機員数) 5 千円 千円 千円 千円 千円 乗 H30:	年度	2 H294 氏	人人人人人度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	12,060 1,405 13,465 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	千円 千円 千円 指標名 の達成状況) 円対効果)	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	章人件費 ×従事事 1,405 R1年	機員数) 5 千円 千円 千円 千円 千円 乗 H30:	年度	2 H294 氏	人人人人人度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	12,060 1,405 13,465 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	千円 千円 千円 指標名 の達成状況) 円対効果)	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	章人件費 ×従事事 1,405 R1年	機員数) 5 千円 千円 千円 千円 千円 乗 H30:	年度	2 H294 氏	人人人人人度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	12,060 1,405 13,465 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	千円 千円 千円 指標名 の達成状況) 円対効果)	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	章人件費 ×従事事 1,405 R1年	機員数) 5 千円 千円 千円 千円 千円 乗 H30:	年度	2 H294 氏	人人人人人度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	12,060 1,405 13,465 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	千円 千円 千円 指標名 の達成状況) 円対効果)	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	章人件費 ×従事事 1,405 R1年	機員数) 5 千円 千円 千円 千円 千円 乗 H30:	年度	2 H294 氏	人人人人人度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	12,060 1,405 13,465 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 財務関連業務を遂高く、費用に見合った	十円 千円 千円 千円 イ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	担当正規職員 順発 (フル) 現任用 (フル) 発任用 (ハーフ) 任期付職員 画高高 コースでいるとと	単位	京人件費事 1,400 R1年	機員数) 5 千円 千円 千円 千円 千円 乗 H30s	年度 口 1 事業	2 H294 氏 氏	人人人人人人度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業実績) 自己評価 自己評価の理由	12,060 1,405 13,465 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 財務関連業務を遂っ 令和2年度をもつ	十一円円名の財物を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表している。	担当正規職員 「場合 (ハーブ) (日期 (ハーブ) (日期 (ハーブ) (日期 (水・ガーガー) (日期 (水・ガーガー) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本	(平均給与単位 )	京人件費事 1,400 R1年	機員数) 5 千円 千円 千円 千円 千円 乗 H30s	年度 口 1 事業	2 H294 氏 氏	人人人人人人度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	12,060 1,405 13,465 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 財務関連業務を遂高く、費用に見合った	十一円円名の財物を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表している。	担当正規職員 「場合 (ハーブ) (日期 (ハーブ) (日期 (ハーブ) (日期 (水・ガーガー) (日期 (水・ガーガー) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本	(平均給与単位 )	京人件費事 1,400 R1年	機員数) 5 千円 千円 千円 千円 千円 乗 H30s	年度 口 1 事業	2 H294 氏 氏	人人人人人人度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業実績) 自己評価 自己評価の理由	12,060 1,405 13,465 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 財務関連業務を遂っ 令和2年度をもつ	十一円円名の財物を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表している。	担当正規職員 「場合 (ハーブ) (日期 (ハーブ) (日期 (ハーブ) (日期 (水・ガーガー) (日期 (水・ガーガー) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本	(平均給与単位 )	京人件費事 1,400 R1年	機員数) 5 千円 千円 千円 千円 千円 乗 H30s	年度 口 1 事業	2 H294 氏 氏	人人人人人人度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業実績) 自己評価 自己評価の理由	12,060 1,405 13,465 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 財務関連業務を遂っ 令和2年度をもつ	十一円円名の財物を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表して次期を表している。	担当正規職員 「場合 (ハーブ) (日期 (ハーブ) (日期 (ハーブ) (日期 (水・ガーガー) (日期 (水・ガーガー) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本	(平均給与単位 )	京人件費事 1,400 R1年	機員数) 5 千円 千円 千円 千円 千円 乗 H30s	年度 口 1 事業	2 H294 氏 氏	人人人人人人度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業実績) 自己評価 自己評価の理由	12,060 1,405 13,465 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 財務関連業務を遂った。 令和2年度をもつか 今和2年度をもつか	十一千円円円名 成効 る果が 対験 が 次準備を を が を を か と か と か と か と か と か と か と か と か と	担当正規職員 「場合 (ハーフ) (イーフ) (日本 (ハーフ) (日本 (ハーフ) (日本 (ハーフ) (日本 (ロース) (日本 (ロース) (	(平均給与単位 ようなます。 (会計課所)	章× 1,400 R1年 中中 不 可 へ	機員数) 5 千円 千円 千円 千円 千円 度 H303 か 切替えど	年度 口 1 事業	2 H294 氏 氏	人人人人人人度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業) 自己評価 自己評価の理由 事業の決向性等	12,060 1,405 13,465 事業の有効性(効果 事業の効率性(対験) 事業の効率性(対験) 事業の対率性(対験) 対務関連業務を遂つ 令和2年度をもつめ 令和2年9月シ	十 千 千 括	担当正託 (フル) (A に ) (A	(平均給与単位 ようなます。 (会計課所)	章× 1,400 R1年 中中 不 可 へ	機員数) 5 千円 千円 千円 千円 千円 乗 H30s	年度 口 1 事業	2 H294 氏 氏	人人人人人人度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業実績) 自己評価 自己評価の理由	12,060 1,405 13,465 事業の有効性(効果 事業の効率性(対験) 事業の効率性(対験) 事業の対率性(対験) おります。 おります。 令和2年度をもつかる。 令和2年9月シャートを表す。	十一千円円円名 成効 る果が 対験 が 次準備を を が を を か と か と か と か と か と か と か と か と か と	担当正託 (フル) (A に ) (A	(平均給与単位 ようなます。 (会計課所)	章× 1,400 R1年 中中 不 可 へ	機員数) 5 千円 千円 千円 千円 千円 度 H303 か 切替えど	年度 口 1 事業	2 H294 氏 氏	人人人人人人度

款 02総務費

項 01総務管理費

目 01一般管理費

事業	名	R1年度		財	源	内	訳		
担当部	₿・課	(決算額)	国道支出金	地方	債	そ(	の他	一般則	才源
固定資産税評価支	援システム事業	7 007 7 11						7 007	~
財政部	資産税課	7,397 千円	<u>千</u> P	וי	千円		+14	7, 397	千円
根拠法令				·	-				
実施方法	□ 直接実施 ■	 業務委託等	□補助金	• 台坦全	• 助成2	<del></del>			
事業の目的・対象	納税義務者に対す的に行います。						により	正確かつ	効率
事業の必要性	土地や家屋に関す 有者情報などを地図 情報も踏まえて評価	ソフトや家屋	評価システム	上でデー	タ管理	してお	り、従		
事業の内容									
SDGs17の目標 11 standrone 16 Tecole 11 teoroge	土地・家屋情報支	の保守委託に	より土地や家	屋に関す	る固定	資産評	価又は		
	適正な課税、並びに	市氏からの請;	水に基づく地	番凶の交	:1য হ্ব17	つ ( t	`まり。		
					人件	費			
	コスト		職員構成	概算 (平均給与	算人件費		従	事職員数	女
事業費 (R1年度決算額)	コスト 7, 397	千円(単	職員構成  世当正規職員  嘱託職員		算人件費 ×従事職		1	事職員数 . 4	<b>女</b> 人
事業費			旦当正規職員		算人件費 ×従事職	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	1		人 人 人
事業費 (R1年度決算額)	7, 397	千円	当正規職員 嘱託職員 厚任用(フル)		算人件費 ×従事職	職員数) 子 千円 千円 千円 千円	1		人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	7, 397 9, 838 17, 235	千円	世当正規職員 嘱託職員 原任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員		拿人件費 ×従事耶 9,838	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	1	. 4	人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	7, 397 9, 838 17, 235	千円 千円 上 指標名	国当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員	(平均給与	算人件費 ×従事服 9,838	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	1	. 4	人 人 人 人 人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	7, 397 9, 838 17, 235 土地·家屋情報支援	+円 +円 +円 指標名 システム賃貸	世当正規職員 嘱託職員 原任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 昔・保守契約	単位回	享人件費 ×従事耶 9,838 R1年,	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	1 H30年度	. 4	人人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	7, 397 9, 838 17, 235 土地・家屋情報支援 家屋評価システム賃	十円 千円 千円 指標名 システム賃貸借 貸借・保守契約	世当正規職員 嘱託職員 原任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 昔・保守契約	単位回回回	享人件費 ×従事耶 9,838 R1年 1	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	1 H30年度 1	. 4	人 人 人 人 人 大 大 1
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	7, 397 9, 838 17, 235 土地・家屋情報支援 家屋評価システム賃 プロッター購入・保	十円 千円 千円 指標名 システム賃貸付 貸借・保守契約	世当正規職員 嘱託職員 存任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 昔・保守契約	単位回回回回	享人件費 ×従事耶 9,838 R1年 1 1	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	1 H30年度 1 1	. 4	人人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	7,397 9,838 17,235 土地・家屋情報支援 家屋評価システム賃 プロッター購入・保: 事業の有効性(効果	十円 千円 千円 指標名 システム賃貸借・保守契約 守契約 の達成状況)	国当正規職員 嘱託職員 毎任用(フル) 任用(ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 昔・保守契約	単位回回回回回	章人件費 ×従事耶 9,838 R1年, 1 1	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	H30年度 1 1	. 4 H29a	人 人 人 人 人 大 大 1
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	7, 397 9, 838 17, 235 土地・家屋情報支援 家屋評価システム賃 プロッター購入・保	十円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	国当正規職員 嘱託職員 事任用 (フル) 任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 昔・保守契約 的	単位回回回	算人件費 ×従事耶 9,838 R1年 1 1 1 中	銭員数)子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子	H30年度 1 1 1	. 4 H294 低 低	人人人人人度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	7,397 9,838 17,235 土地・家屋情報支援 家屋評価システム賃 プロッター購入・保 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 土地・家屋情報支 効率的な評価・課税	十十十千千千月円円円円円月円円円円円日円月円日円 <t< th=""><th>国当正規職員 嘱託職員 項任用 (フル) 任用 (ハ-フ) 任期付職員 古・保 高 高 ■ 高 家屋き、 対するランニ</th><th>(平均給与単位 回回回 ティカ アイカ アイカ アイカ アイカ アイカ アイカ アイカ アイカ アイカ アイ</th><th>章 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 」 「 」 「 」 に 」 に に に に に に に に に に に に に</th><th><ul><li>3</li><li>方</li><li>方</li><li>方</li><li>方</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li></ul></th><th>H30年度 1 1 1 こより、い</th><th>. 4 H299 低低 より正確考</th><th>人人人人人度</th></t<>	国当正規職員 嘱託職員 項任用 (フル) 任用 (ハ-フ) 任期付職員 古・保 高 高 ■ 高 家屋き、 対するランニ	(平均給与単位 回回回 ティカ アイカ アイカ アイカ アイカ アイカ アイカ アイカ アイカ アイカ アイ	章 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 」 「 」 「 」 に 」 に に に に に に に に に に に に に	<ul><li>3</li><li>方</li><li>方</li><li>方</li><li>方</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li><li>た</li></ul>	H30年度 1 1 1 こより、い	. 4 H299 低低 より正確考	人人人人人度

款 02総務費

項 01総務管理費

目 01一般管理費

事業		R1年度		財	源	内 訳		
担当音		(決算額)	国道支出金	き 地方	方債	その他	一般	財源
放課後児童クラ		916 <del>T</del>	ᆈ ᆍ	<sub>m</sub>	千円	千	円 916	千円
健康こども音								
根拠法令	児童福祉法							
実施方法	■ 直接実施 □	業務委託等	口 補助金	・負担金	・助成:	金		
事業の目的・対象	放課後児童クラブ 正に行います。	システムに。	にり、利用者 <i>0</i>	)登録管理	里・利用	料の収納状	況の管理	等を適
事業の必要性	平成28年度からの 性や迅速性の確保の 利用者の利便性が向	ため必要なう						
事業の内容								
SDGs17の目標 3 Marchael	放課後児童クラブ ■主なシステ理・・・・収納管理・・・ 平成28年3月 本稼動に至り	機能 ・・・利用者 ・・・利用料 をを を を を を を を を を を を を を を を を を を	音登録、入退所 料の収納状況の 状の作成、口座	f情報の管 で理、糸 E振替デ− 月1日に	管理、必 内付書(	要帳票の作	納対応)	1
					人件	(3/3)		
	コスト		職員構成	概:	算人件費	}	従事職員	数
事業費 (R1年度決算額)	916	千円(	担当正規職員 嘱託職員		1, 40 68		0. 2 0. 2	人人
人件費	2, 086	千円	再任用(フル)			千円		人 人
総計	3, 002	千円	任期付職員 臨時職員			千円		人 人
		指標名		単位	R1年	度 H30年	度 H2	9年度
評価指標								
(事業実績)								
卢马标准	事業の有効性(効果	の達成状況)	■高		中		コ 低	
自己評価	事業の効率性(費	用対効果)	■高		口中	[	□低	
自己評価の理由	納付書発行事務、 時間外勤務の削減に り、利用者の利便性	利用者の入り つながりまし	<b>、た。また、</b> [	]座振替•				
事業の課題、 今後の方向性等	平成28年度より本 率的な業務管理を図		家動を開始し、	今後も安	安定的な	·児童クラブ	の運営、	より効
特記事項				_			_	

款 02総務費

項 01総務管理費

目 01一般管理費

事業	<b>多</b> ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	R1年月	¥		財	源	内	訳	02010	
担当部	* * * *	(決算額		国道支出金				D他		<u></u> 才酒
選挙関係シ		(7/3/1	π/		2 757	刀段	( )	716	川又六	71 ////
選挙管理委		3, 093	千円	<b>千</b>	円	千円		千円	3, 093	千円
根拠法令	只女争伤问 									
実施方法	□ 直接実施 ■	業務委託	₩	□ #마수	. 台 中 仝	. 助战	<u>~</u>			
关心力法	□ 旦按天肥 ■	未伤安乱	<del>च</del>	□ 補助金	• 貝担亚	• 助风3	<u> </u>			
事業の目的・対象	<ul><li>・平成28年に導入し</li><li>・選挙システムを長 (H31.4~R2.3分)</li></ul>						います	o		
事業の必要性	各種選挙、住民投 には常に安定したシ				三確・迅速	をな事務	処理が	求められ	れ、その	ため
事業の内容										
SDGs17の目標										
16 TROCES 17 MERCHILES  A CONT. SERREDILES  11 GARDIONA 12 OCERT 25-3008	① 住民投票システ 平成28年に導入 住民投票システ の総合行政システ	した「住」 ムは、基覧 ムのサール	民投 幹業	票システム」 務システムヵ	で更新とな	R守業務 いったた	。 め、平	成31年	1 月本稼	(働
5 xxxx-400 2 3 xxxxxx ————————————————————————————	平成31年1月の 長期継続契約で そのうちの、平成	基幹業務 総額を5	年間	(平成31年1	月~令和	5年12	月)で	の支払し		١,
						人件:	費			
	コスト			職員構成	概算 (平均給与		(員数)		事職員数	女
事業費 (R1年度決算額)	3, 093	千円(		旦当正規職員 嘱託職員		1, 405	千円 千円		. 2	人人
人件費	1, 405	<u>+</u> ⋒\		再任用(フル) 「任用(パプル)			十日日			ᄉ
			_	任用(ハーフ) 任期付職員			千円			수
総計	4, 498	千円		臨時職員			- 十円			ᄉ
				正Ш 中 门 村民 5元	単位	R1年		L H30年度	H29:	年度
評価指標		10 12.17				4	<u>~   '</u>	4		<del>牛皮</del> 4
評価指標   (事業実績)	~~»ı w ı					<del>                                     </del>	-+	7	+	
、テヘハ(収)							-+		+	
	   事業の有効性(効果	の達成性	治)	■高		 □ 中			_ <u> </u> 任	
自己評価	事業の分別性(効果			■高		<u>□ 中</u> □ 中				
自己評価の理由	住民投票が執行さ業の有効性は高く、	れた際に	は、7	常時安定した	−運用が糸		であり		-	:、事
事業の課題、 今後の方向性等	法改正や新規情報向上や効率化のため					: が必要	です。	選挙事績	<b>务の正</b> 確	筐性の
特記事項										

款 02総務費

秋 UZ総務負	現 UI 総務官					● 份争未留写	0201011	
事業	[名	R1年度		財	源	内 訳		
担当部	₿・課	(決算額)	国道支出金	😉   地方	債	その他	一般財源	原
総合行政シ	 ステム事業	100.054	- 44 000 -				110 551	
	 推進課 外5課	129, 854 <del>1</del> 円	∃  11, 303 <del>T</del>	·円	千円	千円	118, 551	千円
根拠法令			ļ					
実施方法	□ 直接実施 ■	業務委託等	□ 補助金	・負担金	・助成金			
事業の目的・対象	基幹業務システム することにより、環 務の効率化・標準化	境変化に対応	しながら市民	ミサービス	の向上、	政策との柔		
事業の必要性	総合行政システム 報共有やシステムの 一元管理や、利用料 の削減を図ります。	拡張性確保に	より市民サー	-ビスの向	上を図り	ります。また	、システム	ふの
事業の内容								
SDGs17の目標	旧基幹業務システム 福祉系業務システム して再構築しましたして、仮想環境とし	をプロポーザ 。また、統合 て構築しまし	ルによる一括 に適さないシ た。	5調達で更 ノステムに	新・統合 ついては	らし、総合行 は、サーバ統	政システ <i>↓</i> 合システ <i>↓</i>	12 12
	平成28年度に事業 システム開発及び構 るシステム利用とし	築を行い、平						
	また、システム更 タ等の更新を、納付 の適正化を行いまし	書等の大量印						
		1 1			しル曲	1		
					人件費	[		
	コスト		職員構成	概算 (平均給与	「人件費 ×従事職」	員数) 従	事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	129, 854		担当正規職員 嘱託職員		12, 649	千円	1.8	人人
人件費	12, 649	<b></b>	再任用(フル) 再任用(ハーフ)			千円 千円		ᄉ
総計	142, 503	千円	任期付職員 臨時職員			千円		人人
			THE STANFE	単位	R1年度		H29年	康
== / <del></del> / /=		1日1末1口		平四	八十尺	11004/3	1123-4	区
評価指標								
(事業実績)								
			<del></del>					
4	事業の有効性(効果	の達成状況)	■高		] 中		低	
自己評価	事業の効率性(費		■高		<u>- ·                                    </u>			
自己評価の理由	年間を通し大きなまた、管理・運用	障害も発生せ	ず、安定的か	いつ効率的	にシステ	-ム運用が行		<b>S</b> o
事業の課題、 今後の方向性等	安定的なサービス を目指します。 また、業務の標準 と、更なる市民サー	化や法改正対	応等の費用通					
特記事項	平成28年度 プロポーサ 平成29年度 システム棒 平成30年度 システム検	<b>捧</b> 築	<b>首決定</b>					

款 02総務費

秋 UZ総務負	項 UI 総務官				争份争未留写	02010112
事第	<b>美名</b>	R1年度		財源	内 訳	
担当部	⋼⋼⋾	(決算額)	国道支出金	注│ 地方債	その他	一般財源
総合窓口	設置事業	140 004			00 707	110 407
市民生活部 窓	8ロサービス課	140, 224 千円	<del> </del>	m  + m	3 29, 737 千円	110,487 十円
根拠法令	J	<u>l</u>	ļ		!	!
		<b>坐</b> 双丢打坯	ㅁ 按마스	스 프 스 마 르	· ^	
実施方法 	■ 直接実施 □	業務委託等	□ 補助金	・負担金・助成	2. 金	
事業の目的・対象	市民のライフイベ 1月より北庁舎1階 業務委託することに	に「総合窓口	フロア」を設	と置します。ま <i>†</i>		
事業の必要性	高齢化社会の進展 が必要です。費用を 合窓口の業務運営に	抑制しつつ、	行政運営の対	率化とサービス		
事業の内容 SDGs17の目標	和2年 113年	フよペロつま委引たど託ロり一環番し託継にワ事ア、ス境号たがぎラン業レ窓のを発。円をイス者イロ充構券 滑開フトとアカ実築機 に始イッの	ウウ化すを スしベプ引いタ図と入 一しトーぎぬーりとし トたにビををのまる で。伴ス進んの方にだる	実一に、ちる来必開まる。まの要始し	総合窓ロフロア・	イメ <b>ー</b> ジ】
	このほか、住民異きの申請受付、市民のとの調整やシステ	向けの案内文	書を作成する	総合窓口システ		け、関係各課
	コスト		職員構成	概算人件引 (平均給与×従事	費 A	事職員数
事業費 (R1年度決算額)	140, 224	千円(	担当正規職員 嘱託職員	7, 02	27 千円 千円	1 人 人
人件費	7, 027	<u>ш</u>	再任用(フル) 耳任用(ハーフ)		千円 千円	人 人
総計	147, 251	千円	任期付職員 臨時職員		千円 千円	人 人
評価指標 (事業実績)		指標名		単位 R1年	F度 H30年度	E H29年度
白コ転圧	事業の有効性(効果	の達成状況)	■高	口中		低
自己評価	事業の効率性(費	用対効果)	■高	口中		低
自己評価の理由	総合窓口フロアで の体制拡充など市民 また、窓口業務の 整が可能となるなど	はライフイベ の利便性向上 運営について	ントに伴う手 が図られます 民間事業者へ	- 。 、委託することに	ップ化、フロア こより、繁閑に	マネージャー応じた人員調
事業の課題、 今後の方向性等	現在取り扱ってい す。また、総合窓口 向上を目指します。					
特記事項						

款 02総務費

事業	· -	R1年度		財	源	内	訳		
担当部	『・課	(決算額)	国道支出金	き 地ブ	5債	その	の他	一般則	才源
給与計算事	務委託事業	1,283 千円		円	千円		ᆂᇜ	1, 283	千円
総務部 行	<b>丁</b> 政監理室	1, 203	]		717		717	1, 200	113
根拠法令		•	-						
実施方法	□ 直接実施 ■	業務委託等	□ 補助金	・負担金	<ul><li>助成:</li></ul>	<del>金</del>			
事業の目的・対象	本市で運用してい 業務及びそれに付随 す。								
事業の必要性	給与計算事務を委 か、年間を通した業 す。また、職員の業 り組む時間を創出で	務量の平準化 務を「定型業	が図られるこ	とから、	時間外	勤務の	削減に	もつなが	りま
事業の内容									
SDGs17の目標 8 動業を	・給例の動調では、	関する事務 事務 事務 務 務 査合む)に関							
	_ 7			low 4	人件	-			
	コスト		職員構成	概算 (平均給与		職員数)		事職員数	女
事業費 (R1年度決算額)	1, 283		担当正規職員 嘱託職員		2, 108	8 千円 千円		). 3	人人
人件費	2, 108	<b>+</b>	再任用(フル) 再任用(ハーフ)			千円			人人
総計	3, 391	千円	任期付職員 臨時職員			<u>千円</u> 千円			人人
		指標名		単位	R1年	度	H30年度	H29	年度
評価指標									
(事業実績)									
4	事業の有効性(効果	の達成状況)	□高	ı	■中			低	
自己評価	事業の効率性(費		口高		<u></u>				
自己評価の理由	事務の民間委託に が令和2年3月であ が望ましいと考えま	よる職員の時 り、事業の有	間外勤務縮減	ばを見込ん	でおり		、委託	業務開始	
事業の課題、 今後の方向性等	次期契約更新時にす。	おける更なる	委託拡大に向	けて、弓	き続き	業務の	見直しい	こ取り組	lみま
特記事項									

款 02総務費

項 01総務管理費

目 01一般管理費

事業 担当部 個人番号カード利 総務部 マイナ				財	治古	rh =0		
個人番号カード利		R1年度			源	内 訳		0.01.00
	****	(決算額)	国道支出会	6 地フ	5債	その他	一服	段財源
総務部 マイナ	用環境整備事業	5, 322 <del>1</del>	-円 5,321 千	·#	千円	千円	1	千円
	トンバー主幹	0,022	13 0,021	''	''']	11,	'	' ' '
根拠法令		•						
実施方法	■ 直接実施 ■	業務委託等	□ 補助金	・負担金	<ul><li>助成金</li></ul>	<u> </u>		
<b>美胞乃法</b>		本勿女癿寸		<u> </u>	191190.11	<u>,                                      </u>		
事業の目的・対象	消費税引上げに伴 済事業者を活用した 準備としてマイキー	「マイナポ	イント」事業を	上令和 2 年	度に国			
	事前の予約設定( なり、高齢者を始め す。							
事業の内容								
	(1) マイナ (1) マイナ (1) マイナ (1) マイナ (1) マイナ (2) オース (2) 本 (2) 本 (2) 本 (2) 本 (2) 本 (3) ま (2) 本 (4) ま (4) ま (4) ま (4) ま (5)	張イ臨達に、一タ所ン時・広市掲一にト職設く内載作お予員置用小製作が約配	て、対応端末で (マイキーID記 置:本庁舎・ <i>0</i> するため、新 店や事業者、名	E所有して 設定)支援 Dぞみ出張 引・フリー		場を設置 ノ端出張所 ーへの広告掲		
					人件图	<b>事</b>		
_	コスト			18II ?		<u>~</u>		
_	371		職員構成 	(平均給与	×従事職	(貝奴)	事職員	<b>員数</b>
事業費 (R1年度決算額)	5, 322	千円(	担当正規職員 嘱託職員		2, 108	千円	0. 3	人 人
	5, 509	ᅮᆔᄼ	再任用(フル)			千円		
人件費	5, 509	千円	再任用(ハーフ)					<u>人</u> 人
人件費 総 計	10, 831	千円	再任用(ハーフ) 任期付職員		3 401	千円 千円	1 5	Д Д Д
	10, 831	千円	再任用(ハーフ)	単位		千円 千円 千円 1	I. 5 : Т н2	人 人 人
総計	10, 831	千円 指標名	再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	R1年	千円 千円 千円 1 隻 H30年度		人
総計	10,831 特設窓口でのマイキ	千円 指標名 一ID設定者	再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	人	R1年月 328	千円 千円 千円 隻 H30年度		人 人 人
総計	10, 831	千円 指標名 一ID設定者	再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員		R1年	千円 千円 千円 隻 H30年度		人 人 人
総計	10,831 特設窓口でのマイキ	千円 指標名 一ID設定者	再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	人	R1年月 328	千円 千円 千円 隻 H30年度		人 人 人
総計 評価指標 (事業実績)	10,831 特設窓口でのマイキ	千円 指標名 一ID設定者: ンバーカー	再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 数 ド申請者数	人人	R1年月 328	千円 千円 千円 隻 H30年度	H2	人 人 人
総計 評価指標 (事業実績)	10,831 特設窓口でのマイキ 特設窓口でのマイナ 事業の有効性(効果	千円 指標名 一ID設定者 ンバーカー	再任用 (ハ-7) 任期付職員 臨時職員 数 ド申請者数	人人	R1年度 328 1,699 ■ 中	千円 千円 1 度 H30年度 - 3 -	E H2	人 人 人
総計 評価指標 (事業実績) 自己評価	10,831 特設窓口でのマイキ 特設窓口でのマイナ	千円 指標名 一ID設定者 ンバーカー の達成状況 用対効果)	再任用 (n-7) 任期付職員 臨時職員 数 ド申請者数 ) □ 高	人人人	R1年月 328 1,699 ■ 中 ■ 中	千円 千円 1 度 H30年度 -3 -	低 低	人 人 之 29年度 - -
総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由 事業の課題、 今後の方向性等	10,831 特設窓口でのマイキ 特設窓口でのマイナ 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	### ### ### ### ### ### ### ### #### ####	再任用 (ハ-7)	よと 一消 普及 ひの では ひかん しゅう かんしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	R1年原 328 1,699 ■ 中 ■ 中 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	千円       千円       1       ま       1       3       -       3       -       5       日指してい       と目指してい       より       とで最大化       大い       ・	低低 ること スは	人 人 人 人 人 度 - - - - - - - - - - - - - -

款 02総務費

項 01総務管理費

 目 02広報費
 事務事業番号
 02010201

事業		R1年度			財	源	内	訳		
担当部	₿・課	(決算額)	国	国道支出金	地方	債	そ	の他	一般則	才源
苫小牧市広報紙作用	成等業務委託事業	37, 376 <del>1</del>	<u>-</u> 円	千円	,	千円		<b>4</b> m	37, 376	H B
総合政策部	秘書広報課	37,370		71.	'	713		717	37, 370	113
根拠法令	苫小牧市広報紙発行	規則			-	_		-		
実施方法	□ 直接実施 ■	業務委託等	<u> </u>	□補助金・	· 負担金	• 助成:	<del>金</del>			
事業の目的・対象	広報「とまこまい	」作成業務	の一部	『を民間委詞	託してい	ます。				
事業の必要性	市の情報発信には る最も重要なツール やすい、デザイン性 す。	です。広報	紙作成	<b>戈業務を民</b>	間委託す	ること	で、	より見や	すく、わ	かり
事業の内容 SDGs17の目標	広報紙の作成業務 取ってもらえる広報 集、印刷、製本、梱	紙づくりを	目指し	ています。	。業務委	託の内	容は	、企画へ		
						人件	費			
	コスト		職	員構成 (	概算 (平均給与	算人件費 ×従事		() 従	事職員数	攵
事業費 (R1年度決算額)	37, 376	千円		正規職員 託職員		16, 865 2, 724			. 4 . 8	人人
人件費	19, 589	千円		·用(フル) 用(ハーフ)			千l 千l			人人
総計	56, 965	千円		明付職員 時職員			千l 千l			人人
		指標名			単位	R1年	度	H30年度	H294	年度
評価指標	広報紙発行部数				部	1, 031,	100	1, 025, 00	0 1, 021	1, 400
(事業実績)										
							T			
白コ部体	事業の有効性(効果	の達成状況	)	■高		口中			<u></u> 低	
自己評価	事業の効率性(費	用対効果)		■高		口中			<u></u> 低	
自己評価の理由	広報紙作成に一部 く、わかりやすい、							ことで、	より見や	o <del>व</del>
事業の課題、 今後の方向性等	市民の皆さんに市 に、市民がまちに誇							的確に伝	えるとと	: も

款 02総務費

項 01総務管理費

目 02広報費

事業	學 ○ ●		D 02/Z+K	財	源	<del>, 内</del> 別	02010	
		R1年度	同学士山名				I 6л. 🛭	1上 27至
担当音		(決算額)	国道支出金	豆 地。	方債	その他	一般則	7源
インターネット		1, 878 <del>+</del>	円 千	刪	千円	壬四	1, 878	千円
総合政策部	秘書広報課	1, 070	' '	' '	' ' '		1,070	113
根拠法令		-	-	-	-		-	
	□ 直接実施 ■	業務委託等	□ 補助金	<ul><li>負担金</li></ul>	• 助成金	<u>,</u>		
事業の目的・対象	ホームページやFar す。						せしてい	ゝま
事業の必要性	情報量と、発刊まよる情報発信は担当 あり、インターネッ	部署がそれる	ぞれ詳細な情報	最を即時に	こ発信する	ることができ	るメリッ	
事業の内容								
   SDGs17の目標								
11 SARIONAS TROCOR	○ ホームページで CMS (コンテンツ ています。CMSの導 能となり、情報公 ビリティ(高が、 件に関わらが可能 た情報発信が可能	ノマネジメン 算入により、 開が迅速にた や障がい者が ェブで提供で	トサービス) 担当者のスキ なりました。ま など心身の機能 されている情報	ルを問わ ₹た、ペー ŧに制約0	ず、簡単 -ジ作成。 Dある人	なPC操作で と同時にウェ でも、年齢的	青報更新 ブアクセ ・身体的	が可 2シ 5条
					人件图	<b></b>		
	コスト		職員構成		算人件費 F×従事職	(貝奴)	事職員数	汝
事業費 (R1年度決算額)	1, 878	千円	担当正規職員 嘱託職員		4, 216 681	千円	0. 6 0. 2	人人
人件費	4, 897	千円	再任用(フル)			千円 千円		人人
総計	6, 775	千円	任期付職員 臨時職員			千円 千円		人人
		指標名		単位	R1年原	度 H30年度	₹ H29:	年度
評価指標	ホームページアクセ	ス数及びFac	ebookリーチ巻	女件		327 9, 943, 8	85 8. 969	9, 733
(事業実績)					, , , , ,	1, 1, 1, 1, 0	=, 55	,
· /· //> ///////////////////////////////					<del>                                     </del>	<del>-  </del>		
	車業の左が性 / 並用	の達出生に			<u> </u>		<b>加</b>	
自己評価	事業の有効性(効果				<u> </u>		低	
自己評価の理由	事業の効率性(費 ホームページやFa くお届けしています	cebookを維持	■ 高	で、市臣	口中		る情報を	
事業の課題、 今後の方向性等	インターネットのすます高まるものと 目度を高めるととも す。	思われます。	動画を活用す	るなど、	市が実	施する事業等	への関心	いや注

款 02総務費

項 01総務管理費

目 04財産管理費

事業名 担当部・課		R1年度		財	源	内	訳				
		(決算額)	国道支出金	シ 地フ	方債	その	D他	一般則	才源		
市有地壳		6, 182 <del>↑</del> F	9 +	<sub>m</sub>	千円		千円	6, 182	千円		
財政部	_ 管財課 	0, 102	<u> </u>	<u> </u>							
根拠法令											
実施方法	□ 直接実施 ■	業務委託等	□ 補助金	・負担金	・助成金	金					
事業の目的・対象	税外収入の確保の	ため、市有地	等を売却しま	<b>ミす。ま</b> た	- 、売却	に係る	経費を記	計上しま	ぎす。		
事業の必要性	売却により、税外 収増や地域の活性化			也管理費用	月の減少	や、遊	休地のシ	舌用によ	る税		
事業の内容											
SDGs17の目標	市有地の売却に係て草刈費、看板・柵				斡旋手	数料の	ほか、🏗	<b>管理経費</b>	とし		
9 ####################################	○売却地 ※() 北星町(51)、も 青雲町(1)、美 柳町(2)、拓勇	北星町(51)、もえぎ町(1)、明徳町(4)、宮前町(42)、 青雲町(1)、美原町(4)、有珠の沢町(1)、大成町(1)、元町(1)、 柳町(2)、拓勇西町(1)、拓勇東町(3)、北栄町(4)、ウトナイ南(5)、									
	〇売却実績 ~ 財 北星町(2)、柳町 拓勇西町(1)、	了(2)、宮	前町(3)、								
					人件	 費					
	コスト		職員構成	概算 (平均給与	算人件費 -×従事職		従	事職員数	女		
事業費 (R1年度決算額)	6, 182	手円 (	担当正規職員嘱託職員		14, 054	千円 千円		2	人		
人件費	14, 054	<b></b>	再任用(フル)			千円			人		
		——— I I I	任期付職員			千円			<del>-                                    </del>		
総計	20, 236	千円一十				十円			싓		
			咖啡吸臭	単位	R1年		130年度	H294			
===≠+≥+==	 財産売払収入額	101271		千円	145. 9		197. 248				
評価指標 (事業実績)	利生光体化八银			1 17	140, 9	,,,,	ιστ, <b>∠4</b> 0	143,	300		
(アヘスパ)	-					-+		-			
	車業のちが性 /が田	の辞品作品/	■音		<u> </u>			<u> </u> 任			
自己評価	事業の有効性(効果		■高		<u>口中</u>						
	事業の効率性(費	用对効果)	■高		口中			15			
自己評価の理由	市有地売却事業費た。	の効率的な活	肝により、伤	R有財産σ	)売却に	つなげ	ることが	ができま	: L		
事業の課題、 今後の方向性等	保有する未利用地確立・強化に向けたのような売却実績をPR方法など市有地売	財源確保策 <i>の</i> 望むことは厳	ー環として <del>く</del> しくなってき	う後も継続 きているた	続する必 ≤め、売	要があ	りますが	が、ここ	数年		
特記事項											

款 02総務費

項 01総務管理費

- ターベレビュー/ 目 06職員管理費 事務事業番号 02010601

	項 01総務管	3.连复	目 06職員	官理負	-	事務事業番号	9 02010	0001
事業	<b>美名</b>	R1年度		財	源	内 訳		
担当音	『・課	(決算額)	国道支出金	虚 地ブ	5債	その他	一般!	財源
建築技師資格	取得助成事業	200	_					
総務部 行		- 609 <del>↑</del> 1	케 - *	·H	千円	千円	609	千円
根拠法令	 						!	
		1 类双天红体	= 날마스	- 444	마라스			
実施方法	□直接実施□□	〕業務委託等	■ 補助金	• 貝担玉	• 助风团	Ē		
事業の目的・対象	建築行政に関する を支援するとともに することを目的とし	こ、本市におけ						
事業の必要性	本市は、建築基準 建築基準適合判定資 係る専門的な知識及	<b>脊格者の資格を</b>	有する建築主	E事を確保	けると			
声类の中容								
事業の内容								
CDC - 17 A D +#								
SDGs17の目標  9 ##cmm##a  11 statistical またがいませ	建築基準適合判定要する費用の全部又	(は一部を助成		賢格を取得	引した職!	員に対し、当	<b>á該資格</b> 耳	取得に
	【令和元年度助成事 一級建築士 1件 建築基準適合判定	‡	1 件					
					人件			
	コスト		職員構成	概算 (平均給与	算人件費	27	<b>注事職員</b>	 数
 事業費	600	<del></del>	担当正規職員		70	千円	0. 01	人
(R1年度決算額)	609	千円()	嘱託職員			千円		人
1 /4 世	70	/	再任用(フル)			千円		人
人件費	70	千円~~	再任用(ハーフ)			千円		人
40 = I	070		任期付職員			千円		
						1 1 11		-
総計	679	千円し	臨時職員			- 十二		人 人
総計 	679		臨時職員	単位	R1年原	千円	变	人人
		指標名	臨時職員			千円	隻 H29	人
評価指標	一級建築士資格取得			件	1	千円 度 H30年月 -	度 H29	人人
						千円	度 H29	人人
評価指標	一級建築士資格取得 建築基準適合判定資	│	<b></b> <b>戊件数</b>	件件	1	千円 度 H30年原 - -		人人
評価指標 (事業実績)	一級建築士資格取得 建築基準適合判定資 事業の有効性(効果)	指標名 指標名 計構的成件数 資格取得者助成 関格取得者財産	成件数 ■ 高	件件	1 1	千円 度 H30年月 - -	〕低	人人
評価指標	一級建築士資格取得 建築基準適合判定資	指標名 指標名 計構的成件数 資格取得者助成 関格取得者財産	<b></b> <b>戊件数</b>	件件	1	千円 度 H30年月 - -		人人
評価指標 (事業実績)	一級建築士資格取得 建築基準適合判定資 事業の有効性(効果)	指標名 計標名 計構名 計構名 対格取得者助成 性の達成状況) 費用対効果) では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	成件数 ■ 高 ■ 高 は師の資格取得 はぞれ1名の資格である。	件 件 件 身助成制度 資格取得者	1 1 口中 口中 だを令和: だに対し!	千円 度 H30年原 - - - - - - - - - - - - -	] 低 ] 低 台し、一編 らした。 ii	人 () () () () () () () () () ()
評価指標 (事業実績) 自己評価	一級建築士資格取得 建築基準適合判定資 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 全道主要都市で初 士及び建築基準適合	指標名 持者助係者助成 持者取得者財務 長の達成効果) 大力を対対のは は対対ののは は対対のの は対対のの は対対のの は対対のの は対対のの は対対のの は対対のの は対対のの は対対のの は対対のの は対対のの は対対の は対が は対対の は対対が は対対が は対対の は対対が は対対が は対対が は対対が は対が は対対が は対対が は対対が は対が は	<ul> <li>は件数</li> <li>高</li> <li>高</li> <li>ち</li> <li>お</li> <li>お<!--</td--><td>件件 件件 引助成制度 登略取行政 可上のため</td><td>1 1 1 中 中 中 を令対しば なが運営</td><td>千円 度 H30年原 </td><td>] 低 ] 低 し、た。まで けを目指する</td><td>  A   A   A   A   A   A   A   A   A   A</td></li></ul>	件件 件件 引助成制度 登略取行政 可上のため	1 1 1 中 中 中 を令対しば なが運営	千円 度 H30年原 	] 低 ] 低 し、た。まで けを目指する	A   A   A   A   A   A   A   A   A   A

款 02総務費

項 01総務管理費 目 06職員管理費 事務事業番号 02010602

款 02総務實		務官埋實		日 06職貝	官埋貨		争務争	<b>美番号</b>	02010	1002
事業	名	R1:	年度		財	源	内	訳		
担当部	· 課	(決:	算額)	国道支出金	シー 地フ	与債	その	D他	一般則	<b></b> 才源
職員研	 修事業									
	政監理室	8, 280	) <del>1</del> F	키 チ	円	千円	1, 090	千円	7, 190	千円
根拠法令	以血往主									
1. 1. 1. 1						-1 b	•			
実施方法	■ 直接実施	■ 業務委	₹託等	□ 補助金	<u>・負担金</u>	• 助成s	<u> </u>			
事業の目的・対象	市職員及び東 り、もって公務 別研修)を実施	能率の維持								
事業の必要性	これまで職員 化しており、職 今後も公務能 必要不可欠とな	員一人一人 率の維持・	がより	高度な知識や	b能力を備	<b>まえるこ</b>	とが求	められ	ています	•
事業の内容										
SDGs17の目標										
4 RORUMENT 5 SINF-THRE STREET	苫小牧市職員 修を行っていま		定めら	れた集合研修	§として基	基本研修	:(階層	別研修	)及び特	特別研
8 82504	基本研修…各職 ①新採用職員 特別研修…職務	研修 ②一 遂行に必要	般職員 な実務	研修 ③監督 知識や専門的	8者研修 ウスキルσ	④管理 )習得を	者研修 図りま	す。		•
	上記の研修にお			がり天肥報日	12 (0)	人件			0	
	コスト		-		Jon /			l		
	1		ш	職員構成	概! (平均給与	算人件費 -×従事耶		従	事職員数	汝
事業費 (R1年度決算額)	8, 280	———— 千円		担当正規職員		2, 108	子円		). 3	人
(111年及次昇領)			┨┚┡	嘱託職員 再任用(フル)			千円 千円			人人
人件費	2, 108	千円		再任用(ハーフ)						
			┥╽╠				千円			ᄉ
総計	10, 388	千円	3    -	任期付職員			千円			_ 수
	·			臨時職員	337.71	516	千円			<u>人</u>
		指標名			単位	R1年		H30年度	H29:	年度
評価指標	基本研修(階層)	別研修)実	施回数		回	11		10	1	2
(事業実績)	特別研修実施回	 数			□	22		22	3	80
	 事業の有効性(	効里の達成	(井) (1)	■高		 □ 中			 任	
自己評価										
自己評価の理由	事業の効率性 令和元年度か 託者の提案によ た、委託による	ら基本研修 るカリキュ 業務量の減	(階層 ラムの により	見直しなど、 、業務に直続	き託し、専 研修内容	の強化	が図ら	れたと:	<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>	っ。ま
	果だけでなく、	有効性も高	0 0 0 0 0							
事業の課題、 今後の方向性等	果だけでなく、	らわれるこ	となく	、職員のニー					検討が必	必要と

款 02総務費

項 01総務管理費 目 07コミュニティ振興費 事務事業番号 02010701

	块 UI 総務官		<u> </u>	ユーナイ振興負		02010701
事業	<b>美名</b>	R1年度		財 源	内 訳	
担当音	<u> </u>	(決算額)	国道支出金	地方債	その他	一般財源
街路灯影						
		898 千円	<b>一 千</b> F	刊 千円	千円 千円	898 千円
市民生活部	市民生活課					
根拠法令	苫小牧市街路灯設置	補助規則				
	□直接実施□□	業務委託等	■ 補助金	・負担金・助成	: 余	
		*********	_ məj <u>x</u>	天1二並 91/8	) <u></u>	
事業の目的・対象	町内会等が生活道	路に設置(移該	りする街路灯	の整備費用の一	−部を補助しま	す。
事業の必要性	   町内会等が生活道  り、安全・安心な地					安の維持を図
<b>- ** * * * + *</b>	1 新設補助					
事業の内容	生活道路におい	て街路灯を新	設する場合に	、設置費用の一	-部を補助しま	した。
	2 改修·移設補助					
SDGs17の目標	既設の街路灯が	不点灯となった	た場合や移設	の場合に、費用	月の一部を補助	しました。
11 Gamerina						
11 259(9)	新設前			新設後		
L , # 4_	7	1. 11	1911		VIII	
<b>1</b> ::::::::::::::::::::::::::::::::::::	A CONTRACTOR OF THE PARTY OF TH					
	3	4.8		4		+
			The same		AV/	
		190		1		
			- Contraction	The same and the		
				in 171	1 4	
	THE PARTY NAMED IN	THE REAL PROPERTY.		The state of the s		
			3	1	Tri San	
			3 1	40		A C
	The state of the				7	
		智 整理				4
			_	人件	<u></u> 上春	
	l					
	コスト		職員構成	概算人件 《平均給与×従事		事職員数
			旦当正規職員	70	)3 千円 (	0.1 人
 事業費	808	ᆂᇜᄼᄖ				
事業費 (R1年度決算額)	898	千円(片	嘱託職員		千円	人
(R1年度決算額)					千円 千円	
	898 703	<u>+H</u>	嘱託職員 再任用(フル)		千円	人
(R1年度決算額) 人件費	703	千円	嘱託職員 再任用(フル) 耳任用(ハーフ)		千円 千円	人 人
(R1年度決算額)		千円	嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員		千円 千円 千円	人
(R1年度決算額) 人件費	703 1, 601	千円	嘱託職員 再任用(フル) 耳任用(ハーフ)		千円 千円 千円 千円	人 人 人 人
(R1年度決算額) 人件費	703 1, 601	千円	嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員	単位	千円 千円 千円 千円 手関 手度 H30年度	人 人 人
(R1年度決算額) 人件費	703 1, 601	千円	嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員		千円 千円 千円 千円 手関 手度 H30年度	人 人 人 人
(R1年度決算額) 人件費 総計	703 1, 601	千円	嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員	単位	千円 千円 千円 千円 手関 手度 H30年度	人 人 人 人 【 H29年度
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標	703 1, 601	千円	嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員	単位	千円 千円 千円 千円 手関 手度 H30年度	人 人 人 人 【 H29年度
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標	703 1, 601 街路灯設置補助数	千円 千円 千円 指標名	嘱託職員 再任用(フル) 存任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位 R1年 基 3	千円 千円 千円 手度 H30年度 3 21	人 人 人 人 【 H29年度 41
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	703 1,601 街路灯設置補助数 事業の有効性(効果	千円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十二十十円十二十十十十十十	嘱託職員 再任用(フル) 任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位 R1年 基 3:	千円 千円 千円 三度 H30年度 3 21	人 人 人 人 世 H29年度 41
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標	703 1, 601 街路灯設置補助数	千円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十二十十円十二十十十十十十	嘱託職員 再任用(フル) 存任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位 R1年 基 3	千円 千円 千円 手度 H30年度 3 21	人 人 人 人 世 H29年度 41
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	703 1,601 街路灯設置補助数 事業の有効性(効果	千円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十二十十円十二十十十十十十	嘱託職員 再任用(フル) 任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位 R1年 基 3:	千円 千円 千円 三度 H30年度 3 21	人 人 人 人 世 H29年度 41
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	703 1,601 街路灯設置補助数 事業の有効性(効果	千円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十二十十円十二十十十十十十	嘱託職員 再任用(フル) 任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位 R1年 基 3:	千円 千円 千円 三度 H30年度 3 21	人 人 人 人 世 H29年度 41
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	703 1,601 街路灯設置補助数 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果)	嘱託職員 再任用(フル) 存任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位 R1年 基 3. □ 中 ■ 中	千円 千円 千円 1年度 H30年度 3 21	人 人 人 人 世 H29年度 41 低 低
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	703 1,601 街路灯設置補助数 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果)	嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 □ 高	単位 R1年 基 3. □ 中 ■ 中	千円 千円 千円 1年度 H30年度 3 21	人 人 人 人 【 H29年度 41 低 低
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	703 1,601 街路灯設置補助数 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果)	嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 □ 高	単位 R1年 基 3. □ 中 ■ 中	千円 千円 千円 1年度 H30年度 3 21	人 人 人 人 【 H29年度 41 低 低
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	703 1,601 街路灯設置補助数 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果)	嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 □ 高	単位 R1年 基 3. □ 中 ■ 中	千円 千円 千円 1年度 H30年度 3 21	人 人 人 人 【 H29年度 41 低 低
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	703 1,601 街路灯設置補助数 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果)	嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 □ 高	単位 R1年 基 3. □ 中 ■ 中	千円 千円 千円 1年度 H30年度 3 21	人 人 人 人 【 H29年度 41 低 低
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	703 1,601 街路灯設置補助数 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果)	嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 □ 高	単位 R1年 基 3. □ 中 ■ 中	千円 千円 千円 1年度 H30年度 3 21	人 人 人 人 【 H29年度 41 低 低
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	703 1,601 街路灯設置補助数 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果)	嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 □ 高	単位 R1年 基 3. □ 中 ■ 中	千円 千円 千円 1年度 H30年度 3 21	人 人 人 人 【 H29年度 41 低 低
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	703 1,601 街路灯設置補助数 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 街路灯の設置に伴 有効性は高く、費用	十円 千円 千円 千円 千円 千円 1標名 の達成状況) 用対効果) い、町内会やかに見合った効	嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 □ 高 □ は住民に対る	単位 R1年 基 3. □ 中 ■ 中	千円 千円 千円 1年度 H30年度 3 21	人 人 人 人 人 人 長 H29年度 41 低 低
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	703 1,601 街路灯設置補助数 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 街路灯の設置に伴 有効性は高く、費用 町内会等の要望に	十円 千円 千円 千円 千標名 の達成状況) 用対効果) いに見合った効:	嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 □ 高 □ は住民に対る	単位 R1年 基 3. □ 中 ■ 中	千円 千円 千円 1年度 H30年度 3 21	人 人 人 人 人 人 長 H29年度 41 低 低
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	703 1,601 街路灯設置補助数 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 街路灯の設置に伴 有効性は高く、費用	十円 千円 千円 千円 千標名 の達成状況) 用対効果) いに見合った効:	嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 □ 高 □ は住民に対る	単位 R1年 基 3. □ 中 ■ 中	千円 千円 千円 1年度 H30年度 3 21	人 人 人 人 人 人 長 H29年度 41 低 低
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	703 1,601 街路灯設置補助数 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 街路灯の設置に伴 有効性は高く、費用 町内会等の要望に	十円 千円 千円 千円 千標名 の達成状況) 用対効果) いに見合った効:	嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 □ 高 □ は住民に対る	単位 R1年 基 3. □ 中 ■ 中	千円 千円 千円 1年度 H30年度 3 21	人 人 人 人 人 人 長 H29年度 41 低 低
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	703 1,601 街路灯設置補助数 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 街路灯の設置に伴 有効性は高く、費用 町内会等の要望に	十円 千円 千円 千円 千標名 の達成状況) 用対効果) いに見合った効:	嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 □ 高 □ は住民に対る	単位 R1年 基 3. □ 中 ■ 中	千円 千円 千円 1年度 H30年度 3 21	人 人 人 人 人 人 長 H29年度 41 低 低
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	703 1,601 街路灯設置補助数 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 街路灯の設置に伴 有効性は高く、費用 町内会等の要望に	十円 千円 千円 千円 千標名 の達成状況) 用対効果) いに見合った効:	嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 □ 高 □ は住民に対る	単位 R1年 基 3. □ 中 ■ 中	千円 千円 千円 1年度 H30年度 3 21	人 人 人 人 人 人 長 H29年度 41 低 低
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由 事業の課題、 今後の方向性等	703 1,601 街路灯設置補助数 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 街路灯の設置に伴 有効性は高く、費用 町内会等の要望に	十円 千円 千円 千円 千標名 の達成状況) 用対効果) いに見合った効:	嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 □ 高 □ は住民に対る	単位 R1年 基 3. □ 中 ■ 中	千円 千円 千円 1年度 H30年度 3 21	人 人 人 人 人 人 長 H29年度 41 低 低
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	703 1,601 街路灯設置補助数 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 街路灯の設置に伴 有効性は高く、費用 町内会等の要望に	十円 千円 千円 千円 千標名 の達成状況) 用対効果) いに見合った効:	嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 □ 高 □ は住民に対る	単位 R1年 基 3. □ 中 ■ 中	千円 千円 千円 1年度 H30年度 3 21	人 人 人 人 人 人 長 H29年度 41 低 低
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由 事業の課題、 今後の方向性等	703 1,601 街路灯設置補助数 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 街路灯の設置に伴 有効性は高く、費用 町内会等の要望に	十円 千円 千円 千円 千標名 の達成状況) 用対効果) いに見合った効:	嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 □ 高 □ は住民に対る	単位 R1年 基 3. □ 中 ■ 中	千円 千円 千円 1年度 H30年度 3 21	人 人 人 人 人 人 長 H29年度 41 低 低

款 02総務費

項 01総務管理費 目 07コミュニティ振興費 事務事業番号 02010702

款 UZ総務負	垻 UI 総務官		<u> </u>			中 份 中 未 份 万	02010	102
事業		R1年度		財	源	内 訳		
担当部	:•課	(決算額)	国道支出金	注 地方	債	その他	一般則	才源
街路灯整	·備事業							
	市民生活課	1,401 千円	チ	쯴	千円	千円	1, 401	千円
根拠法令	いと上口い	L	1					
1. 1				<u> </u>				
実施方法	□ 直接実施 ■	業務委託等	口 補助金	<ul><li>負担金</li></ul>	・助成金	•		
事業の目的・対象	地域における交通 行います。	安全や防犯対	策のため、斡	除道路に	おける街	前路灯の設置 <sup>、</sup>	や移設エ	事を
	新たな住宅地の形 要な防犯対策の一つ ます。	成や変化に合 として、街路	わせた防犯対 灯の新たな影	†策が求め 対置や適切	られ、3 な場所へ	安心安全な地域 マの移設などだ	域づくり が必要に	に必なり
事業の内容	1 新設	<b>7</b> 西胡华武	/ - 4= D2 ルT ナ 立	Հ≣Ա լ + լ	+			
7 2/4 1 7 1	幹線道路におい	(、安主固)	に田姶りで利	「設しまし	に。			
SDGs17の目標	2 改修 町内会との協議	などにより街	路灯の改修を	行いまし	<i>t</i> =。			
7 =====================================					0			
34	改修前			改修後				
<b>₩</b>	A STATE OF THE STA				No.			
					人件書	n.P.		
		_				[		
-	コスト		職員構成	概算 (平均給与		貝奴/	事職員数	女
事業費 (R1年度決算額)	1, 401	千円 (	旦当正規職員 喔紅聯号		703		). 1	人
(NI 牛皮灰昇做)		<b></b>	嘱託職員			千円		人
人件費	703	<b></b>	再任用 (フル)			千円		人
7112		<u>_</u>	手任用(ハーフ)			千円		人
総計	2, 104	千円	任期付職員			千円		人
ग्रह्म है।	2, 104		臨時職員			千円		人
		指標名		単位	R1年度	E H30年度	H294	年度
	 街路灯設置数			基	17	47	4	
HI IM IH IV	1月四月以   以   以   以   以   以   以   以   以   以			至	17	41	+	<u>ر</u>
(事業実績)								
<b>占</b> ⊐=∞/=	事業の有効性(効果	の達成状況)	■高		中		低	
自己評価	事業の効率性(費		一高		_ · ■ 中			
自己評価の理由	街路灯の設置に伴 有効性は高く、費用	い、町内会や	地域住民に対	する安全	性の向」	上が図られる)		業の
事業の課題、	町内会等の要望に 向け継続的な支援が		全や治安の維	<b>持を図り</b>	、安全,	・安心な地域の	の環境整	登備に
特記事項								

款 02総務費	項 01総務管	理費	目 07コミ	ュニティ振興	具費 事務	事業番号	02010	703
事業		R1年度			原内			
担当部		(決算額)	国道支出金	地方債	7	その他	一般則	掠
総合福祉会		   14.660 千円	 	円	千円		14, 660	千円
市民生活部	市民生活課	,		' '	'''	'''	14, 000	'''
根拠法令	苫小牧市総合福祉会:	館等整備補助	金交付要綱					
実施方法	□ 直接実施 □	業務委託等	■ 補助金	・負担金・助	加成金			
事業の目的・対象	町内会が自主的に 対し、その事業費の			)建設や、設	備の更新	等を含めた	:改修事	業に
事業の必要性	町内会活動の拠点 祉会館等の建設や改	修・修繕に支	援が必要です	0				
事業の内容	改修事業では、主							
1. NO. O. I. I.	様々な内容について タウン、見山西、有							
SDGs17の目標	社会館等に対し助成			נאוי בייואן.	, , ,1,79[		ノスロマノ小心	Н
11 SAMUGERS								
11 165000								
I ≞#∰⊞	┃ ┃  改修:東開町総合	·福祉会館		改修:スプ	U <b>.</b>	<b>占、</b> 纷合范	ᅙᆀᄼᅉ	
11222				以修:人ノ			11位云郎	
		a di			17/95	Open White it		
	anairona.	THE STATE OF THE PARTY OF THE P	3				WI I	
			ir.					
			1,					
	A11 10000	TAN PARTY NAMED IN	<b>SANS</b>				100	
							-	
	•				1 /4 #			
					人件費			
	コスト		職員構成		件費		事職員数	Ž.
事業費	T			概算人 (平均給与×征	件費 送事職員数	X)		
事業費 (R1年度決算額)	コスト 14,660	千円 ( =	職員構成  世当正規職員  嘱託職員	概算人 (平均給与×征	件費 詳事職員数 , 919 千	円 0.	事職員数 . 7	人
(R1年度決算額)	14, 660		旦当正規職員	概算人 (平均給与×征	件費 详事職員数 , 919 千 千	X)		
	T	+H	旦当正規職員 嘱託職員	概算人 (平均給与×征	件費 详事職員数 , 919 千 千	·円 0. ·円		人 人 人
(R1年度決算額) 人件費	14, 660 4, 919	千円	旦当正規職員 嘱託職員 再任用(フル)	概算人 (平均給与×征	件費 送事職員数 , 919 千 千 千 千	<sup>X7</sup> 円 0. 円 円 円		人
(R1年度決算額)	14, 660 4, 919 19, 579	千円	旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル)	概算人 (平均給与×6 4	件費 送事職員数 , 919 千 千 千 千	<sup>X7</sup> 円 0. 円 円 円	.7	人 人 人 人 人 人
(R1年度決算額) 人件費	14, 660 4, 919 19, 579	千円	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 耳任用 (ハーフ) 任期付職員	概算人 (平均給与×6 4	件費 送事職員数 , 919 千 千 千 千	<sup>X7</sup> 円 0. 円 円 円		人 人 人 人 人 人
(R1年度決算額) 人件費	14, 660 4, 919 19, 579	千円千円千円十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	旦当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	概算人 (平均給与×6 4	件費 送事職員数 , 919 千 千 千 千	<sup>X7</sup> 円 0. 円 円 円	.7	人 人 人 人 人 人 人 人 人 長
(R1年度決算額) 人件費 総計	14, 660 4, 919 19, 579	千円 千円 指標名 模改修補助件	旦当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 存任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	概算人(平均給与×6444444444444444444444444444444444444	件費 详事職員数 , 919 千 千 千 千 千 千	円	. 7	人 人 人 人 人 人 人 人 人 長
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標	14, 660 4, 919 19, 579 総合福祉会館等大規	千円 千円 指標名 模改修補助件	旦当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 存任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	概算人 (平均給与×1 4 単位 F	件費 送事職員数 ,919 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千	<sup>XV</sup> 円 0. 円 円 円 円 円 5	. 7	人 人 人 人 人 人 人 人 人 長
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	14, 660 4, 919 19, 579 総合福祉会館等大規	十円 千円 千円 指標名 模改修補助件 模修繕補助件	旦当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 存任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	概算人 (平均給与×1 4 単位 F	件費 送事職員数 , 919 千 千千 千千 千 千 10 5	<sup>XV</sup> 円 0. 円 円 円 円 円 5	. 7 H294	人 人 人 人 人 人 人 人 人 長
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標	14, 660 4, 919 19, 579 総合福祉会館等大規総合福祉会館等小規	十円 千円 指標名 模改修補助件 模修繕補助件	旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 数数	概算人 (平均給与×1 4 単位 F 件 件	件費 详事職員数 , 919 千 千 千 千 千 千 10 5	<sup>XV</sup> 円 0. 円 円 円 円 日 5 9	. 7 H294 4	人 人 人 人 人 人 人 人 人 長
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	14,660 4,919 19,579 総合福祉会館等大規 総合福祉会館等小規 事業の有効性(効果	十円 千円 指標名 模改修補助件 模修繕補助件	旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 数 数	概算人 (平均給与×1 4 単位 F 件 件	件費 详事職員数 , 919 千 千 千 千 千 千 10 5	が 円 円 円 円 円 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	. 7 H294 4	人 人 人 人 人 人 人 人 人 長
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	14,660 4,919 19,579 総合福祉会館等大規 総合福祉会館等小規 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 指標名 模改修補助件 模修繕補助件 の達成状況) 用対効果)	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 数数	概算人 (平均給与×1 4 単位 F 件 件	件費 送事職員数 , 919 千 千千千千 10 5 中	※/ 円 0. 円 円 円 円 り 5 9	. 7 H294 4 -	人人人人人
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	14,660 4,919 19,579 総合福祉会館等大規 総合福祉会館等小規 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 指標名 模改修補助件 模修繕補助件 の達成状況) 用対効果)	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 数数	概算人 (平均給与×1 4 単位 「 件 件 件	件 件	双 円 円 円 円 円 日 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	. 7 H294 4 -	人人人人人
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	14,660 4,919 19,579 総合福祉会館等大規 総合福祉会館等小規 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 指標名 模改修補助件 模修繕補助件 の達成状況) 用対効果)	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 数数	概算人 (平均給与×1 4 単位 「 件 件 件	件 件	双 円 円 円 円 円 日 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	. 7 H294 4 -	人人人人人 厚
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	14,660 4,919 19,579 総合福祉会館等大規 総合福祉会館等小規 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 指標名 模改修補助件 模修繕補助件 の達成状況) 用対効果)	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 数数	概算人 (平均給与×1 4 単位 「 件 件 件	件 供	双 円 円 円 円 円 日 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	. 7 H294 4 -	人人人人人 厚
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	14,660 4,919 19,579 総合福祉会館等大規 総合福祉会館等小規 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 指標名 模改修補助件 模修繕補助件 の達成状況) 用対効果)	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 数数	概算人 (平均給与×1 4 単位 「 件 件 件	件 供	双 円 円 円 円 円 日 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	. 7 H294 4 -	人人人人人 厚
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	14,660 4,919 19,579 総合福祉会館等大規 総合福祉会館等小規 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 会館施設の整備にめ、事業の有効性は	十一円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 数 数 ■ 高 同 合った効果	概算人 (平均給与×1 4 単位 F 件 件 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	件 件 費 職 見 数 千 千 千 千 10 5 中 中 中 や 考 で 便 で で の の の の の の の の の の の の の	円 0   円   円   円   円   円   円   円   円	. 7 H294 4 - 氏 氏	人人人人人人度
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	14,660 4,919 19,579 総合福祉会館等大規 総合福祉会館等小規 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 会館施設の整備にめ、事業の有効性は	十一円 円	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 数 動 し し な た のの拠点	概算人 (平均給与×1 4 単位 「 件 件 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」	件事職 ・ <br< th=""><th>  円 0   円   円   円   円   円   円   円   円  </th><th>. 7 H294 4 - 氏 氏</th><th>人人人人人人度</th></br<>	円 0   円   円   円   円   円   円   円   円	. 7 H294 4 - 氏 氏	人人人人人人度
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	14,660 4,919 19,579 総合福祉会館等大規 総合福祉会館等小規 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 会館施設の整備にめ、事業の有効性は 町内会活動の推なり、今後も可能な支	十一千	旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 数数 ■ 高高 はたかのがが か見合 会くく	概算人 (平均給与×1 4 単位 「 単位 「 中件 件 」 「 コー・ マンマンマンマンマンマンマンマンマンマンマンマンマンマンマンマンマンマンマン	件事職 ・ <br< th=""><th>ア 円 0. 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 日</th><th>. 7 H294 4 - 氏 氏 び図られ</th><th>人人人人人人度</th></br<>	ア 円 0. 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 日	. 7 H294 4 - 氏 氏 び図られ	人人人人人人度
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	14,660 4,919 19,579 総合福祉会館等大規総合福祉会館等小規 総合福祉会館等小規 事業の有効性(効果事業の効率性(費 会館施設の整備により、事業の有効性は が、事業の有効性は	十 千 指改修 達対 いく おを福祉 状果 内用 町で館 でけられる	旦当正規職員   国   国   国   国   国   国   国   国   国	概算人( (平均給与×1 4 単位 件 件 付 すする なななり備の をとにう設備の でもなない。	件事919年日日 <th>ア 円 0. 円円 円円円円円 H30年度 5 9 □ f f f f f f f f f f f f f f f f f f</th> <th>. 7 H294 4 - 5 氏 ば び ら れ よ さ て お り な た ち て お り た り た り た り た り た り た り た り た り た り</th> <th>人人人人人人度</th>	ア 円 0. 円円 円円円円円 H30年度 5 9 □ f f f f f f f f f f f f f f f f f f	. 7 H294 4 - 5 氏 ば び ら れ よ さ て お り な た ち て お り た り た り た り た り た り た り た り た り た り	人人人人人人度
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	14,660 4,919 19,579 総合福祉会館等大規 総合福祉会館等小規 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 会館施設の整備にめ、事業の有効性は 町内会活動の推なり、今後も可能な支	十 千 指改修 達対 いく おを福祉 状果 内用 町で館 でけられる	旦当正規職員   国   国   国   国   国   国   国   国   国	概算人( (平均給与×1 4 単位 件 件 付 すする なななり備の をとにう設備の でもなない。	件事919年日日 <th>ア 円 0. 円円 円円円円円 H30年度 5 9 □ f f f f f f f f f f f f f f f f f f</th> <th>. 7 H294 4 - 5 氏 ば び ら れ よ さ て お り な た ち て お り た り た り た り た り た り た り た り た り た り</th> <th>人人人人人人度</th>	ア 円 0. 円円 円円円円円 H30年度 5 9 □ f f f f f f f f f f f f f f f f f f	. 7 H294 4 - 5 氏 ば び ら れ よ さ て お り な た ち て お り た り た り た り た り た り た り た り た り た り	人人人人人人度
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	14,660 4,919 19,579 総合福祉会館等大規総合福祉会館等小規 総合福祉会館等小規 事業の有効性(効果事業の効率性(費 会館施設の整備により、事業の有効性は が、事業の有効性は	十 千 指改修 達対 いく おを福祉 状果 内用 町で館 でけられる	旦当正規職員   国   国   国   国   国   国   国   国   国	概算人( (平均給与×1 4 単位 件 件 付 すする なななり備の をとにう設備の でもなない。	件事919年日日 <th>ア 円 0. 円円 円円円円円 H30年度 5 9 □ f f f f f f f f f f f f f f f f f f</th> <th>. 7 H294 4 - 5 氏 ば び ら れ よ さ て お り な た ち て お り た り た り た り た り た り た り た り た り た り</th> <th>人人人人人人度</th>	ア 円 0. 円円 円円円円円 H30年度 5 9 □ f f f f f f f f f f f f f f f f f f	. 7 H294 4 - 5 氏 ば び ら れ よ さ て お り な た ち て お り た り た り た り た り た り た り た り た り た り	人人人人人人度
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	14,660 4,919 19,579 総合福祉会館等大規総合福祉会館等小規 総合福祉会館等小規 事業の有効性(効果事業の効率性(費 会館施設の整備により、事業の有効性は が、事業の有効性は	十 千 指改修 達対 いく おを福祉 状果 内用 町で館 でけられる	旦当正規職員   国   国   国   国   国   国   国   国   国	概算人( (平均給与×1 4 単位 件 件 付 すする なななり備の をとにう設備の でもなない。	件事919年日日 <th>ア 円 0. 円円 円円円円円 H30年度 5 9 □ f f f f f f f f f f f f f f f f f f</th> <th>. 7 H294 4 - 5 氏 ば び ら れ よ さ て お り な た ち て お り た り た り た り た り た り た り た り た り た り</th> <th>人人人人人人度</th>	ア 円 0. 円円 円円円円円 H30年度 5 9 □ f f f f f f f f f f f f f f f f f f	. 7 H294 4 - 5 氏 ば び ら れ よ さ て お り な た ち て お り た り た り た り た り た り た り た り た り た り	人人人人人人度

款 02総務費

項 01総務管理費 目 07コミュニティ振興費 事務事業番号 02010704

事業	名	R1年度		財	源	内	訳		
担当部		(決算額)	国道支出金	地フ	5債	そ0	D他	一般則	<b>才源</b>
町内会活動		1,300 <del>1</del> F	<u> </u>	m	千円		千円	1 300	千円
	市民生活課	,		' '	,,,		'''	1, 000	,
根拠法令	苫小牧市町内会活動 <sup>。</sup>								
実施方法	□ 直接実施 □	業務委託等	■ 補助金	・負担金	•助成:	<u>金</u>			
事業の目的・対象	町内会活動時の事 実した町内会活動を 部助成を行います。								
事業の必要性	町内会活動を通し に対する備えとして						ため、個	発的な	:事故
事業の内容	町内会活動中の万 料の2分の1を130万					する保	険に対し	、年間	保険
SDGs17の目標	保険料 : 2, 補償対象 : 町補償内容 : 傷	和6,720円 1846,720円 7月70円 7月70円 7月7日 11年 7月7日 11年 7月 7月 7月 7日 7月 7日 7月 7日	日~令和2年 等者及び参加 民が偶発的な 最大300万 は 最大3,000 間 最大3,000 間 に の親族等がほ し、 の親族等がほ	で 事故によ 円 動害を与え 万円 弱発的な事	りケガム、法律	をした	償責任を		場合
					人件	費			
	コスト		職員構成	概算	算人件費 -×従事		従事	職員数	ţ
事業費 (R1年度決算額)	1, 300	<u>++11</u>     [	担当正規職員 嘱託職員		700	3 千円 千円		1	人人
人件費	703	+HI / F	再任用(フル)			千円			人人
総計	2, 003	千円し	任期付職員 臨時職員			千円 千円			人
		指標名		単位	R1年	度 I	H30年度	H294	
評価指標	保険対応件数			件	14		5	1	1
(事業実績)									
自己評価	事業の有効性(効果	の達成状況)	■高		口中			£	
	事業の効率性(費	用対効果)	口高		■中			£.	
自己評価の理由	町内会活動保険のめ、事業の有効性は							図られ	るた
事業の課題、 今後の方向性等	町内会活動の推進 ら、活動保険に対す			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	と連携	を図り	、情報を	·共有し	.なが
特記事項									

款 02総務費

項 01総務管理費

目 07コミュニティ振興費 事務事業番号 02010705

→ W UZ総務負	現 UI 総務官		<del></del>	ユーナイ振り			02010	700
事業	<b>差名</b>	R1年度		財	原 内	訳		
担当部	₿・課	(決算額)	国道支出金	🛭 地方債	そ	の他	一般則	才源
空家等対策								
市民生活部		{ 2, 854 <del>千</del> 1	뀌 チ	·円	千円	千円	2, 854	千円
		 	<u> </u> + == \+					
根拠法令	空家等対策の推進に							
実施方法	□ 直接実施 ■	業務委託等	■ 補助金	・負担金・助	加成金			
事業の目的・対象	空家等に関する施 推進することを目的 対策計画の策定しま	として、「笠						
事業の必要性	適切な管理が行わな影響を及ぼしてい 全、空家等の活用の が必要になっていま	るものもあり ため、空家等	リ、地域住民 <i>0</i>	り生命・身体	<ul><li>財産の保</li></ul>	₹護、生活	5環境の	保
事業の内容								
SDGs17の目標 11 ***********************************	(1) 空家等解体補助 経済的な事情か 空き家解体の促進	_ ら空家等の解 を図りました		世帯に対し、	工事費用 <i>0</i>	)一部補助	かを行い	١,
	(2) 空家等対策委員 学識経験者や法 織し、空家等対策	務、建築、¤ の推進につい				穿対策委員	員会を組	l
	(3) 空き家啓発パン 所有者の状況に ットを作成しまし 者の状況に合わせ ました。	合わせ、「発 た。各公共旅	<b>函設に設置した</b>	とほか、ホー.	ムページで	ごも公開し	ノ、所有	Ī
					1			
					人件費	1		
	コスト		職員構成	概算人 (平均給与×旬	世事職員数)		事職員数	<b>አ</b>
事業費 (R1年度決算額)	2, 854	千円 (	担当正規職員 嘱託職員	9	, 838 千円 千円	3	. 4	人人
人件費	9, 838		再任用(フル) 再任用(ハーフ)		千円 千円	3		人人
総計	12, 692	千円	任期付職員 臨時職員		千円 千円	1		人人
		指標名		単位┃ Ϝ	1年度	H30年度	H294	年度
評価指標	空き家対策連絡会議			回	2	1	2	)
(事業実績)	空家等対策委員会			回	3	3	1 -	-
	空家等解体補助金			件	5		1 _	
		の辞代作品	■高				<u> </u> #	
自己評価	事業の有効性(効果							
自己評価の理由	事業の効率性(費 空家等対策計画に ています。また、効 専門的かつ地域の意 を得ていると考えて	基づく、具体 率性について 見を反映し <i>た</i>	も空家等対策	長委員会から.	ら、事業 <i>の</i> 意見や助言	きを頂くこ	- は高いと ことによ	9.
事業の課題、 今後の方向性等	人口減少社会を迎 対策計画に基づき、 等対策を推進する必	空家等対策委	長員会の中で意					
特記事項								

款 02総務費

項 01総務管理費

目 07コミュニティ振興費 事務事業番号 02010706

事業		R1年度		財	源	内 訳	
担当音		(決算額)	国道支出金	と 地フ	5債	その他	一般財源
町内会コミュニ		2, 400 <del>1</del> F	9 7	·円	千円	2,400 千円	千円
市民生活部 根拠法令	市民生活課 古い牧市一般コミュ	ᅟᅟᅩᄼᄜᇠᆥ	<u> </u>   ** 助 ぱ	+ 曲 郷			
		<u>- アイ 切成章</u> 業務委託等			. Hh ct:	 今	
事業の目的・対象	一般財団法人自治	総合センター	-が実施する-				用し、選定さ
事業の必要性	れた町内会に対し助 町内会活動に直接 め、環境を整える必	必要な備品や	沙設備等を整備	昔し、より	活発な	町内会活動を	支援するた
事業の内容	   町内会活動に直接 	必要な備品設	は備等の整備に	対する助	が成を行	いました。	
SDGs17の目標	   テント		除雪機			複合機	
11 GARDINAS ISOCOR				6	3		
	コスト		職員構成		人件 算人件費	, , , ,	事職員数
				(平均給与		0.000	
事業費 (R1年度決算額)	2, 400	千円(ト	担当正規職員 嘱託職員		703	3 千円 千円	0.1 人 人
人件費	703	<b>+</b> HI ) =	再任用(フル) 再任用(ハーフ)			千円 千円	人
総計	3, 103	千円	任期付職員			千円	人 人
	·		臨時職員	出件	D1左	千円 	人 E H29年度
== / 〒 +ヒ + ==	  助成対象町内会数	拍标名		<u>単位</u> 数	R1年 1	及 NSU平度	1 1
┃  評価指標 ┃  (事業実績)	助成对家町内芸数			釵	'	<u> </u>	<u>'</u>
						+	+
	  事業の有効性(効果	の達成状況)	■高		 □ 申		 低
自己評価	事業の効率性(費		■高		<u>□                                    </u>		低
自己評価の理由	町内会や地域住民 効率性についても、 費用対効果を得てい	に対する利便 一般財団法人	性の向上が図	図られるた	<u>·</u> め、事	業の有効性は	高く、事業の
事業の課題、 今後の方向性等	この事業に際して 事業の中から採択さ このため、今後も となど連携を図り、	れています。 継続して採択	き受けられる	るよう、名			
特記事項							

款 02総務費

項 01総務管理費

目 08コミュニティ施設費 事務事業番号 02010801

款 02総務費	項 01総務管	]埋賀	目 08コミ		施設質	事務事業	番号	02010	0U I
事美	<b></b>	R1年度		財	源	内	訳		
担当音	- 『・課	(決算額)	国道支出金	1 地2	方債	その作	也	一般則	 オ源
コミュニティセン							$\overline{}$		
		9,273 千円	十 チ	円	千円		千円	9, 273	千円
市民生活部									
根拠法令									
実施方法	□ 直接実施 ■	業務委託等	□ 補助金	<ul><li>負担金</li></ul>	<ul><li>助成:</li></ul>	<del>金</del>			
事業の目的・対象	コミュニティ施設 部について、修繕工			り機能但	低下や不	具合が生	きじてい	ハる設備	iの—
事業の必要性	コミュニティ施設 ており、更新や修繕 性の確保の観点から	が必要な状況	こなっていま	す。当該	核事業は				
事業の内容	コミュニティ施設	等におけるエ	事等を実施し	<i>,</i> ました。					
SDGs17の目標									
44 SABINA		· //:		0 x 2 - 5	- 1 - 1157	= <i>//</i> +- <del>-</del> -	/ <del>-</del>	=	
11 255098	市民会館屋外排水	官補修工事		いそみコミ	・セン暖	房配管補 <sup>。</sup>	修工事	<b>-</b>	
#A		W I KO	1					30	
<b>☆</b> ≅■■	The same of the sa	The state of the s					1118		
·	The state of the s			Market Street		W Mark		Sec. Sec.	
					WHEN !	<b>**</b>	To Table		
								25.40	
		311	7 18	(H)					
		BEAR SAL	F.92					1/2	
		W	a system					15-Y	
								The same	
		THE PARTY OF THE P							
		THE WORLD	HOUT H	OLG IN THE	THE STATE OF THE S				
					人件	費			
					7 711				
	コスト		TW - TH -	概2		,	/2/-	÷ 15h - 2 4	
	コスト		職員構成		算人件費		従	事職員数	t
車業弗				概算(平均給与	算人件費 ×従事	職員数)	-		
事業費	コスト 9, 273	千円(生	旦当正規職員		算人件費 ×従事	職員数) 8 千円	-	事職員数	人
事業費 (R1年度決算額)			旦当正規職員 嘱託職員		算人件費 ×従事	職員数) 8 千円 千円	-		人人
(R1年度決算額)	9, 273	+H	旦当正規職員 嘱託職員 再任用(フル)		算人件費 ×従事	職員数) 8 千円 千円 千円	-		人
		千円	旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル)		算人件費 ×従事	<ul><li>職員数)</li><li>8 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	-		人 人 人
(R1年度決算額) 人件費	9, 273	千円	旦当正規職員 嘱託職員 再任用(フル)		算人件費 ×従事	職員数) 8 千円 千円 千円 千円	-		人 人 人
(R1年度決算額)	9, 273	千円	旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル)		算人件費 ×従事	<ul><li>職員数)</li><li>8 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	-		人 人 人
(R1年度決算額) 人件費	9, 273 2, 108 11, 381	千円	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員		算人件費 ×従事	職員数) 8 千円 千円 千円 千円 千円	-	. 3	人 人 人 人 人
(R1年度決算額) 人件費 総計	9, 273 2, 108 11, 381	千円	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員	単位	算人件費 F×従事 2,10 R1年	職員数) 8 千円 千円 千円 千円 千円	0年度	H294	人 人 人 人 人 人 人 人 長
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標	9, 273 2, 108 11, 381	千円	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員	(平均給与	算人件費 5×従事 2,100	職員数) 8 千円 千円 千円 千円 千円	0	H294	人 人 人 人 人
(R1年度決算額) 人件費 総計	9, 273 2, 108 11, 381	千円	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員	単位	算人件費 F×従事 2,10 R1年	職員数) 8 千円 千円 千円 千円 千円	0年度	H294	人 人 人 人 人 人 人 人 長
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標	9, 273 2, 108 11, 381 修繕等工事	千円千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用(7ル) 存任用(N-7) 任期付職員 臨時職員	単位数	算人件費 F × 従事 2, 103 R1年 9	職員数) 8 千円 千円 千円 千円 千円	0 0年度 6	H294	人 人 人 人 人 人 人 人 長
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	9, 273 2, 108 11, 381	千円千円	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員	単位数	算人件費 F×従事 2,10 R1年	職員数) 8 千円 千円 千円 千円 千円	0年度	H294	人人人人人人
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標	9, 273 2, 108 11, 381 修繕等工事 事業の有効性(効果	千円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十二円十二円十	旦当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 存任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位数	算人件費 F × 従事 2, 103 R1年 9	職員数) 8 千円 千円 千円 千円 千円	0 0年度 6	H294 M	人人人人人人
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	9, 273 2, 108 11, 381 修繕等工事	千円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十二円十二円十	担当正規職員 嘱託職員 再任用(7ル) 存任用(N-7) 任期付職員 臨時職員	単位数	算人件費 Ē × 従事 2,103 R1年 9	職員数) 8 千円 千円 千円 千円 千円	0 0年度 6	H294 M	人人人人人人
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	9, 273 2, 108 11, 381 修繕等工事 事業の有効性(効果	千円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十二円十二円十	旦当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 存任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位数	算人件費 Ē × 従事 2,103 R1年 9	職員数) 8 千円 千円 千円 千円 千円	0 0年度 6	H294 M	人人人人人人
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	9, 273 2, 108 11, 381 修繕等工事 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	千円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十	世当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位数	算人件費 - × 従事 - 2, 103 - R1年 9 □ 中 ■ 中	<ul><li>職員数)</li><li>8 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li>&lt;</ul>	0年度 6	H294 7	人人人人人
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	9,273 2,108 11,381 修繕等工事 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果)	旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 □ 高	単位数の向上や安	算人件費 - × 従事 - 2, 103 - R1年 9 □ 中 ■ 中	職員数) 8 千円 千円 千円 千千円 度 H3 確保が図	0年度 6	H294 7	人人人人人
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価	9, 273 2, 108 11, 381 修繕等工事 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果)	旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 □ 高	単位数の向上や安	算人件費 - × 従事 - 2, 103 - R1年 9 □ 中 ■ 中	職員数) 8 千円 千円 千円 千千円 度 H3 確保が図	0年度 6	H294 7	人人人人人
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価	9,273 2,108 11,381 修繕等工事 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果)	旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 □ 高	単位数の向上や安	算人件費 - × 従事 - 2, 103 - R1年 9 □ 中 ■ 中	職員数) 8 千円 千円 千円 千千円 度 H3 確保が図	0年度 6	H294 7	人人人人人
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価	9,273 2,108 11,381 修繕等工事 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果)	旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 □ 高	単位数の向上や安	算人件費 - × 従事 - 2, 103 - R1年 9 □ 中 ■ 中	職員数) 8 千円 千円 千円 千千円 度 H3 確保が図	0年度 6	H294 7	人人人人人
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価	9,273 2,108 11,381 修繕等工事 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果)	旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 □ 高	単位数の向上や安	算人件費 - × 従事 - 2, 103 - R1年 9 □ 中 ■ 中	職員数) 8 千円 千円 千円 千千円 度 H3 確保が図	0年度 6	H294 7	人人人人人
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価	9,273 2,108 11,381 修繕等工事 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果)	旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 □ 高	単位数の向上や安	算人件費 - × 従事 - 2, 103 - R1年 9 □ 中 ■ 中	職員数) 8 千円 千円 千円 千千円 度 H3 確保が図	0年度 6	H294 7	人人人人人
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	9,273 2,108 11,381 修繕等工事 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 施設整備に伴い、 の有効性は高く、費	十円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果) 施設利用者に活用に見合った。	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (7ル) 任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高高 し利乗を得てし	単位 数 向と おきえ	算人件費車 2,100 2,100 R1年 9 □ 中 ■ 中	職員数) 8 千円 千千円 千千円 度 H3 確保。	0年度 6 ローロー	H294 H294 低低 低	人人人人人 度 ***
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	9,273 2,108 11,381 修繕等工事 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 施設整備に伴い、 の有効性は高く、費	十円 千円 千円 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (7ル) 任用 (ハ-フ) 任期付職員 高高 しれを得でしている。 は、関連であります。 は、関連であります。 は、関連であります。 は、対対、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	(平均給与単位 数 向)のる 施設の長	算人件事 主・X 従事 2,103 R1年 9 □ 中 ■ 全性いま	職員数) 8 千千円 千千千千千千千千 度 H3 確す。	0年度 6 口 口 つ	.3 H294 低低 低 るため、	人人人人人人度 事 的な
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	9,273 2,108 11,381  修繕等工事 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 施設整備に伴い、費  施設整備に伴い、費  コミュニティ施設 保守メンテナンスが	十一円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	世当正規職員 嘱託職員 「所任用 (7ル) 「任用 (n-7) 任期付職員 ■ □ □ 利を ■ □ □ 利の果 ・ です。 ・ の。 ・ の。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の。	(平均給与単位 数 向る 施設	算人件事 (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)	職員数)       8       千千千千千千       度       保。       目携を       す深	0年度 6 口 口 つ	.3 H294 低低 低 るため、	人人人人人人度 事 的な
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	9,273 2,108 11,381 修繕等工事 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 施設整備に伴い、 の有効性は高く、費	十一円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	世当正規職員 嘱託職員 「所任用 (7ル) 「任用 (n-7) 任期付職員 ■ □ □ 利を ■ □ □ 利の果 ・ です。 ・ の。 ・ の。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の。	(平均給与単位 数 向る 施設	算人件事 (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)	職員数)       8       千千千千千千       度       保。       目携を       す深	0年度 6 口 口 つ	.3 H294 低低 低 るため、	人人人人人人度 事 的な
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	9,273 2,108 11,381  修繕等工事 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 施設整備に伴い、費  施設整備に伴い、費  コミュニティ施設 保守メンテナンスが	十一円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	世当正規職員 嘱託職員 「所任用 (7ル) 「任用 (n-7) 任期付職員 ■ □ □ 利を ■ □ □ 利の果 ・ です。 ・ の。 ・ の。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の。	(平均給与単位 数 向る 施設	算人件事 (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)	職員数)       8       千千千千千千       度       保。       目携を       す深	0年度 6 口 口 つ	.3 H294 低低 低 るため、	人人人人人人度 事 的な
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	9,273 2,108 11,381  修繕等工事 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 施設整備に伴い、費  施設整備に伴い、費  コミュニティ施設 保守メンテナンスが	十一円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	世当正規職員 嘱託職員 「所任用 (7ル) 「任用 (n-7) 任期付職員 ■ □ □ 利を ■ □ □ 利の果 ・ です。 ・ の。 ・ の。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の。	(平均給与単位 数 向る 施設	算人件事 (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)	職員数)       8       千千千千千千       度       保。       目携を       す深	0年度 6 口 口 つ	.3 H294 低低 低 るため、	人人人人人人度 事 的な
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由 事業の課題、 今後の方向性等	9,273 2,108 11,381  修繕等工事 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 施設整備に伴い、費  施設整備に伴い、費  コミュニティ施設 保守メンテナンスが	十一円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	世当正規職員 嘱託職員 「所任用 (7ル) 「任用 (n-7) 任期付職員 ■ □ □ 利を ■ □ □ 利の果 ・ です。 ・ の。 ・ の。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の。	(平均給与単位 数 向る 施設	算人件事 (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)	職員数)       8       千千千千千千       度       保。       目携を       す深	0年度 6 口 口 つ	.3 H294 低低 低 るため、	人人人人人人度 事 的な
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	9,273 2,108 11,381  修繕等工事 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 施設整備に伴い、費  施設整備に伴い、費  コミュニティ施設 保守メンテナンスが	十一円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	世当正規職員 嘱託職員 「所任用 (7ル) 「任用 (n-7) 任期付職員 ■ □ □ 利を ■ □ □ 利の果 ・ です。 ・ の。 ・ の。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の。	(平均給与単位 数 向る 施設	算人件事 (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)	職員数)       8       千千千千千千       度       保。       目携を       す深	0年度 6 口 口 つ	.3 H294 低低 低 るため、	人人人人人人度 事 的な

款 02総務費

項 01総務管理費

目 08コミュニティ施設費 事務事業番号 02010802

	現 UI 総務官	1		ユーティ他設			
事第		R1年度		財	京 内	訳	
担当音	『・課	(決算額)	国道支出金	<b>业</b> 地方債	そ(	の他	一般財源
市民ホール							
	ホール建設準備室	238 <del>T</del> F	케 チ	円 =	f円	千円	238 千円
	ハール建設学開主						
根拠法令							
実施方法	■ 直接実施 □	業務委託等	□ 補助金	・負担金・助	]成金		
事業の目的・対象	老朽化した市民会 しい複合施設を建設						
事業の必要性	新しい複合施設で で、自発的な文化・ 果たすことが重要で	芸術活動や交					
事業の内容							
   SDGs17の目標							
OD GO I / CO EI / IX	<b> ・</b> 平成27年度		構想				
	│・平成28年度~29年		計画				
	<b> ・</b> 平成30年度			付話、民間提到			
	┃・令和元年度~令和			判断、アドル	バイザリー	·業務委託	.
			者の選定				
	・令和4年度∼令和	7年度 設計	、施工、併月	月開始 (予定)			
	※メインテーマ						
	「親近感と愛着を持	てる憩いのプ	ラザ(公共の	広場)~苫小4	女市民のサ	ードプレ	・イス~」
	<ul><li>・用があるときだ</li></ul>	け出向くので	はなく、用が	がなくとも足る	を運びたく	なる公共	の広場
	・思い思いの時間						
	・ごく自然な流れ						
	, _ ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		, , ,	,,,,,,,		• • • •	
					. <i>I</i> II <del></del>		
				,	人件費		
	コスト		ᄥᄆᆍᅷ	概算人	件費	公古	마아무 쌍
			職員構成	(平均給与×位	(事職員数)	從事	職員数
 事業費			担当正規職員	18	973 千円	2.	7 人
R1年度決算額)	238	千円 ( )	<u>唱託職員</u>	10,	<del>- 11.</del> 千円	1	<del>, 人</del>
(11 千及八升照)		——	<u>- 鴻山城員</u> 再任用(フル)		千円		
人件費	18, 973	<b></b>					<u>_</u>
	·	#	再任用(ハーフ)		千円		人
			任期付職員		千円	ll	人
終 計	I 19 211	- <del>-</del>					
総計	19, 211	千円し	臨時職員		千円		人
総計	19, 211		臨時職員	単位 R			人 人 H29年度
		指標名	臨時職員			H30年度	人
 評価指標	民間事業者との対話	指標名	臨時職員	事業者		H30年度 27	人
	民間事業者との対話 民間提案の募集	指標名		事業者がループ	1年度 - -	H30年度 27 8	人
 評価指標	民間事業者との対話 民間提案の募集 PFIアドバイザリー募	指標名 指標名 業務委託の募負	ŧ	事業者 グループ グループ	1年度 - - 5	H30年度 27 8 -	人 H29年度 - - -
評価指標 (事業実績)	民間事業者との対話 民間提案の募集	指標名 指標名 業務委託の募負		事業者がループ	1年度 - - 5	H30年度 27 8	人 H29年度 - - -
 評価指標	民間事業者との対話 民間提案の募集 PFIアドバイザリー第 事業の有効性(効果	指標名 指標名 業務委託の募身	€ □ 高	事業者 グループ グループ ■ ロ	1年度 - - 5 中	H30年度 27 8 - 口 但	人 H29年度 - - - -
評価指標 (事業実績)	民間事業者との対話 民間提案の募集 PFIアドバイザリー募	指標名 指標名 業務委託の募身	ŧ	事業者 グループ グループ	1年度 - - 5 中	H30年度 27 8 -	人 H29年度 - - - -
評価指標 (事業実績)	民間事業者との対話 民間提案の募集 PFIアドバイザリー第 事業の有効性(効果	指標名 指標名 業務委託の募集 の達成状況)	€ □ 高	事業者 グループ グループ ■ ロ	1年度 - - 5 中	H30年度 27 8 - 口 但	人 H29年度 - - - -
評価指標 (事業実績)	民間事業者との対話 民間提案の募集 PFIアドバイザリー第 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	指標名 業務委託の募集 の達成状況) 用対効果)	高	事業者 グループ グループ ■ □	1年度 - - 5 中	H30年度 27 8 - 口但	人 H29年度 - - - - 5
評価指標(事業実績)	民間事業者との対話 民間提案の募集 PFIアドバイザリー第 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	指標名 業務委託の募集 の達成状況) 用対効果)	集 □ 高 □ 高 ▷ □ 高	事業者 り゙ル-プ り゙ル-プ ■ □ 、法務等の専	1年度 - 5 中 中 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日	H30年度 27 8 - 口 但	人 H29年度 - - - 5 5
評価指標 (事業実績)	民間事業者との対話 民間提案の募集 PFIアドバイザリー対 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 事業をPFIで進める リー業務を担う、コ	指標名 業務委託の募集 の達成状況) 用対効果)	集 □ 高 □ 高 ▷ □ 高	事業者 り゙ル-プ り゙ル-プ ■ □ 、法務等の専	1年度 - 5 中 中 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日	H30年度 27 8 - 口 但	人 H29年度 - - - 5 5 7 ドバイザ
評価指標(事業実績)	民間事業者との対話 民間提案の募集 PFIアドバイザリー第 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	指標名 業務委託の募集 の達成状況) 用対効果)	集 □ 高 □ 高 ▷ □ 高	事業者 り゙ル-プ り゙ル-プ ■ □ 、法務等の専	1年度 - 5 中 中 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日	H30年度 27 8 - 口 但	人 H29年度 - - - 5 5 7 ドバイザ
評価指標(事業実績)	民間事業者との対話 民間提案の募集 PFIアドバイザリー対 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 事業をPFIで進める リー業務を担う、コ	指標名 業務委託の募集 の達成状況) 用対効果)	集 □ 高 □ 高 ▷ □ 高	事業者 り゙ル-プ り゙ル-プ ■ □ 、法務等の専	1年度 - 5 中 中 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日	H30年度 27 8 - 口 但	人 H29年度 - - - 5 5 7 ドバイザ
評価指標(事業実績)	民間事業者との対話 民間提案の募集 PFIアドバイザリー対 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 事業をPFIで進める リー業務を担う、コ	指標名 業務委託の募集 の達成状況) 用対効果)	集 □ 高 □ 高 ▷ □ 高	事業者 り゙ル-プ り゙ル-プ ■ □ 、法務等の専	1年度	H30年度 27 8 - 口 但	人 H29年度 - - - 5 5 7 ドバイザ
評価指標(事業実績)	民間事業者との対話 民間提案の募集 PFIアドバイザリー対 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 事業をPFIで進める リー業務を担う、コ	指標名 業務委託の募集 の達成状況) 用対効果)	集 □ 高 □ 高 ▷ □ 高	事業者 り゙ル-プ り゙ル-プ ■ □ 、法務等の専	1年度	H30年度 27 8 - 口 但	人 H29年度 - - - 5 5 7 ドバイザ
評価指標(事業実績)	民間事業者との対話 民間提案の募集 PFIアドバイザリー第 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 事業をPFIで進める リー業務を担う、コ きると考えます。	指標名 養務委託の募集 の達成状況) 用対効果) るとの方向性を ンサルを選定	集 □ 高 □ 高 □ 高 □ 高 □ 高 □ 応 □ 応 □ 応 □ 応 □ 応	事業者 り゛ループ り゛ループ ■ 「 ■ 「 、法務等の専 美務の方針をデ	1年度 - 5 中 中 中 に門知識等を示せたこと	H30年度 27 8 - ロ 但 を有するだは、一定	人 H29年度 - - - た た アドバイザ の評価がで
評価指標(事業実績)	民間事業者との対話 民間提案の募集 PFIアドバイザリー第 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 事業をPFIで進める リー業務を担う、コ きると考えます。	指標名 養務委託の募集 の達成状況) 用対効果) るとの方向性を ンサルを選定 な複合施設の	集 □ 高 □ 高 □ 高 □ 市 □ 市 □ 京 □ 京 □ 京 □ 次 の 対 で で の が □ が で で で で で で が で が で が で が で が で が	事業者 り゛ルーフ゜ り゛ルーフ゜ ■ □ 、 法務等の専 き務の方針をデ	1年度 - 5 - ウ 中 中 に門知識等: 示せたこと	H30年度 27 8 - 口 但 を有するで 後は、民	人 H29年度 - - - た アドバイザ の評価がで
評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	民間事業者との対話 民間提案の募集 PFIアドバイザリー第 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 事業をPFIで進める リースを担う、コ きると考えます。 市民にとって最適 用した官民連携手法	指標名 養務委託の募集 の達成状況) 用対効果) るとの方向性を ンサルを選定 な複ら施設のでありますPF	集 □高 □高 を定め、財務 し、今後の対 建設、財政負	事業者 り ループ り ループ ■ 「	1年度 - 5 - 5 - 中 中 中 に門知識等: 示せたこと	H30年度 27 8 - ロロの を有、、 は、、 く 後ザリー と に は、 に と に り に り に り に り に り に り に り に り に り	人 H29年度 - - - - た アドバイザ の評価がで
評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由 事業の課題、	民間事業者との対話 民間提案の募集 PFIアドバイザリー第 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 事業をPFIで進める リー業務を担う、コ きると考えます。	指標名 養務委託の募集 の達成状況) 用対効果) るとの方向性を ンサルを選定 な複ら施設のでありますPF	集 □高 □高 を定め、財務 し、今後の対 建設、財政負	事業者 り ループ り ループ ■ 「	1年度 - 5 - 5 - 中 中 中 に門知識等: 示せたこと	H30年度 27 8 - ロロの を有、、 は、、 く 後ザリー と に は、 に と に り に り に り に り に り に り に り に り に り	人 H29年度 - - - - た アドバイザ の評価がで
評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由 事業の課題、	民間事業者との対話 民間提案の募集 PFIアドバイザリー第 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 事業をPFIで進める リースを担う、コ きると考えます。 市民にとって最適 用した官民連携手法	指標名 養務委託の募集 の達成状況) 用対効果) るとの方向性を ンサルを選定 な複ら施設のでありますPF	集 □高 □高 を定め、財務 し、今後の対 建設、財政負	事業者 り ループ り ループ ■ 「	1年度 - 5 - 5 - 中 中 中 に門知識等: 示せたこと	H30年度 27 8 - ロロの を有、、 は、、 く 後ザリー と に は、 に と に り に り に り に り に り に り に り に り に り	人 H29年度 - - - - た アドバイザ の評価がで
評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由 事業の課題、	民間事業者との対話 民間提案の募集 PFIアドバイザリー第 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 事業をPFIで進める リースを担う、コ きると考えます。 市民にとって最適 用した官民連携手法	指標名 養務委託の募集 の達成状況) 用対効果) るとの方向性を ンサルを選定 な複ら施設のでありますPF	集 □高 □高 を定め、財務 し、今後の対 建設、財政負	事業者 り ループ り ループ ■ 「	1年度 - 5 - 5 - 中 中 中 に門知識等: 示せたこと	H30年度 27 8 - ロロの を有、、 は、、 く 後ザリー と に は、 に と に り に り に り に り に り に り に り に り に り	人 H29年度 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由 事業の課題、 今後の方向性等	民間事業者との対話 民間提案の募集 PFIアドバイザリー第 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 事業をPFIで進める リースを担う、コ きると考えます。 市民にとって最適 用した官民連携手法	指標名 養務委託の募集 の達成状況) 用対効果) るとの方向性を ンサルを選定 な複ら施設のでありますPF	集 □高 □高 を定め、財務 し、今後の対 建設、財政負	事業者 り ループ り ループ ■ 「	1年度 - 5 - 5 - 中 中 中 に門知識等: 示せたこと	H30年度 27 8 - ロロの を有、、 は、、 く 後ザリー と に は、 に と に り に り に り に り に り に り に り に り に り	人 H29年度 - - - - た アドバイザ の評価がで
評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由 事業の課題、	民間事業者との対話 民間提案の募集 PFIアドバイザリー第 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 事業をPFIで進める リースを担う、コ きると考えます。 市民にとって最適 用した官民連携手法	指標名 養務委託の募集 の達成状況) 用対効果) るとの方向性を ンサルを選定 な複ら施設のでありますPF	集 □高 □高 を定め、財務 し、今後の対 建設、財政負	事業者 り ループ り ループ ■ 「	1年度 - 5 - 5 - 中 中 中 に門知識等: 示せたこと	H30年度 27 8 - ロロの を有、、 は、、 く 後ザリー と に は、 に と に り に り に り に り に り に り に り に り に り	人 H29年度 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由 事業の課題、 今後の方向性等	民間事業者との対話 民間提案の募集 PFIアドバイザリー第 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 事業をPFIで進める リースを担う、コ きると考えます。 市民にとって最適 用した官民連携手法	指標名 養務委託の募集 の達成状況) 用対効果) るとの方向性を ンサルを選定 な複ら施設のでありますPF	集 □高 □高 を定め、財務 し、今後の対 建設、財政負	事業者 り ループ り ループ ■ 「	1年度 - 5 - 5 - 中 中 中 に門知識等: 示せたこと	H30年度 27 8 - ロロの を有、、 は、、 く 後ザリー と に は、 に と に り に り に り に り に り に り に り に り に り	人 H29年度 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -

款 02総務費	項 01総務管		<del>女事来</del> し 1 08コミ		施設費	事務事	業番号	02010	0803
事業		R1年度		財	源	内	訳		
担当音	『・課	(決算額)	国道支出金	・ 地ブ	5債 📗	そ0	D他	一般見	財源
植苗ファミリーも	 ヹンター整備事業	4 000	1 4 700 -	_	~ =			200	~ =
市民生活部	市民生活課	<b>4</b> , 939 <del>↑</del> ₽	∃ 4, 700 <del>T</del>	円	千円		千円	239	千円
根拠法令							<u> </u>		
 実施方法	□ 直接実施 ■	業務委託等	□ 補助金	・負担金	·助成3	<del></del>			
事業の目的・対象	千歳飛行場周辺に 転等交付金を活用し				便性向	上に向	け、再級	扁関連詞	川練移
事業の必要性	千歳飛行場の運用 者のニーズに応える	施設の整備等	が必要です。		€の形成	に寄与	する目的	から、	利用
事業の内容	トレーニング機器	等の備品整備	を行いまし <i>た</i>	<b>5</b> o					
SDGs17の目標	トレッドミル			アップ	゚ライトバ	イク			
11 GARDINAS RESOUR						F			
					人件:	费			
	コスト		職員構成	概 (平均給与	人件 算人件費 ×従事職		従る	事職員3	<u></u> 数
事業費 (R1年度決算額)	コスト 4, 939	千円(一	職員構成担当正規職員 嘱託職員		算人件費 -×従事期	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li></ul>	0.	事職員 2	人
事業費	Т	<u>+H</u>	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル)		算人件費 -×従事期	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0.		人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	4, 939 1, 405	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル)		算人件費 -×従事期	<ul><li>職員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0.		人 人 人
事業費 (R1年度決算額)	4, 939	<u>+H</u>	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル)		算人件費 -×従事期	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0.		人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	4, 939 1, 405	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員		算人件費 -×従事期	<ul><li>銀員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0.	2	人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	4, 939 1, 405	千円千円千円十円	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	(平均給与	算人件費 ·×従事服 1,405	<ul><li>銀員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0.	2 H29	人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	4, 939 1, 405 6, 344	千円千円千円十円	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	(平均給与	算人件費 ·×従事服 1,405	<ul><li>銀員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0. H30年度	2 H29	人 人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	4, 939 1, 405 6, 344	千円千円千円十円	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	(平均給与	算人件費 ·×従事服 1,405	<ul><li>銀員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0. H30年度	2 H29	人 人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	4,939 1,405 6,344 再編関連訓練移転等 事業の有効性(効果	十円 千円 千円 指標名 交付金活用事	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位件	算人件費 ·×従事服 1,405	<ul><li>銀員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0. H30年度	2 H29	人 人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	4, 939 1, 405 6, 344 再編関連訓練移転等	十円 千円 千円 指標名 交付金活用事	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位件	算人件費 - × 従事耶 1, 405 R1年 1	<ul><li>銀員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0. H30年度 2	2 H29	人 人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	4,939 1,405 6,344 再編関連訓練移転等 事業の有効性(効果	十円 千円 千円 千円 千円 千円 も標名 交付金活用事 の達成状況) 用対効果) エ事に伴い、の	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 業 ■ 高 □ こ	(平均給与 単位 件 、対住にも、対理	算人件費職 1,405 1,405 R1年 1 中中 る関連	銀員数)円円円円円円円円円のの	0. H30年度 2	2   H29   	人 人 人 人 人 年度 0
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	4,939 1,405 6,344 再編関連訓練移転等 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 施設の整備や改修 め、事業の有効性は	十一千一年一十一千一年一十一千一年一十一年一十一年一十一年一十一年一十一年一十一	担当正規職員 属託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 常語 高高 一 内率いる ・ 情報を ・ はしてきる。	(平均給与       単位       株       はたて       有し、ま       なので       大再す	算人 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	 	130年度 2   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	2 H29 氏氏 氏 対金を流	人人人人人度 6 た用し

	事務事	業評価(主	要事業レビ	<b>ニュー</b> )				
款 02総務費	項 01総務管	理費	目 10姉妹	都市費	틕	事務事業番号	02011	001
事業	• =	R1年度		財	源	内 訳		
担当部	〗• 課	(決算額)	国道支出金	迚 地方	i債	その他	一般則	才源
国際友好都可	市交流事業	1 000	_		m	- T - II	1 000	<b>→</b> E
総合政策部 国際	ドリゾート戦略室	- 1,363 <del>↑</del> F	ד וי	円	千円	+6	1, 363	千円
根拠法令		Į.				!		
実施方法	■ 直接実施 □	業務委託等	■ 補助金	<ul><li>負担金</li></ul>	<ul><li>助成金</li></ul>	•		
74,0073,121		× × × × × × × × × × × × × × × × × × ×	_ 110.55		->5,7,74	•		
事業の目的・対象	国際姉妹都市・友	好都市との交	流を継続し、	様々な分	野への多	発展を推進し	ます。 	
事業の必要性	定期的相互訪問や る団体とも協力し、						主的に実	軽施す
事業の内容								
000 (7 !-								
SDGs17の目標								
4 Rodaremet 11 含み取け込むを よんなご 17 パートケーシッチで 日本を表現しよう	1 苫小牧市姉妹都 外国の姉妹都市 的に実施する団体 2 ネーピア市との	等との友好関 に対して補助	係の促進に資  金を交付しま	聲するため ₹した。		郷市等との交流	<b>流事業を</b>	自主
<b>∞</b>	オーピア市との ネーピア市との					準備会議を記	設置し、	事業
<b>30</b> 9	の検討を進めまし							
_								
						-		
					人件費	<u> </u>		
	コスト		職員構成	概算 (平均給与	【人件費 ×従事職	員数) 従	事職員数	攵
 事業費	1 000		担当正規職員		2, 108	子円 0	0. 3	一人
(R1年度決算額)	1, 363	千円	嘱託職員		341		). 1	人
	0 440	/	再任用(フル)			千円		人
人件費	2, 449	千円	再任用(ハーフ)			千円		人
	2 010		任期付職員			千円		人
	3, 812	千円し上	臨時職員			千円		人
		指標名		単位	R1年度	₹ H30年度	H294	年度
評価指標	本市から姉妹・友好	都市への訪問	<b>a</b> 者数	人	0	17	3	0
(事業実績)	姉妹・友好都市から	本市への来訪	 ī者数	人	5	40	1	1
	※本市が主催・協力	した事業の人	 .数				1	
± == == '	事業の有効性(効果		一■高	<u></u>	] 中		_ <del>_</del> 低	
自己評価	事業の効率性(費		■高		<u>= ·</u> ] 中			
自己評価の理由	関係団体による姉 市交流は市民が異文 用以上に大きな効果	妹・友好都市 化に触れるき	iへの訪問なと っかけとなっ	ごにより交	流が図ら	ー られました。タ	ホ妹・友	
事業の課題、 今後の方向性等	ネーピア市との姉 の上、良好な関係を 必要があります。							
特記事項								

款 02総務費	項 01総務管		エ <del>女 ず 未</del> レ ( 目 11国際		事利	务事業番号	02011101
事業	名	R1年度		財	源		
担当部	『・課	(決算額)	国道支出金	金 地フ	5債	その他	一般財源
こども国際	· 交流事業	3,800 ∓	·P	· 円	千円 3,	800 千円	千円
総合政策部 国際	<b>ドリゾート戦略室</b>	3, 000			TD  3,		ТП
根拠法令				-	-	-	
実施方法	□ 直接実施 ■	業務委託等	□ 補助金	・負担金	・助成金		
事業の目的・対象	開発途上国への訪り 切さに気付くことにを育成します。						
事業の必要性	進展するグローバ。 人材を育成する必要:			国際化を進	≦めるため、	国際的な視	野を持った
事業の内容 SDGs17の目標	作文と面接により 11人をカンボジアに ◇事前研修(5月~ 外部講師を招きな	派遣しました 7月)	<i>t</i> =.				
	テーマとした学習: ◇カンボジア訪問() ・現地の学校訪問, ・世界遺産の見学 ◇事後学習(8月~	会を実施 7/26~7/31) 、学生との など 1月)	) 交流	<i>.</i>		事前研修】	
	事業のふり返りや ◇市長報告会 (8/30) グループごとに事	)、活動報	告会(11/24)		【現地	の学校訪問】	M.
	コスト		職員構成		<u> </u>	数) 従事	事職員数
事業費	3, 800	千円 (	担当正規職員		703 =		
(R1年度決算額)			嘱託職員			f円 rm	<u>人</u>
人件費	703	千円	再任用(フル)			f円 f円	<del></del>
		<del> </del>	任期付職員			F円 F円	<del></del>
総計	4, 503	千円し	臨時職員			<u>                                     </u>	<del></del>
		指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
評価指標	事業の派遣人数/応募			人	11/11	10/11	10/26
(事業実績)							
<b>台□</b> □□/≖	事業の有効性(効果	の達成状況	)	'	口中		£
自己評価	事業の効率性(費	用対効果)	■高		口中		£
自己評価の理由	令和元年度から公前・事後学習をより また、この事業に ことを目標にしたい 成する点での本事業	充実した内容 参加した感染 といった学	容にできたとi 想として、価値 生がいたことが	平価してい 直観が変わ などから、	Nます。 Pった、将3 広く国際的	<b></b> 末開発途上国	で活動する
事業の課題、 今後の方向性等	本事業が子どもた し、より効果的な実						<b>に制度を利用</b>

特記事項

款 02総務費	項 01総務管	理費	目 11国際	交流費		事務事業番	号 020	)11102
事業	<b>美名</b>	R1年度		財	源	内 訳		
担当部	『・課	(決算額)	国道支出金	è 地方	債	その他	— <u>f</u>	投財源
国際化推	推事業	8,354 <del>1</del> F	9 223 千	·Ħ	千円	5,000 <del>T</del>	円 3, 13	31 千円
	ドリゾート戦略室	0, 334	1 220 1	1 3	'''	3,000 1	1,1 0, 10	,, ,,,
根拠法令								
実施方法	■ 直接実施 ■	業務委託等	□ 補助金	・負担金	・助成金	<del>È</del>		
事業の目的・対象	各種交流事業や外 暮らしやすく心の通				異文化	理解と多文	化共生を	を図り、
事業の必要性	近年加速するグロー 文化に対する理解を注						民一人-	-人の異
事業の内容	1 ぐる~りWorld交流 令和元年8月25日				5ゲーム	1		
SDGs17の目標	2 国際理解講座(外) 令和元年11月9日				ジーラン	F		Wei-
<b>(\$) ↑</b>	  3 国際交流サロン事:   内容:外国人相	談窓口、外国ノ	人住民対象の日			【ぐる~	-りWorld	交流会】
17 #-++->-FF		アミリー向け	at!(英語・中 英会話教室、初		<b>文室</b>	1	1	A
88	4 留学生バス特別乗 (市内の留学生を)			)バス乗車詞	Eの交付)			
	  5 外国青年招致事業    内容:令和元年   業務や多:	8月から国際3		を採用し、			国際理解調	<b>講座</b> 】
					人件	弗		
	コスト		職員構成	概算 (平均給与	算人件費		従事職 🖟	員数
事業費 (R1年度決算額)	8, 354	手用 (	担当正規職員嘱託職員		2, 108 1, 703	3 千円 3 千円	0.3	人人
人件費	3, 811	<del></del>	再任用(フル)		1, 700	千円	0. 0	人
八計貝	3, 011		再任用(ハーフ)			千円		人
総計	12, 165	千円	任期付職員			千円		人
10 11	·		臨時職員	<u> </u>	D1 /=	千円	-#- Lu	人
		指標名	11cL \	単位	R1年			29年度
評価指標	国際交流サロン利用			人	1, 28			1, 640
(事業実績) 	ぐる~りWorld交流会		白剱	人 ##	108			286
	留学生バス特別乗車			枚	29	33		54
自己評価	事業の有効性(効果		■高		口中		□低	
	事業の効率性(費	用对効果)	■高		口中		□低	
自己評価の理由	国際交流サロンは 会などの各種事業は める点で、この事業	好評で毎回の	参加者が多し	いことから	、市民	同士の交流		
事業の課題、 今後の方向性等	外国人住民を含む り、まちの国際化が を始めとする外国人 とから、関係団体や	図られるため 住民に対する	、今後も継続 支援は多文(	売して事業 ヒ共生を進	を実施 める上	します。ま で欠かせな	た、日本	語教室
——————————— 特記事項								

款 02総務費

 項 01総務管理費
 目 11国際交流費
 事務事業番号
 02011103

事業担当	± <i>□</i>	理負 ロケ			0.1	ΉŒ	<u>_</u>	未留写	
1 2 2 2		】 R1年) 【決算者		   国道支出金	財		内 7.0	<u>訳</u>	<b>负几.日→ 2万</b>
こども国際交流		(八升)	6只/	国坦又山立	<b>业力</b>	J <sup>·</sup> I貝	その	71世	一般財源
	<u> </u>	65	千円	<b>1</b>	円	千円	65	千円	千円
根拠法令	ポリノード戦略 <u>主</u> 			<u> </u>					
	■ 古技宝佐 □	<b>学</b> 数 禾 🗈	1年	□ #마수	. 台 扣 仝	,田武人	~		
关心力法	┃ ■ 直接実施  □	業務委託	L 寺	□ 補助金	• 貝担亚	• 助风3	<u> </u>		
事業の目的・対象	国際的な視野を持 際交流基金に積み立		を育り	或し、まち <i>α</i>	)国際化を	進める	ために	、寄附金	金をこども国
事業の必要性	国際的な視野を持 ることが効果的であ								
事業の内容									
SDGs17の目標									
4 RASE	ᄑᅷᅆᇨᇠᆂᆂᇫᄙ	÷	110	202 400 0					
Yi	平成30年度末基金残 	同	110,	393, 498円					
	令和元年度基金積立	金		65,026円					
	┃ ┃令和元年度基金取崩	1. 宮百	3	800,000円	(こども)国	陰交流	<b>事</b> 業費	)	
					(ССОД	1100~000	于不具	,	
	令和元年度末基金残	高	106,	658, 524円					
						人件:	書		
	コスト				柳雀				
				職員構成	(平均給与			従	事職員数
 事業費	GE.	7.00	一里	当正規職員		703	千円	0	1 人
(R1年度決算額)	65	千円		嘱託職員			千円		人
人件費 人件費	703	≠円≺	\ <u> </u>	4年用(フル)			千円		스
			冉	「任用(ハーフ)			千円		人
総 計	768	千円		任期付職員			千円		人
総計	768				単位	R1年J	千円		人
	768 基金の年度末残高	千円 指標名		任期付職員	単位	R1年月 106, 6	手円 度 ト	H30年度 I 10, 393	人 H29年度
総 計 事業実績 (活動指標)				任期付職員	単位十円十円		手円 度 ト	130年度	人 H29年度
事業実績	基金の年度末残高			任期付職員	千円	106, 6	手円 度 ト	130年度 110, 393	人 H29年度 109,928
事業実績(活動指標)	基金の年度末残高 寄附金額 事業の有効性(効果	指標名	(況)	任期付職員 臨時職員 ■ 高	千円	106, 6 65 □ 中	手円 度 ト	l30年度 l10,393 466	人 H29年度 109, 928 9, 720 低
事業実績	基金の年度末残高 寄附金額	指標名	(況)	任期付職員臨時職員	千円	106, 6 65	手円 度 ト	130年度 110, 393 466	人 H29年度 109, 928 9, 720 低
事業実績(活動指標)	基金の年度末残高 寄附金額 事業の有効性(効果	指標名 の達成状 用対効果 寄附を頂	は (きな)	任期付職員 臨時職員 ■ 高 ■ 高 がら、事業	千円	106, 6 65 口中 口中	千円 度 H 58 1	H30年度 H10, 393 466	人 H29年度 109, 928 9, 720 低 低
事業実績 (活動指標)	基金の年度末残高 寄附金額 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 市内団体から毎年	指標名 の達成状 用対効果 寄附を頂	は (きな)	任期付職員 臨時職員 ■ 高 ■ 高 がら、事業	千円	106, 6 65 口中 口中	千円 度 H 58 1	H30年度 H10, 393 466	人 H29年度 109, 928 9, 720 低 低
事業実績 (活動指標)	基金の年度末残高 寄附金額 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 市内団体から毎年	指標名 の達成状 用対効果 寄附を頂	は (きな)	任期付職員 臨時職員 ■ 高 ■ 高 がら、事業	千円	106, 6 65 口中 口中	千円 度 H 58 1	H30年度 H10, 393 466	人 H29年度 109, 928 9, 720 低 低
事業実績 (活動指標)	基金の年度末残高 寄附金額 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 市内団体から毎年	指標名 の達成状 用対効果 寄附を頂	は (きな)	任期付職員 臨時職員 ■ 高 ■ 高 がら、事業	千円	106, 6 65 口中 口中	千円 度 H 58 1	H30年度 H10, 393 466	人 H29年度 109, 928 9, 720 低 低
事業実績 (活動指標) 自己評価 自己評価の理由 事業の課題、	基金の年度末残高 寄附金額 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 市内団体から毎年	指標名 の達成状 用対効果 寄附を頂い	(記) (きながます。	任期付職員臨時職員■高高高	千円	106, 6 65 中 中 中	千円 <u>ま</u> ト 58 1	l30年度  10,393   466   □ /    おり、■	人   H29年度   109, 928   9, 720   低   低   低
事業実績 (活動指標) 自己評価 自己評価の理由	基金の年度末残高 寄附金額 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 市内団体から毎年 性、効率性は高いと	指標名 の達成状 用対効果 寄附を頂い	(記) (きながます。	任期付職員臨時職員■高高高	千円	106, 6 65 中 中 中	千円 <u>ま</u> ト 58 1	l30年度  10,393   466   □ /    おり、■	人   H29年度   109, 928   9, 720   低   低   低
事業実績 (活動指標) 自己評価 自己評価の理由 事業の課題、	基金の年度末残高 寄附金額 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 市内団体から毎年 性、効率性は高いと	指標名 の達成状 用対効果 寄附を頂い	(記) (きながます。	任期付職員臨時職員■高高高	千円	106, 6 65 中 中 中	千円 <u>ま</u> ト 58 1	l30年度  10,393   466   □ /    おり、■	人   H29年度   109, 928   9, 720   低   低   低
事業実績 (活動指標) 自己評価 自己評価の理由 事業の課題、	基金の年度末残高 寄附金額 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 市内団体から毎年 性、効率性は高いと	指標名 の達成状 用対効果 寄附を頂い	(記) (きながます。	任期付職員臨時職員■高高高	千円	106, 6 65 中 中 中	千円 <u>ま</u> ト 58 1	l30年度  10,393   466   □ /    おり、■	人   H29年度   109, 928   9, 720   低   低   低
事業実績 (活動指標) 自己評価 自己評価の理由 事業の課題、 今後の方向性等	基金の年度末残高 寄附金額 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 市内団体から毎年 性、効率性は高いと	指標名 の達成状 用対効果 寄附を頂い	(記) (きながます。	任期付職員臨時職員■高高高	千円	106, 6 65 中 中 中	千円 <u>ま</u> ト 58 1	l30年度  10,393   466   □ /    おり、■	人   H29年度   109, 928   9, 720   低   低   低
事業実績 (活動指標) 自己評価 自己評価の理由 事業の課題、	基金の年度末残高 寄附金額 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 市内団体から毎年 性、効率性は高いと	指標名 の達成状 用対効果 寄附を頂い	(記) (きながます。	任期付職員臨時職員■高高高	千円	106, 6 65 中 中 中	千円 <u>ま</u> ト 58 1	l30年度  10,393   466   □ /    おり、■	人   H29年度   109, 928   9, 720   低   低   低

款 02総務費

項 01総務管理費 目 12男女平等参画推進費 事務事業番号 02011201

根拠法令 実施方法 事業の目的・対象 事業の必要性 事業の内容 SDGs17の目標 1 *** 3 *******************************	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	業 つ入推 員やか 会男 うを) 、 業登談 にや進 と固ら の女 ン市予高 を録の委 基女を し定推 実平 ス内防等 実者実 づ性図 て的進 現等 等企対学 施制施	額 「小等」きのり「個なす」の参 企業策校 し度 円 1寸 「います」性役な 「た画 業等と等 ま及び こうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう	市	門画・のらでで <t< th=""><th>イ例も革会のな当市めで発ト円成配実ら社事女課きま重防</th><th>偶現ゆ会業平題やし要者にるのは等のすたでかけ野豚要睡者職る</th><th>イ小け予要回す場と円の、お慣あ推協のまおしかよとのきよとのきよとのきよとのきよとのききとのき</th><th>関 いっる 生義 コース・</th><th>千</th></t<>	イ例も革会のな当市めで発ト円成配実ら社事女課きま重防	偶現ゆ会業平題やし要者にるのは等のすたでかけ野豚要睡者職る	イ小け予要回す場と円の、お慣あ推協のまおしかよとのきよとのきよとのきよとのきよとのききとのき	関 いっる 生義 コース・	千
男女平等参照 総合政策部 協働 根拠法令 実施方法 事業の目的・対象 事業の内容 SDGs17の目標 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	■ ・ 男す	1,727   本業	千 小等 きのり 個なす の参 企業策校 し度 円 牧 ・ 活ま 性役る ・ た画 業等と等 ま及	市 男型 よ割べ め社 表へしこ し 男 □ 女等。 能分き に会 彰広て講 を 平 ・ カ担で 設の をく、師 ・ を意あ 置実 引周若を ・	円画・のしとと「目 きるかし」推担識画社わら小す 施とのデよこら小す 施とのデ	イ例も革会のな当市めで発ト円成配実ら社事女課きま重防	290 金 偶現 ゆ会業 平題 やし要 き向 分制必 参共 い。あ またで まん かん	イ小け予要回す場と円の、お慣あ推協のまおしかよとのきよとのきよとのきよとのきよとのききとのき	1,437よくよくよくよくよくまたよく <td>千</td>	千
総合政策部 協働 根拠法令 実施方法 事業の目的・対象 事業の内容 SDGs17の目標 1 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	・男女 ■ は	本業   八推   員やか   会男 うき) 、 業登談   法務 にや進 と固ら の女 ン市予高 を録の   安本   と固ら の女 ン市予高 を録の   大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	小等 きのり 個なす の参 企業年校 し度 大きのり 個なす の参 企業年校 し度 ため 大き まる こうしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	市	A   A   A   A   A   A   A   A   A   A	例 b革会のな当市めで発ト成 配実ら社事女課きま重防	<ul><li>会 偶現 ゆ会業 平題 やし要 等向 分制必 参共 い。あ またで まん で まん で まん で まん で まん で まん で まん で</li></ul>	・	表 引 ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	題等 すうま 民ま デ 続
総合政策部 協働 根拠法令 実施方法 事業の目的・対象 事業の内容 SDGs17の目標 1 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	・男女 ■ は	本業   八推   員やか   会男 うき) 、 業登談   法務 にや進 と固ら の女 ン市予高 を録の   安本   と固ら の女 ン市予高 を録の   大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	小等 きのり 個なす の参 企業年校 し度 大きのり 個なす の参 企業年校 し度 ため 大き まる こうしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	市	A   A   A   A   A   A   A   A   A   A	例 b革会のな当市めで発ト成 配実ら社事女課きま重防	<ul><li>会 偶現 ゆ会業 平題 やし要 等向 分制必 参共 い。あ またで まん で まん で まん で まん で まん で まん で まん で</li></ul>	・	表 引 ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	題等 すうま 民ま デ 続
根拠法令 実施方法 事業の目的・対象 事業の内容 SDGs17の目標 1 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	男 ■ 「フ連 た男す 「1 ② ③ ④ ・・・・・	業 つ入推 員やか 会男 うを) 、 業登談 にや進 と固ら の女 ン市予高 を録の委 基女を し定推 実平 ス内防等 実者実 づ性図 て的進 現等 等企対学 施制施	任 うきのり 個なす の参 企業策校 し度等 、活まで性役る た画 業等と等 ま及び	男曜す と割べ め社 表へしこ し 女等。 能分き に会 彰広て講 た	<ul><li>負 意参</li><li>しとと</li><li>しとと</li><li>「目 きるかし</li><li>な社 会れ、</li><li>牧た しが啓一</li></ul>	<ul><li>・ 革会 のな当 市め 、で発ト 成 配実 ら社事 女課 きま重防</li></ul>	偶現ゆ会業平題やし要者にるのは等のすたでかけ野豚要睡者職る	t	関 いっる 生義 コース・	等   す方ま   民ま デ 続
実施方法 事業の目的・対象 事業の必要性 事業の内容 SDGs17の目標 1	■ 基一携 誰め女。 会し ル きし ・・・・	業 つ入推 員やか 会男 うを) 、 業登談 にや進 と固ら の女 ン市予高 を録の委 基女を し定推 実平 ス内防等 実者実 づ性図 て的進 現等 等企対学 施制施	任 うきのり 個なす の参 企業策校 し度等 、活まで性役る た画 業等と等 ま及び	男曜す と割べ め社 表へしこ し 女等。 能分き に会 彰広て講 た	<ul><li>負 意参</li><li>しとと</li><li>しとと</li><li>「目 きるかし</li><li>な社 会れ、</li><li>牧た しが啓一</li></ul>	<ul><li>・ 革会 のな当 市め 、で発ト 成 配実 ら社事 女課 きま重防</li></ul>	偶現ゆ会業平題やし要者にるのは等のすたでかけ野豚要睡者職る	t	関 いっる 生義 コース・	等   す方ま   民ま デ 続
事業の目的・対象  事業の必要性  事業の内容 SDGs17の目標  1 ***  「	フェート   大男す   ① ② ③ ④	() ス推 員やか 会男 うき) 、 業登談にや進 と固ら の女 ン市予高 を録の基女を し定推 実平 ス内防等 実者実 で性図 て的進 現等 等企対学 施制施	がき切り (何なす) の参 企業策校 し度 (大)	男曜す と割べ め社 表へしこ し女等。 能分き に会 彰広て講 を意め 置実 引周若を の をく、師 。	で 高等 こと で 高参 こらか で 音 で こと で で に に に に に に に に に に に に に	革会のな当市めで発ト配実ら社事女課きま重防	偶現ゆ会業平題やし要者にるのは等のすたでかけ野豚要睡者職る	t	関 いっる 生義 コース・	等   す方ま   民ま デ 続
事業の必要性  事業の内容 SDGs17の目標  1 ****	フ連 た男す ① ② ③ ④ ・・・・ 一携 誰め女。 会し ル きし ・・・・ ラ協 が、等 女」。一な偶市。の性ラ前防 イ働 対人参 平に クり者内 他人ス講正 フし 等権画 等お ラう暴の 下材メ座啓 バンの発	ス推 員やか 会男 うき)、 業登談や進 と固ら の女 ン市予高 を録の女を し定推 実平 ス内防等 実者実性図 て的進 弱等 等企対学 施制施	を引き、 このでは、 このでは、 このでは、 このです。 のできる ・ 企業を校 し 皮を ・ このできる ・ このでは、 この	躍す と割べ め社 表へしこ し等。 能分き に会 彰広て講 た カ担で 設の をく、師 タ 発識る し現 き知年派 女 発識る し現 き知年派 の おす の	<ul><li>等</li><li>しと</li><li>「目 きるかし</li><li>が</li><li>おおら</li><li>小す 施とのデ</li><li>は</li><li>は</li><li>た</li><li>し</li><li>が</li><li>さ</li><li>さ</li><li>が</li><li>さ</li><li>さ</li><li>が</li><li>さ</li><li>さ</li><li>が</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><l>さ<li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ</li><li>さ&lt;</li></l></ul>	会のな当市め、で発トのあい該男の働きがDV実ら社事女課きま重防	現 ゆ会業 平題 やし要に るのは 等の すたで かっぱ まん おん かん	t	関 いっる 生義 コース・	等   す方ま   民ま デ 続
事業の必要性 事業の内容 SDGs17の目標 1 555 1 200 5 200 5 200 5 200 6 200 8 200 6 200 70 70 70 70 70 70 70 70 70 70 70 70 7	た男す ① ② ③ ④ ・・・・・ のの 参い イるカ中 記バンの発の をし ル きし ・・・・・ のの 参い イるカ中 記バンの発 平に クり者内 他人ス講正 で フ事(学 のント実の で のかりを 事り相施た を	やか 会男 うき) 、 業登談の の女 ン市予高 を録の まる ス内防等 実者実 の まま まま きょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう いんしょう いんしょう きょう きょう きょう きょう きょう きょう きょう きょう きょう いんしょう はんしょう はんしょく はんしん はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしん はんしょく はんしん はんしんしょく はんしょく はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんし	のなす の参 企業策校 し度を できません しき こうしょう こうしょう こうしょう こうしょう こうしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	割分 割分 対力 対力 で 一 い会 が広て講 で し現 き知年派 をく、師 をく、師 をく、師 をはて講 をはて講 をはて講 をはて講 を知年派	とらか 苫指 実こら がい おお しが啓一	な当 市め 、で発ト 計め 、で発り 対 事 女課 きま重防	会業 平題 やし要 である である でもれる でもれる でもれる でもれる でもれる でもれる でもれる でもれる でもれる でもれる でもれる でもれる でもれる でもれる でもれる でもれる でもれる。 でもれる をもれる でもれる をもれる でもれる をも をもれる をもれる をもれる をもれる をもれる をもれる をもれる	で で を で を を が は は の 考 え	テの在りえ 生養 ー よい 引き	方ましまデ続
SDGs17の目標 1 55(5)	会し 会し に のり者内 に のり者内 に のり者内 他人ス講内 に の大きし で で の で で の で で の で が が が が が が の の の の の の の の の の の の の	男 シー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・ 大会 大学 大学 大学 大学 大学 がまる 大学 がまる アイ・カー・ アイ・アイ・カー・ アイ・カー・ アイ	手参 企業策を しまる ままる ままる ままる ままる しままる ままる しままる ままる しょう しょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしゅう しゅう かいしゅう いいしゅう かいしゅう かいり かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅ かいしゅう かいしゅ かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいり かいり かいし かい しゅう かい しゅう かいり かい しゅう しゅう かい しゅう しゅう かい しゅう	社会の実現を 表彰を引き続 へ広、帯年屋 に講師を派遣 した。	:目指すた :き実施し :ることが !からの啓 !し「デー	めの 、 動きま を が トDV 防	題の共存 やすい職 した。 要である	すや協議 戦場のロ なと考え	議を行い コールモ え、引き	ゝま ÷デ ÷続
1 0775	<ul><li>ルとなりるのでは</li><li>ののでは</li><li>ののでは</li><li>ののでは</li><li>ののでは</li><li>ののでは</li><li>ののでは</li><li>ののでは</li><li>ののでき</li><li>ののでき</li><li>ののでき</li><li>ののでき</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので</li><li>のので&lt;</li></ul>	を市内企対   () () () () () () () () () () () () ()	業等と 対策を 対策を は し度 で で で で で で で で で で で で で で り で り で り	へ広く周知す して、若年層 に講師を派遣 した。	ることが からの啓 し「デー	できま 発が重 · トDV防	した。 要である	ると考え	え、引き	続
<b>©</b> M	<ul><li>④ その他下記の事・女性人材バンク・ハラスメント相・出前講座の実施・DV防止啓発のた</li></ul>	登録者制  談の実施 	度及で		)研修会実	施				
IU seces " II secons		:α)U)/\ <del>-</del>	-プル <del>-</del>	ライトアップ	『の実施					
	・男女平寺多画過 ・男女平等参画推 ・公共施設へのDV	!間期間 <mark>中</mark> :進のため	の の 高 の 講 満	発 演会の実施						
						人件:	費 ———			
=	コスト			職員構成	概算 (平均給与	章人件費 ×従事職		従	事職員数	文
事業費 (R1年度決算額)	1, 727	千円		旦当正規職員 嘱託職員		10, 541 1, 362	十円		. 5 . 4	人人
人件費	11, 903	千円~	`	再任用(フル) 耳任用(ハーフ)			千円			人人
総計	13, 630	千円		任期付職員 臨時職員			千円 千円			人
		 指標名			単位	R1年J		30年度	H294	
=17.7平十6.4亩					人	68		47	4	
			Ν		校	20		20	1	_
-	デートDV防止出前授	未								
	講演会				人	80		100	4	U
自己評価	事業の有効性(効果			■高		口中		□ ſ	氐	
	事業の効率性(費	用対効果	₹)	口高		■中		□ 1	氐	
自己評価の理由	引き続き、デート 共施設へのDVリーフ したが、市全体への の取組が必要になる しました。	レットの 男女平等	配布等 参画。	等、効果的な 意識の醸成は	男女平等 とても難	参画に しく、	関する事 今後も組	業業を被 継続して	复数実施 て多方面	しま iから
今後の方向性等	男女平等参画基本 識を醸成させていく て取り組む「苫小牧 解決策を検討してい	ためにも 市男女平	,、市 · 等参i	民・団体、企 画を推進する	業、行政 市民会議	が男女 」を軸	平等参画 として明	回社会の 現状の認	り実現に	向け

款 02総務費

項 01総務管理費 目 13消費者行政推進費 事務事業番号 02011301

款 02総務費		総務管埋費		<u>目 13消費</u>				業番号	0201	11301
事業			年度		<u>財</u> _	源	内	訳		
担当部	『・課	(決	算額)	国道支出金	地	方債	そ(	の他	一般	財源
消費者行政推	進交付金事業			007						
市民生活部	市民生活課	967	千円	I 967 <del>↑</del>	버	千円		千円		千円
根拠法令	消費者安全法	──────────────────────────────	- 注	ļ.						
					# IE ^	E! "	^			
実施方法 	┃ ■ 直接実施	□ 業務多		■ 補助金						
	消費者及び消									
┃ ┃ 事業の目的・対象	活用した事業									
事未の口的・対象	被害の救済を				に必要な	は情報や	知識を	普及す	ること	により
	被害の未然防.	止、拡大防止	を図り	ます。						
	<b>亚版一年</b> 0	<i>+</i> 、₩ # + : -		F - 184-1 -	- 4 > 1 1 -	= 00 40 54	,	°¥= ₩±±		mu=±1
** • · · ·		な消費者トラ								
事業の必要性	応するために									な消費
	生活を営むた	めに消費生活	に関す	る知識の啓発	で相談窓	いった	川か必	安です	0	
	1									
事業の内容	   ** # 上 · · ·	+ロ=火 <i>□ *</i> * ・ ・*	` u ==	<del>~</del> +₩						
		相談員等レベ			·	п <i>И</i>		5 <del> 1 1 - 1</del>	<b>+</b> 1	
SDGs17の目標		相談員等の対								0
	• 研修場			原市(国民生				4 回	4人	
12 cand 11 campina	_ τπ μσ =				蘭市 1			ナムト	の治事	<b>开江</b> +
$\bigcirc$	・咖疹で	ーマ:「情報								
	1			な法律知識」						
				、原状回復に			ノルと	件 次 力	本」な	ح
		における消費 の消費者被害					ユナグ	治ルナ	図 ス +-	ᄼ
		の消貨石被告 ンフレット等								
		フフレット寺 発を強化しま		で変有凶音、	古九川川	vu寺でЯ	(井八し、	、山門部	サニシノブ	
		元で強化しる の多様な主体		当典 老問題へ	の歌組ょ	」た汗州	ルオス	t-2h.	七八七	当典 <del>之</del>
		ンシイポなエ/キ 主催する「消								
		エ框りる「た								
		、否先アフク 布、配置を行				以口以	ᆸᄞᅭ	・インパ		c/D/M
		in, and Cli	v 注1万	~/ J五 IU C 区 ツ	60120					
	I									
						1 11	曲			
						人件				
	コスト			職員構成		算人件費	Ì		事職員	数
	コスト			職員構成	概:	算人件費 ×従事	記 間 間員数)		事職員	数
事業費	I	-T II		職員構成		算人件費 ×従事	Ì		事職員	i数 人
	コスト 967	千円				算人件費 ×従事	融員数) 2 千円 千円	0		人人
事業費 (R1年度決算額)	967			担当正規職員		算人件費 ×従事	<ul><li>融員数)</li><li>至 千円</li><li>千円</li><li>1 千円</li></ul>	0		人 人 人
事業費	I			担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル)		算人件費 × 従事 5,76	<ul><li>融員数)</li><li>至 千円</li><li>千円</li><li>1 千円</li></ul>	0	. 82	人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	967	) 千円		担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル)		算人件費 × 従事 5,76	計 職員数) 2 千円 千円 1 千円	0	. 82	人 人 人
事業費 (R1年度決算額)	967	) 千円		担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 耳任用(ハ-フ) 任期付職員		算人件費 F×従事 5,762	<ul><li>計</li><li>計</li><li>計</li><li>計</li><li>十</li><li>円</li><li>十</li><li>円</li><li>十</li><li>円</li><li>千</li><li>円</li></ul>	0	. 82	人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	967	) 千P 6 千P		担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル)	(平均給与	算人件費 × 従事 5, 76 9 22	2 千円 千円 千円 千円 千円 千円	0	. 02	人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	967 6, 079 7, 046	) 千P ) 千P 指標名		担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 耳任用(ハ-フ) 任期付職員	(平均給与	算人件費 5,76 9 22 R1年	を は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	0 0 0 0 H30年度	. 02	人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	967 6, 079 7, 046 消費生活相談	) 千P 6 千P 指標名 員研修参加支	9	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位回	算人件費 - × 従事 5, 76 9 22 R1年 12	2 第 4 第 4 第 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 6 4 1 7 1 7 1 6 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7	0 0 0 H30年度	. 02	人 人 人 人 人 人 14
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	967 6, 079 7, 046	) 千P 6 千P 指標名 員研修参加支	9	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位回	算人件費 5,76 9 22 R1年	2 第 4 第 4 第 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 6 4 1 7 1 7 1 6 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7	0 0 0 0 H30年度	. 02	人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	967 6,079 7,046 消費生活相談 苫小牧消費者協	) 千F 千F 指標名 員研修参加支 会補助金事業	99 4 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位回	算人件費 - × 従事 5, 76 9 22 R1年 12	2 第 4 第 4 第 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 6 4 1 7 1 7 1 6 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7	0 0 0 H30年度	. 02	人 人 人 人 人 人 14
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	967 6, 079 7, 046 消費生活相談	) 千F 千F 指標名 員研修参加支 会補助金事業	99 4 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位回回回	算人件費 - × 従事 5, 76 9 22 R1年 12	2 第 4 第 4 第 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 6 4 1 7 1 7 1 6 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7	0 0 0 H30年度	. 82 . 02 . 06	人 人 人 人 人 人 14
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	967 6,079 7,046 消費生活相談 苫小牧消費者協 事業の有効性	か果の達成 (効果の達成	明	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位回回回	算人件費 → X 従事 5, 76: 9 22: R1年 12 2	2 第 4 第 4 第 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 6 4 1 7 1 7 1 6 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7	0 0 0 H30年度 12 4	. 82 . 02 . 06	人 人 人 人 人 人 14
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	967 6,079 7,046 消費生活相談 苫小牧消費者協 事業の有効性	) 千F 千F 指標名 員研修参加支 会補助金事業	明	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位回回回	算人件費 - × 従事 5, 76: 9 22: R1年 12 2	2 第 4 第 4 第 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 6 4 1 7 1 7 1 6 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7	0 0 0 H30年度 12 4	. 82 . 02 . 06	人 人 人 人 人 人 14
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	967 6,079 7,046 消費生活相談 苫小牧消費者協 事業の有効性 事業の効率	か果の達成 (効果の達成	明	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位回回回	算人件費 = × 従事 5, 76: 9 22: R1年 12 2	2 千円 千円 1 千円 6 千円 度	0 0 0 H30年度 12 4	. 82 . 02 . 06 . H29	人 人 人 人 人 9年度 14
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	967 6,079 7,046 消費生活相談 苫小牧消費者協 事業の有効性 事業の効率	かまります。 一年 指標名 員研修参加支 会補助金事業 (効果の達成 性(費用対効 ンター等で開	り ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ・セミナー開催	単位回回の派遣への派遣	算人件費 - × 従事 - 5, 76: 9 22: R1年 12 2 □ 中 □ 中	2 千千千千 6 千千千 法律	0 0 0 H30年度 12 4	. 82 . 02 . 06 . H2: . 低低低	人 人 人 人 り年度 14 4
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	967 6,079 7,046 消費生活相談 苫小牧消費者協 事業の有効性 事業の効率 国民生活セ	チャッチャック イド イド イド イド	り ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ・セミナー開催	(平均給与 単位 回回 の派遣 でプが図ら	算人件費 F × 従事 5, 76: 9 22: R1年 12 2 口中 口中 いられてい	2 2 1 1 6 6 度 : : : : : : : : : : : : : : : : :	0 0 0 H30年度 12 4	. 82 . 02 . 06 . H2: . 低低知讃費者	人 人 人 人 り 年度 14 4 よ 会 が 会 が 会 が る の の の の の の の の の の の の の の の の の の
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	967 6,079 7,046 消費生活相談 苫小牧消費者協 事業の有効性 事業の効率 国民生活セ く習得するこ	チャック イド イ	19 円 日 3 接費生活 次 大 別 作 相 一 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 セミナー開催 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(平均給与 単位 回回 のがが、 でかった、 でかった。	算人件費 手×従事 5,76 9 22 R1年 12 2 中 中 られて被害	職2	0 0 0 H30年度 12 4	. 82 . 02 . 06 	人人人人人9年14よ協のり会連
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	967 6,079 7,046 消費生活相談 苫小牧消費者協 事業の有効性 事業の有効性 写民生するこ 開催したセミ	チャード イド イド イド イド イド イド イド イド イド 大学 (本本) 大学 (本本) 大学 (本本) 大学 (大学) インとナー できる (大学) インとナー イントー イントー イントー イントー イントー イントー イントー イント	リーリーの 名 援 消 、	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 セミナー開催 のイシるこのチーののチーののチーののチーののチーののチーののチーののチーののチーののチー	(平均給与単位 回回 のが図消れて) では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	算人件事 5,76 9 22 R1年 12 中中 たも さいあき	職2	0 0 0 H30年度 12 4	. 82 . 02 . 06 	人人人人人9年14よ協のり会連
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	967 6,079 7,046 消費生活相談 苫小牧消費者協 事業の有効性 事業の有効性 事業の対策 という はいい できます はい できます ここ により 消費者 さい できます により 消費者 さい できます かい こう にんしゅう はい かい	チャード イド イド イド イド イド イド イド イド イド 大学 (本本) 大学 (本本) 大学 (本本) 大学 (大学) インとナー (大学) イント・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	リーリーの 名 援 消 、	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 セミナー開催 のイシるこのチーののチーののチーののチーののチーののチーののチーののチーののチーののチー	(平均給与単位 回回 のが図消れて) では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	算人件事 5,76 9 22 R1年 12 中中 たも さいあき	職2	0 0 0 H30年度 12 4	. 82 . 02 . 06 	人人人人人9年14よ協のり会連
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	967 6,079 7,046 消費生活相談 苫小牧消費者協 事業の有効性 事業の有効性 事業の対策 という はいい できます はい できます ここ により 消費者 さい できます により 消費者 さい できます かい こう にんしゅう はい かい	チャード イド イド イド イド イド イド イド イド イド 大学 (本本) 大学 (本本) 大学 (本本) 大学 (大学) インとナー (大学) イント・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	リーリーの 名 援 消 、	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 セミナー開催 のイシるこのチーののチーののチーののチーののチーののチーののチーののチーののチーののチー	(平均給与単位 回回 のが図消れて) では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	算人件事 5,76 9 22 R1年 12 中中 たも さいあき	職2	0 0 0 H30年度 12 4	. 82 . 02 . 06 	人人人人人9年14よ協のり会連3434
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	967 6,079 7,046 消費生活相談 苫小牧消費者協 事業の有効性 事業の有効を 日習得しり消く は高く 大き できる できる できる できる できる できる できる できる できる でき	チャード イド イド イド イド イド イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ	リーリーの なっぱ 大大	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期時職員 でのチ高高 研ル等こる でのチあているいるののののである。	(平均給与単位 回回 のが、られては、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	算人件事 5,76 9 22 R1年 12 2 中中 かった を表される。	1	0 0 0 H30年度 12 4	. 82 . 02 . 06 . H2: . M 低 知消一。	人人人人人9年14よ協のののののののののののののののののののののののののののののののののののの
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	967 6,079 7,046 消費生活相談 苫小牧消費者協 事業の有効対 国習催より高 はよるセ費、 性はは高 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	大円大円方大円方大円方大円 <td>リーリーの な 接着 大力 (根本) 関対 は は は は かり は がり に かり は かり は かり は かり かり は かり かり</td> <td>担当正規職員   選出</td> <td><ul><li>(平均給与</li><li>(平均給与</li><li>(平均位)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中</li></ul></td> <td>算人件事 5,76 9 22 R1年 12 2 中中 かけいに も なること</td> <td>  職2</td> <td>0 0 0 H30年度 12 4 以表す。 はやまたります。</td> <td>. 82 . 02 . 06 </td> <td>人人人人人       9年14       4       場合連有       川深が携効       し</td>	リーリーの な 接着 大力 (根本) 関対 は は は は かり は がり に かり は かり は かり は かり かり は かり	担当正規職員   選出	<ul><li>(平均給与</li><li>(平均給与</li><li>(平均位)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中)</li><li>(中</li></ul>	算人件事 5,76 9 22 R1年 12 2 中中 かけいに も なること	職2	0 0 0 H30年度 12 4 以表す。 はやまたります。	. 82 . 02 . 06 	人人人人人       9年14       4       場合連有       川深が携効       し
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	967 6,079 7,046 消費生活相談 苫小牧消費 効効 活るセ費、 ト制にはは 消相談 性率 セニミ者費 ラ強・	大円大円方大円方大円方大円 <td>リーリーの に 接着 一次 が が が が が が が が が が が が が が が が が が</td> <td>担当正規職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期時職員 一高高 研ル等こる・向 をアのとと 多けた。 をかずるい 雑に をかずるかき。</td> <td>(平均       単回       のが、らて       し発       (本) 2 市図え       <td< td=""><td>算 × 5,76; 9 220 年 12 2 中中 かいまも こめばいす こめばいす こめばいす こめばいす こめばいす こめい とま</td><td>  職 2</td><td>0 0 0 H30年度 12 4 以表する は、ワする だだいまする。 は、アする。</td><td>. 82 . 02 . 06 . 低低</td><td>人人人人人人度14よ協のの活活日本14り会連有用用日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本日本15日本日本日本日本15日本日本日本日本15日本日本日本日本日本15日本日本日本日本日本日本15日本日本日本日本日本日本日本15日本<t< td=""></t<></td></td<></td>	リーリーの に 接着 一次 が が が が が が が が が が が が が が が が が が	担当正規職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期時職員 一高高 研ル等こる・向 をアのとと 多けた。 をかずるい 雑に をかずるかき。	(平均       単回       のが、らて       し発       (本) 2 市図え       (本) 2 市図え <td< td=""><td>算 × 5,76; 9 220 年 12 2 中中 かいまも こめばいす こめばいす こめばいす こめばいす こめばいす こめい とま</td><td>  職 2</td><td>0 0 0 H30年度 12 4 以表する は、ワする だだいまする。 は、アする。</td><td>. 82 . 02 . 06 . 低低</td><td>人人人人人人度14よ協のの活活日本14り会連有用用日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本日本15日本日本日本日本15日本日本日本日本15日本日本日本日本日本15日本日本日本日本日本日本15日本日本日本日本日本日本日本15日本<t< td=""></t<></td></td<>	算 × 5,76; 9 220 年 12 2 中中 かいまも こめばいす こめばいす こめばいす こめばいす こめばいす こめい とま	職 2	0 0 0 H30年度 12 4 以表する は、ワする だだいまする。 は、アする。	. 82 . 02 . 06 . 低低	人人人人人人度14よ協のの活活日本14り会連有用用日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本日本15日本日本日本日本15日本日本日本日本15日本日本日本日本日本15日本日本日本日本日本日本15日本日本日本日本日本日本日本15日本 <t< td=""></t<>
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	967 6,079 7,046 消費小物子 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	チート イラ (性 ンとナ被用 ブ化て がます) で生発へっ い防ま で生発へっ い防ま でより でまりのがます かった でより	リーリーの に 接着 一次 が が が が が が が が が が が が が が が が が が	担当正規職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期時職員 一高高 研ル等こる・向 をアのとと 多けた。 をかずるい 雑に をかずるかき。	(平均       単回       のが、らて       し発       (本) 2 市図え       (本) 2 市図え <td< td=""><td>算 × 5,76; 9 220 年 12 2 中中 かいまも こめばいす こめばいす こめばいす こめばいす こめばいす こめい とま</td><td>  職 2</td><td>0 0 0 H30年度 12 4 以表する は、ワする だだいまする。 は、アする。</td><td>. 82 . 02 . 06 . 低低</td><td>人人人人人人度14よ協のの活活日本14り会連有用用日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本日本15日本日本日本日本15日本日本日本日本15日本日本日本日本日本15日本日本日本日本日本日本15日本日本日本日本日本日本日本15日本<t< td=""></t<></td></td<>	算 × 5,76; 9 220 年 12 2 中中 かいまも こめばいす こめばいす こめばいす こめばいす こめばいす こめい とま	職 2	0 0 0 H30年度 12 4 以表する は、ワする だだいまする。 は、アする。	. 82 . 02 . 06 . 低低	人人人人人人度14よ協のの活活日本14り会連有用用日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本日本15日本日本日本日本15日本日本日本日本15日本日本日本日本日本15日本日本日本日本日本日本15日本日本日本日本日本日本日本15日本 <t< td=""></t<>
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	967 6,079 7,046 消費生活相談 苫小牧消費 効効 活るセ費、 ト制にはは 消相談 性率 セニミ者費 ラ強・	チート イラ (性 ンとナ被用 ブ化て がます) で生発へっ い防ま で生発へっ い防ま でより でまりのがます かった でより	リーリーの に 接着 一次 が が が が が が が が が が が が が が が が が が	担当正規職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期時職員 一高高 研ル等こる・向 をアのとと 多けた。 をかずるい 雑に をかずるかき。	(平均       単回       のが、らて       し発       (本) 2 市図え       (本) 2 市図え <td< td=""><td>算 × 5,76; 9 220 年 12 2 中中 かいまも こめばいす こめばいす こめばいす こめばいす こめばいす こめい とま</td><td>  職 2</td><td>0 0 0 H30年度 12 4 以表する は、ワする だだしまする。 は、アする。 は、アオートによっては、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで</td><td>. 82 . 02 . 06 . 低低</td><td>人人人人人人度14よ協のの活活日本14り会連有用用日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本日本15日本日本日本日本15日本日本日本日本15日本日本日本日本日本15日本日本日本日本日本日本15日本日本日本日本日本日本日本15日本<t< td=""></t<></td></td<>	算 × 5,76; 9 220 年 12 2 中中 かいまも こめばいす こめばいす こめばいす こめばいす こめばいす こめい とま	職 2	0 0 0 H30年度 12 4 以表する は、ワする だだしまする。 は、アする。 は、アオートによっては、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	. 82 . 02 . 06 . 低低	人人人人人人度14よ協のの活活日本14り会連有用用日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本15日本日本日本日本15日本日本日本日本15日本日本日本日本15日本日本日本日本日本15日本日本日本日本日本日本15日本日本日本日本日本日本日本15日本 <t< td=""></t<>
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	967 6,079 7,046 消費小物子 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	チート イラ (性 ンとナ被用 ブ化て がます) で生発へっ い防ま で生発へっ い防ま でより でまりのがます かった でより	リーリーの に 接着 一次 が が が が が が が が が が が が が が が が が が	担当正規職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期時職員 一高高 研ル等こる・向 をアのとと 多けた。 をかずるい 雑に をかずるかき。	(平均       単回       のが、らて       し発       (本) 2 市図え       (本) 2 市図え <td< td=""><td>算 × 5,76; 9 220 年 12 2 中中 かいまも こめばいす こめばいす こめばいす こめばいす こめばいす こめい とま</td><td>  職 2</td><td>0 0 0 H30年度 12 4 以表する は、ワする だだしまする。 は、アする。 は、アオートによっては、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで</td><td>. 82 . 02 . 06 . 低低</td><td>人人人人人人度9年4よ協のの活活日期場合場合日期日期</td></td<>	算 × 5,76; 9 220 年 12 2 中中 かいまも こめばいす こめばいす こめばいす こめばいす こめばいす こめい とま	職 2	0 0 0 H30年度 12 4 以表する は、ワする だだしまする。 は、アする。 は、アオートによっては、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	. 82 . 02 . 06 . 低低	人人人人人人度9年4よ協のの活活日期場合場合日期日期
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	967 6,079 7,046 消費小物子 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	チート イラ (性 ンとナ被用 ブ化て がます) で生発へっ い防ま で生発へっ い防ま でより でまりのがます かった でより	リーリーの に 接着 一次 が が が が が が が が が が が が が が が が が が	担当正規職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期時職員 一高高 研ル等こる・向 をアのとと 多けた。 をかずるい 雑に をかずるかき。	(平均       単回       のが、らて       し発       (本) 2 市図え       (本) 2 市図え <td< td=""><td>算 × 5,76; 9 220 年 12 2 中中 かいまも こめばいす こめばいす こめばいす こめばいす こめばいす こめい とま</td><td>  職 2</td><td>0 0 0 H30年度 12 4 以表する は、ワする だだしまする。 は、アする。 は、アオートによっては、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで</td><td>. 82 . 02 . 06 . 低低</td><td>人人人人人人度9年4よ協のの活活日期場合場合日期日期</td></td<>	算 × 5,76; 9 220 年 12 2 中中 かいまも こめばいす こめばいす こめばいす こめばいす こめばいす こめい とま	職 2	0 0 0 H30年度 12 4 以表する は、ワする だだしまする。 は、アする。 は、アオートによっては、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	. 82 . 02 . 06 . 低低	人人人人人人度9年4よ協のの活活日期場合場合日期日期
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業素) 自己評価 自己評価の理由	967 6,079 7,046 消費小物子 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	チート イラ (性 ンとナ被用 ブ化て がます) で生発へっ い防ま で生発へっ い防ま でより でまりのがます かった でより	リーリーの に 接着 一次 が が が が が が が が が が が が が が が が が が	担当正規職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期時職員 一高高 研ル等こる・向 をアのとと 多けた。 をかずるい 雑に をかずるかき。	(平均       単回       のが、らて       し発       (本) 2 市図え       (本) 2 市図え <td< td=""><td>算 × 5,76; 9 220 年 12 2 中中 かいまも こめばいす こめばいす こめばいす こめばいす こめばいす こめい とま</td><td>  職 2</td><td>0 0 0 H30年度 12 4 以表する は、ワする だだしまする。 は、アする。 は、アオートによっては、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで</td><td>. 82 . 02 . 06 . 低低</td><td>人人人人人人度9年4よ協のの活活日期場合場合日期日期</td></td<>	算 × 5,76; 9 220 年 12 2 中中 かいまも こめばいす こめばいす こめばいす こめばいす こめばいす こめい とま	職 2	0 0 0 H30年度 12 4 以表する は、ワする だだしまする。 は、アする。 は、アオートによっては、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	. 82 . 02 . 06 . 低低	人人人人人人度9年4よ協のの活活日期場合場合日期日期
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価の理由	967 6,079 7,046 消費小物子 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	チート イラ (性 ンとナ被用 ブ化て がます) で生発へっ い防ま で生発へっ い防ま でより でまりのがます かった でより	リーリーの に 接着 一次 が が が が が が が が が が が が が が が が が が	担当正規職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期時職員 一高高 研ル等こる・向 をアのとと 多けた。 をかずるい 雑に をかずるかき。	(平均       単回       のが、らて       し発       (本) 2 市図え       (本) 2 市図え <td< td=""><td>算 × 5,76; 9 220 年 12 2 中中 かいまも こめばいす こめばいす こめばいす こめばいす こめばいす こめい とま</td><td>  職 2</td><td>0 0 0 H30年度 12 4 以表する は、ワする だだしまする。 は、アする。 は、アオートによっては、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで</td><td>. 82 . 02 . 06 . 低低</td><td>人人人人人人9年4よ協のの活活月日り会連有用用原本原本原本日期日期</td></td<>	算 × 5,76; 9 220 年 12 2 中中 かいまも こめばいす こめばいす こめばいす こめばいす こめばいす こめい とま	職 2	0 0 0 H30年度 12 4 以表する は、ワする だだしまする。 は、アする。 は、アオートによっては、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	. 82 . 02 . 06 . 低低	人人人人人人9年4よ協のの活活月日り会連有用用原本原本原本日期日期

款 02総務費

項 02企画費

目 01企画調整費

	47	D4 4	- <del>    -</del>		財	泗	т.	=0		
非核平和 総合政策部 i	_	R1年				源	内	訳	45	
総合政策部	***	(決算	4額)	国道支出金	定 地ス	5債	そ(	の他	一般	財源
	]事業	690	千円	,	·H	千円		千円	690	千円
	政策推進課	] 090	71	'		十円		구버	090	十円
┃ 根拠法令	苫小牧市非核平和条 <sup>6</sup>	 例		•				!		
実施方法		業務委	<b>红笙</b>	□ 補助金	- 白 田 今	. Bh ch-	<del></del>			
大心力压										T- =15 4 4
事未の日的・対象	核兵器使用の緊張: 年に「苫小牧市非核: 間らしく生活できる: ばなりません。	平和条件	列」を	制定しました	こ。世界か	ヽら核兵	器の脅	対域が消!	えない	今、人
事業の必要性	戦争体験者の高齢 でいくため、本事業						す。次	(代に平	和を語	り継い
SDGs17の目標	1 中学生広島派遣 核兵器の恐ろし を目的に、中学生 した。 次代を担う子ど 参加しています。	さや平利 を広島県	!へ派	遣し被爆体駅	検講話 や被	<b>と爆関連</b>	施設σ	)見学等	を実施	しま
	<ol> <li>原爆パネル展 広島と長崎に投 さを広く市民に知 さを訴えるパネル</li> <li>平和の折り鶴</li> </ol>	らせると	ととも	に、二度と単						
	3 平和の折り鶴 市役所・コミセ り鶴を作成してい。 で平和祈念公園に	ただきる	ました	。集まった抗						
						人件	費			
=	コスト			職員構成	概:	算人件費 -×従事		従	事職員	数
事業費 (R1年度決算額)	690	千円		担当正規職員 嘱託職員		3, 514	4 千円 千円	]	). 5	人人
人件費	3, 514	千円	) <u> </u>	再任用(フル) 再任用(ハーフ)			千円 千円	]		人人
総計	4, 204	千円		任期付職員 臨時職員			千円 千円	l		人人
		指標名			単位	R1年	度	H30年度	H29	年度
評価指標 「	原爆パネル展来場者	数			人	740	)	350	5	30
(事業実績)							<del>-  </del>		<del>-   -  </del>	
						<b> </b>			+	
	+ slk = 1112	_ ,_ 1.	h >= :	I = -		<u></u>				
自己評価	事業の有効性(効果			口高		■中				
	事業の効率性(費	用対効	果)	□高		■中			低	
	恒久平和の実現の: が何よりも重要です。 り、平和意識の醸成	。条例制	引定以	降、毎年絶り	らすことな	く事業	を実施	してき	たことに	こよ
今後の方向性等	より多くの市民の: す。そのために、折 来場していただける: す。	り鶴のコ	コーナ	一設置、原煤	暴パネル属	関催の	際は、	少しで	も多くī	市民に

款 02総務費

項 02企画費

| 1 01企画調整費 | 事務事業番号 | 02020102

事業	名	R1年度			財	源	内	訳		
担当部	₿・課	(決算額)		国道支出金	地方	]債	その	)他	一般則	才源
北海道新幹線×nittani	地域戦略会議活動事業	6, 718	千円	<del>f</del> P		千円	4, 000	<b>エ</b> 田	2, 718	千円
総合政策部	政策推進課	,				111	4, 000		Z, /10	
根拠法令	北海道新幹線×nitta	an地域戦略	会請	義設置要綱						
実施方法	□ 直接実施 □	業務委託等	F	■ 補助金	・負担金	<ul><li>助成:</li></ul>	金			
事業の目的・対象	北海道新幹線札幌ならないために、関性化を図ることを目	係自治体と	の地	也域間連携を						
事業の必要性	本格的な人口減少 小を防ぐためには交 なった情報発信によ	流人口の拡	大に	こより経済活	性化を図	ること	が重要	であり	、地域一	-体と
 事業の内容										
	(1) 情報戦略事業 はこだてグルメーツールの作成など (2) 観光戦略事業	サーカス20 により、ウ	)19特 'ポオ	寺別企画の出 ポイ及び日胆	展など、 地域の認	道内外 知度向	·のイベ  上を図	ントへ。 りまし	の出展 <i>や</i> た。	>PR
★単一	(2) 観光戦略事業 森蘭航路クルー ほか、旅行商談会 また、ウポポイン ポポイ来場者を結	に参加し、 オープン後	森康 のE	蘭航路と日胆 ∃胆地域の周	地域の観 遊を促進	光資源 するた	のPRを :め、地	実施し 域内の	ました。 観光資源	きとウ
	(3) 交通戦略事業 2030年度に予定 するため、「北海: 化の把握、現状の	道新幹線利	用き	<b>皆動向等調査</b>	」を実施					
						人件	費			
	コスト			職員構成	概算 (平均給与	算人件費 -×従事		—— 従	事職員数	女
事業費 (R1年度決算額)	6, 718	千円(	_	当正規職員 嘱託職員		5, 622	2 千円 千円	(	). 8	人人
人件費	5, 622	千円	_	4任用(フル) 4任用(ハーフ)			千円 千円			人人
———— 総 計	12, 340	千円		任期付職員			千円			人
1/10 H I	,			臨時職員	- w /1		千円	·	1	_ 人
		指標名			単位	R1年	度   1	130年度	H294	年度
評価指標					$\perp$					
(事業実績)										
	+ * • + 1   / 1   T	- >+ -1: U) >F							1	
自己評価	事業の有効性(効果		(;)	高		<b>■</b> 中				
	事業の効率性(費	用对効果)		□高		■中			<b>也</b>	
自己評価の理由	函館市など道内他: めとしたアイヌ文化 ポポイ開設後の日胆: 検討しなければなら	の発信及び 地域におけ	復興	興支援への感 間遊促進や北	謝を伝え 海道新幹	る取組 徐線札幌	を行い 延伸に	ました。 向けて	。一方で の事業展	、 け 関 芽
事業の課題、 今後の方向性等	令和2年度以降、 た活動を行っていく し、引き続き構成団	とともに、	こ∤	1までの取組						

款 02総務費

項 02企画費

目 01企画調整費

事務事業番号 02020103

事業		R1年度			財	源	内	訳		
担当音		(決算額)	)	国道支出金	〕 地	方債	その	D他	一般	財源
定住自立圏構		231 <del>1</del>	一円	Ŧ	刪	千円		千円	231	千円
総合政策部	政策推進課									
根拠法令	定住自立圏構想推進									
実施方法 	■ 直接実施 □	業務委託等	F	□ 補助金	・負担金	・助成	<u>金</u>			
事業の目的・対象	圏域市町が持つ都 圏域の住民が将来に 域づくりの取組を推	わたり安全								
事業の必要性	我が国は本格的な人口化・地方分権改革の推進市町がそれぞれの持つ個るとともに、都市機能や	など、より- 1性を尊重した	- 層原	厳しさを増する ら、相互に連 <mark>打</mark>	ことが予 <b>た</b> 隽・協力し	<sup>思されます</sup> 、圏域全	└。東胆技 体で生活	辰圏域にお に必要な	いても 機能を配	圏域の 霍保す
事業の内容	 (1) 東胆振定住自立   平成28年度まで				要摆相:	ke 타스 レ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	佐  ア	\±   -	t- <del>1</del> 18
SDGs17の目標	〒成20年度より定   平成29年度より定   共生ビジョンにつ	住自立圏担	当訓	果長会議と名						
3 #***** 4 #****************************	(2) 共生ビジョン懇 共生ビジョンに 共生ビジョン懇談 開催しました。	談会 関係者等の	意見	見を反映する						
11 GABUGAS	(3) 東胆振定住自立 共生ビジョンに ました。					4 町の首	長によ	る懇談会	€を開作	崔し
A de	(4) 東胆振定住自立 1市4町の取組					にした共	连通返礼	品を作斥	戈しま!	した。
						人件	·費			
	コスト			職員構成		₹算人件費 与×従事		従事	事職員	数
事業費 (R1年度決算額)	231	千円	担	当正規職員 嘱託職員		3, 51	4 千円 千円		. 5	人人
人件費	3, 514	≠円≺	再	4任用(フル) 4任用(ハーフ)			千円 千円			人人
総計	3, 745	千円	_1	任期付職員 臨時職員			千円			人
		指標名			単位	<del></del>		H30年度	H29	年度
評価指標	東胆振定住自立圏担				<u> </u>	1		1		1
事業実績)	共生ビジョン懇談会	の実施				2		1	1	1
	意見交換会	0 1± -1: 1: 1: 1: 1: 1: 1: 1: 1: 1: 1: 1: 1: 1	\		□	<u> </u>		1	<u> </u>	1
自己評価	事業の有効性(効果	. —	,)	一高		<b>■</b> 中				
自己評価の理由	事業の効率性(費 平成27年10月に策間)の改定に向け、 らかにし、計画どお また、1市4町の す。	定した東胆 検討会や懇 り令和2年	談会 ~ (	会を実施しま 6 年までの新	€した。  fたな共:	圏域の将 生ビジョ	子 来像や ンを策	具体的I 定しまし	までの! 対組内? した。	容を明
事業の課題、 今後の方向性等	圏域の住民が将来 地域づくりに向けて								戈と魅;	カある
特記事項										

款 02総務費

項 02企画費

款 02総務費	項 02企	:画費		目 01企画	調整費		<u> </u>	業番号	02020104
事業	名	R1:	年度		財	源	内	訳	
担当部	₿・課	(決:	算額)	国道支出金	・ 地ブ	5債	その	)他	一般財源
ふるさと納				, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		-			
	政策推進課	<del> </del> 259, 53	34 千円	<b> </b>	円	千円	259, 534	4 千円	千円
	以來推進誅								
根拠法令									
実施方法	■ 直接実施	■ 業務委	<b>き託等</b>	□ 補助金	・負担金	<ul><li>助成金</li></ul>	金		
事業の目的・対象	ふるさと納税 のPRにつなげる 返礼品の贈呈	ことを目的	として	実施していま	ます。				
	返礼品として ができるほか、 から、必要性が	寄附金を利	用する	ことで、より					
事業の内容 SDGs17の目標 11 1455000	◆事業沿革 平成27年9月 平成27年12月					ルサイ	トでの	受付開始	à
	平成27年12月 平成28年4月 平成28年12月 平成30年4月 平成30年4月	より返礼品 よりクレジ より業務委 よりマルチ	の品数 ット決 託開始	及び対象金額 斉を導入(※	頭のカテコ (寄附金額		増加		
	返礼品の追加		品)			人件	弗		
	コスト			職員構成	概算 (平均給与	算人件費		———— 従事	事職員数
事業費 (R1年度決算額)	259, 534	千円	1 ( 1	旦当正規職員 嘱託職員		3, 514	千円	0.	5 人
人件費	3, 967	千円	」)	再任用(フル) 耳任用(ハーフ)			千円		<u> </u>
総計			7   -						, ,
	263, 501	千円		任期付職員 臨時職員			千円 3 千円	0.	人 2 人
	263, 501	千円 指標名			単位	453 R1年J	千円		人
評価指煙	·						度 上	0. <del>1</del> 30年度	人 2 人 H29年度
評価指標(事業実績)	寄附金額				千円	R1年J	B 千円 度 h	0. <del>1</del> 30年度 267, 652	人 2 人 H29年度 147, 381
評価指標 (事業実績)	·					R1年/	B 千円 度 h	0. <del>1</del> 30年度	人 2 人 H29年度
	寄附金額寄附件数	指標名	i E	臨時職員	千円 件	R1年/ - -	B 千円 度 h	0. <del>1</del> 30年度 267, 652 18, 318	人 2 人 H29年度 147, 381 12, 010
(事業実績) 	寄附金額 寄附件数 事業の有効性(	指標名 効果の達成	: (大況)	臨時職員	千円 件	R1年/	B 千円 度 h	0. H30年度 267, 652 18, 318	人 2 人 H29年度 147, 381 12, 010
	寄附金額寄附件数	指標名 効果の達成	: (大況)	臨時職員	件	R1年/ - -	B 千円 度 h	0. <del>1</del> 30年度 267, 652 18, 318	人 2 人 H29年度 147, 381 12, 010
(事業実績)	寄附金額 寄附件数 事業の有効性(	指標名 効果の達成 (費用対効 及びふるさ た。それに	状況) 具) と納税	臨時職員 ■ 高 ■ 高 制度自体の認	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	R1年) - - - - ロ中 ロ中	B 千円 度 ト 2	0. 130年度 267, 652 18, 318 口仰 年度寄隆	人 2 人 H29年度 147, 381 12, 010 低 低
自己評価	寄附金額 寄附件数 事業の有効性( 事業の効率性 返礼品の充実 上回る実績でし	指標名 効果の達成 の費用対効 みがいるない した。	大沢() は、大沢() は、大	臨時職員 ■ 高高 ■ 高高 制度自体の認 地元特産品も	千円 件 別知度の向送 が数多く送	R1年) 	3 度     りた       りた     りた	0. 130年度 267, 652 18, 318 口仰 年度寄附 小牧市の	人 2 人 H29年度 147, 381 12, 010 近 近 が知名度向上

款 02総務費

項 02企画費

 目 01企画調整費
 事務事業番号
 02020105

款 02総務實	垻 02企画費		日 UI企画	調全貨		<b>事務事業</b>	番号	02020	7103
事業	<b>美名</b>	R1年度		財	源	内	訳		
担当音	<b>『・課</b>	(決算額)	国道支出金	迚 地方	債	そのイ	他	一般見	<b></b> す源
市民自治	推進事業	0.10		_		224			
	· 男女平等参画室	919 <del>T</del>	円 千	円	千円	291	千円	628	千円
根拠法令	苫小牧市自治基本条			<b>_</b> iil			!		
実施方法		業務委託等		· • 負担金	. 助战	<u>~</u>			
大心力仏							- 1 .		
	まちづくりの理念						[ ع ب	の美地	見し回
事業の目的・対象	け、市民及び各種団   苫小牧市自治基本						7 () =	+ P 占 2	40±
	古小秋川日石墨本   ちづくりを推進しま		大川 (八) 大学 (川) (川) 大学 (川) 大学 (川) 大学 (川) 大学 (川	てかりの地上	な延1」	日垤で区	19, 1	יובאון	<b>-</b> のよ
	グライダを推進しよ	9 0							
	地方分権の進展に	より、自治化	本への権限の程	8譲が進め	られ、	自治体の	事務!	こ関する	る判断
事業の必要性	がより自主的に行え	るようになっ	っています。均	地域のこと	は地域	で決定す	る自言	主自立0	りまち
	づくりを進めるため	には、市民の	り理解と参加に	こよる行政	運営が	必要です	•		
事業の内容		1// N// A = ++ - F	<b>5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</b>		-	-			4
	1 苫小牧市民自治			- 1-	4000	ALCOHOL:	min	2-2	-
SDGs17の目標	さい牧市自治基					1		ENTEN T	A
47 35-h+-59/7t	た市長の附属機関 例の運用状況や市				A		The same	Bloom	
17 ####################################	いて審議しました		ひみら フくりい	- /	1	E.	1		
(XX)	して田城しよした	0			Sigh.				
$\omega$	2 市民自治のまち	づくりの周续	記について		[7	5民自治	推進会	铙議】	
	苫小牧市自治基			対象)に	周知す	るため、	市民国	自治のま	まちづ
	くりについての出	前講座を実施	<b>もしました。</b>	(市内1中	学校)				
	3 協働の取組につ				A 1114		- / 1	<b>-</b> 144 .	
	行政だけでは解								
	時の応援協力に関								
	│ また、個別の分 │ の締結に向けた取								
	りゃった   りゃっと   りゃっと   りゃっと   りゃっと   しゃっと   しゃっと	祖寺で囲し	こ、正未で国際	では一体の	/\— r	ノーシッ	/ /   -	よるよう	, ) \
	1 7 5 110 2 0 120								
					1 1/1	<del></del>			
					人件				
	コスト		職員構成		人件費			事職員	<u></u>
	コスト		職員構成	概算 (平均給与	人件費 ×従事職	<b>職員数)</b>		事職員数	数 
事業費	T	<b>∓</b> ⊞ (	担当正規職員		人件費 ×従事職	職員数)		事職員数	人
	コスト 919	千円(	担当正規職員		人件費 ×従事職	職員数) 3 千円 千円			人人
事業費 (R1年度決算額)	919	<del> </del>	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル)		人件費 ×従事職	職員数) 3 千円 千円 千円			人 人 人
事業費	T	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ)		人件費 ×従事職	<ul><li>裁員数)</li><li>器 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>			人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	919 9, 838	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員		人件費 ×従事職	<ul><li>裁員数)</li><li>3 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>			人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額)	919	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ)	(平均給与	i人件費 ×従事駅 9,838	<ul><li>職員数)</li><li>3 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	1	. 4	人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	919 9, 838 10, 757	千円 千円 指標名	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	Y人件費 ×従事服 9,838 R1年	<ul><li>競員数)</li><li>3 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>乗円</li><li>乗</li><li>H3</li></ul>	180年度	. 4 H29	人 人 人 人 人 人 人 大
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	919 9,838 10,757 市民意見提出手続(	千円 千円 指標名 パブリック:	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	i人件費 ×従事駅 9,838	<ul><li>競員数)</li><li>3 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>乗円</li><li>乗</li><li>H3</li></ul>	1 30年度 15	. 4	人 人 人 人 人 人 年度 30
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	919 9, 838 10, 757	千円 千円 指標名 パブリック:	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	Y人件費 ×従事服 9,838 R1年	<ul><li>競員数)</li><li>3 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>乗円</li><li>乗</li><li>H3</li></ul>	1 80年度 15 4	H29	人 人 人 人 人 女 年度 30 3
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	919 9,838 10,757 市民意見提出手続(	千円 千円 指標名 パブリック:	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	享人件費 ×従事耶 9,838 R1年 20	<ul><li>競員数)</li><li>3 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>乗円</li><li>乗</li><li>H3</li></ul>	1 30年度 15	H29	人 人 人 人 人 人 年度 30
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	919 9,838 10,757 市民意見提出手続( 市民自治のまちづく	千円 千円 指標名 パブリック: り出前講座	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位 件 回	享人件費 ×従事耶 9,838 R1年 20 1	<ul><li>競員数)</li><li>3 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>乗円</li><li>乗</li><li>H3</li></ul>	1 80年度 15 4	. 4	人 人 人 人 人 女 年度 30 3
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	919 9,838 10,757 市民意見提出手続( 市民自治のまちづく 市民自治推進会議 事業の有効性(効果	千円 千円 指標名 パブリック: り出前講座	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位 件 回 回	享人件費 ×従事耶 9,838 R1年 20 1	<ul><li>競員数)</li><li>3 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>乗円</li><li>乗</li><li>H3</li></ul>	1 80年度 15 4 5	. 4 H29	人 人 人 人 人 女 年度 30 3
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	919 9,838 10,757 市民意見提出手続( 市民自治のまちづく 市民自治推進会議	千円 千円 指標名 パブリック: り出前講座	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 コメント) (中学生対象)	単位 件 回 回	FA (	<ul><li>競員数)</li><li>3 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>乗円</li><li>乗</li><li>H3</li></ul>	1 80年度 15 4 5	. 4 H29	人 人 人 人 人 女 年度 30 3
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	919 9,838 10,757 市民意見提出手続( 市民自治のまちづく 市民自治推進会議 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	千円 千円 指標名 パブリック: り出前講座 の達成状況; 用対効果)	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 コメント) (中学生対象)	単位 件 回 回	I 人件費	<ul><li>競員数)</li><li>3 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>乗</li><li>H3</li></ul>	1 80年度 15 4 5	. 4 H29 (低	人 人 人 人 年度 30 3
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	919 9,838 10,757 市民意見提出手続( 市民自治のまちづく 市民自治推進会議 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	千円 千円 指標名 パブリック: り出前講座 の達成状況; 用対効果)	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 コメント) (中学生対象)	<ul><li>(平均給与</li><li>単位</li><li>件</li><li>回</li><li>回</li><li>こついての</li></ul>	FA ( FA (	畿員数) 3 千円 千千円 千千円 度 H3	1 60年度 15 4 5	. 4 H29 低低低	人 人 人 人 大 年度 30 3 2
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	919 9,838 10,757 市民意見提出手続( 市民自治のまちづく 市民自治推進会議 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 若年層を対象とし とで、市民参加に対	千円 千円 指標名 パブリ前講座 の達成状況 用対効果) た市民識の「	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 コメント) (中学生対象)	<ul><li>(平均給与</li><li>単位</li><li>件</li><li>回</li><li>回</li><li>こついての</li></ul>	FA ( FA (	畿員数) 3 千円 千千円 千千円 度 H3	1 60年度 15 4 5	. 4 H29 低低低	人 人 人 人 大 年度 30 3 2
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	919 9,838 10,757 市民意見提出手続( 市民自治のまちづく 市民自治推進会議 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	千円 千円 指標名 パブリ前講座 の達成状況 用対効果) た市民識の「	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 コメント) (中学生対象)	<ul><li>(平均給与</li><li>単位</li><li>件</li><li>回</li><li>回</li><li>こついての</li></ul>	FA ( FA (	畿員数) 3 千円 千千円 千千円 度 H3	1 60年度 15 4 5	. 4 H29 低低低	人 人 人 人 大 年度 30 3 2
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	919 9,838 10,757 市民意見提出手続( 市民自治のまちづく 市民自治推進会議 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 若年層を対象とし とで、市民参加に対	千円 千円 指標名 パブリ前講座 の達成状況 用対効果) た市民識の「	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 コメント) (中学生対象)	<ul><li>(平均給与</li><li>単位</li><li>件</li><li>回</li><li>回</li><li>こついての</li></ul>	FA ( FA (	畿員数) 3 千円 千千円 千千円 度 H3	1 60年度 15 4 5	. 4 H29 低低低	人 人 人 人 大 年度 30 3 2
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	919 9,838 10,757 市民意見提出手続( 市民自治のまちづく 市民自治推進会議 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 若年層を対象とし とで、市民参加に対	千円 千円 指標名 パブリ前講座 の達成状況 用対効果) た市民識の「	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 コメント) (中学生対象)	<ul><li>(平均給与</li><li>単位</li><li>件</li><li>回</li><li>回</li><li>こついての</li></ul>	FA ( FA (	畿員数) 3 千円 千千円 千千円 度 H3	1 60年度 15 4 5 ロイ	. 4 H29 低低低	人 人 人 人 大 年度 30 3 2
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	919 9,838 10,757 市民意見提出手続( 市民自治のまちづく 市民自治推進会議 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 若年層を対象とし とで、市民参加に対	千円 千円 指標名 パブリ前講座 の達成状況 用対効果) た市民識の「	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 コメント) (中学生対象)	<ul><li>(平均給与</li><li>単位</li><li>件</li><li>回</li><li>回</li><li>こついての</li></ul>	FA ( FA (	畿員数) 3 千円 千千円 千千円 度 H3	1 60年度 15 4 5 ロイ	. 4 H29 低低低	人 人 人 人 大 年度 30 3 2
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	919 9,838 10,757 市民意見提出手続( 市民自治のまちづ・市民自治推進会議事業の有効性(効果事業の効率性(費を対象を対象を対象を対象を対して、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	千円 円 名ック: おけい では から できる から では から できる から できる から できる から	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 コメント) (中学生対象) ■ 高 コまが着 コまが着 いっこう は、	単位 件回回 でのお 市民参加	<ul><li>・人件事事</li><li>9,838</li><li>R1年</li><li>20</li><li>1</li><li>中</li><li>中</li><li>前、</li><li>より</li></ul>	職員数) 3 千千円 千千千千 H3 座業のの有効	1 60年度 15 4 5 ロイ	. 4 H29 低低 低を進める	- 人 人 人 人 人 大 大 度 30 3 2 っ る っ る っ と っ い っ る っ と っ し っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業実績) 自己評価 自己評価の理由	919 9,838 10,757 市民意見提出手続( 市民自治の有効性( 市民自治推進会議事業の効率性( する対象を対対を対象を対象がある。 まで、定程度ある。まのはのである。まのはのである。まのはのである。までは、これによっては、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	千 代 パリ の 用 たすと く取 に 進歩の は 単 の は かん は かん は かん は かん は かん は かん かん は かん	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハ-フ) 任期時職員 コメウ生対象) □ ここここここここここここここここここここここここここここここここここここ	(平均給与単位 中回回 ついれてお 市す。	「A ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	職員数) 3 千千千千円 下千千千千 H3 ・ 協有対 ・ 協対	1 30年度 15 4 5 □ ( か) の取続 か性は高	. 4 H29 (低低低 組高くを図ると	人人人人人人食       30       3       2       50       3       2       50       3       2       50       3       2       50       3       2       5       5       6       6       7       8       9       9       10
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	919 9,838 10,757 市民意見提出手続でで、 市民自治推進会議事業の有効性ででで、 事業の有効率性である。 おのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	千 千 標プ出 達対 市る考 り組市 大変を とをを民 推進自	担当正規職員 再任用 (7µ) 再任用 (n-7) 任期時職員 本 ン学生高高 ・ 大学生高高 ・ 大学生高高 ・ 大学生高高 ・ 大学にある。 ・ た要がて ・ ためがて ・ ためがて ・ はいある。	(平均給与単位 中回回 でない では でも	「A (大件事事 (1) (1) (1) (2) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	選員数) 第1	1 30年度 15 4 5 0 か性は高 か性は高	. 4 H29 (低低低 組高くを図ると	人人人人人人食       30       3       2       50       3       2       50       3       2       50       3       2       50       3       2       5       5       6       6       7       8       9       9       10
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業実績) 自己評価 自己評価の理由	919 9,838 10,757 市民意見提出手続( 市民自治の有効性( 市民自治推進会議事業の効率性( する対象を対対を対象を対象がある。 まで、定程度ある。まのはのである。まのはのである。まのはのである。までは、これによっては、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	千 千 標プ出 達対 市る考 り組市 大変を とをを民 推進自	担当正規職員 再任用 (7µ) 再任用 (n-7) 任期時職員 本 ン学生高高 ・ 大学生高高 ・ 大学生高高 ・ 大学生高高 ・ 大学にある。 ・ た要がて ・ ためがて ・ ためがて ・ はいある。	(平均給与単位 中回回 でない では でも	「A (大件事事 (1) (1) (1) (2) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	選員数) 第1	1 30年度 15 4 5 0 か性は高 か性は高	. 4 H29 (低低低 組高くを図ると	人人人人人人食       30       3       2       50       3       2       50       3       2       50       3       2       50       3       2       5       5       6       6       7       8       9       9       10
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業実績) 自己評価 自己評価の理由	919 9,838 10,757 市民意見提出手続でで、 市民自治推進会議事業の有効性ででで、 事業の有効率性である。 おのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	千 千 標プ出 達対 市る考 り組市 大変を とをを民 推進自	担当正規職員 再任用 (7µ) 再任用 (n-7) 任期時職員 本 ン学生高高 ・ 大学生高高 ・ 大学生高高 ・ 大学生高高 ・ 大学にある。 ・ た要がて ・ ためがて ・ ためがて ・ はいある。	(平均給与単位 中回回 でない では でも	「A (大件事事 (1) (1) (1) (2) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	選員数) 第1	1 30年度 15 4 5 0 か性は高 か性は高	. 4 H29 (低低低 組高くを図ると	人人人人人人食       30       3       2       50       3       2       50       3       2       50       3       2       50       3       2       5       5       6       6       7       8       9       9       10
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業実績) 自己評価 自己評価の理由	919 9,838 10,757 市民意見提出手続でで、 市民自治推進会議事業の有効性ででで、 事業の有効率性である。 おのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	千 千 標プ出 達対 市る考 り組市 大変を とをを民 推進自	担当正規職員 再任用 (7µ) 再任用 (n-7) 任期時職員 本 ン学生高高 ・ 大学生高高 ・ 大学生高高 ・ 大学生高高 ・ 大学にある。 ・ た要がて ・ ためがて ・ ためがて ・ はいある。	(平均給与単位 中回回 でない では でも	「A (大件事事 (大件事事 (1) (1) (1) (2) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	選員数) 第1	1 30年度 15 4 5 0 か性は高 か性は高	. 4 H29 (低低低 組高くを図ると	人人人人人人食       30       3       2       50       3       2       50       3       2       50       3       2       50       3       2       5       5       6       6       7       8       9       9       10
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業実績) 自己評価 自己評価の理由	919 9,838 10,757 市民意見提出手続でで、 市民自治推進会議事業の有効性ででで、 事業の有効率性である。 おのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	千 指 パリ の 用 たすと く取ら が は 進め が は が は が は が は が は が は が は か が は が が は か が は か が が が が	担当正規職員 再任用 (7µ) 再任用 (n-7) 任期時職員 本 ン学生高高 ・ 大学生高高 ・ 大学生高高 ・ 大学生高高 ・ 大学にある。 ・ た要がて ・ ためがて ・ ためがて ・ はいある。	(平均給与単位 中回回 でない では でも	「A (大件事事 (大件事事 (1) (1) (1) (2) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	選員数) 第1	1 30年度 15 4 5 0 か性は高 か性は高	. 4 H29 (低低低 組高くを図ると	人人人人人人食       30       3       2       50       3       2       50       3       2       50       3       2       50       3       2       5       5       6       6       7       8       9       9       10

款 02総務費\_\_\_\_\_

 項 02企画費
 目 01企画調整費
 事務事業番号
 02020106

秋 U2総務負	垻 02正画負			<u> 日 01正周</u>			事務事		02020	-
事業		R1年			財	源	内	訳		
担当部	₿・課	(決算	(額)	国道支出金	と 地ス	方債	その	D他	一般則	<b>才源</b>
まちなか再生総合										
	<u>ちづくり推進課</u>	16, 511	十日	피 4, 050 <del>千</del>	·円	千円		千円	12, 461	千円
	りつくり推進跡									
根拠法令										
実施方法	■ 直接実施 ■	業務委	託等	■ 補助金	・負担金	・助成会	<del>È</del>			
事業の目的・対象	少子・高齢社会に (CAP) プログラム/ まちなか再生を推進	<b>%−</b> ト 3	(以							
事業の必要性	   人口減少・超高齢  暮らせるコンパクト 							進する	ため、歩	いて
事業の内容 SDGs17の目標	1 とまチョップPR事 2 まちなかイ、補 3 まちな対して開せまかんで、補助 3 まかをを発けしまなをを発すがでいる。 4 CAP啓発・・・ 「地域づく・・ も 子育て世代団体への	開金事たら」で接続を業のである。 いっぱん はいい はい いい はい いい はい いい はい かい はい かい はい かい いい はい かい	事まり けった。 はった。 はった。 はった。 はった。 はった。 はった。 はった。 は	・・・まちなかのにした。 魅力発信等を目 ・る関係者や市見した。 進事業・・・学生と	ぎわい創い 的とした 民を対象に 商店街の過	出を目的 「まちゼ した「ま 連携によ	とした。 ミ」を まちづく るまちな	イベント 開催する りフォー なかの環	団体に対 -ラム」& 境整備や	して なび
	行いました。 6 年まも・場所で自創連連携である。 7 まるちなかとの域が振っていまる。 7 まるながとの域が表する。 8 東胆し、東胆し、東胆し、東胆し、東胆は、東胆は、東胆は、東胆は、東胆は、東胆は、東胆は、東胆は、東田は、東田は、大田は、大田は、大田は、大田は、大田は、大田は、大田は、大田は、大田は、大	代や携よド全事まイ進、略の…	かん ド ド ド ド ド ド ド ド ド ド ド ド ド ボ ボ ボ ボ ボ ボ	場所づくり支援 開催等を実施す 本市のまちづく 派遣や市内施設 東胆振1市4町 コの増加を図る か居住を推進す	事業…CAF る団体に対 りに資する の手配なる の広域連携 取組を実施	アエリアに 対し、補い る取支援 きのよより をしました	:子ども3 助行う学校 行うでは を た。	や子育で を付しま 交に対し ました。 ブランド	で世代が気 した。 、企業、 の発信や	PRを
						人件:	費			
	コスト			職員構成	概算 (平均給与	算人件費		従	事職員数	ţ
事業費 (R1年度決算額)	16, 511	千円		担当正規職員 嘱託職員		21, 081	千円		3	人人
人件費	23, 348	千円	$\forall \ [$	再任用(フル) 再任用(ハーフ)			千円 千円			人人
総計	39, 859	千円		任期付職員			千円			人
小心 自1	39,039	717		臨時職員		2, 267	7 千円		1	人
		指標名			単位	R1年	度	130年度	H294	丰度
評価指標	まちなかの歩行者通		<u> 平日)</u>		人	24, 50		20. 606		
(事業実績)	まちなかの歩行者通				<del>\ \ \ \</del>	16, 99		16, 763	20,	
(予不入限/			小口!							
	公共・公益施設入込			<u> </u>	人	339, 8	88 3	367, 645 —		208
自己評価	事業の有効性(効果	の達成	状況)	口高		■中			低	
	事業の効率性(費	用対効	果)	口高		■中			<u></u>	
自己評価の理由	これまでのCAP3各 ちづくりに携わる機 た。今後、これらの げる必要があること	種事業? 会を創む ネット「	を通し、 出し、 フーク	今までとは違っを更に発展さ	<sup>建った形の</sup> させ、まち	Oにぎわ なかへ	いやつ の日常	ながりな	が生まれ	まし
事業の課題、 今後の方向性等	R1年度に、CAP3各 策定しました。今後 愛着)を育むまちづ 取組を進めていきま	はこの( くり」	CAP41	沿って、「シ	ノビックフ	プライド	(まち	なかの	新たな誇	りや
特記事項										

款 02総務費

項 02企画費

目 01企画調整費

事務事業番号 02020107

	4 <i>h</i>			6.1	'nΞ	-b -n	02020107
事業		R1年度		財	源	内 訳	
担当音	₿・課	(決算額)	国道支出统	と 地力	请	その他	一般財源
植苗・美沢地区コミコ	 Lニティバス運行事業						
	ちづくり推進課	6, 212 <del>+</del> 1	円 <sup>千</sup>	·円	千円	6, 212 <del>+</del> F	引 千円
		<u> </u> :巫 <i>+</i> >中 <i> </i>  :	<u> </u>	무 : +			
根拠法令	駐留軍等の再編の円						
実施方法	□ 直接実施 ■	業務委託等	□ 補助金	・負担金	<ul><li>助成:</li></ul>	金	
事業の目的・対象	植苗・美沢地区に 向上及び効率的運行			夏を運営し	.、地域	公共交通の維	<b>挂持、利便性の</b>
事業の必要性	地域住民の減少、 域に、予約型の運行 も必要な事業です。						
 事業の内容							
000 170 0 4							
SDGs17の目標	1 在日米軍の千歳 より検討を始めま 2 地域で運行して	した。					
	のデマンド交通に						3.13.
	■運行概要■ 1日3往復、6便	をジャンボタ	<b>タクシー</b> により	り運行して	います	。事前登録と	: 予約が必要で
	す。地域住民対象では限定されています	、自宅からず					
					人件	書	
	コスト		職員構成	概算 (平均給与	算人件費	4	<b>芷</b> 事職員数
事業費 (R1年度決算額)	6, 212	千円()	担当正規職員嘱託職員		2, 81	1 千円 千円	0.4 人
人件費	2, 811		再任用(フル)			千円	人
<b>4//&gt;</b> =⊥		<del></del>	任期付職員			千円	
総計	9, 023	千円					<u>,                                     </u>
総 計			臨時職員	出出	D1年	千円	人 人
		指標名		単位	R1年	千円 度 H30年』	人 人 度 H29年度
評価指標	予約運行率			%	57	千円       度     H30年月       59	人 人 度 H29年度 70
						千円 度 H30年 59	人 人 度 H29年度 70
評価指標	予約運行率 運行便数			%	57 1, 2	千円       度     H30年度       59       50     1, 298	人 人 度 H29年度 70 3 1,135
評価指標 (事業実績)	予約運行率 運行便数 利用員数	指標名	臨時職員	% 便 人	57 1, 25 2, 77	千円       度     H30年度       59       50     1,298       71     3,225	人 人 度 H29年度 70 3 1,135 5 3,310
評価指標	予約運行率 運行便数 利用員数 事業の有効性(効果	指標名 の達成状況)	臨時職員	% 便 人	57 1, 25 2, 7 □ 中	千円       度     H30年度       59       50     1,298       71     3,225	人 人 度 H29年度 70 3 1,135 5 3,310
評価指標 (事業実績)	予約運行率 運行便数 利用員数	指標名 の達成状況) 用対効果)	臨時職員 ■ 高 □ 高	% 便 人	57 1, 25 2, 77 □ 中 ■ 中	手円 度 H30年度 59 50 1,298 71 3,225	人 人 度 H29年度 70 3 1,135 5 3,310 1 低
評価指標 (事業実績) 自己評価	予約運行率 運行便数 利用員数 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	指標名の達成状況)用対効果)で通利で強力で通利で将るのでのであるのででである。	臨時職員 ■ 高	% 便 人 要 りががはなく で、ま残っ	57 1, 25 2, 77 □ 中 □ 中 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	千円 度 H30年原 59 50 1,298 71 3,225 ており、事業 不おり、事業	人 大 大 大 大 大 大 大 で 1,135 3,310 1低 1低 1の有効性は高 にります。 で でするがはあ
評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由 事業の課題、	予約運行率 運行便数 利用員数 事業の有効性(効果 事業の効率性(効果 事業の効率性(対 事業の効率性(対 事業の対 事業の対 がらはは、 で るののとは存がといる は存がといる は存がといる はなでとが はなる はながらない。 と はないと考えています。	指標名の文字を継続して、おりますのででは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、こ	臨時職員 ■ 高高	% 便 人 要 りががはない おおよく必ず ないよう まごればない はいかい まま ひき いま ひき いま 残って でき いっぱい はい かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かい	57 1, 25 2, 7 □ ■ せ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	千円 度 H30年原 59 50 1,298 71 3,225 ており、事業 用者構成増設や 運用の見通し に備え、コミ	人 大 大 大 大 大 70 3 1,135 5 3,310 1 低 1 低 5 の有効性は高 5 の有効性は高 5 です。 7 ではも見極める 5 ではも見極める

款 02総務費

項 02企画費

 目 01企画調整費
 事務事業番号
 02020108

# 事業名   日半年   財 源 内 歌   一般財源   内 歌   中   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	款 02総務實	垻 02企画費		日 01企画	調整實	争犯	<del>勞事業番号</del>	02020108
#前手約運行型バス運行事業 7.029 千円 千円 千円 千円 1円 7.029 千円 税拠法金 東施方法 ■ 議場議会 ■ 無動金・負担金・助成金 ■ 無助等後のバス路線において維持が困難な路線については、予約運行型バスとし、地域公共交通の維持、利便性の向上及び効率的連行を図ります。また、推前小学校に反映がから通学する児童を対象に、通学定期券代金の1/2を補助・表して、の利用促進を図ります。また、推行を含めま常に重要な交通手段であり、必要な事業です。	事業	<b>美名</b>			財	源	り 訳	
### (### ### ### ### ### ### ### ### ##	担当音	『・課	(決算額)	国道支出金	金 地方	債	その他	一般財源
要素の目的・対象  東京の内容  「中華の必要性  事業のの必要性  事業の必要性  事業の必要性  事業の必要性  事業の必要性  事業の必要性  事業の必要性  「特別では、アール・フェックを選出を対し、一般では、アール・関係では、アール・関係を受ける。 ののでは、アール・関係を受ける。 ののでは、アール・アール・人のでは、アール・アール・ル・アール・ル・オール・アール・ル・オール・ル・ル・ル・ル・ル・ル・ル・ル・ル・ル・ル・ル・ル・ル・ル・ル	樽前予約運行型	リバス運行事業	7 000 -				1.5	7.000
根拠法令	総合政策部 ま	ちづくり推進課	7,029 ∃	-14  +	-14	+141	十円	7, 029 +H
国籍接接								
事業の目的・対象  東京の目的・対象  東京の自的・対象  東京の必要性  東京の必要性  東京の必要性  東京の必要性  東京の内容  「予約運行型パスの利用促進を図ります。  東京の内容  「予約運行型パスの利用促進を図ります。  東京の内容  「予約運行型パスの利用促進を図ります。  東京の内容  「予約運行型パスの利用促進を図ります。  「予約運行型パスの利用促進を図ります。  「予約運行型パスの利用促進を図ります。  「予約運行型パスの利用促進を図ります。  「予約運行型パス事業」  「予約運行型パス事業」 「予約運行型パス事業」 「予約無して利用の能です。地域住民を含め、誰でも利用できます。 「市日まで)が必要です。  東京と多くの人が利用できるよう配慮し、運行効率を上げています。 「高行内容」 「海前小学技が信数化であるよう配慮し、運行効率を上げています。 「海行内容」 「海前小学技が信数化である。とから、市内各所から遠距離通学する児童の利用促進及び原定時定路線、平日2往復(4便)、土日祝2往復(6便) 「通行内容」 「海前小学技が情報とすることから、市内各所から遠距離通学する児童の利用促進及び原定の負担軽減を図るため、市内路線パスの通学定期券代金の1/2を補助しました。  「本産の負担軽減を図るため、市内路線パスの通学定期券代金の1/2を補助しました。  「本産の負担軽減を図るため、市内路線パスの通学定期券代金の1/2を補助しました。  「本産の負担軽減を図るため、市内路線パスの通学定期券代金の1/2を補助しました。  「本産の負担軽減を図るため、市内路線パスの通学定期券代金の1/2を補助しました。  「本産の負担軽減を図るため、市内路線パスの通学定期券代金の1/2を補助しました。  「本産の担保値 「予) 「・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		□ 古技宝体 ■	<b>坐</b>	■ 坩助会	台切仝	. 助战全		
事業の目的・対象 また、解前小学校に区域外から過学する児童を対象に、通学定期券代金の1/2を補助 また、解前小学校に区域外がら過ぎを対象に、通学定期券代金の1/2を補助 事業の内容 SDGs17の目標 事業の内容 SDGs17の目標 「予約連行型バス事業] 1 利用者は高齢者が多いことから、小学校の学室輸送時間帯などを定時定路線として、予約連して利用できます。 2 定時定路線以外の便は予約連行型としています。予約対象便は、利用登録と予約 「明まで」が必要です。 「事業概要」 「利用者は高齢者が多いことから、小学校の学室輸送時間帯などを定時定路線として、予約連して利用できます。 2 定時定路線以外の便は予約連行型としています。予約対象便は、利用登録と予約 「明まで」が必要です。 「事業概要」 「別りませい。 1 日間 1 日	大旭刀丛						マ かいま なこ エロ	مانا داگ
お動手段も含め非常に重要な交通手段であり、必要な事業です。   下の容	事業の目的・対象	域公共交通の維持、 また、樽前小学校	利便性の向 に区域外か	上及び効率的道 ら通学する児童	運行を図り 量を対象に	ます。		
【予約連行型パス事業】	事業の必要性						どが点在し	、地域住民の
【通学定期券代金補助事業】 神前小学校が特認校であることから、市内各所から遠距離通学する児童の利用促進及び家庭の負担軽減を図るため、市内路線パスの通学定期券代金の1/2を補助しました。    A	SDGs17の目標	1 利用者は高齢 利用者はで移動 1 予約無時で 2 で 前田で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1	が能の要 住利 2 いすはす だで 復 こ。予。 けき ( と地約 でる 4	域住民を含め、 運行型としてし はなく、遠距離 よう配慮し、過	誰でも利います。予 誰の特認通 重行効を 2 往復 (4	用できます 約対象便( 学小学生) 上げている 便)	す。 は、利用登 見童や、地	録と予約
事業費		  【通学定期券代金補   樽前小学校が特認	助事業】 校であるこ	とから、市内名	各所から遠	距離通学で 代金の1/2		
(R1年度決算額)		コスト		職員構成		10000000000000000000000000000000000000	数) 従	事職員数
大件費		7, 029	千円(					
### 8,434 千円 佐期付職員 千円 人 所用 4円 人 下円 人 所用 4円 人 利用 4	人件費	1, 405	千円			=	千円 千円	
指標名 単位 R1年度 H30年度 H29年度 利用者満足度 【予約運行型バス事業】 96 94 87 64 7利用者数 【予約運行型バス事業】 人 17,665 17,066 18,381 利用金額 【通学定期券代金補助事業】 千円 226 206 169 事業の有効性(費用対効果) □ 高 □ 中 □ 低 事業の効率性(費用対効果) □ 高 □ 中 □ 低 地域特性に合わせた運行に努め、地域及び児童通学の唯一の手段であるバスを運行しており、事業の有効性は高いと考えています。 通学定期券代金補助事業についても、長きに渡り町内会や学校、保護者から要請があった事業であり、実現後、地域等にも喜ばれていることから、事業の有効性は高いと考えています。 が・中学生の通学範囲により、運行キロや運行時間設定が毎年変わり、運行計画が大きく変更となることがあります。また、運行台数、運行時間の制限など要望どおりの時間設定が難しい状況です。 通学定期券代金補助事業について、特認校であるため学校の児童総数増加には限界があり、利用者の増加は見込めないと考えています。また、毎年度、児童の入学動向の把握が難しい面があります。	総計	8, 434	千円			=	f円	
評価指標 (事業実績) 利用者満足度【予約運行型バス事業】	1.0 11	·		<b>協時職員</b>				
(事業実績) 利用者数【予約運行型バス事業】				- all 7				
利用金額【通学定期券代金補助事業】 千円 226 206 169  事業の有効性(効果の達成状況) ■ 高 □ 中 □ 低  事業の効率性(費用対効果) □ 高 ■ 中 □ 低  地域特性に合わせた運行に努め、地域及び児童通学の唯一の手段であるバスを運行しており、事業の有効性は高いと考えています。 通学定期券代金補助事業についても、長きに渡り町内会や学校、保護者から要請があった事業であり、実現後、地域等にも喜ばれていることから、事業の有効性は高いと考えています。  ・・中学生の通学範囲により、運行キロや運行時間設定が毎年変わり、運行計画が大きく変更となることがあります。また、運行台数、運行時間の制限など要望どおりの時間設定が難しい状況です。 通学定期券代金補助事業について、特認校であるため学校の児童総数増加には限界があり、利用者の増加は見込めないと考えています。また、毎年度、児童の入学動向の把握が難しい面があります。  ・・特記事項					%			
事業の有効性(効果の達成状況) ■ 高 □ 中 □ 低 事業の効率性(費用対効果) □ 高 ■ 中 □ 低  地域特性に合わせた運行に努め、地域及び児童通学の唯一の手段であるバスを運行しており、事業の有効性は高いと考えています。 通学定期券代金補助事業についても、長きに渡り町内会や学校、保護者から要請があった事業であり、実現後、地域等にも喜ばれていることから、事業の有効性は高いと考えています。  小・中学生の通学範囲により、運行キロや運行時間設定が毎年変わり、運行計画が大きく変更となることがあります。また、運行台数、運行時間の制限など要望どおりの時間設定が難しい状況です。 通学定期券代金補助事業について、特認校であるため学校の児童総数増加には限界があり、利用者の増加は見込めないと考えています。また、毎年度、児童の入学動向の把握が難しい面があります。  株記事項  通学定期券代金補助事業について、苫小牧市樽前地区地域振興計画の22施策のうちの一	(事業実績)	利用者数【予約運行	型バス事業	]	人	17, 665	17, 066	18, 381
事業の効率性(費用対効果) □ 高 ■ 中 □ 低  地域特性に合わせた運行に努め、地域及び児童通学の唯一の手段であるバスを運行しており、事業の有効性は高いと考えています。 通学定期券代金補助事業についても、長きに渡り町内会や学校、保護者から要請があった事業であり、実現後、地域等にも喜ばれていることから、事業の有効性は高いと考えています。  小・中学生の通学範囲により、運行キロや運行時間設定が毎年変わり、運行計画が大きく変更となることがあります。また、運行台数、運行時間の制限など要望どおりの時間設定が難しい状況です。 通学定期券代金補助事業について、特認校であるため学校の児童総数増加には限界があり、利用者の増加は見込めないと考えています。また、毎年度、児童の入学動向の把握が難しい面があります。  歩記事項  通学定期券代金補助事業について、苫小牧市樽前地区地域振興計画の22施策のうちの一		利用金額【通学定期	券代金補助	事業】	千円	226	206	169
事業の効率性(費用対効果) □ 高 ■ 中 □ 低  地域特性に合わせた運行に努め、地域及び児童通学の唯一の手段であるバスを運行しており、事業の有効性は高いと考えています。 通学定期券代金補助事業についても、長きに渡り町内会や学校、保護者から要請があった事業であり、実現後、地域等にも喜ばれていることから、事業の有効性は高いと考えています。  小・中学生の通学範囲により、運行キロや運行時間設定が毎年変わり、運行計画が大きく変更となることがあります。また、運行台数、運行時間の制限など要望どおりの時間設定が難しい状況です。 通学定期券代金補助事業について、特認校であるため学校の児童総数増加には限界があり、利用者の増加は見込めないと考えています。また、毎年度、児童の入学動向の把握が難しい面があります。  歩記事項  通学定期券代金補助事業について、苫小牧市樽前地区地域振興計画の22施策のうちの一	<b>⇔</b> ⊐=∞/=	事業の有効性(効果	の達成状況	) ■ 高		] 中		低
地域特性に合わせた運行に努め、地域及び児童通学の唯一の手段であるバスを運行しており、事業の有効性は高いと考えています。 通学定期券代金補助事業についても、長きに渡り町内会や学校、保護者から要請があった事業であり、実現後、地域等にも喜ばれていることから、事業の有効性は高いと考えています。  小・中学生の通学範囲により、運行キロや運行時間設定が毎年変わり、運行計画が大きく変更となることがあります。また、運行台数、運行時間の制限など要望どおりの時間設定が難しい状況です。 通学定期券代金補助事業について、特認校であるため学校の児童総数増加には限界があり、利用者の増加は見込めないと考えています。また、毎年度、児童の入学動向の把握が難しい面があります。  は記事項  通学定期券代金補助事業について、苫小牧市樽前地区地域振興計画の22施策のうちの一	日己評価	事業の効率性(費	用対効果)	口高		■中		低
事業の課題、 今後の方向性等 一分を表示して、特認校であるため学校の児童総数増加には限界があり、利用者の増加は見込めないと考えています。また、毎年度、児童の入学動向の把握が 難しい面があります。 一句を表示して、 一句を表示して 一句を表示して 一句を表示して 一句を表示して 一句を表示して 一句を表示して 一句を表示して 一句を表示して 一句を表示して 一句を 一句を 一句を 一句を 一句を 一句を 一句を 一句を 一句を 一句を	自己評価の理由	地域特性に合わせ おり、事業の有効性 通学定期券代金補 た事業であり、実現	た運行に努 は高いと考 助事業につ	め、地域及びり えています。 いても、長きし	見童通学の に渡り町内	唯一の手段会や学校、	设であるバ 保護者か	スを運行して ら要請があっ
***   **		く変更となることが 定が難しい状況です 通学定期券代金補 り、利用者の増加は	あります。 。 助事業につ 見込めない	また、運行台数 いて、特認校で	数、運行時 であるため	間の制限を学校の児童	など要望ど 童総数増加	おりの時間設 には限界があ
	特記事項		助事業につ	いて、苫小牧戸	<b></b> 持樽前地区	地域振興詞	計画の22施	策のうちの一

款 02総務費\_\_\_\_\_

 項 02企画費
 目 01企画調整費
 事務事業番号
 02020109

款 U2総務負	垻 02正画負					伤争未留 <u>与</u>	02020109
事業	名	R1年度		財	源	为 訳	
担当部		(決算額)	国道支出金	· 地方	債	その他	一般財源
公共交通路線維							
	ちづくり推進課	56,195 <del> </del> ∓₽	키 チ	円	千円	千円	56, 195 千円
	りつくり推進誌						
根拠法令							
実施方法	□ 直接実施 □	業務委託等	■ 補助金	・負担金	・助成金		
事業の目的・対象	市内路線バス事業ます。	者に対して、	市内バス赤字	≅路線を適	正な路線	補助により約	推持・確保し
事業の必要性	市内路線バスは利から、地域住民の移						が困難なこと
事業の内容							
000 47 0 F F							
SDGs17の目標 3 tateAki - ルト  11 saleucha まからりま	1 平成24年4月か 維持ではいれること 中でおりのではいる。 2 路線の発持にでいる。 3 赤字は 3 赤字は 3 赤字は	れとていいましたしたとはっていな、ていないではいいはいいはいいはいまり一いはいまではどいない。	が、平成27年 た。 ルールに基づ。 て補助するの 改善を図るへ	F度からは がいて補助 )ではなく くく、その	基本的に が出され 事業者負 旨市へ提	はバス事業することから、 担もあるため 案されます。	者の経営の 市内バス か、事業者は
	4 市は、バス路線 設置し、その中で しています。				などの事		
					人件費		
	コスト		職員構成		了人件費 ×従事職員	(数) 従	事職員数
事業費 (R1年度決算額)	56, 195	千円(一	担当正規職員 嘱託職員		2, 108	千円 0 千円	. 3 人
人件費	2, 108	<b></b>	再任用(フル) 再任用(ハーフ)			千円 千円	人
———— 総 計	58, 303	千円	任期付職員			千円	人
NO FI	30, 303	'''] [ ]	臨時職員			千円	人
		指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
評価指標	路線補助事業(北海		±,Φ)	千円	35, 985	39, 425	26, 816
┃   評価担保 ┃   (事業実績)					20, 210	21, 266	
(尹未天限)	路線補助事業(苫小		1)	千円		<u> </u>	22, 191
	車両購入・車両整備			千円	0	0	8, 000
ტ¬=∞/m	事業の有効性(効果	の達成状況)	■高		] 中		低
自己評価	事業の効率性(費		口高		■ 中		_
自己評価の理由	市内公共交通の要考えています。				·		
事業の課題、 今後の方向性等	利用者減少に歯止 事業者の独自事業 また、バス路線の なため、市民協働の	による利用者 維持は、利用	サービスなと する側も維持	ご、事業者 持への責任	の営業努	力が求められ	
 特記事項							

款 02総務費

項 02企画費

日 01企画調整費 事務事業番号 02020110

事業 担当部 機前地区地域振興		画費	目 01企画	调金貨	-	事務事業番号	02020	טווי
	名	R1年度		財	源	内 訳		
大学 医二甲二甲二甲二甲二甲二甲二甲二甲二甲二甲二甲二甲二甲二甲二甲二甲二甲二甲二甲	• 課	(決算額)	国道支出统	金 地ブ	5債 📗	その他	一般則	才源
	具計画推進事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 000					4 000	
総合政策部また		<del> </del> 1, 000 = <del>1</del>	·円 +	<del>·</del> 円	千円	千円	1, 000	千円
根拠法令	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7							
実施方法	□ 直接実施	□ 業務委託等	■ は助会	・負担金	. 助成名	>		
<del>大</del> 心力な		口 未勿安心书	— LH M →	. 只匹亚	功功。	<u>r</u>		
事業の目的・対象	アートフォト= ける交流人口の拡			尊前地区の	)魅力を	掘り起こし、	樽前地区	<b>エにお</b>
事業の必要性	人口減少、少子 の増加・交流人口					力を内外に発	信し、来	₹訪者
事業の内容	令和元年度事業 各所で受賞作品 <i>の</i>							
SDGs17の目標		【写真展示会	]	_	【PR:	ポスター】		
					受賞作。			
					人件			
=	コスト		職員構成	概算 (平均給与	算人件費 -×従事職	, ; <u>;</u>	事職員数	<u></u>
事業費 (R1年度決算額)	1,000	千円(	職員構成 担当正規職員 嘱託職員		×従事職	従 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	事職員数	<b>人</b>
事業費		千円	担当正規職員		×従事職	従		人 人 人
事業費 (R1年度決算額)	1, 000	——— J	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル)		×従事職	従		人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	1, 000 2, 811	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハ-フ) 任期付職員		×従事職	従 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	). 4	人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	1, 000 2, 811 3, 811	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハ-フ) 任期付職員	(平均給与	· ×従事職 2,811	従	). 4 E   H29:	人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標	1, 000 2, 811	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハ-フ) 任期付職員	単位	- × 従事職 2,811	従	). 4 E   H29:	人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	1, 000 2, 811 3, 811	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハ-フ) 任期付職員	単位	- × 従事職 2,811	従	). 4 E   H29:	人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	1,000 2,811 3,811 受賞作品展示会	千円千円指標名	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	- × 従事職 2, 811 R1年原 5	従	). 4 H29:	人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	1,000 2,811 3,811 受賞作品展示会 事業の有効性(交	千円千円指標名	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	· × 従事職 2,811 R1年 5	従 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	D. 4 H29:	人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	1,000 2,811 3,811 受賞作品展示会	千円千円指標名	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	- × 従事職 2, 811 R1年原 5	世 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	). 4 H29:	人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	1,000 2,811 3,811 受賞作品展示会 事業の有効性(交	千円 千円 指標名 が果の達成状況 (費用対効果) つた会場ではない	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位の方を業としている。	- × 従事職 2,811 2,811 R1年月 5 ■ 中 中 賞あます。	様員数) 千円 千円 千円 千円 千円 千円 東 H30年度 一 品の展入口拡大。	D. 4 H29: 1 低低 低 、平成29	人人人人人 年 0 9年
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 部件 (事業) 自己評価の理由 事業の課題、等	1,000 2,811 3,811 受賞作品展示会 事業の有効性(交 事業の効率性 樽前地区の魅力 で来場あが出る	千円 千円 指標名 大円 指標名 大規 で で が表 が表 が表 が表 が表 が表 が表 がま がま がま がま がま がま がま がま がま がま	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 ) □ □ つまがに かまがまがまれる。 来訪者の増加	単位 節 かいましま かいましま かいましま かいまし かいまし のいまし のいまし のいまし のいまし のいまし のいまし のいまし の	- × 従事 第 2,811	様員数) 従 千円 ( 千千円 ( 千千円 ( 千千円 ( 千千円 ( 千千円 ( 千千円 ( 千千円 ( 年) ( 一) (	D. 4 H29: 1 低低 低 で対して	   人人人人人度   年   年   た

款 02総務費

項 02企画費

目 01企画調整費 事務事業番号 02020111

款 02総務實	垻 02企画質	<u> </u>	日 01企画			事業番号	02020	ЛП
事業	<b>E名</b>	R1年度		財	原 内	訳		
担当部	₿・課	(決算額)	国道支出金	立 地方債	7	の他	一般見	<u></u> す源
バリアフリー特定	 事業計画推進事業	_					_	
	<u>ちづくり推進課</u>	┫ 0 千円	<del>1</del>	門	千円	千円	0	千円
根拠法令	高齢者、障害者等の	   	<u> </u> 化の促進に関	<u>ー</u> 見する注律				
					L <del>                                     </del>			
<u>実施方法</u>	┃ ■ 直接実施 □	業務委託等	□ 補助金	・負担金・即	川			
事業の目的・対象	苫小牧市駅前広場 及び苫小牧市バリア							
事業の必要性	「高齢者、障害者 本構想及びバリアフ に、駅前広場再整備 降も検討を継続する	リー特定事業 計画 (案) は 必要がありま	計画を策定し 、駅前広場周 す。	たことから 閉辺の土地利。	、その進持 用状況を見	歩管理を行 見据え、 <sup>会</sup>	行うとと 令和元年	とも F度以
事業の内容 SDGs17の目標	「苫小牧市バリア 計画」の実施状況に 関係部署の実績報告 ました。	ついて、道南	バス株式会社	tや国土交通	省北海道	開発局、ス	化海道、	庁内
3 rescare	【歩道のバリアフ	フリー化(旭大道	1 ]	【公園トイレの	バリアフリ	ノ一化(中	央公園)	1
					Ó		000	
					人件費			
	コスト		職員構成	概算人 (平均給与×征	件費	() (従	事職員数	数
事業費 (R1年度決算額)	0	千円(	担当正規職員 嘱託職員		703 千F 千F	7	. 1	人人
人件費	703		再任用(フル)		千F 千F			人人
総計	703	千円	任期付職員		千F			人
形心 百1	/03		臨時職員		千F	<u> </u>		人
		指標名		単位 F	?1年度	H30年度	H29	年度
評価指標								
(事業実績)								
				+ +			+	
	車業の大払性 (共用	の達出は出り	<b>■</b> ÷		<u> </u>		<u> </u> /#	
自己評価	事業の有効性(効果		■高					
	事業の効率性(費	用対効果)	□高		<del>-</del>		低	
自己評価の理由	苫小牧市の顔であ 民からの注目度が高 いることから、有効	く、また、関	連計画である					
事業の課題、 今後の方向性等	駅前広場における ルなどの周辺施設の 動線を考慮して、利	動向に注視し	ながら、将オ	そ的な土地利	用やCOCOT	OMA等のB	既存施討	ひとの

款 02総務費

秋 U2総務負	垻 02正画負					事務事未任		02020112
事業		R1年度		<u>財</u>	源	内 訳		
担当部	『・課	(決算額)	国道支出金	と 地ブ	5債	その他		一般財源
苫小牧イノベーシ	ョン基盤構築事業	16, 918 <del>T</del>	П 0 450 Т	·H	7 m	8, 459	-円	千円
総合政策部	政策推進課	10, 916	0,409		717	0, 409		717
———根拠法令		!	•					
実施方法	□ 直接実施 ■	業務委託等	□ 補助金	<ul><li>自扣金</li></ul>	• 助成会	<del></del>		
J(11/17) 12	地域及び市内企業						日坦	
事業の目的・対象	民が連携しながら継 び実証実験を支援し づくりを行います。	続的に本事業	€を推進し、^	ベンチャー	-企業等	と市内企業	のマ	ッチング及
事業の必要性	労働人口が減少し 革新等の新たな解決 対する機運が高まっ 識変革、地域ブラン	策が必要とな てきています	ょります。過年 トので、数多く	F度事業を (の市内関	通じて 係者を	、この新し 巻き込みな	いチ がら	ヤレンジに 、地域の意
事業の内容								
SDGs17の目標								
8 manual 9 maiores	市内企業と先進の ベントを開催しまし また、市内企業と 取組に対して補助金	た。 ベンチャー1	と業等のマッチ	チングによ				
	【令和元年度の実施 (1) マッチングイ (2) 実証事業への	ベント・・・					50万F	핏)
					人件	弗		
	_ = 1	-						
	コスト		職員構成	概算 (平均給与		战員数)	従事	職員数
事業費 (R1年度決算額)	16, 918	千円()	担当正規職員 嘱託職員		2, 108	千円 千円	0.	3 人
人件費	2, 108	千円	再任用(フル)			千円 千円		人 人
6/A = 1	10,000		任期付職員			千円		人
総計	19, 026	千円【】	臨時職員			千円		人
		指標名		単位	R1年J		E度	H29年度
評価指標	マッチングイベント			社	40	60		78
(事業実績)	実証事業に取り組ん			組	7	9		6
(子不入())	ス皿デ木に収り加ひ	/_ 工 未 玖		小口	<del>- '</del>	<del>-                                     </del>		<del>                                     </del>
	事業の大学性 / 対田	の存代生活	1 n ÷		<u> </u>		□ In	
自己評価	事業の有効性(効果				<b>■</b> 中			
	事業の効率性(費	用对効果)	□高		■中			ţ.
自己評価の理由	平成28年度から始 るなど話題性も大き 事前周知活動の拡大	く、有識者な	いらも高い評価	<b>歩を受けて</b>	います	。招へい企		
事業の課題、 今後の方向性等	イノベーションと め、これまでの実証 と考えています。令 業の創出に向けて先 部人材によるセミナ 紹介していきます。	事業の実績等 和2年度かり 進技術を導力	等をPRし、多く らはイノベーシ くする市内企業	くの企業に ション活性 美を支援し	参加し 性化事業 ノます。	てもらえる として、誤 補助金を交	よう 関類 付す	工夫が必要 決や新規事 るほか、外
特記事項								

款 02総務費

項 02企画費

| 1 01企画調整費 | 事務事業番号 | 02020113

事業	名	R1年原	<b></b>		財	源	内	訳	
担当部		(決算額		国道支出金		 方債	70	り他	一般財源
JR苫小牧駅内方線ブ							-		
	<u></u>	2, 279	千円	<b>1</b>	門	千円	2, 279	千円	千円
根拠法令	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	<u> </u>			I		l	!	
実施方法	□ 直接実施 □	業務委託	-	■ 補助金	<ul><li> 負扣金</li></ul>	• 助成:	<del></del>		
事業の目的・対象	JR苫小牧駅ホーム 1/3ずつ負担して、内	に視覚障	がい	者の転落防止	のため、				者が費用を
事業の必要性	JR苫小牧駅は既に を設置することで、 性の向上を図るため	視覚障が	いが	リアフリー化 ある人を始 <i>め</i>	だがされて 旅客の車	ており、 〒落防止	ホーム :効果が	への内であること	方線ブロック とから、安全
事業の内容									
子本の口口									
SDGs17の目標 11 発表を A	JR北海道が、国の ホームに内方線ブロ 本市も、JR北海道	ックを設	置し	ました。					
						人件	·費		
	コスト			職員構成	概(平均給与	算人件費 F×従事		従	事職員数
事業費 (R1年度決算額)	2, 279	千円		旦当正規職員 嘱託職員		70	3 千円 千円		人 人
	700		- -	<b>耳任用(フル)</b>			<del> </del>		人
人件費	703	千円~	_	<b>任用(ハーフ)</b>			千円		人
«ν =1	0.000	7.00	_	任期付職員			千円		人
総計	2, 982	千円		臨時職員			千円		人
		指標名			単位	R1年	度	H30年度	H29年度
評価指標	内方線ブロックを設	置したホー	ームの	<u>の数</u>	面	2		_	-
(事業実績)									
	事業の有効性(効果	の達成状	況)	■高	1	口中			低
自己評価	事業の効率性(費	用対効果	)	■高		口中			低
自己評価の理由	全国的に視覚障が 業者は転落防止対策 性は高いと考えてい	い者が駅 の促進が	ホー.	ムに転落する		<u></u> 連続して		たことが	から、鉄道事
事業の課題、 今後の方向性等	今後も、安全かつ ら補助内容を検討し		すい	公共交通を実	ミ現させる	るために	、国や	事業者の	と連携しなが
特記事項									

款 02総務費

項 02企画費

目 01企画調整費

事務事業番号 02020114

	名	R1年度		財	源	内	訳	
担当部		(決算額)	国道支出金	地方	请	その	の他	一般財源
移住・定住	E促進事業	355 千円	千円		千円	355	千円	千円
総合政策部	政策推進課	300 干円 		1		ათ		十円
根拠法令				-	-			
 実施方法	■ 直接実施 □	業務委託等	□ 補助金・	・負担金	<ul><li>助成金</li></ul>	<u> </u>		
事業の目的・対象	首都圏や道内他都 することで、移住候 <sup>2</sup>	市在住者を対象	象に、本市への	の移住に	魅力を	感じて	いただく	機会を創出
事業の必要性	人口減少に歯止めを い止めるとともに、都 と捉えています。その 的にPRすることが重要	市部からの移住 ためには、企業	を促進し、市内 誘致や雇用創出	内企業へ安 出の取組と	安定した? : 併せて、	労働力で 本市の	を供給する の暮らし <mark>れ</mark>	必要がある
事業の内容	■ 移住フェアへの	出展等						
SDGs17の目標 11 asktone 11 asktone	移住候補地とし 移住関連イベント 【参加イベント】 ・北海道暮らし ・苫小牧市合同 ・北海道いぶり	に出展し、本ī 】 フェア(名古』 就職説明会(〕	市の暮らしや 屋市) 東京都、札幌	すさや仕				
	■ 「オーダーメイ 移住を検討され 市内巡覧を計画し ド」を令和元年11	ている方が移作 、市内や商業が	主後の生活を 施設・医療施					
					人件	貴		
	コスト		職員構成	概算 (平均給与	算人件費 ·×従事職	(員数)	従事	事職員数
事業費 (R1年度決算額)	355	千円 ( )	旦当正規職員 嘱託職員		1, 405	千円		2 人
(川 千皮 八 并 假 /								
人件費	1, 782	- 十円 )   再	存任用(フル) 存用(ハーフ)			千円		<del>\</del> \
	2, 137	千円	再任用(フル)			千円 千円 千円	0.	人 人 1 人
人件費	2, 137		呼任用(フル) 「任用(ハーフ) 任期付職員	単位	R1年月	千円 千円 千円	0.	人 人 1 人 人 H29年度
人件費	2, 137	千円	呼任用(フル) 「任用(ハーフ) 任期付職員	単位	R1年月 5	千円 千円 千円	0.	人 人 1 人
人件費 総 計	2, 137	千円	呼任用(フル) 「任用(ハーフ) 任期付職員		R1年月	千円 千円 千円	0. H30年度	人 人 1 人 人 H29年度
人件費 総 計 評価指標	2,137	千円	呼任用(フル) 「任用(ハーフ) 任期付職員	0	R1年月 5	千円 千円 千円	0. H30年度	人 人 1 人 人 H29年度
人件費 総 計 評価指標 (事業実績)	2, 137 イベント出展回数 移住ガイド実施回数	十円 再	存任用(フル) 存任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員		R1年原 5 2	千円 千円 千円	0. H30年度 4	人 1 人 人 H29年度 2 -
人件費 総 計 評価指標	2,137 イベント出展回数 移住ガイド実施回数 事業の有効性(効果	キ門 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	呼任用 (7ル) では用 (ハ-7) 任期付職員 臨時職員		R1年月 5 2 ■ 中	千円 千円 千円	0. H30年度 4 -	人 1 人 人 H29年度 2 -
人件費 総 計 評価指標 (事業実績)	2, 137 イベント出展回数 移住ガイド実施回数	十円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果) 費用対効果を 行いました。	再任用 (7ル) 任用 (ハ-7) 任期付職員 臨時職員 □ 高 □ 高 □ ホナことが難また、他自治	しいですは	R1年原 5 2 ■ 中 ■ 中	千千千円円円である。	0. H30年度 4 - ロロ	人 1 人 人 H29年度 2 - こ こ こ こ こ こ こ こ こ ど 様々な場
人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価	2,137  イベント出展回数 移住ガイド実施回数 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 移住者の把握など 所で本市のPR活動を	十円 十円 指標名 の達成状況) 用対効果) 費用対効果を 行に希望者への 回数を増やする	再任用 (7ル) 任用 (ハ-7) 任期付職員 臨時職員 □ 高 □ 高 □ こ こ た に に に に に に に に に に に に に	しいですは化を図り	R1年原 5 2 ■ 中 ■ 中	千千千一院の・市活用の・	0. H30年度 4 - 口仰 東京都な 実態を踏	人 人 人 人 人 人 H29年度 2 - ま ま ぎ まえ、移住

款 02総務費	項 02企画費		目 01企画			事務事業:		02020	110
事業		R1年度		財	源	内	沢		
担当部	₿・課	(決算額)	国道支出金	金 地力	请	その他	1	一般則	掠
駅前イルミネ・	 ーション事業	44 050 -						4 050	
総合政策部ま	ちづくり推進課	11, 050 <del>T</del>	"  +	円	千円		+1411	1, 050	千円
根拠法令		<u> </u>	<u>!</u>						
実施方法	□ 直接実施 ■	業務委託等	□ 補助金	台 切 仝	. m d 4	~			
大心力心	□ 但按天心 ■	未伪安讥守	口 無助並	負担亚	- 内川火ュ	<u>E</u>			
事業の目的・対象	まちの顔である苫 アップを図るととも につなげます。								
事業の必要性	   駅周辺をあまり利  メージアップ、また 						作りや	・、市の	イ
事業の内容									
SDGs17の目標									
11 sarrons	(1) イルミネーショ 苫小牧駅南ロ・ しました。 (2) イベントの実施 点灯で式やフィト 参加型のイベント	駅前広場に	トのほか、ワー				_		
	参加至のイベンド	を美心しより	<i></i>		人件	<b>基</b>			
	コスト			1017 6					
	1 \ \ \ \		職員構成	概』 (平均給与		战員数)		職員数	ζ
事業費 (R1年度決算額)	11, 050	千円(	担当正規職員 嘱託職員		2, 811	千円	0.	4	人人
人件費	2, 811	千円	再任用(フル)			千円 千円			人人
総計	13, 861	千円	任期付職員 臨時職員			千円 千円			人
		指標名		単位	R1年J		 )年度	H294	
評価指標									
(事業実績)								1	
· /· //> ///////////////////////////////								1	
	車業のちが性 / が田	の辞代生活	■高				/r	<u> </u>	
自己評価	事業の有効性(効果				<u> </u>				
	事業の効率性(費 R1年度で2回目の	開催となった		が、前年度				した結	
自己評価の理由	アンケートの満足度 としました。また、 トの開催など、より	事業の効率性	生については、	更なるま	ちなか	全体の集	客に資	するイ	
事業の課題、 今後の方向性等	関係機関との連携	を深めながら	ら、より効果的	りな事業展	開に努	めます。			
特記事項									

款 02総務費

項 02企画費

 目 01企画調整費
 事務事業番号
 02020116

•	<b>美名</b>	R1年度		財	源	内	訳	
担当部	B. 1:	(決算額)	国道支出金	・ 地ブ	5債	その	D他	一般財源
苫小牧市総合		   556 <del>↑</del> P	1 +	円	千円		千円	556 千円
総合政策部	政策推進課		<u> </u>					
根拠法令	まち・ひと・しごと			7.10.4	t-	^		
実施方法 	■ 直接実施 □	業務委託等	□ 補助金	・負担金	• 助成:	<u>金</u>		
事業の目的・対象	人口減少に関連す を呼び、"ひと"が							
事業の必要性	人口減少時代にお 策を効率的に推進し				くため	に、本	市の特征	─── 徴を捉えた施
事業の内容								
SDGs17の目標 3 Margane 5 Marganet	(1) 第2期総合戦略 平成27年に策定 期総合戦略として	した総合戦略					あること	とから、第2
-W→ ■ 9 ##citmano 8 ###################################	(2) 苫小牧市総合戦 総合戦略の取組 進会議を開催しま	を推進するた		<b>⋾識者委員</b>	等で組	織する	苫小牧ī	<b></b> 市総合戦略推
11 BABRITÁNA 11 EVICOSE	(3) 総合戦略に位置 総合戦略に位置 管理を行いました。 場合は、必要に応	付けた施策に 。また、社会	ついて、実効環境の変化、	政策・施	)るため 5策 <b>の</b> 進	、PDCA 捗など	サイクノ に状況変	νによる進行 変化があった
A					1 14	<del></del>		
					人件	賀		
	コフト	- Г		Tou V	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
	コスト		職員構成	概算 (平均給与		職員数)		事職員数
事業費 (R1年度決算額)	コスト 556	<u> </u>	担当正規職員 嘱託職員		·×従事	職員数) 4 千円 千円	0	. 5 人
  事業費		<u>+H</u>	担当正規職員		·×従事	職員数) 4 千円	0	. 5 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	556 3, 514	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員		·×従事	<ul><li>職員数)</li><li>4 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0	. 5 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額)	556 3, 514 4, 070	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル)	(平均給与	-×従事耶 3,514	職員数)       4 千円       千円       千円       千円       千円       千円	0	.5 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	556 3, 514 4, 070	千円千円千円十二十十二十十二十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	· × 従事即 3, 514	職員数)       4 千円       千円       千円       千円       千円       千円	0 H30年度	.5 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	556 3, 514 4, 070 苫小牧市総合戦略推	千円千円千円十二十十二十十二十十二十十二十十二十十二十十二十十二十十二十十二十十二十十二十	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位回回	- × 従事項 3, 514 R1年 3	職員数       4       千       千       千       千       千       千       千       千       1       1       2       3       4       4       5       6       6       7       8       9       1       1       1       2       2       2       3       4       4       5       6       6       7       8       9       9       10	0 H30年度 0	.5 人 人 人 人 人 人 日 1
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	556 3, 514 4, 070	千円千円千円十二十十二十十二十十二十十二十十二十十二十十二十十二十十二十十二十十二十十二十	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	· × 従事即 3, 514	職員数       4       千       千       千       千       千       千       千       千       1       1       2       3       4       4       5       6       6       7       8       9       1       1       1       2       2       2       3       4       4       5       6       6       7       8       9       9       10	0 H30年度	.5 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	556 3,514 4,070 苫小牧市総合戦略推 総合戦略と位置付け	千円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 回数	単位の策	3,514 R1年 3	職員数       4       千       千       千       千       千       千       千       千       1       1       2       3       4       4       5       6       6       7       8       9       1       1       1       2       2       2       3       4       4       5       6       6       7       8       9       9       10	0 H30年度 0 14	.5 人 人 人 人 人 H29年度 1
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	556 3,514 4,070 苫小牧市総合戦略推 総合戦略と位置付け 事業の有効性(効果	十円 千円 千円 指標名 進会議の開催 た施策の実施	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員 回数	単位の策	· × 従事職 3, 514 R1年 3 14	職員数       4       千       千       千       千       千       千       千       千       1       1       2       3       4       4       5       6       6       7       8       9       1       1       1       2       2       2       3       4       4       5       6       6       7       8       9       9       10	0 H30年度 0 14	.5 人 人 人 人 人 日 129年度 14
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	556 3,514 4,070 苫小牧市総合戦略推 総合戦略と位置付け	十一千 指会議の開催を では、戦定は、20年の10年の11年の11年の11年の11年の11年の11年の11年の11年の1	担当正規職員 「理」 「理」 「理」 「理」 「理」 「理」 「理」 「理」	(平均給与単位 の策 を	× 従事 3,514 3,514 14 ■ 中中掲いが市民 が市よりでしている。	職4 度 でたア サントライン でもない ではない できます できます できます できます はまます はまます はまます はまます による はまます はまます による はまます はまます はまます しょう はまます はまます はまます はまます はまます しょう はまます はまます はまます はまます しょう はいまます はまます しょう はいまます はまます しょう はいまます はまます しょう しょう はいまます しょう しょう はいまます しょう	H30年度 0 14 し、数fi し、数fi ートに。	.5 人 人人 人人 H29年度 14 低低 低は標によります。 より、様々な
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	556 3,514 4,070 苫小牧市総合戦略推 総合戦略と位置付け 事業の有効性(効果 事業の効率性(効果 事業の効率性(費 各部署がそれぞれ 進捗管理することは また、第2期総会 意見を取り入れて策 ただし、当該事業	十一千 指金施 の用に、戦定はま 1 期に、戦定はま 1 期略	担当正規職員   国当正規職員   国民間 (フル)   日本 (ハーフ)   日本 (田)   日本 (田)	(平均給与) 単 値 回 策 総定推しま の進てち 略乗譲ま姿	- × 従事 3,514 3,514 ■ 中中 掲あ市。人 日はがやす。人	職4 度 てたア を 外 円円円円円 単とン 目 進考ケ 標	H30年度 0 14 し、数値 たている	.5 人人人人人 日 14 日 14 日 14 日 14 日 14 日 14 日 14 日 14

款 02総務費

 項 02企画費
 目 01企画調整費
 事務事業番号
 02020117

事業		R1年度		財	源	内	訳		
担当部	₿・課	(決算額)	国道支出金	地方	債	その	D他	一般則	<b>才源</b>
苫小牧市・八戸	市交流連携事業	1,726 千円	 <del>↑</del> F		千円		<b>4</b> m	1, 726	千円
総合政策部	政策推進課	1, 720 +13	''	1	713		713	1, 720	113
根拠法令	苫小牧市・八戸市交流	流連携協定			-		•		
 実施方法	■ 直接実施 □	業務委託等	□ 補助金	・負担金	• 助成 <sub>3</sub>	<del></del>			
事業の目的・対象	フェリー航路を活 流機能の強化等の面 的としています。	用した交流人	ロの拡大や、	新たな海	外コン	テナ航			
事業の必要性	人口減少・超高齢 き、社会経済の活力 性、昭和48年に開設 地が整っていること	低下が危惧さ されたフェリ	れています。 一航路による	苫小牧市 人やモノ	iと八戸 の交流	市は、 機能な	工業都市	らという	類似
事業の内容	・スポーツ、観光、物	勿流・港湾の3	分野を軸に両	市による	連携事業	業に取り	組みま	<b>った。</b>	
SDGs17の目標	  Oスポーツ								
11 GARDINA 17 BREEFLES	ンスホーク さい牧市と八戸市の VS東北フリーブレイ の観光 パンフレットを作り また、両市での観光 報の紹介など相互で	、ズ戦に合わせ なしたほか、両 たパンフレット	て、両市小学 市の地元フリ 等の設置や観	生チーム	による3 一誌に <b>特</b>	交流試合 寺集記事	合を開催し 事を掲載し	しました しました	. 0
	  ○物流・港湾   船社訪問・セミナ-	-への参加等に	よる東南アジ	アコンテ <sup>.</sup>	ナ定期船	抗路誘致	女事業		
	│ ○その他 │ 新たな連携事業の実	ミ施に向けた情	報収集を行い	ました。					
					人件	費			
	コスト		職員構成	概算 (平均給与	算人件費 ×従事		従事	事職員数	ţ
事業費 (R1年度決算額)	1, 726		旦当正規職員 嘱託職員		3, 514	4 千円 千円		5	人人
人件費	3, 514	<b>+</b>	再任用(フル)			千円 千円			人人
総計	5, 240	千円	任期付職員 臨時職員			<u>千円</u> 千円			人
		指標名		単位	R1年		H30年度	H294	年度
   評価指標		78.00				·~		1121	
(事業実績)								+	
( ) > > > < 150								+	
	  事業の有効性(効果	の辞品作品)	□高		■中			<u> </u> #	
自己評価									
自己評価の理由	事業の効率性(費 両市が連携・協力 交流連携協定「はち していかなければな た。	し、フェリー とまネットワ	航路を活用し 一ク」の知名	た交流や度向上や	、より	効果的	いまし <i>た</i> な交流事	- -。今後 §業の展	開を
事業の課題、 今後の方向性等	新たな分野や関係: いきたいと考えてい		を深めながら	、より効	果的な	事業展	開につい	いて検討	して
特記事項									

款 02総務費

項 02企画費

目 01企画調整費

事務事業番号 02020118

			<u> </u>				大田 勺		_
事業	<b>美名</b>	R1年度		財	源	内	訳		
担当音	№ 課	(決算額)	国道支出金	・ 地フ	<u></u> 方債	そ(	の他	一般則	オ源
地域公共交通網形						-		73- 40	
		4, 789 <del>- 1</del>	円 2,338 千	円	千円		千円	2, 451	千円
	ちづくり推進課	<u> </u>							
根拠法令	地域公共交通の活性・	化及び再生	に関する法律						
	□ 直接実施 ■	業務委託等	□補助金	• 負扣金	<ul> <li>助成:</li> </ul>	<del></del>			
								/= ×/	
事業の目的・対象	本市の公共交通は、 持続可能で効率的な運 そうした課題に対し 能な公共交通網の形成	行のため、パ て、公共交通	ス路線網の再編 i全体の再編、効	「、機能の副 ○率化を念頭	高度化な 頃に置き	どを進 ながら	める必要	がありま	ぎす。
事業の必要性	将来にわたって持ってす。	続可能で効	率的な公共交通	通網形成σ	かため、	本計画	Īの策定(	ま必要な	事業
事業の内容									
SDGs17の目標 3 ************************************	・計画は、R元年度へ ・R元年度は、本市に 【R元年度事業内容】 ・地域現況調現況調 ・公共交通ニー画・関語 ・交通ニー画・関計 ・将来需要共立の問 ・地域な大ので、 ・地域な大の問 ・おいな、 ・さい、 ・さい、 ・さい、 ・さい、 ・さい、 ・さい、 ・さい、 ・さい	こおける地域 査 画の整理 題・課題の把	3出・整理	題、課題	の整理	を実施			
					人件	.费			
	771			lar- 1			1		
	コスト		144 D 144 Tr	概算	算人件費		※	<del></del> <del></del> <del></del> <del></del> <del></del> <del></del> <del></del> <del></del>	
			職員構成 	(平均給与				事職員数	<b>汝</b>
事業費 (R1年度決算額)	4, 789	千円	担当正規職員	(平均給与		4 千円	l C	事職貝第 ). 5	人人
(R1年度決算額)		—— J	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル)	(平均給与		4 千円 千円 千円	] C		人
	4, 789 3, 514	千円	担当正規職員	(平均給与		4 千円	] C		人人
(R1年度決算額) 人件費	3, 514	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル)	(平均給与		4 千円 千円 千円 千円	C 3		人 人 人
(R1年度決算額)		—— J	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員	(平均給与		4 千円 千円 千円 千円	1 C		<u> </u>
(R1年度決算額) 人件費	3, 514 8, 303	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ)		3, 51	4 千円 千円 千円 千円 千円	C C	). 5	人 人 人 人
(R1年度決算額) 人件費 総計	3, 514 8, 303	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員	単位	3, 51	4 千円 千円 千円 千円 千円	1 C	). 5	人 人 人 人
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標	3, 514 8, 303 協議会開催回数	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員	単位回	3, 514 R1年 4	4 千円 千円 千円 千円 千円	(C)	). 5	人 人 人 人
(R1年度決算額) 人件費 総計	3, 514 8, 303	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員	単位	3, 51	4 千円 千円 千円 千円 千円	C C	). 5	人 人 人 人
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標	3, 514 8, 303 協議会開催回数	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員	単位回	3, 514 R1年 4	4 千円 千円 千円 千円 千円	(C)	). 5	人 人 人 人
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標	3, 514 8, 303 協議会開催回数 計画策定進捗状況	千円千円指標名	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位 回 %	3, 514 R1年 4 50	4 千円 千円 千円 千円 千円	C   C   C   C   C   C   C   C   C   C	H29:	人 人 人 人
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標	3,514 8,303 協議会開催回数 計画策定進捗状況 事業の有効性(効果	千円十円指標名の達成状況	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位 回 %	3, 514 R1年 4 50	4 千円 千円 千円 千円 千円	(C)   (C)	H299	人 人 人 人
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	3, 514 8, 303 協議会開催回数 計画策定進捗状況	千円 千円 指標名 の達成状況 用対効果)	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員	単位 回 %	3,514 R1年 4 50 中 中	4 千円 千円 千円 千円	C	H29 低低低	
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	3,514 8,303 協議会開催回数 計画策定進捗状況 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 R元年度については 通網の効率的な運用	千円 千円 千円 千円 イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ ス イ ス イ ス イ ス	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (7ル) 再任用 (ハ-7) 任期付職員 臨時職員 高高 ■ 高 高	単位 回% いますが、 立置付け、	3,51 R1年 4 50 中 中 計 効性	4 千千千千 度   F 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	H30年度 	低低低 (K) (K) (K) (K) (K) (K) (K) (K) (K) (K)	人人人人人度 共考 がン
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	3,514 8,303 協議会開催回数 計画策定進捗状況 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 R元年度については 網の効す。 新型コロナウイルの 実施、③苫小牧市地:	千円 千円 千円 千円 イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ ス イ ス イ ス イ ス	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (7ル) 再任用 (ハ-7) 任期付職員 臨時職員 高高 ■ 高 高	単位 回% いますが、 立置付け、	3,51 R1年 4 50 中 中 計 効性	4 千千千千 度   F 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	H30年度	低低低 (K) (K) (K) (K) (K) (K) (K) (K) (K) (K)	人人人人人度 共考 がン

款 02総務費

 項 02企画費
 目 01企画調整費
 事務事業番号
 02020119

→ N U2総務負	垻 02正画貨					争份争未留写	02020	113
事業	名	R1年度		財	源	内 訳		
担当部		(決算額)	国道支出金	<b>业</b> 力	请	その他	一般則	才源
都市計画基本	図 再 新 筌 車 業				-			
	<u>コスがりずぶ</u> ちづくり推進課	22, 715 <del>+</del> F	피 <del>チ</del>	·円	千円	千円	22, 715	千円
根拠法令	都市計画法							
実施方法	□ 直接実施 ■	業務委託等	□ 補助金	• 負担金	·助成:	金		
事業の目的・対象	都市計画法に定め 画の定時見直しに向			更新及び令	ì和2年	度に予定され	ている都	市計
事業の必要性	都市計画基本図の 都市全体の状況が大 また、現在の開発 行う資料を作成する	きく変化して ・立地状況や	いることから や将来の人口等	ら、更新が	<b>必要で</b>	あると考えて	います。	
事業の内容								
SDGs17の目標								
11 gamesea	【平成30年度】		『市計画基本図 、ロ・商業・コ					
1   121   121	【令和元年度】		₿市計画基本図 ₿市計画定時見					
	【令和2年度】(予		『市計画基本図 『市計画変更関					
					人件	 費		
	コスト	-		+RII. ℃				
	-71		職員構成	(平均給与	算人件費 × 従事問		事職員数	攵
- <del></del>				(1201117			<u> </u>	
事業費	22, 715	千円 ( )	担当正規職員		6, 324		0. 9	<u> </u>
(R1年度決算額)	,		嘱託職員			千円		人
人件費	6, 324		再任用(フル)			千円		人
八叶貝	0, 324	113)	再任用(ハーフ)			千円		人
40 =1	00.000		任期付職員			千円		人
総計	29, 039	千円し上	臨時職員			千円		λ
			PHILE 3 1995	単位	R1年		H294	年度
		拍标石		中世	N1+	及 1130年度	1129-	牛皮
評価指標								
(事業実績)								
	事業の有効性(効果	の達成状況)	■高	1	口中		低	
自己評価	事業の効率性(費				□ ■中		<u>低</u> 低	
	争未の効学性(貸	用刈刈禾			<b>■</b>	Ш	山	
自己評価の理由	都市計画変更の必 で現時点で実施した ましたが、有効性の	効果や必要性	Eが現れてくる	らものであ				
事業の課題、 今後の方向性等	今後の都市計画に 正な市街地規模(住 なってくることが想 討する必要がありま	居系フレー <i>L</i> 定されること	・業務系フレ	ノーム) と	実際の	市街地規模の	乖離が大	きく
特記事項								

款 02総務費

事業		R1年度		財	源	内	訳	
担当部	〗•課	(決算額)	国道支出金	地力	債	その	D他	一般財源
ブロック塀	<b>社</b> 改修事業	0.070			τ	0 670	- m	7 FF
総合政策部 ま	ちづくり推進課	3,672 千円	<b>├</b>	1	+111	3, 672	千円	千円
根拠法令		Į.						
実施方法	□ 直接実施 ■	業務委託等	□ 補助金・	- 負扣金	• 助成:	<del>}</del>		
	旧駅前バスターミ						から時間	目が終過し
	ブロックに亀裂、破				ノ州は	、双旦	ソ, ら 1411	りが、性地し、
事業の目的・対象	このため、地震等				行者や	<b>隣地住</b>	民. 隣地	hの車両等に
	危害を与える恐れが							
	-							
+ 444 = 34 TH 141	地震等の災害時に	倒壊や落下に	よって、歩行	者や隣地	住民、	隣地の	車両等に	危害を与え
事業の必要性	ることを防ぐため、			Д ( 1)	/1224	1747 6 40	1 1/3 /3 /	-,616,776
事業の中央								
事業の内容								
CDC-17の口+面								
SDGs17の目標 								
11 SAMPLE								
<b>#</b> 4								
<b>☆</b> 毘∰⊞								
	   旧駅前バスターミ <sup>・</sup>	ナル東側のバ	ス駐車場にあ	るブロッ	ク塀に	ついて	、亀裂、	破損等の補
	修や撤去等を行いま	した。						
					人件	費		
	コスト	-	m' = # +	概算			رير - ا	<b>有助 只 米</b>
	コスト		職員構成	概算 概算 (平均給与	算人件費		従事	事職員数
			(		拿人件費 ×従事	00000000000000000000000000000000000000	従事	
事業費 (R1年度決算額)	コスト 3, 672	千円(1	職員構成 (		拿人件費 ×従事	<ul><li>職員数)</li><li>千円</li></ul>		1 人
事業費 (R1年度決算額)	3, 672		旦当正規職員		拿人件費 ×従事	<ul><li>職員数)</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>		1 人
事業費		<u>+H</u>	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル)		拿人件費 ×従事	<ul><li>職員数)</li><li>3 千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>		1 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	3, 672 703	千円	世当正規職員 嘱託職員		拿人件費 ×従事	<ul><li>職員数)</li><li>計一</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0.	1 <u> </u>
事業費 (R1年度決算額)	3, 672	<u>+H</u>	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル)		拿人件費 ×従事	<ul><li>職員数)</li><li>3 千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0.	1 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	3, 672 703 4, 375	千円	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員		拿人件費 ×従事	<ul><li>銀員数)</li><li>3 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0.	1 <u> </u>
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	3, 672 703 4, 375	千円	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員	(平均給与	章人件費 ×従事取 700	職員数)       3 千円       千円       千円       千円       千円       ()	0.	1
事業費 (R1年度決算額) 人件費	3, 672 703 4, 375	千円	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員	(平均給与	算人件費 ×従事取 700 R1年	職員数)       3 千円       千円       千円       千円       千円       ()	0.	1
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	3, 672 703 4, 375	千円	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員	(平均給与	算人件費 ×従事取 700 R1年	職員数)       3 千円       千円       千円       千円       千円       ()	0.	1
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	3, 672 703 4, 375 事業実施率	千円千円	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位 %	章人件費 ×従事耶 700 R1年 100	職員数)       3 千円       千円       千円       千円       千円       ()	0. - - -	1 人 人 人 人 人 人 H29年度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	3,672 703 4,375 事業実施率 事業の有効性(効果	千円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十二円十二円十二円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 耳任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位 %	算人件費 ×従事耶 700 R1年 100	職員数)       3 千円       千円       千円       千円       千円       ()	130年度	1 人 人 人 人 人 H29年度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	3, 672 703 4, 375 事業実施率	千円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十二円十二円十二円	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位 %	章人件費 ×従事耶 700 R1年 100	職員数)       3 千円       千円       千円       千円       千円       ()	0. - - -	1 人 人 人 人 人 H29年度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	3,672 703 4,375 事業実施率 事業の有効性(効果	千円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十二円十二円十二円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 耳任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位 %	算人件費 ×従事耶 700 R1年 100	職員数)       3 千円       千円       千円       千円       千円       ()	130年度	1 人 人 人 人 人 H29年度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	3,672 703 4,375 事業実施率 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果)	旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位 %	算人件費 ×従事耶 703 R1年 100 □ 中	<ul><li>競員数)</li><li>一千千円円円円円円円</li><li>一度</li></ul>	0. 	1 人 人 人 人 日 H29年度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	3,672 703 4,375 事業実施率 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果) や撤去等を行	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高	単位 % % 操地住民	算人件費 ×従事耶 703 R1年 100 □ 中	<ul><li>競員数)</li><li>一千千円円円円円円円</li><li>一度</li></ul>	0. 	1 人 人 人 人 人 H29年度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	3,672 703 4,375 事業実施率 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果) や撤去等を行	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高	単位 % % 操地住民	算人件費 ×従事耶 703 R1年 100 □ 中	<ul><li>競員数)</li><li>一千千円円円円円円円</li><li>一度</li></ul>	0. 	1 人 人 人 人 人 H29年度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	3,672 703 4,375 事業実施率 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果) や撤去等を行	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高	単位 % % 操地住民	算人件費 ×従事耶 703 R1年 100 □ 中	<ul><li>競員数)</li><li>一千千円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円</li></ul>	0. 	1 人 人 人 人 人 H29年度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	3,672 703 4,375 事業実施率 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果) や撤去等を行	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高	単位 % % 操地住民	算人件費 ×従事耶 703 R1年 100	<ul><li>競員数)</li><li>一千千円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円</li></ul>	0. 	1 人 人 人 人 人 H29年度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	3,672 703 4,375 事業実施率 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果) や撤去等を行	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高	単位 % % 操地住民	算人件費 ×従事耶 703 R1年 100	<ul><li>競員数)</li><li>一千千円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円</li></ul>	0. 	1 人 人 人 人 人 H29年度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	3,672 703 4,375 事業実施率 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 ブロック塀の補修れたため、事業の有	十円 千円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果) や撤去等を行と	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任田付職員 臨時職員 ■ 高 ■ 高 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	単位 % 以 性 民	算人件費事 ×従事事 703 R1年 100 □ 中	は	0.        ( ( ( ( ( ( ( ( (	1 人 人 人 人 人 H29年度 ■ - ■ E E
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業集) 自己評価 自己評価の理由	3,672 703 4,375 事業実施率 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 ブロック塀の補修れたため、事業の有:	十円 千円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果) や撤去等いと 対性は高いと	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 ■ 高 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	単位 % 単位 家 から 時	算人件費 ×従事事 703 R1年 100 中中 W 地地		0. 	1 人 人 人 人 人 H29年度 □ - □ □ 氐 氐 こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	3,672 703 4,375 事業実施率 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 ブロック塀の補修 れたため、事業の有:	十円 千円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果) や撤去等いと 対性は高いと	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 ■ 高 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	単位 % 単位 家 から 時	算人件費 ×従事事 703 R1年 100 中中 W 地地		0. 	1 人 人 人 人 人 H29年度 □ - □ □ 氐 氐 こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業集) 自己評価 自己評価の理由	3,672 703 4,375 事業実施率 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 ブロック塀の補修れたため、事業の有:	十円 千円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果) や撤去等いと 対性は高いと	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 ■ 高 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	単位 % 単位 家 から 時	算人件費 ×従事事 703 R1年 100 中中 W 地地		0. 	1 人 人 人 人 人 H29年度 □ - □ □ 氐 氐 こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業集) 自己評価 自己評価の理由	3,672 703 4,375 事業実施率 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 ブロック塀の補修 れたため、事業の有:	十円 千円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果) や撤去等いと 対性は高いと	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 ■ 高 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	単位 % 単位 家 から 時	算人件費 ×従事事 703 R1年 100 中中 W 地地		0. 	1 人 人 人 人 人 H29年度 □ - □ □ 氐 氐 こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業集) 自己評価 自己評価の理由	3,672 703 4,375 事業実施率 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 ブロック塀の補修 れたため、事業の有:	十円 千円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果) や撤去等いと 対性は高いと	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 ■ 高 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	単位 % 単位 家 から 時	算人件費 ×従事事 703 R1年 100 中中 W 地地		0. 	1 人 人 人 人 人 H29年度 □ - □ □ 氐 氐 こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業集) 自己評価 自己評価の理由	3,672 703 4,375 事業実施率 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 ブロック塀の補修 れたため、事業の有:	十円 千円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果) や撤去等いと 対性は高いと	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 ■ 高 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	単位 % 単位 家 から 時	算人件費 ×従事事 703 R1年 100 中中 W 地地		0. 	1 人 人 人 人 人 H29年度 □ - □ □ 氐 氐 こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ

款 02総務費

事業		R1年度				財	源	内	訳	
担当部	₿・課	(決算額)	)	国道支出金	Ž	地方	債	そ(	の他	一般財源
ユニバーサルデザイン	タクシー導入支援事業	400 =	千円	ェ	円		千円	400	千円	千円
総合政策部 ま	ちづくり推進課	400	111		'']		717	400	7.7	713
根拠法令									•	
 実施方法	□直接実施□□	〕業務委託等	<del></del>	■ 補助金	・負	担金	· 助成3	<del></del>		
事業の目的・対象	国との協調補助にを促進します。								・ インタイ	クシーの導入
事業の必要性	高齢化の進展や阿が必要となりつつまであるユニバーサリの推進などを目打	ある昨今、本 レデザイン車	市	こおいても誰	***********************************	も乗り	降りし	やすく	、気軽(	こ利用が可能
事業の内容 SDGs17の目標										
11 GARDIERS 15500E	令和元年度内に、 クシーを導入した事									
							人件	曹		
	コスト			職員構成	(平:		人件費 ×従事職		(従:	事職員数
事業費 (R1年度決算額)	400	千円(	担	当正規職員 嘱託職員			703	子		.1 人
人件費	703	千円	_	手任用(フル) - - - 任用(ハーフ)				千円		人 人
総計	1, 103	千円	•	任期付職員 臨時職員				千円		<u>人</u>
		指標名				単位	R1年	度	H30年度	H29年度
評価指標	市内事業者が導入し	た台数にお	ける	る補助台数		台	4/	61	1/39	4/34
(事業実績)										
	事業の有効性(効果	1の達成状況	.)	■高			] 中			低
自己評価	事業の効率性(		.,				 ■ 中			
自己評価の理由	市内タクシー事業センティブとしてのす。	美者がユニバ		サルデザイン		クシー	の導入		、導入	こ関するイン
事業の課題、 今後の方向性等	今後も全ての人 <i>た</i> 都市の動向も踏ま <i>え</i> ます。									
特記事項										

款 02総務費

款 U2総務負	項 02正画負					申務申未留写	02020	/122
事業		R1年度		財	源	内 訳		
担当部	₿・課	(決算額)	国道支出金	シー 地方	債	その他	一般則	<b>財源</b>
用途地域照会シ	ステム整備事業	1 100	_	_	7.11	7 E	1 100	7 E
総合政策部 ま	ちづくり推進課	1,188 千円	<del> </del>	"	千円	+111	1, 188	千円
根拠法令	都市計画法		1	!				
実施方法		 業務委託等	□ 補助金	. 台切仑	. 助战名			
大肥刀仏							<u> </u>	
事業の目的・対象	平成26年度から稼 マートフォンでの検 数のシステムで管理 ストのスリム化を図	索・閲覧を可 している都市	能とする等、	更なるサ	ービスの	の向上を図る	とともに	こ、複
	用途地域等の都市	計画情報は、	検索・閲覧の	高速化や	タブレ	ット・スマー	トフォン	ノへの
事業の必要性	対応等のシステムの また、都市計画関 率化およびシステム	連データを管	理しているシ		の一元化	化を図ること	で、業務	多の効
事業の内容								
SDGs17の目標 12 禁煙 CO	I0パソコンの0S更 することで更なる機			z良に加 <i>え</i>	.て、高i	速化やデータ <sup>・</sup>	一元化を	主実施
					人件費	<b>.</b>		
	コスト		職員構成	概算 (平均給与		(貝奴)	事職員数	数
事業費 (R1年度決算額)	1, 188	千円(「	担当正規職員 嘱託職員		703	千円     (       千円	). 1	人人
人件費	703		再任用(フル) 耳任用(ハーフ)			千円 千円		人
———— 総 計	1, 891	千円	任期付職員 臨時職員			千円		人
			<b>師</b> 时	単位	D1左F		: L ⊔າn	<u>へ</u> 年度
		拍标石		中世	R1年月	夏 1130年度	. 1129	牛皮_
評価指標								
(事業実績)								
白口赤畑	事業の有効性(効果	の達成状況)	■高		口中		低	
自己評価	事業の効率性(費	用対効果)	口高		■中		低	
自己評価の理由	用途地域の証明件 てきており、有効性 おります。	数の増加やア	クセス数の向	]上など、	システュ	ム改善等によ	り利用に	
事業の課題、 今後の方向性等	システムを機能強 効率的な改善に向け				境の構築	築につながる	ため、全	き後も
特記事項								

款 02総務費

項 02企画費 \_\_\_\_\_

 目 01企画調整費
 事務事業番号
 02020123

款 U2総務負	垻 02正画負					P	02020123
事業		R1年度		<u>財</u>	源	内 訳	
担当部	₿・課	(決算額)	│ 国道支出金	🚼 地ブ	5債 📗	その他	一般財源
苫小牧UIJターン新	新規就業支援事業 新規就業支援事業	0					^ ~==
総合政策部	政策推進課	0 <del>1</del> P	비 +	円	千円	千円	0 千円
根拠法令						ļ.	
		<b>坐</b> 双天打体		- 444	마라스		
実施方法	■ 直接実施 □	業務委託等	□ 補助金	・貝担金	・助队金		
事業の目的・対象	人口減少と少子高 東京圏から本市への 域経済を維持するこ	UIJターンに。	よる就業・起				
事業の必要性	市内の中小企業は地域経済を維持する						面しており、
事業の内容							
事業の打石 SDGs17の目標	東京圏に居住する。 て企業に就職した場				(運営する	るマッチングサ	ナイトを介し
8 81504 11 CARMONS	  1 事業期間						
	令和元年度~令 2 移住支援金(1 100万円(単身の ※起業した場合	人当たり) D場合は60万F		。200万円	支給		
	3 想定人数 移住就業者 9 移住起業者 1						
	4 申込実績 令和元年度は移	住就業者、移	住起業者共に	-0人			
					人件費	3	
	コスト		職員構成		算人件費 -×従事職	/ <del>/</del>	事職員数
事業費 (R1年度決算額)	0	千円(	担当正規職員 嘱託職員		176	千円 0. 千円	025 人 人
人件費	176	<b></b>	再任用(フル)			千円 千円	人
		——     <del> </del>	任期付職員			<u> </u>	人
総計	176	千円	臨時職員			<u> </u>	
		#5.4# 72	<b></b>	22 / L	D1 /= =		人
		指標名		単位	R1年度	E H30年度	H29年度
評価指標	移住就業者			人	0		-
(事業実績)	移住起業者			人	0		
<u> </u>	事業の有効性(効果	の達成状況)	│□高		■中		氐
自己評価	事業の効率性(費		一高		<u> </u>		
自己評価の理由	令和元年度は、当 る企業の募集に注力 せんでした。 本事業は、全国一件(うち道内は2件 困難と考えています	該事業の初年しましたが、	度ということ 制度を活用して実施されて	: で、制度 ンた移住は こいますか	E周知やで はなく、和 が、全国 <i>0</i>	マッチングサイ 多住支援金の3 0令和元年度3	イトに掲載す を給もありま を給実績も71
事業の課題、 今後の方向性等	移住を促すという マッチングサイトに とともに、対象者が が持つ優位性、住み 活気のある地域づ として引き続き実施	掲載する市内 東京圏の居住 やすさなどを くりや地域経	企業の募集を 者のみとなる 併せてPRして	を継続し、 ので、タ います。	移住者の	D就業先の選抜 へを絞った周知	R肢を広げる 四活動と本市
特記事項							

款 02総務費

秋 UZ総務負	垻 02正画負		<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	<u> 調筆質</u>		事務事未留写	7 0202	
事第	<b>美名</b>	R1年度		財	源	内 訳		
担当部	₿・課	(決算額)	国道支出金	・ 地ブ	5債	その他	一般	財源
JR室蘭線·日高	線市町村支援金	0.700	, _	_				~ =
総合政策部 ま	ちづくり推進課	3,700 千円	비 +	円	千円	++	3, 700	千円
根拠法令			!		<u> </u>		!	
		<b>坐</b> 双天打体	= 살마스	- 444	마순소			
実施方法 	□ 直接実施 □	業務委託等	■ 補助金	・貝担金	・助队金	<u> </u>		
事業の目的・対象	JR北海道が単独で 地域独自の支援とし						かつ臨	時的な
事業の必要性	道内の公共交通ネ 係自治体が一体とな				<b>美道網を</b> 終	推持存続して	こいくたの	め、関
事業の内容	11, 9/- 54/- 1 8 15 11 5/- 54/-				- 88 - 27 :	100+5-1-3 ***	- <del> </del>	_ r/- r-
争未の内合	北海道がJR北海道							
CDCo17の日播	的な支援の市町村支			<b>持</b> 困難線区	3のうち、	JK至闌線と	JK日局	緑の冶
SDGs17の目標	線自治体として、支	<b>援</b> 金を負担し	ました。					
11 gamerina Esocia	【内訳】 • JR室蘭線···1, • JR日高線···1,							
	   【支援金活用事例	1						
	1)車両設備	4						
		光列車化、特	急気動車の改	<b>友良、排雪</b>	モータフ	カーの整備		
	2)駅設備	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			. –			
		無線LAN環境の	の整備、多言	語標記に。	よる案内	標識の整備		
	3)防護設備							
	・鹿止め柵	の整備						
					1 11 =	<del>5</del>		
					人件費	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
	コスト		職員構成	概算 (平均給与		貝奴/	<b>芒</b> 事職員	数
事業費	3, 700	千円 ( )	担当正規職員		2, 108		0. 3	<u> </u>
(R1年度決算額)	,		嘱託職員			千円		ᄉ
人件費	2, 108	<u>ш</u>	再任用(フル)			千円		人
	_,		再任用(ハーフ)			千円		人
総計	5, 808	千円	任期付職員			千円		人
ио н I	0,000		臨時職員			千円		人
		指標名		単位	R1年度	€ H30年月	<b>痩   H2</b> 9	9年度
評価指標								
(事業実績)								
	事業の右効性(効果	の達成状況)	┃ ■ 喜		Пф		1 任	
 自己評価	事業の有効性(効果		■高		口中		] 低	
自己評価	事業の有効性(効果 事業の効率性(費		■高		□ 中 <b>■</b> 中		] 低	
自己評価								
自己評価	事業の効率性(費	用対効果)	一高		■ 中		] 低	
	事業の効率性(費 車両の観光列車化	用対効果) など各種設備	の整備により	り、利用者	■ 中		] 低	図られ
自己評価 自己評価の理由	事業の効率性(費	用対効果) など各種設備	の整備により	り、利用者	■ 中		] 低	図られ
	事業の効率性(費 車両の観光列車化	用対効果) など各種設備	の整備により	り、利用者	■ 中		] 低	図られ
	事業の効率性(費 車両の観光列車化	用対効果) など各種設備	の整備により	り、利用者	■ 中		] 低	図られ
	事業の効率性(費 車両の観光列車化	用対効果) など各種設備	の整備により	り、利用者	■ 中		] 低	図られ
	事業の効率性(費車両の観光列車化たことから、事業の	用対効果) など各種設備 有効性は高い	□ 高 の整備により と考えていま	リ、利用者 ∈す。	■ 中 がの利便性	生・快適性の	低	
自己評価の理由	事業の効率性(費車両の観光列車化たことから、事業の持続的な鉄道網の	用対効果) など各種設備 有効性は高い 維持存続に向	口高 の整備により と考えていま けては、JR却	リ、利用者 ミす。 比海道の紹	■ 中 fの利便性	生・快適性 <i>の</i> を前提として	] 低 )向上が  [、国の]	支援の
自己評価の理由	事業の効率性(費 車両の観光列車化 たことから、事業の 持続的な鉄道網の ほか、地域において	用対効果) など各種設備 有効性は高い 維持存続に向 も可能な限り	口高 の整備により と考えていま けては、JR <sup>1</sup> の支援を行う	リ、利用者 きす。 と海道の経 うことが重	■ 中 fの利便性 を営努力で 変要です。	生・快適性の を前提として 令和3年度	] 低 )向上が  [、国の] [以降の]	支援の 支援内
自己評価の理由	事業の効率性(費 車両の観光列車化 たことから、事業の 持続的な鉄道網の ほか、地域において 容については未定で	用対効果) な各種設高 な対性は高い 存能な に限る に限後 すが、	口高 の整備により と考えていま けては、JR <sup>1</sup> の支援を行う	リ、利用者 きす。 と海道の経 うことが重	■ 中 fの利便性 を営努力で 変要です。	生・快適性の を前提として 令和3年度	] 低 )向上が  [、国の] [以降の]	支援の 支援内
自己評価の理由	事業の効率性(費 車両の観光列車化 たことから、事業の 持続的な鉄道網の ほか、地域において	用対効果) な各種設高 な対性は高い 存能な に限る に限後 すが、	口高 の整備により と考えていま けては、JR <sup>1</sup> の支援を行う	リ、利用者 きす。 と海道の経 うことが重	■ 中 fの利便性 を営努力で 変要です。	生・快適性の を前提として 令和3年度	] 低 )向上が  [、国の] [以降の]	支援の 支援内
自己評価の理由	事業の効率性(費 車両の観光列車化 たことから、事業の 持続的な鉄道網の ほか、地域において 容については未定で	用対効果) な各種設高 な対性は高い 存能な に限る に限後 すが、	口高 の整備により と考えていま けては、JR <sup>1</sup> の支援を行う	リ、利用者 きす。 と海道の経 うことが重	■ 中 fの利便性 を営努力で 変要です。	生・快適性の を前提として 令和3年度	] 低 )向上が  [、国の] [以降の]	支援の 支援内
自己評価の理由	事業の効率性(費 車両の観光列車化 たことから、事業の 持続的な鉄道網の ほか、地域において 容については未定で	用対効果) な各種設高 な対性は高い 存能な に限る に限後 すが、	口高 の整備により と考えていま けては、JR <sup>1</sup> の支援を行う	リ、利用者 きす。 と海道の経 うことが重	■ 中 fの利便性 を営努力で 変要です。	生・快適性の を前提として 令和3年度	] 低 )向上が  [、国の] [以降の]	支援の 支援内
自己評価の理由 事業の課題、 今後の方向性等	事業の効率性(費 車両の観光列車化 たことから、事業の 持続的な鉄道網の ほか、地域において 容については未定で	用対効果) な各種設高 な対性は高い 存能な に限る に限後 すが、	口高 の整備により と考えていま けては、JR <sup>1</sup> の支援を行う	リ、利用者 きす。 と海道の経 うことが重	■ 中 fの利便性 を営努力で 変要です。	生・快適性の を前提として 令和3年度	] 低 )向上が  [、国の] [以降の]	支援の 支援内
自己評価の理由	事業の効率性(費 車両の観光列車化 たことから、事業の 持続的な鉄道網の ほか、地域において 容については未定で	用対効果) な各種設高 な対性は高い 存能な に限る に限後 すが、	口高 の整備により と考えていま けては、JR <sup>1</sup> の支援を行う	リ、利用者 きす。 と海道の経 うことが重	■ 中 fの利便性 を営努力で 変要です。	生・快適性の を前提として 令和3年度	] 低 )向上が  [、国の] [以降の]	支援の 支援内

款 02総務費

項 02企画費

目 01企画調整費

事務事業番号 02020125

事業	名	R1年度		財	源	内	訳		
担当部	₿・課	(決算額)	国道支出金	地力	请	そ0	の他	一般見	<b></b> 財源
JR利用仍	進事業	040 - 7 - 11			m			0.40	<b>7</b> ⊞
総合政策部 ま	ちづくり推進課	249 千円	<u>千</u> P	٦	千円		千円	249	千円
根拠法令			•	•			•		
 実施方法	□ 直接実施 ■	業務委託等	□補助金・	・負担金	・助成会	<del>}</del>			
事業の目的・対象	JR室蘭線及びJR日 す。			-			い利用の	足進を図	図りま
事業の必要性	重要な公共交通でるために必要な事業		維持存続のた	め、中長	期的な	視点に	立った和	<b>钊用促</b> 道	進を図
事業の内容 SDGs17の目標 11 1555000									
	利用促進策として を作成し、沿線周辺 の開催により、鉄道 さらに、広報とま クを活用しての利用	の駅や関係自治の更なる利用 の更なる利用 こまいに公共	台体に掲出し 広大と魅力向 交通に関する	ました。 上を図り	また、 ました	JR室蘭 。	線フォト	トコンラ	テスト
					人件	費			
	コスト		職員構成	概算 (平均給与	人件 算人件費 ·×従事職		従誓	事職員	数
事業費 (R1年度決算額)	コスト 249	千円(単	職員構成 四半年 日本		算人件費 ·×従事聯	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0.	事職員数	数 人 人
事業費		千円	型当正規職員 嘱託職員 再任用(フル)		算人件費 ·×従事聯	競員数) 千円	0.		人
事業費 (R1年度決算額)	249	千円	当正規職員 嘱託職員 属託職員 耳任用 (フル)		算人件費 ·×従事聯	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0.		人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	249 1, 405 1, 654	千円	型当正規職員 嘱託職員 事任用 (フル) 任用 (ハ-フ) 任期付職員		算人件費 ·×従事聯	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0.	. 2	人人人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	249 1, 405 1, 654	千円 月 千円 上 指標名	型当正規職員 嘱託職員 事任用 (フル) 任用 (ハ-フ) 任期付職員	(平均給与	章人件費 ·×従事耶 1,405	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0.	. 2	人人人人人人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	249 1, 405 1, 654	千円 月 千円 上 指標名	型当正規職員 嘱託職員 事任用 (フル) 任用 (ハ-フ) 任期付職員	(平均給与	算人件費 ·×従事服 1,405	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0.	. 2	人人人人人人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	249 1, 405 1, 654	千円 月 千円 上 指標名	型当正規職員 嘱託職員 事任用 (フル) 任用 (ハ-フ) 任期付職員	(平均給与	算人件費 ·×従事服 1,405	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0.	. 2	人人人人人人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	249 1, 405 1, 654	千円 千円 折標名 成件数	型当正規職員 嘱託職員 事任用 (フル) 任用 (ハ-フ) 任期付職員	単位件	算人件費 ·×従事服 1,405	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0.	1 H29	人人人人人人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	249 1, 405 1, 654 利用促進ポスター作	千円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十	型当正規職員 嘱託職員 事任用(フル) 任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位件	章人件費 ×従事耶 1,405 R1年 5	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0. H30年度	2 H29	人人人人人人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	249 1,405 1,654 利用促進ポスター作 事業の有効性(効果	十円円円円円円円の達成状況)用対効果)は、ハヘの呼びにあるのではある。	当正規職員 嘱託職員 事任用 (フル) 任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 □ こ 合わせま	単位 件 て告知展ま	算人件事耶 1,405 R1 年 5 中中 し様	は 大手子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子	0.	2 H29 氏氏	人人人人人 年
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	249 1,405 1,654 利用促進ポスター作 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 利用促進ポスター 体に掲出したため、	十円円円 円 名成件数 の達成状況) 用対効果) は、外アピールが がには、鉄道:	国当正規職員 嘱託職員 事任用 (フル) 任用 (ハ-フ) 任期付職員 高 高 トけで かかき事 を始めめ	(平均給与単位 件 知。効 交 共 を 対 でしの 公 公 共 を 通 を 対 を が が か が か が か が か が か か か か か か か か か	算× 1,405 R1 5 中中を、高のの関	to   to   to   to   to   to   to   to	H30年度 □ ロイローの は は は は は は は は は は る な る な る る る る る る	2 H29 馬氏 Rを発信	人人人人人度自まる

款 02総務費

項 02企画費

目 01企画調整費 事務事業番号 02020126

争养	名	R1年度		財	源	内	訳		
担当部	****	(決算額)	国道支出金	地方	債	その	の他	一般則	才源
苫小牧国際リゾート構		16, 252 <del>↑</del> F	9 <del>1</del>	щ	千円		千円	16, 252	千円
	ドリゾート戦略室 「	10, 202	<u>'</u>	' '				10, 202	
根拠法令	7 ± + + + + =	<b>业水子</b> 计位	ㅁ ++마스	ᄼᄱᄼ	ᄜᅩᆉᇫ	<b>^</b> .			
実施方法 	□ 直接実施 ■	業務委託等	□ 補助金	• 負担金	■助队3	<del>È</del>			
事業の目的・対象	人口減少と少子高 な成長戦略の柱の一 ます。								
事業の必要性	「苫小牧国際リゾ プトとしており、国 とはもとより、環境 の実現の可能性を検	際リゾートェ の保全に配慮	リアでは環境 することとし	に関する	関係法	令、各	基準等	を遵守す	るこ
事業の内容									
SDGs17の目標 7 #25-5-8-8-8-8-8-8-8-8-8-8-8-8-8-8-8-8-8-8	本事業では、国際を基に、このエリア影響予測・評価とその能性を検討しました。	における動植 の保全措置に	物、地下水等	の自然的	及び社	会的な	現況を	整理し、	環境
					人件	費			
	コスト						1		
			職員構成	概算(平均給与	【人件費 ×従事職		従	事職員数	女
事業費 (R1年度決算額)	16, 252	千円 (	職員構成 担当正規職員 嘱託職員	(平均給与		00000000000000000000000000000000000000	- 1	事職員数 2.5	<b>人</b> 人
事業費		<del>-                                      </del>	担当正規職員	(平均給与	×従事職	<ul><li>議員数)</li><li>千円</li></ul>			人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	16, 252 17, 568	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員	(平均給与	×従事職	<ul><li>議員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>			人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額)	16, 252 17, 568 33, 820	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ)	(平均給与	× 従事耶 17, 568	職員数)       1       2       2       3       4       5       6       7       8       9       1       1       1       2       2       2       3       4       4       5       6       7       8       8       9       9       1       1       1       1       1       1       1       2       2       2       2       2       2       2       3       4       4       5       6		2. 5	人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	16, 252 17, 568 33, 820	千円千円千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	× 従事取 17, 568 R1年	職員数)       1       2       2       3       4       5       6       7       8       9       1       1       1       2       2       2       3       4       4       5       6       7       8       8       9       9       1       1       1       1       1       1       1       2       2       2       2       2       2       2       3       4       4       5       6		2. 5	人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	16, 252 17, 568 33, 820	千円千円千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	(平均給与	× 従事耶 17, 568	職員数)       1       2       2       3       4       5       6       7       8       9       1       1       1       2       2       2       3       4       4       5       6       7       8       8       9       9       1       1       1       1       1       1       1       2       2       2       2       2       2       2       3       4       4       5       6		2. 5	人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	16, 252 17, 568 33, 820	千円千円千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	× 従事取 17, 568 R1年	職員数)       1       2       2       3       4       5       6       7       8       9       1       1       1       2       2       2       3       4       4       5       6       7       8       8       9       9       1       1       1       1       1       1       1       2       2       2       2       2       2       2       3       4       4       5       6		2. 5	人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	16, 252 17, 568 33, 820	千円 千円 千円 千円 指標名 構想環境影響	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位件	× 従事取 17, 568 R1年	職員数)       1       2       2       3       4       5       6       7       8       9       1       1       1       2       2       2       3       4       4       5       6       7       8       8       9       9       1       1       1       1       1       1       1       2       2       2       2       2       2       2       3       4       4       5       6	H30年度	2. 5	人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	16, 252 17, 568 33, 820 苫小牧国際リゾート	十円 千円 千円 指標名 構想環境影響	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位  件	× 従事即 17, 568 R1年,	職員数)       1       2       2       3       4       5       6       7       8       9       1       1       1       2       2       2       3       4       4       5       6       7       8       8       9       9       1       1       1       1       1       1       1       2       2       2       2       2       2       2       3       4       4       5       6	H30年度	2. 5 E H294	人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	16, 252 17, 568 33, 820 苫小牧国際リゾートを 事業の有効性(効果	十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 評価調査 ■ 高 ・ 地でい に性、開発に	単位 件 (等の自然 けを行うこと)	× 従事職 17,568 R1年 1 中 中 びよ考	選品 度 社りえる 社りえん さいかい 一度 せいん さいかい 一	H30年度 - 現	2.5 E H294 低 低 を把しまする	人人人人人人度 環ーと
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	16, 252 17, 568 33, 820 苫小牧国際リゾート 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 国際リゾートエリ 境影響予測・評価と トを実現するためら ができたことから、	十一千一年標環の一十十一年標環では、大田・一十十十十十年では、大田・一十十十年では、大田・一十十十年では、大田・一十十十年では、大田・一十十十年では、大田・一十十十年では、大田・一十十十年では、大田・一十十十年では、大田・一十十十年では、大田・一十十十年では、大田・一十十十年では、大田・一十十十年では、大田・一十十年では、大田・一十十年では、大田・一十十年では、大田・一十十年では、大田・一十年では、日本・一十年では、大田・一十年には、大田・一十年には、大田・一十年には、大田・一十年には、大田・一十年には、大田・一十年には、日本・日・日・日・日・日・日・日・日・日・日・日・日・日・日・日・日・日・日・	担当正規職員 属託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 評価調査 画 のい、 がつい、 がい、 がい、 がい、 がい、 がい、 がい、 がい、 が	(平均給与単位 単位 の行すす見 りながが見	× 17,568 R1 1 中中 及にの効 、 環1 1 中中 びよ考果 環	選 <u>りています。 とは、おりまでは、おりまでは、おりまでは、おりまでは、おりまでは、おりまでは、おりまでは、おりまでは、まずでは、おりまでは、おりまでは、おりまでは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これ</u>	130年度	2.5 E H294 低低 控し討てい	

款 02総務費

 項 02企画費
 目 01企画調整費
 事務事業番号
 02020127

事業		R1年度		財	源	内	訳		
担当部	₿・課	(決算額)	国道支出金	き 地ブ	5債	その	の他	一般	財源
旧サンプラザビ	ル訴訟関連経費	F 110 T			7 m		<b>7</b> ₪	Г 110	<b>-</b> 7 m
総合政策部 ま	 ちづくり推進課	∫ 5, 113 <del>↑</del> i	뮈 チ	77	千円		千円	5, 113	千円
根拠法令									
実施方法	□ 直接実施 ■	業務委託等	□ 補助金	<ul><li>負扣金</li></ul>	• 助成:	<del></del>			
<u> </u>		不勿又此句		天江並	231903				
事業の目的・対象	旧サンプラザビル	訴訟に係る総	<b>全</b> 費						
事業の必要性									
事業の内容									
SDGs17の目標									
00001707日 1赤									
	旧サンプラザビル	訴訟に係ると	下経費を支出	4					
	(1) 弁護士との訴				F				
	(2) 弁護士との訴		基づく弁護士	=報酬					
	(3) 強制執行停止	供託金							
					I DL	#			
	_ = .				人件				
	コスト	-	職員構成	概算(平均給与	算人件費 -×従事	00000000000000000000000000000000000000		事職員	 数
事業費		<b>∓</b> ⊞ (	担当正規職員		算人件費 -×従事	戦員数) 1 千円	C	事職員	人
	コスト 5, 113	千円(	担当正規職員 嘱託職員		算人件費 -×従事	<ul><li>競員数)</li><li>十円</li><li>千円</li></ul>			人人
事業費 (R1年度決算額)	5, 113	<u>+H</u>	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル)		算人件費 -×従事	職員数) 十一 千円 千円	(		人 人 人
事業費		<u>+H</u>	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル)		算人件費 -×従事	<ul><li>職員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	(		人人
事業費 (R1年度決算額)	5, 113 3, 514	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員		算人件費 -×従事	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>			人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	5, 113 3, 514 8, 627	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル)	(平均給与	算人件費 - × 従事耶 3, 514	<ul><li>職員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>		). 5	人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	5, 113 3, 514 8, 627	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員		算人件費 -×従事	<ul><li>職員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>		). 5	<u> </u>
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	5, 113 3, 514 8, 627	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員	(平均給与	算人件費 - × 従事耶 3, 514	<ul><li>職員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>		). 5	人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	5, 113 3, 514 8, 627	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員	(平均給与	算人件費 - × 従事耶 3, 514	<ul><li>職員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>		). 5	人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	5, 113 3, 514 8, 627	千円十円十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	(平均給与	算人件費 ·×従事耶 3,514 R1年	<ul><li>職員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	(   	). 5	人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	5,113 3,514 8,627 事業の有効性(効果	千円十円十円指標名の達成状況)	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	算人件費: × 従事耶 3, 514 R1年	<ul><li>職員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	(   	D. 5 H29	人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	5, 113 3, 514 8, 627	千円十円十円指標名の達成状況)	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	算人件費 ·×従事耶 3,514 R1年	<ul><li>職員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	(   	D. 5 H29	人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	5,113 3,514 8,627 事業の有効性(効果	千円十円十円指標名の達成状況)	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	算人件費: × 従事耶 3, 514 R1年	<ul><li>職員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	(   	D. 5 H29	人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	5,113 3,514 8,627 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位 ある本市の	算人件費 ·×従事耶 3,514 R1年 ■ 中	3 日本	H30年度	D. 5 H29 低低低	人人人人人度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	5,113 3,514 8,627 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 旧サンプラザビル し、これまでの経過	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	(平均給与 単位 ・る本市の が応を進め	算人件費 - × 従事耶 3,514 R1年 ■ 中 ■ 中 かのできる。	製 千千千千千 度	H30年度	D. 5 H29 低低 低来約1	人人人人人度締自
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	5,113 3,514 8,627 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	(平均給与 単位 ・る本市の が応を進め	算人件費 - × 従事耶 3,514 R1年 ■ 中 ■ 中 かのできる。	製 千千千千千 度	H30年度	D. 5 H29 低低 低来約1	人人人人人度締自
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	5,113 3,514 8,627 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 旧サンプラザビル し、これまでの経過	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	(平均給与 単位 ・る本市の が応を進め	算人件費 - × 従事耶 3,514 R1年 ■ 中 ■ 中 かのできる。	製 千千千千千 度	H30年度	D. 5 H29 低低 低来約1	人人人人人度締自
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	5,113 3,514 8,627 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 旧サンプラザビル し、これまでの経過	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	(平均給与 単位 ・る本市の が応を進め	算人件費 - × 従事耶 3,514 R1年 ■ 中 ■ 中 かのできる。	製 千千千千千 度	H30年度	D. 5 H29 低低 低来約1	人人人人人度締自
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	5,113 3,514 8,627 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 旧サンプラザビル し、これまでの経過	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	(平均給与 単位 ・る本市の が応を進め	算人件費 - × 従事耶 3,514 R1年 ■ 中 ■ 中 かのできる。	製 千千千千千 度	H30年度	D. 5 H29 低低 低来約1	人人人人人度締自
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	5,113 3,514 8,627 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 旧サンプラザビル し、これまでの経過	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	(平均給与 単位 ・る本市の が応を進め	算人件費 - × 従事耶 3,514 R1年 ■ 中 ■ 中 かのできる。	製 千千千千千 度	H30年度	D. 5 H29 低低 低来約1	人人人人人度締自
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	5,113 3,514 8,627 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 旧サンプラザビル し、これまでの経過	十円 千円 千円 千円 も標名 の達成状況) 用対効果) に関する経続やであること	担当正規職員 属託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 高高 を熟知に から、事業の	(平均給与単位 本を進す) 本を進せ ・	算人件事 3,514 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<ul><li>は</li></ul>	H30年度	D. 5 H29 低低 低来約1	人人人人人度締自
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	5,113 3,514 8,627 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 旧サンプラザビル し、これまでの経過 評価については係争	十円 千円 千円 千円 も標名 の達成状況) 用対効果) に関する経続やであること	担当正規職員 属託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 高高 を熟知に から、事業の	(平均給与単位 本を進す) 本を進せ ・	算人件事 3,514 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<ul><li>は</li></ul>	H30年度	D. 5 H29 低低 低来約1	人人人人人度締自
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	5,113 3,514 8,627 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 旧サンプラザビル し、これまでの経過 評価については係争	十円 千円 千円 千円 も標名 の達成状況) 用対効果) に関する経続やであること	担当正規職員 属託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 高高 を熟知に から、事業の	(平均給与単位 本を進す) 本を進せ ・	算人件事 3,514 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<ul><li>は</li></ul>	H30年度	D. 5 H29 低低 低来約1	人人人人人度締自
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	5,113 3,514 8,627 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 旧サンプラザビル し、これまでの経過 評価については係争	十円 千円 千円 千円 も標名 の達成状況) 用対効果) に関する経続やであること	担当正規職員 属託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 高高 を熟知に から、事業の	(平均給与単位 本を進す) 本を進せ ・	算人件事 3,514 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<ul><li>は</li></ul>	H30年度	D. 5 H29 低低 低来約1	人人人人人度締自
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	5,113 3,514 8,627 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 旧サンプラザビル し、これまでの経過 評価については係争	十円 千円 千円 千円 も標名 の達成状況) 用対効果) に関する経続やであること	担当正規職員 属託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 高高 を熟知に から、事業の	(平均給与単位 本を進す) 本を進せ ・	算人件事 3,514 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<ul><li>は</li></ul>	H30年度	D. 5 H29 低低 低来約1	人人人人人度締自

款 02総務費

項 02企画費

| B | 02空港振興費 | 事務事業番号 | 02020201

秋 ∪2総務負	垻 02正画貫		日 02至沧		事務争未留7	5 02020201				
事業		R1年度 (決算額)	国党士山石	財源	カ 訳	hn. H+ hr.				
担当部	****	(	国道支出金	<u>地方債</u>	その他	一般財源				
再編交付金事 総合政策部 ま	* **	15 <del>1</del> P	∄ ∓	円 千円	∃ 15 <del>+</del> F	円 千円				
	らつくり推進録 苫小牧市再編交付金	     古								
根拠法令 実施方法				・負担金・助成	÷.					
天旭刀広	■ 但按天肥 □	業務委託等	口 補助並	* 貝担並 * 助内	<u>८ जर</u>					
事業の目的・対象	新千歳空港での米 よる利子を積み立て。									
事業の必要性	基金積立金は、植	苗・美沢地区	コミュニティ	ィバス運行のたる	かの財源とし <sup>-</sup>	て必要です。				
事業の内容 SDGs17の目標 11 355 304	1 平成21年度から きました。 2 植苗・美沢地区 以外の時間帯に運 す。 3 平成28年度まで	コミュニティ 行しており、	バスは、地域 地域在住高齢	域の公共交通のネ 冷者の通院、買い	補完としてバン い物などで利用	ス運行時間 用されていま				
	平成30年度末基金残	高	98, 732, 421P	9						
	令和元年度基金積立:	金(利子)	15, 2 <b>4</b> 2P	9						
	令和元年度基金取崩	し額	6, 212, 165P	9						
	令和元年度末基金残	高	92, 535, 498P	9						
				人作	<b>井費</b>					
	コスト		職員構成	概算人件: (平均給与×従事		<del>【事職員数</del>				
事業費 (R1年度決算額)	15	千円(	担当正規職員 嘱託職員	7	03 千円 千円	0.1 人				
人件費	703	+HI / F	再任用(フル)		<u>千円</u> 千円	<u>ү</u>				
総計	718	千円	任期付職員		千円	人				
יואט בוו			臨時職員		千円	人				
		指標名		単位 R14						
事業実績	基金の年度末残高			千円 92,	535 98, 73	32 105, 122				
(活動指標)										
	<b>古米のナセル</b> / 七円	のはよいに								
自己評価	事業の有効性(効果	. —	■高			] 低				
	事業の効率性(費	用刈纫果)	□高	■中	L	□低				
自己評価の理由	利用者からの運行 いることから事業の				金を活用して『	事業を継続して				
事業の課題、 今後の方向性等	す。 少しでも長く基金	基金積立てが平成28年度で終了したため、今後は基金残高を見極めながら事業を進めます。 少しでも長く基金を活用して事業を継続するためにも、コミュニティバスの運行方法、 他の交通機関との連携などの検討が必要です。								
特記事項										

款 02総務費

項 02企画費

目 02空港振興費

事務事業番号 02020202

秋 02心勿良	投 化正圆貝			1水央貝			未田り	02020202
事業		R1年度		財	源	内	<u>訳</u>	/= = 1 :=
担当部	阝・課 ニューニー	(決算額)	国道支出金	と 地ス	5債	その	)他	一般財源
新千歳空港整備	<b>请事業費負担金</b>	46, 368 <del>↑</del>	円 千	円 41, 700	<b>У</b> т п	4 660	千円	千円
総合政策部	空港政策課	40, 300 T	[7] T	41, 700		4, 000	717	713
根拠法令	空港法第6条、第7	<u></u>	 同法施行令第	88条				
実施方法	□直接実施□□				. Bh st 4	<del></del>		
天肥力広	┃ □ 直接美胞 □	未伤安託守	■ 補助並	• 貝担亚	• 助风3	<u>17</u>		
事業の目的・対象	新千歳空港の国内 港施設の更新・改良 る経済活動の継続性	を行うほか、	災害発生時0	)緊急輸送	<b>Ł拠点機</b>	能の確	保や北海	
事業の必要性	新千歳空港は、北り、空港施設の安心 として位置付けられ するため、災害によ	<ul><li>安全対策(</li><li>ていること)</li></ul>	の継続的な実施 から、救急・救	色のほか、 女命活動や	災害発 緊急物	生時の 資、人	緊急輸送 員の受力	送の拠点空港 入れを可能と
事業の内容	1 事業概要							
	空港設置により	利益を受けん	る限度において	7、空港整	怪備に係	る費用	負担を行	テいます。
SDGs17の目標	2 負担割合							
O 92594 44 GARDARA	国 85%							
8 mass 11 manusta	地方 15%	名扣割人						
A	地方の   北海	負担割合 道 559	16					
	札幌	_						
	千歳	•						
	3 令和元年度の事		•					
	用地造成	X110						
	滑走路改良							
	誘導路新設・改	良						
	エプロン新設	~						
	照明施設							
	電源施設							
					人件	書		
	コスト			±0耳 ℓ	人件	1		
	コスト		職員構成		算人件費		従	事職員数
	コスト			概算 (平均給与	算人件費	哉員数)	従『	
 事業費	コスト 46, 368	千円(	担当正規職員		算人件費	職員数) 千円	従『	人
	T	千円	担当正規職員		算人件費 -×従事服	職員数) 千円 千円		<u></u>
 事業費	T	<del> </del>	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル)		算人件費	職員数) 千円 千円 7 千円		人
事業費 (R1年度決算額)	46, 368	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ)		算人件費 -×従事服	職員数) 千円 千円 7 千円 千円		人 人 .1 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	46, 368 457	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員		算人件費 -×従事服	職員数) 千円 千円 千円 千円 千円		人 人 .1 人
事業費 (R1年度決算額)	46, 368 457 46, 825	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ)	(平均給与	算人件費 ·×従事取 457	職員数) 千円 千円 千円 千円 千円	0	人 人 .1 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	46, 368 457 46, 825	千円 千円 指標名	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員	平均給与	算人件費 - × 従事服 457	職員数) 千円 千円 千円 千円 千円	0 130年度	人 人 .1 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	46, 368 457 46, 825	千円 千円 指標名	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員	(平均給与	算人件費 ·×従事取 457	職員数) 千円 千円 千円 千円 千円	0	人 人 .1 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	46, 368 457 46, 825	千円十円指標名	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員	平均給与	算人件費 - × 従事服 457	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>10</li></ul>	0 130年度	人 人 .1 人 人 人 人 H29年度 23, 092
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	46, 368 457 46, 825 航空機旅客輸送実績	千円十円指標名	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員	単位	算人件費 - × 従事取 457 R1年 22,8	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>10</li></ul>	0 H30年度 23, 633	人 人 .1 人 人 人 人 H29年度 23, 092
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	46, 368 457 46, 825 航空機旅客輸送実績 航空機貨物取扱量実	千円 千円 指標名	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位・千人・トン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	算人件費 - × 従事耶 457 R1年 22,8 168,0	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>10</li></ul>	0 H30年度 23, 633 H88, 114	人 人 人 人 人 H29年度 23, 092 209, 206
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	46, 368 457 46, 825 航空機旅客輸送実績 航空機貨物取扱量実 事業の有効性(効果	千円 千円 指標名 績	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位・千人・トン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	算人件費 -×従事耶 457 R1年 22,8 168,0	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>10</li></ul>	0 H30年度 23, 633 88, 114	人 人 人 人 人 人 H29年度 23,092 209,206
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	46, 368 457 46, 825 航空機旅客輸送実績 航空機貨物取扱量実	千円 千円 指標名 績	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位・千人・トン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	算人件費 - × 従事耶 457 R1年 22,8 168,0	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>10</li></ul>	0 H30年度 23, 633 H88, 114	人 人 人 人 人 人 H29年度 23,092 209,206
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	46, 368 457 46, 825 航空機旅客輸送実績 航空機貨物取扱量実 事業の有効性(効果	千円 千円 指標名 積 の達成状況 用対効果)	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位・十人・トン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	算人件費 -×従事耶 457 R1年 22,8 168,0	戦員数) 千円 千円 千円 千円 度 10	0 H30年度 23, 633 188, 114	人 人 人 人 人 人 H29年度 23,092 209,206
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	46,368 457 46,825 航空機旅客輸送実績 航空機貨物取扱量実 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 新千歳空港は、平	千円 千円 指標名 (の達成状況 用対効果) 成28年度か	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位・十人ン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	算人件費 -×従事耶 457 R1年 22,8 168,0 □ 中	戦員数) 千円 千円円 千円円 度 10 54	0 130年度 23,633 188,114	人 人 人 人 人 人 日 129年度 23,092 209,206 低 低
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	46, 368 457 46, 825 航空機旅客輸送実績 航空機貨物取扱量実 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	千円 千円 指標名 (の達成状況 用対効果) 成28年度かの拡張や誘導	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高	(平均給与単位 十トン に変制施設の	算人件費 - × 従事 457 - R1年 22,8 168,0 □ 中 □ 中 □ 常夕震対	職員数) 千千千千一度 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	0 d30年度 23,633 88,114 地域再編 実施して	人 人 人 人 人 人 H29年度 23,092 209,206 低 低
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	46,368 457 46,825 航空機旅客輸送実績 航空機貨物取扱量実 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 新千歳空港は、平 て、国際線エプロン	千円 千円 千円 名 (の達成状況 用対効果) 成拡除電車で がらいる がある。	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 和のの財機場へ 令路や財機場へ	平均給与 単千ト で制き で制き	算人件費率 - × 従事率 457 - R1年 - 22,8 168,0 □ 中 中 タ震機の ごごは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	<ul><li>数 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円</li></ul>	130年度 23,633 88,114 地域再して 地域による	人 人 人 人 人 人 人 H29年度 23,092 209,206 低 低 低 電事ます。 る「誘導路複
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	46,368 457 46,825 航空機旅客輸送実績 航空機貨物取扱量実 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 新千歳空港は、平 て、国際線エプロン また、平成30年度	千円 円 名 様 の 選 対 の かる な が る な が る な が る な か な か	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 和のの財機場へ 令路や財機場へ	平均給与 単千ト で制き で制き	算人件費率 - × 従事率 457 - R1年 - 22,8 168,0 □ 中 中 タ震機の ごごは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	<ul><li>数 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円</li></ul>	130年度 23,633 88,114 地域再して 地域による	人 人 人 人 人 人 人 H29年度 23,092 209,206 低 低 低 電事ます。 る「誘導路複
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	46,368 457 46,825 航空機旅客輸送実績 航空機貨物取扱量実 事業の有効性(効果 事業の効率性(効果 事業の対率性(対 新千歳空港は、マン また、国際線エプロ また、平成30年度 線化事業」に着手す	千円 円 名 様 の 選 対 の かる な が る な が る な が る な か な か	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 和のの 高高 年設と 令路や 転機場へ	平均給与 単千ト で制き で制き	算人件費率 - × 従事率 457 - R1年 - 22,8 168,0 □ 中 中 タ震機の ごごは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	<ul><li>数 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円</li></ul>	130年度 23,633 88,114 地域再して 地域による	人 人 人 人 人 人 人 H29年度 23,092 209,206 低 低 低 電事ます。 る「誘導路複
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	46,368 457 46,825 航空機旅客輸送実績 航空機貨物取扱量実 事業の有効性(効果 事業の効率性(効果 事業の対性(カリット) 事業の対性(カリット) 事業の対性(カリット) 新千歳線で港はプロ年まと また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、に高」と	千 円 円 名 成 対 年 張 除 ど し た 。	担当正規職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 高高 元新機場 高高 年設場とと の 単 和の い に の い と し の の い に の ら い に い に い に い に い に い に い に い に い に い	(平均給与 単千ト 「施返の機制を関する。	算人件事職 ×従事職 × 	<ul><li>競</li><li>サーク</li><li>大</li><li>大</li><li>大</li><li>で</li><li>で</li><li>が</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で<td>0 130年度 23,633 188,114 地域施保して ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</td><td>人 人 人 人 人 人 人 日 23,092 209,206 (低 低 編事まま導路といることか</td></li></ul>	0 130年度 23,633 188,114 地域施保して ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	人 人 人 人 人 人 人 日 23,092 209,206 (低 低 編事まま導路といることか
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	46,368 457 46,825 航空機族物取扱量実 航空機貨物取扱量実 事業の有効性(効果) 事業の効率性(効果) 事業の対性(対別の対象ではよりのの対象ではよりののである。 新手はいいのではいいのではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではい	千 年 標 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	担当正規職員 再任用 (フル) 再任用 (ハ-フ) 任期付職員 ■ 和の駐点 一 和の財点 本 の 算が拠点 かされ、 もされる。	(平均給与 単千ト 「施返の機制を関する。	算人件事職 ×従事職 × 	<ul><li>競</li><li>サーク</li><li>大</li><li>大</li><li>大</li><li>で</li><li>で</li><li>が</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で</li><li>で<td>0 130年度 23,633 188,114 地域施保して ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</td><td>人 人 人 人 人 人 人 日 23,092 209,206 (低 低 編事まま導路といることか</td></li></ul>	0 130年度 23,633 188,114 地域施保して ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	人 人 人 人 人 人 人 日 23,092 209,206 (低 低 編事まま導路といることか
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	46,368 457 46,825 航空機貨物取扱量実 蘇空機貨物取扱量 事業の有効率性(効果) 事業の対性(効果) 事業の対性(対別の対象ではよりの対象ではよりの対象ではよりの対象ではよりの対象ではよりの対象ではよりではよりではよりでは、ロ年手とは対象に、手続を強化が対象によりに対象に対象には対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対	千指円円円円名成効年張除どし託でが誘車国託てがい計	担当正規職員 再任用 (フル) 再任用 (ハ-フ) 任期付職員 ■ 和の駐点 つ事が拠点 ここのでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは	(平均均       単千ト       「施返の空       を割けて       50円       30円       50円       30円       50円       30円       50円       50円 <td>算人件事 - X - K - K - K - C - C - C - C - C - C - C - C</td> <td>競アート度 10 154ミ策導着クートかアートアートアートルををに拡</td> <td>0 130年度 23,633 188,114 地実確推 地実確推 大や交近</td> <td>人 人 人 人 人 人 人 人 世 23,092 209,206 は 低 事まま導こと。 後 に い るこい るこい るこい ること。 も を の 要 番 と し ること。 も も も も も も も も も も も も も も も も も も も</td>	算人件事 - X - K - K - K - C - C - C - C - C - C - C - C	競アート度 10 154ミ策導着クートかアートアートアートルををに拡	0 130年度 23,633 188,114 地実確推 地実確推 大や交近	人 人 人 人 人 人 人 人 世 23,092 209,206 は 低 事まま導こと。 後 に い るこい るこい るこい ること。 も を の 要 番 と し ること。 も も も も も も も も も も も も も も も も も も も
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業実績) 自己評価 自己評価の理由	46,368 457 46,825 航空機貨物取扱 事業の有効率性(効率性の対象を関係ではよりの対象を関係ではよりの対象を関係である。 1 の の で の で の で の の で の の で の の の の の の	千指の用成のかるし間さ航円円名成効年張除どし託てネまれ空近記記記はいいいいはいいいいはいいいいはいいいいはいいいいい <td>担当 理 理 理 理 用 に 用 に 用 に 用 に 用 に 用 に 用 に に 用 に 用 に 用 に は 職 量 こ の の の の の の の の の の の の の</td> <td>(平)単千トで制きて 航 を方がががががでががががかでがかががかでがか<!--</td--><td>算 × 従事 R1年 A57 A57 A57 A57 A57 A57 A57 A57 A57 A57</td><td>競ア度10 54ミ策導着ク 空港かアアアアア大株大まままかきまま<t< td=""><td>0 130年度 23,633 188,114 地実確推 やの安心</td><td>人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 大 世 23,092 209,206 は ば 事まま誘こ で 変 金 の 変 金 の の の の の の の の の の の の の の の</td></t<></td></td>	担当 理 理 理 理 用 に 用 に 用 に 用 に 用 に 用 に 用 に に 用 に 用 に 用 に は 職 量 こ の の の の の の の の の の の の の	(平)単千トで制きて 航 を方がががががでががががかでがかががかでがか </td <td>算 × 従事 R1年 A57 A57 A57 A57 A57 A57 A57 A57 A57 A57</td> <td>競ア度10 54ミ策導着ク 空港かアアアアア大株大まままかきまま<t< td=""><td>0 130年度 23,633 188,114 地実確推 やの安心</td><td>人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 大 世 23,092 209,206 は ば 事まま誘こ で 変 金 の 変 金 の の の の の の の の の の の の の の の</td></t<></td>	算 × 従事 R1年 A57	競ア度10 54ミ策導着ク 空港かアアアアア大株大まままかきまま <t< td=""><td>0 130年度 23,633 188,114 地実確推 やの安心</td><td>人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 大 世 23,092 209,206 は ば 事まま誘こ で 変 金 の 変 金 の の の の の の の の の の の の の の の</td></t<>	0 130年度 23,633 188,114 地実確推 やの安心	人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 大 世 23,092 209,206 は ば 事まま誘こ で 変 金 の 変 金 の の の の の の の の の の の の の の の
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	46,368 457 46,825 航空機 作物取 送実量 新空機 作物 で は 対 の 空 機 不 の 空 線 平 」 を 空 線 平 」 を 空 強 化 北 の 今 継 続 的 の 半 ま の 今 継 が の 今 継 続 的 な 実 と 民 待 際 必 の 継 続 的 の と は 期 国 が の の 継 続 的 な に 「 に 期 国 が の の 継 続 的 な に り に 財 国 が の の 継 続 的 な に し 民 待 際 必 の と に し 民 待 際 必 の と に し に は 期 国 が の の 継 続 的 な に し に は 期 国 が の の 継 続 的 な に し 民 待 際 必 の と に し 民 待 際 必 の と に し に は り に か に か に か に か に か に か に か に か に か に	千指の用成のかるし間さ航要円円名成効年張除どし託てネ可まれ空不近近か読でまたがいッ欠りにがいまたがいい <t< th=""><td>担当 理 理 理 理 用 日 田 田 田 田 田 田 田 田 田 日 田 日 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日</td><td>(平)単千トで制きて航返の空目やはたり111で制きて111はたり111はいり111はいり111はいり111はいり1&lt;</td><td>算 × 従事 R1年 A57 A57 A57 A57 A57 A57 A57 A57 A57 A57</td><td>競ア度10 54ミ策導着ク 空港かアアアアア大株大まままかきまま<t< td=""><td>0 130年度 23,633 188,114 地実確推 やの安心</td><td>人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 大 世 23,092 209,206 は ば 事まま誘こ で 変 金 の 変 金 の の の の の の の の の の の の の の の</td></t<></td></t<>	担当 理 理 理 理 用 日 田 田 田 田 田 田 田 田 田 日 田 日 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	(平)単千トで制きて航返の空目やはたり111で制きて111はたり111はいり111はいり111はいり111はいり1<	算 × 従事 R1年 A57	競ア度10 54ミ策導着ク 空港かアアアアア大株大まままかきまま <t< td=""><td>0 130年度 23,633 188,114 地実確推 やの安心</td><td>人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 大 世 23,092 209,206 は ば 事まま誘こ で 変 金 の 変 金 の の の の の の の の の の の の の の の</td></t<>	0 130年度 23,633 188,114 地実確推 やの安心	人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 大 世 23,092 209,206 は ば 事まま誘こ で 変 金 の 変 金 の の の の の の の の の の の の の の の
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業実績) 自己評価 自己評価の理由	46,368 457 46,825 航空機貨物取扱 事業の有効率性(効率性の対象を関係ではよりの対象を関係ではよりの対象を関係である。 1 の の で の で の で の の で の の で の の の の の の	千指の用成のかるし間さ航要円円名成効年張除どし託てネ可まれ空不近近か話でネ可またがいッ欠別別またがののののおいったののの </th <td>担当 理 理 理 理 用 日 田 田 田 田 田 田 田 田 田 日 田 日 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日</td> <td>(平)単千トで制きて航返の空目やはたり111で制きて111はたり111はいり111はいり111はいり111はいり1&lt;</td> <td>算 × 従事 R1年 A57 A57 A57 A57 A57 A57 A57 A57 A57 A57</td> <td>競ア度10 54ミ策導着ク 空港かアアアアア大株大まままかきまま<t< td=""><td>0 130年度 23,633 188,114 地実確推 やの安心</td><td>人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 大 世 23,092 209,206 は ば 事まま誘こ で 変 金 の 変 金 の の の の の の の の の の の の の の の</td></t<></td>	担当 理 理 理 理 用 日 田 田 田 田 田 田 田 田 田 日 田 日 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	(平)単千トで制きて航返の空目やはたり111で制きて111はたり111はいり111はいり111はいり111はいり1<	算 × 従事 R1年 A57	競ア度10 54ミ策導着ク 空港かアアアアア大株大まままかきまま <t< td=""><td>0 130年度 23,633 188,114 地実確推 やの安心</td><td>人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 大 世 23,092 209,206 は ば 事まま誘こ で 変 金 の 変 金 の の の の の の の の の の の の の の の</td></t<>	0 130年度 23,633 188,114 地実確推 やの安心	人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 大 世 23,092 209,206 は ば 事まま誘こ で 変 金 の 変 金 の の の の の の の の の の の の の の の
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業実績) 自己評価 自己評価の理由	46,368 457 46,825 航空機 作物取 送実量 新空機 作物 で は 対 の 空 機 不 の 空 線 平 」 を 空 線 平 」 を 空 強 化 北 の 今 継 続 的 の 半 ま の 今 継 が の 今 継 続 的 な 実 と 民 待 際 必 の 継 続 的 の と は 期 国 が の の 継 続 的 な に 「 に 期 国 が の の 継 続 的 な に り に 財 国 が の の 継 続 的 な に し 民 待 際 必 の と に し 民 待 際 必 の と に し に は 期 国 が の の 継 続 的 な に し に は 期 国 が の の 継 続 的 な に し 民 待 際 必 の と に し 民 待 際 必 の と に し に は り に か に か に か に か に か に か に か に か に か に	千指の用成のかるし間さ航要円円名成効年張除どし託てネ可まれ空不近近か話でネ可またがいッ欠別別またがののののおいったののの </th <td>担当 理 理 理 理 用 日 田 田 田 田 田 田 田 田 田 日 田 日 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日</td> <td>(平)単千トで制きて航返の空目やはたり111で制きて111はたり111はいり111はいり111はいり111はいり1&lt;</td> <td>算 × 従事 R1年 A57 A57 A57 A57 A57 A57 A57 A57 A57 A57</td> <td>競ア度10 54ミ策導着ク 空港かアアアアア大株大まままかきまま<t< td=""><td>0 130年度 23,633 188,114 地実確推 やの安心</td><td>人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 大 世 23,092 209,206 は ば 事まま誘こ で 変 金 の 変 金 の の の の の の の の の の の の の の の</td></t<></td>	担当 理 理 理 理 用 日 田 田 田 田 田 田 田 田 田 日 田 日 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	(平)単千トで制きて航返の空目やはたり111で制きて111はたり111はいり111はいり111はいり111はいり1<	算 × 従事 R1年 A57	競ア度10 54ミ策導着ク 空港かアアアアア大株大まままかきまま <t< td=""><td>0 130年度 23,633 188,114 地実確推 やの安心</td><td>人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 大 世 23,092 209,206 は ば 事まま誘こ で 変 金 の 変 金 の の の の の の の の の の の の の の の</td></t<>	0 130年度 23,633 188,114 地実確推 やの安心	人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 大 世 23,092 209,206 は ば 事まま誘こ で 変 金 の 変 金 の の の の の の の の の の の の の の の
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業実績) 自己評価 自己評価の理由	46,368 457 46,825 航空機 作物取 送実量 新空機 作物 で は 対 の 空 機 不 の 空 線 平 」 を 空 線 平 」 を 空 強 化 北 の 今 継 続 的 の 半 ま の 今 継 が の 今 継 続 的 な 実 と 民 待 際 必 の 継 続 的 の と は 期 国 が の の 継 続 的 な に 「 に 期 国 が の の 継 続 的 な に り に 財 国 が の の 継 続 的 な に し 民 待 際 必 の と に し 民 待 際 必 の と に し に は 期 国 が の の 継 続 的 な に し に は 期 国 が の の 継 続 的 な に し 民 待 際 必 の と に し 民 待 際 必 の と に し に は り に か に か に か に か に か に か に か に か に か に	千指の用成のかるし間さ航要円円名成効年張除どし託てネ可まれ空不近近か話でネ可またがいッ欠別別またがののののおいったののの </th <td>担当 理 理 理 理 用 日 田 田 田 田 田 田 田 田 田 日 田 日 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日</td> <td>(平)単千トで制きて航返の空目やはたり111で制きて111はたり111はいり111はいり111はいり111はいり1&lt;</td> <td>算 × 従事 R1年 A57 A57 A57 A57 A57 A57 A57 A57 A57 A57</td> <td>競ア度10 54ミ策導着ク 空港かアアアアア大株大まままかきまま<t< td=""><td>0 130年度 23,633 188,114 地実確推 やの安心</td><td>人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 大 世 23,092 209,206 は ば 事まま誘こ で 変 金 の 変 金 の の の の の の の の の の の の の の の</td></t<></td>	担当 理 理 理 理 用 日 田 田 田 田 田 田 田 田 田 日 田 日 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	(平)単千トで制きて航返の空目やはたり111で制きて111はたり111はいり111はいり111はいり111はいり1<	算 × 従事 R1年 A57	競ア度10 54ミ策導着ク 空港かアアアアア大株大まままかきまま <t< td=""><td>0 130年度 23,633 188,114 地実確推 やの安心</td><td>人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 大 世 23,092 209,206 は ば 事まま誘こ で 変 金 の 変 金 の の の の の の の の の の の の の の の</td></t<>	0 130年度 23,633 188,114 地実確推 やの安心	人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 大 世 23,092 209,206 は ば 事まま誘こ で 変 金 の 変 金 の の の の の の の の の の の の の の の
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業実績) 自己評価 自己評価の理由	46,368 457 46,825 航空機 作物取 送実量 新空機 作物 で は 対 の 空 機 不 の 空 線 平 」 を 空 線 平 」 を 空 強 化 北 の 今 継 続 的 の 半 ま の 今 継 が の 今 継 続 的 な 実 と 民 待 際 必 の 継 続 的 の と は 期 国 が の の 継 続 的 な に 「 に 期 国 が の の 継 続 的 な に り に 財 国 が の の 継 続 的 な に し 民 待 際 必 の と に し 民 待 際 必 の と に し に は 期 国 が の の 継 続 的 な に し に は 期 国 が の の 継 続 的 な に し 民 待 際 必 の と に し 民 待 際 必 の と に し に は り に か に か に か に か に か に か に か に か に か に	千指の用成のかるし間さ航要円円名成効年張除どし託てネ可まれ空不近近か話でネ可またがいッ欠別別またがののののおいったののの </th <td>担当 理 理 理 理 用 日 田 田 田 田 田 田 田 田 田 日 田 日 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日</td> <td>(平)単千トで制きて航返の空目やはたり111で制きて111はたり111はいり111はいり111はいり111はいり1&lt;</td> <td>算 × 従事 R1年 A57 A57 A57 A57 A57 A57 A57 A57 A57 A57</td> <td>競ア度10 54ミ策導着ク 空港かアアアアア大株大まままかきまま<t< td=""><td>0 130年度 23,633 188,114 地実確推 やの安心</td><td>人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 大 世 23,092 209,206 は ば 事まま誘こ で 変 金 の 変 金 の の の の の の の の の の の の の の の</td></t<></td>	担当 理 理 理 理 用 日 田 田 田 田 田 田 田 田 田 日 田 日 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 田 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	(平)単千トで制きて航返の空目やはたり111で制きて111はたり111はいり111はいり111はいり111はいり1<	算 × 従事 R1年 A57	競ア度10 54ミ策導着ク 空港かアアアアア大株大まままかきまま <t< td=""><td>0 130年度 23,633 188,114 地実確推 やの安心</td><td>人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 大 世 23,092 209,206 は ば 事まま誘こ で 変 金 の 変 金 の の の の の の の の の の の の の の の</td></t<>	0 130年度 23,633 188,114 地実確推 やの安心	人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 大 世 23,092 209,206 は ば 事まま誘こ で 変 金 の 変 金 の の の の の の の の の の の の の の の

款 02総務費

項 02企画費

目 03スポーツ振興費

事務事業番号 02020301

世国・会議と、	事業	名	R1年度	Ę		財	源	内	訳		
報告	担当音	『・課	(決算額	(到	国道支出金	・ 地ス	方債	そ(	の他	一般見	<b></b>
報告選集   1	全国・全道スポーツ	ノ大会開催運営助成	040	エロ		Ш	<b>4</b> 0		ᆂᇚ	040	<b>1</b> 0
車業の目的・対象	総合政策部 スオ	ペーツ都市推進課	940	11.			713		713	940	113
本市のスポーツ振興を図ることを目的に、全国・全道大会の選営費の一部を補助します。  本市におけるスポーツの普及・振興、青少年の健全育成のために多大に貢献しており、大会を誘致しる経済効果も高いため各種スポーツの全国・全道大会の変援は必要です。  事業の内容  500s17の目標  1 目的 本市のスポーツ振興を目的とした全国・全道大会の開催について、その速営費の一部を補助します。 2 補助の表大会 不作に関位されるスポーツの全国・全道大会の開催について、その速営費の一部を指助します。 2 補助の表大会 下部の条件を添けすものであること。 (3) 前と号に掲げるもののほか、教育、学術、文化、スポーツ、社会福祉、産業、経済、交通金籍等に関する事を一般人工をおり、大きの大会であることを目的とするもの ※ を選立を目のしているのほか、教育、学術、文化、スポーツ、社会福祉、産業、経済、交通金額等に関する事を主義、及している事業の機能とした大会であること。・(公財)日本スポーツ協会の型の設技団体・中学は体育連盟・全国以上の大会で最大200万円、全道大会は最大15万円  コスト  事業費 1 相対の 第一下円 人権費	根拠法令	苫小牧市団体補助金	交付基準(	こ関	する要綱、全	道大会開	開催市運	営補助	基準		
事業の必要性	実施方法	□ 直接実施 □	業務委託	等	■ 補助金	・負担金	<ul><li>助成3</li></ul>	<b>金</b>			
事業の必要性 市における経済効果も高いため各種スポーツ大会を援助することは「が政目的にも合数しています。また、本市における経済効果も高いため各種スポーツの全国・全道大会への支援は必要です。  1 目的 本市のスポーツ振興を目的とした全国・全道大会の開催について、その運営費の一部を 補助します。 ただし、下配の条件を満たすものであること。 (1) 地が公共団体ソス地方公共団体ソス地方公共団体の組張、長、委員会、委員若しくは職員を構成員と するもの (2) 市の行政の運営に協力することを目的とするもの (2) 市の行政の運営に協力することを目のとするもの (3) 前2号に掲げるもののほか、教育、学術、文化、スポーツ、社会福祉、産業、経済、交通運輸等に関する事業を営み、又はこれらの事業の振興を図ることを目的とするもの ※全道大会については、主に小学生、高校生、高専生を対象とした大会であること。 ・ (公財) ロネスオーツ協会加盟の競技団体・中学株、育連盟 ・全国以上の大会で最大200万円、全道大会は最大15万円	事業の目的・対象		興を図るこ	ے ک	を目的に、全	全国・全道	重大会の	運営費	台の一部 を	を補助し	<b>ノま</b>
本市のスポーツ振興を目的とした全国・全道大会の開催について、その運営費の一部を 補助します。 2 補助対象大会 本市で開催されるスポーツの全国・全道大会について補助します。 ただし、下記の条件を満たすものであること。 (1) 地方公共団体又は地方公共団体の議長、長、委員会、委員若しくは職員を構成員とするもの (2) 市の行政の運営に合力することを目的とするもの (2) 市の行政の運営に関係を有するもの ※全道大会については、主に小学生、中学生、高学生を対象とした大会であること。 ・(公財) 日本スポーツ協会加盟の競技団体・中学校体育連盟 ・全国高等学校体育連盟 又は全国高等学校野建盟 3 補助額 全国以上の大会で最大200万円、全道大会は最大15万円  フスト  事業費 (R1年度決算額)  940  千円 人件費  2、108  千円 総計 3、048  千円 総計 3、048  千円 第個指標 (事業業績) 自己評価の理由 自己評価の理由 自己評価の理由 自己評価の理由  事業の引効性(効果の達成状況) ■高 中 口低 事業の有効性(効果の達成状況) ■高 □ 中 口低 事業の有効性(効果の連成状況) ■高 □ 中 口低 事業の効果性(費用対効果) □ 高 ■ 中 口低 事業の効果性(費用対効果) □ 高 ■ 中 口低 コスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事業の必要性	大会を誘致し各種ス	ポーツ大会	会を	援助すること	は行政目	目的にも	合致し	ています	け。また	-、本
2	事業の内容		長興を目的	とし	た全国・全道	大会の開	催につい	いて、そ	その運営	費の一き	『を
1	SDGs17の日標										
交通連輪等に関する事業を営み、又はこれらの事業の振興を図ることを目的とするものであって、市の行政の運営に関係を有するもの※全道大会については、主に小学生、中学生、高校生、高専生を対象とした大会であること。・に公財)日本スポーツ協会団の競技団体・中学校体育連盟・全国高等学校体育連盟又は全国高等学校野球連盟・全国以上の大会で最大200万円、全道大会は最大15万円  コスト コスト コスト は 負権 (円均給与×従事職員数) (伊野給与×従事職員数) (伊野給与×従事職員数) (伊野給与×従事職員数) (伊野給与×従事職員数) (伊野給与×従事職員数) (伊野給与×従事職員数) (伊野・田田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・		本市で開催される ただし、下記の (1) 地方公共団体 するもの (2) 市の行政の選	を件を満た 体又は地方 運営に協力	すも 公共 する	のであること 団体の議長、 ことを目的と	:。 長、委員 :するもの	会、委員	員若しぐ		_ ,,,,,,,,	
※全道大会については、主に小学生、高較生、高専生を対象とした大会であること。また、次の団体が主催する大会であること。こと。また、次の団体が主催する大会であること。ことで対象とした大会であること。これの別日本の大会で最大200万円、全道大会は最大15万円  コスト  コスト  事業費 (R1年度決算額) 940 千円 人件費  2,108 千円 入件費  2,108 千円 総計 3,048 千円 総計 3,048 千円 総計 3,048 千円 を国・全道スポーツ大会開催運営助成金 件 7 11 7 11 7 11 7 11 7 11 7 11 7 11 7		交通運輸等に関	関する事業	を営	み、又はこれ	いらの事業					
こと。また、次の団体が主催する大金であること。 ・(公財)日本スポーツ協会加盟の競技団体・中学校体育連盟 ・全国高等学校所育連盟 3 補助額 全国以上の大会で最大200万円、全道大会は最大15万円  コスト  コスト  「R1年度決算額) 940 千円 人件費  「R1年度決算額) 940 千円 人件費  「R1年度決算額) 75 円							· # = ===	5 # <i>*</i> +	<b>4名し</b>	+ + 4 -	s <del>t.</del> 7
・ (公財) 日本スポーツ協会加盟の競技団体・中学校体育連盟・全国高等学校野球連盟 3 補助額 全国以上の大会で最大200万円、全道大会は最大15万円  コスト								芽生をメ	可家として	こ大会(	ごめる
3 補助額 全国以上の大会で最大200万円、全道大会は最大15万円    1		<ul><li>(公財) E</li></ul>	本スポー	ツ協	会加盟の競技	団体・中	学校体育	育連盟			
全国以上の大会で最大200万円、全道大会は最大15万円			校体育連	盟又	は全国高等学	校野球連	盟				
□スト			s是 <b>+</b> 200∓		<b>今尚十今け</b>	早十15万0	_				
取り		王国以工の八五(	- 取八2007.	71 1	王坦八云16	段ノハリノノ		弗			
# 事業費 (R1年度決算額) 940 千円 人件費 2,108 千円 人用		L				Jon A			<u> </u>		
(R1年度決算額)		1 / /			職員構成		×従事耶	餓員数)			汝
大件費		940	千円 (				2, 108			. 3	人
本書の課題、今後の方向性等   本書の課題、今後の方向性等   本書の課題、今後の方向性等   本書のの協力と各競技団体の御協力を継続し、更なる誘致活動を進めていきます。 また、この事業は本市への経済効果が高いため、苫小牧市大会等誘致推進協議会の誘致活動への協力と各競技団体の御協力を継続し、更なる誘致活動を進めていきます。 また、この事業は本市への経済効果が高いため、苫小牧市大会等誘致推進協議会の誘致活動への協力と各競技団体の御協力を継続し、更なる誘致活動を進めていきます。   本子四		0.100		-							分
### ### ### ### #####################	人件質	2, 108	ᆍ베ᅱ								人
指標名 単位 R1年度 H30年度 H29年度 全国・全道スポーツ大会開催運営助成金 件 7 11 7  自己評価 事業の有効性(効果の達成状況) ■ 高 □ 中 □ 低 事業の効率性(費用対効果) □ 高 ■ 中 □ 低  全国・全道規模のスポーツ大会開催により、本市へのスポーツ振興と経済効果が大きく、この事業の有効性は非常に高いです。また、開催に伴うスポーツ施設の整備等も求められることから、優先順位を見極め整備していくとともに、苫小牧市大会等誘致推進協議会による誘致活動や、各競技団体の協力により成果が表れています。  この事業は、施設環境の充実を図ることで多くの大会を誘致することが可能となるため、今後も老朽化が進む施設状況を把握しながら、優先度を見極め整備していくことが課となります。 また、この事業は本市への経済効果が高いため、苫小牧市大会等誘致推進協議会の誘致活動への協力と各競技団体の御協力を継続し、更なる誘致活動を進めていきます。		3 0/18	<u> </u>		任期付職員						人
評価指標 (事業実績)  自己評価  事業の有効性 (効果の達成状況)  自己評価  事業の効率性 (費用対効果)  全国・全道規模のスポーツ大会開催により、本市へのスポーツ振興と経済効果が大きく、この事業の有効性は非常に高いです。また、開催に伴うスポーツ施設の整備等も求められることから、優先順位を見極め整備していくとともに、苫小牧市大会等誘致推進協議会による誘致活動や、各競技団体の協力により成果が表れています。  この事業は、施設環境の充実を図ることで多くの大会を誘致することが可能となるため、今後も老朽化が進む施設状況を把握しながら、優先度を見極め整備していくことが課となります。 また、この事業は本市への経済効果が高いため、苫小牧市大会等誘致推進協議会の誘致活動への協力と各競技団体の御協力を継続し、更なる誘致活動を進めていきます。	小心 口 l	3, 040	- 1		臨時職員						
(事業実績)  自己評価  事業の有効性(効果の達成状況)  事業の効率性(費用対効果)  ○ 高  □ 中  □ 低  事業の効率性(費用対効果)  ○ 高  ○ 中  □ 低  全国・全道規模のスポーツ大会開催により、本市へのスポーツ振興と経済効果が大きく、この事業の有効性は非常に高いです。また、開催に伴うスポーツ施設の整備等も求められることから、優先順位を見極め整備していくとともに、苫小牧市大会等誘致推進協議会による誘致活動や、各競技団体の協力により成果が表れています。  この事業は、施設環境の充実を図ることで多くの大会を誘致することが可能となるため、今後も老朽化が進む施設状況を把握しながら、優先度を見極め整備していくことが課題となります。また、この事業は本市への経済効果が高いため、苫小牧市大会等誘致推進協議会の誘致活動への協力と各競技団体の御協力を継続し、更なる誘致活動を進めていきます。							R1年	度	H30年度	H29	年度
自己評価  事業の有効性(効果の達成状況) ■ 高 □ 中 □ 低  事業の効率性(費用対効果) □ 高 ■ 中 □ 低  全国・全道規模のスポーツ大会開催により、本市へのスポーツ振興と経済効果が大き く、この事業の有効性は非常に高いです。また、開催に伴うスポーツ施設の整備等も求められることから、優先順位を見極め整備していくとともに、苫小牧市大会等誘致推進協議会による誘致活動や、各競技団体の協力により成果が表れています。  この事業は、施設環境の充実を図ることで多くの大会を誘致することが可能となるため、今後も老朽化が進む施設状況を把握しながら、優先度を見極め整備していくことが課題となります。また、この事業は本市への経済効果が高いため、苫小牧市大会等誘致推進協議会の誘致活動への協力と各競技団体の御協力を継続し、更なる誘致活動を進めていきます。		全国・全道スポーツ	大会開催選	軍営	助成金	件	7		11		7
■ 中 □ 低    全国・全道規模のスポーツ大会開催により、本市へのスポーツ振興と経済効果が大きく、この事業の有効性は非常に高いです。また、開催に伴うスポーツ施設の整備等も求められることから、優先順位を見極め整備していくとともに、苫小牧市大会等誘致推進協議会による誘致活動や、各競技団体の協力により成果が表れています。    本書の課題、	(事業実績)										
■ 中 □ 低    全国・全道規模のスポーツ大会開催により、本市へのスポーツ振興と経済効果が大きく、この事業の有効性は非常に高いです。また、開催に伴うスポーツ施設の整備等も求められることから、優先順位を見極め整備していくとともに、苫小牧市大会等誘致推進協議会による誘致活動や、各競技団体の協力により成果が表れています。    本書の課題、											
事業の効率性(費用対効果) □ 高 ■ 中 □ 低  全国・全道規模のスポーツ大会開催により、本市へのスポーツ振興と経済効果が大き く、この事業の有効性は非常に高いです。また、開催に伴うスポーツ施設の整備等も求め られることから、優先順位を見極め整備していくとともに、苫小牧市大会等誘致推進協議 会による誘致活動や、各競技団体の協力により成果が表れています。  この事業は、施設環境の充実を図ることで多くの大会を誘致することが可能となるた め、今後も老朽化が進む施設状況を把握しながら、優先度を見極め整備していくことが課 退となります。 また、この事業は本市への経済効果が高いため、苫小牧市大会等誘致推進協議会の誘致活動への協力と各競技団体の御協力を継続し、更なる誘致活動を進めていきます。	自己評価										
自己評価の理由 く、この事業の有効性は非常に高いです。また、開催に伴うスポーツ施設の整備等も求められることから、優先順位を見極め整備していくとともに、苫小牧市大会等誘致推進協議会による誘致活動や、各競技団体の協力により成果が表れています。  この事業は、施設環境の充実を図ることで多くの大会を誘致することが可能となるため、今後も老朽化が進む施設状況を把握しながら、優先度を見極め整備していくことが課題となります。 また、この事業は本市への経済効果が高いため、苫小牧市大会等誘致推進協議会の誘致活動への協力と各競技団体の御協力を継続し、更なる誘致活動を進めていきます。		事業の効率性(費	用対効果)		│□高		■中			氐	
事業の課題、 今後の方向性等 一方の方向性等 一方後の方向性等 一方では 一方では 一方では 一方では 一方では 一方では 一方では 一方では	自己評価の理由	く、この事業の有効 られることから、優	性は非常 先順位を見	こ高 見極	いです。また め整備してい	:、開催に いくととも	:伴うス :に、苫	ポーツ 小牧市	施設の塾	を備等も	求め
特記事項		め、今後も老朽化が 題となります。 また、この事業は	進む施設権 本市への約	犬況 圣済	を把握しなか 効果が高いた	ヾら、優労 <u>-</u> め、苫小	c度を見 、牧市大	極め整 会等誘	備してい 致推進り	いくこと 協議会 <i>の</i>	が課
	特記事項										

款 02総務費

項 02企画費

目 03スポーツ振興費

事務事業番号 02020302

事業名 R1年度 財 源 内 訳 (決算額) 担当部·課 国道支出金 地方債 その他 一般財源 各種スポーツ大会遠征費補助金・奨励金 15.841 千円 千円 千円 千円 15.841 千円 総合政策部 スポーツ都市推進課 遠征費補助基準、国際大会出場奨励金交付基準 根拠法令 実施方法 □ 直接実施 □ 業務委託等 ■ 補助金・負担金・助成金 市内小学生から大学生までのスポーツ活動において遠征する団体、個人に対し、各種競 事業の目的・対象 技大会の出場について、その経費の一部を補助し本市のスポーツ振興を図ります。 小学生から大学生の各種スポーツ大会出場に伴う補助を行うことで、選手や父母が安心 して大会に参加させることができます。また、国際大会への出場に伴う奨励金について 事業の必要性 も、遠征費同様、本市のスポーツ振興に大きな貢献が期待されるため支援は必要です。 事業の内容 令和元年度助成状況 SDGs17の目標 (遠征費) 小学生 21件 322人 2,276千円 4 MORI-MAI · 小、中学生 36人 540千円 4件 中学生 43件 596人 11, 115千円 495千円 1件 ・中、高校生 23人 ・高校生 10件 115人 735千円 2人 大学生 1件 20千円 小 80件 1.094人 15.181千円 計 (奨励金) 8件 310千円 ・高校生 9人 7件 350千円 般 7人 16人 小 計 15件 660千円 合 計 95件 1.110人 15.841千円 人件費 コスト 概算人件費 職員構成 従事職員数 (平均給与×従事職員数) 4,216 千円 事業費 担当正規職員 0.6 人 15,841 千円 人 (R1年度決算額) 千円 嘱託職員 千円 再任用(フル) 千円 人件費 4, 216 再任用 (ハーフ) 千円 任期付職員 千円 総計 20.057 千円 臨時職員 千円 R1年度 H29年度 指標名 単位 H30年度 遠征費補助金 件 80 67 51 評価指標 (事業実績) 14 件 15 国際大会出場奨励金 16 事業の有効性(効果の達成状況) ■高 口中 □低 自己評価 事業の効率性(費用対効果) 口高 ■中 □低 様々なスポーツで全道や全国、国際競技会に出場しており、前年を上回る件数となって います。競技力の向上には、高いレベルの試合経験やプレーを観戦することなどが重要と 自己評価の理由 なるため、今後につながる経験値を上げる支援に貢献しています。 スポーツ競技力の向上や競技人口の増加を図るためにも、国際競技会出場に伴う奨励金 事業の課題、 や全国・全道大会に出場するための遠征費補助は欠かせないものであることから、今後に 今後の方向性等 ついても制度を継続して実施していきます。 特記事項

款 02総務費

項 02介画費

目 03スポーツ振興費

事務事業番号

02020303 事業名 R1年度 財 源 内 訳 (決算額) 担当部·課 国道支出金 地方債 その他 一般財源 スポ・ ーツ合宿等助成 6.820 千円 千円 千円 千円 6.820 千円 総合政策部 スポーツ都市推進課 苫小牧市スポーツ合宿等補助金交付要綱 根拠法令 実施方法 □ 直接実施 □ 業務委託等 ■ 補助金・負担金・助成金 スポーツ合宿等を実施する団体に対して、合宿に要する経費の一部を補助し本市への合 事業の目的・対象 宿を誘致します。 合宿誘致の実現により市民へスポーツの関心を高め、スポーツ活動への参加を促進する とともに、高いレベルの技術に触れることで地域スポーツのレベル向上につながるほか、 事業の必要性 多くの選手の滞在による地域経済の活性化が図られます。 令和元年度の合宿等助成金制度活用状況 ※( )は前年度 事業の内容 1.350千円 ・バスケットボール 39件 (28件) 731人( 498人) ・アイスホッケー 37件( 47件) 1,274人) 2.561千円 965人( SDGs17の目標 467人) • 野球 17件( 19件) 432人 ( 676千円 A MORI-MAR - 陸上 10件( 13件) 187人( 227人) 608千円 ・サッカー 9件( 11件) 198人( 272人) 418千円 テニス 8件( 10件) 84人( 93人) 368千円 ・フィギュアスケート 46人 ( 37人) 325千円 8件( 6件) ・バレーボール 5件( 4件) 60人( 42人) 84千円 133千円 • 剣道 5件( 8件) 51人( 68人) ・バドミントン 3件( 2件) 61人( 35人) 74千円 ・ソフトテニス 1件( 2件) 23人( 54人) 46千円 ・スピードスケート 100千円 1件( 1件) 15人( 15人) ・ダンス 0件) 66人( 66千円 1件( 0人) 1件( • 新体操 0件) 11人( 0人) 11千円 その他 0件( 4件) 0人( 113人) 計 145件 (155件) 2,930人( 3, 195人) 6.820千円 人件費 コスト 概算人件費 職員構成 従事職員数 (平均給与×従事職員数) 事業費 担当正規職員 4.216 千円 0.6 人 6.820 千円 (R1年度決算額) 千円 人 嘱託職員 千円 人 再任用(フル) 千円 人件費 4, 216 再任用 (ハーフ) 千円 任期付職員 千円 総計 11.036 千円 臨時職員 千円 H29年度 指標名 単位 R1年度 H30年度 スポーツ合宿等助成金交付件数 件 145 155 111 評価指標 (事業実績) 事業の有効性(効果の達成状況) 口中 □低 ■高 自己評価 事業の効率性(費用対効果) ■高 □低 苫小牧市大会等誘致推進協議会と連携し、大会や合宿の誘致活動を行っており、今年度 は新型コロナウイルスの影響で3月に施設を閉館したことから、前年度を下回る結果とな りましたが合宿件数は増加傾向にあると考えています。 自己評価の理由 延べ宿泊数は8千泊を超えており、競技力向上や地域経済の活性化につながっていま す。 合宿件数を増加させるための誘致セールスを関東・関西方面に行っており、成果が出て 事業の課題、 きています。今後も誘致セールスを継続するとともに、閑散期となる冬期間の誘致につい 今後の方向性等 て、各競技団体の意見を聞きながら、更なる合宿誘致につなげていきます。 特記事項

款 02総務費 項 02介画費 目 03スポーツ振興費 02020304 事務事業番号 事業名 R1年度 財 源 内 訳 (決算額) 担当部·課 国道支出金 地方債 その他 一般財源 国際少年アイスホッケー中学生交流事業 155 千円 千円 千円 千円 155 千円 総合政策部 スポーツ都市推進課 根拠法令 実施方法 ■ 直接実施 □ 業務委託等 ■ 補助金・負担金・助成金 トヨタ自動車カナダとトヨタ自動車北海道の間での製品取引が開始されたことを記念 し、両国の少年がそれぞれの国の文化とスポーツを経験する機会と捉え、トライシティ・ 事業の目的・対象 と本市が共にアイスホッケーの街であることから、アイスホッケー競技の競技力向上と普 及と共に両国の交流が盛んになることを目的としています。 アイスホッケーの盛んな両市が大会を開催し、両国の少年がそれぞれの国の文化とス ポーツを味わう機会の場をつくり、両市民の友好親善を深め更に一層の競技力向上と底辺 事業の必要性 拡大のために必要です。 事業の内容 SDGs17の目標 1 開催場所 日本: 苫小牧市(今年度) トヨタ自動車北海道㈱、苫小牧市、苫小牧市教育委員会 主 (公財) 苫小牧市体育協会 開催日 令和2年3月18日(水)~23日(月) 3 ※新型コロナウイルスの影響で中止 ※新型コロナウイルスの収束を見極め、今後の開催について実行委員会 で協議する 人件費 コスト 概算人件費 従事職員数 職員構成 (平均給与×従事職員数) 事業費 担当正規職員 7.027 千円 人 155 千円 (R1年度決算額) 千円 人 嘱託職員 千円 再任用(フル) 千円 7,027 人件費 再任用 (ハーフ) 千円 任期付職員 千円 総計 7. 182 千円 臨時職員 R1年度 H29年度 指標名 単位 H30年度 国際アイスホッケー中学生交流会参加者 人 0 25 26 評価指標 (事業実績) 事業の有効性 (効果の達成状況) □高 口中 ■低 自己評価 事業の効率性(費用対効果) 口高 口中 ■ 低 令和元年度は新型コロナウイルスの影響により中止となりましたが、開催に係るポス ターの作成や記念品など発注済みであったため、費用割合によりトヨタ自動車北海道㈱と 自己評価の理由 本市の負担となります。 事業の課題、 新型コロナウイルスの収束を見極め、実行委員会において今後の方向性を決定します。 今後の方向性等

特記事項

款 02総務費

項 02企画費

目 03スポーツ振興費 事務事業番号 02020305

秋 VZ小心/万 貝	項 02正回貝			フik <del>ye</del>			木田 ク	02020	
事第	<b>美名</b>	R1年度		財	源	内	訳		
担当音	₿・課	(決算額)	国道支出金	: 地ブ	5債	その	)他	一般	財源
全国高等学校選抜アイ									
		2,000 千円	チ	円	千円	1, 562	千円	438	千円
	パーツ都市推進課								
根拠法令									
実施方法	□ 直接実施 □	業務委託等	■ 補助金	<ul><li> 負扣金</li></ul>	• 助成:	<del></del>			
		***************************************			**********	_			
事業の目的・対象	全国高校総体(イの人気を高め競技人					とによ	り、アイ	イスホッ	ッケー
事業の必要性	アイスホッケータ 今後も支援をしてい の機会を増やすこと て開催していく必要	きます。また で、経済波及	、競技力向上	への意識	後を一層	高める	こと、『	更に人的	的交流
事業の内容	●実行委員会を設置								
事業の内容	1 出場枠								
CDC-17の口標	各都道府県1	チーム。活動	の多い地域、	北海道10	)チーム	、青森」	県2チ-	ーム、夏	東京都
SDGs17の目標	2チーム	, – 10 11 23		10742		11440	// – /		ICAJC HIS
4 AAGE 8 RASE	2 大会内容 ①開閉会式 3 事前・事後合 4 Tシャツを作成 5 開催日時	宿を実施	ント競技						
	5 開催口時   令和元年7月	30日(水)か	ら8日4日 (	(H)					
	白鳥王子アイ				イスア	· u — +	新とき	きわスケ	ケート
	センターで実施	<i>/</i> / <i>/</i> ///////////////////////////////	, , , , , , ,	1111	1 / / /	, , ,	· 101 C	_ 1//\ .	′ '
	日 6 大会参加者								
	・大会役員	56 J							
	・競技役員・								
			0 I <del>=</del> ⊥01/II						
	・選手、監督 ・観客動員数		2人 計814人	•					
	- 観合勁貝数	0,001人							
					人件	費			
		_							
	コスト			細工化	<b>车人从弗</b>	,			
	コスト		職員構成		算人件費 × 従事		従	事職員	数
	コスト			概算(平均給与	·×従事	職員数)			
 事業費	Т	手円 (	担当正規職員		·×従事	職員数) 1 千円		事職員第	人
	2,000		担当正規職員 嘱託職員		·×従事	職員数) 1 千円 千円			人人
事業費 (R1年度決算額)	2, 000	<u>+H</u>	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル)		·×従事	職員数) 1 千円 千円 千円			人
 事業費	Т	<u>+H</u>	担当正規職員 嘱託職員		·×従事	職員数) 1 千円 千円 千円			人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	2, 000 10, 541	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル)		·×従事	職員数) 1 千円 千円 千円 千円			人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額)	2, 000	<u>+H</u>	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 耳任用 (ハーフ) 任期付職員		·×従事	職員数) 1 千円 千円 千円 千円 千円			<u> </u>
事業費 (R1年度決算額) 人件費	2, 000 10, 541 12, 541	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル)	(平均給与	- × 従事耶 10, 54	職員数) 1 千円 千円 千円 千円 千円	1	. 5	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	2, 000 10, 541 12, 541	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 耳任用 (ハーフ) 任期付職員	(平均給与	- × 従事取 10, 54	職員数)       1 千円       千円       千円       千円       千円       度	130年度	. 5	人 人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	2, 000 10, 541 12, 541	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 耳任用 (ハーフ) 任期付職員	(平均給与	- × 従事耶 10, 54	職員数)       1 千円       千円       千円       千円       千円       度	1	. 5	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	2, 000 10, 541 12, 541	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 耳任用 (ハーフ) 任期付職員	(平均給与	- × 従事取 10, 54	職員数)       1 千円       千円       千円       千円       千円       度	130年度	. 5	人 人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	2, 000 10, 541 12, 541	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 耳任用 (ハーフ) 任期付職員	(平均給与	- × 従事取 10, 54	職員数)       1 千円       千円       千円       千円       千円       度	130年度	. 5	人 人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	2,000 10,541 12,541 大会参加チーム数	千円十円十二十十二十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 存任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	10, 54 10, 54 R1年 27	職員数)       1 千円       千円       千円       千円       千円       度	1 130年度 28	. 5	人 人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	2,000 10,541 12,541 大会参加チーム数 事業の有効性(効果	千円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十二円十二円十二円十二円十	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 存任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位チーム	- × 従事明 10, 54 R1年 27	職員数)       1 千円       千円       千円       千円       千円       度	30年度28	. 5 H29	人 人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	2,000 10,541 12,541 大会参加チーム数	千円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十二円十二円十二円十二円十	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 存任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位チーム	10, 54 10, 54 R1年 27	職員数)       1 千円       千円       千円       千円       千円       度	1 130年度 28	. 5 H29	人 人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	2,000 10,541 12,541 大会参加チーム数 事業の有効性(効果	十円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果)	旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高	単位チーム	- × 従事時 10,54 R1年 27 ロ中	職員数)       1     千円       千円     千円       千円     千円       度     H	1 30年度 28	.5 H29 低低低	人 人 人 人 人 (年度 27
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	2,000 10,541 12,541 大会参加チーム数 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果)	旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高	単位チーム	- × 従事時 10,54 R1年 27 ロ中	職員数)       1     千円       千円     千円       千円     千円       度     H	1 30年度 28	.5 H29 低低低	人 人 人 人 人 (年度 27
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	2,000 10,541 12,541 大会参加チーム数 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果)	旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高	単位チーム	- × 従事時 10,54 R1年 27 ロ中	職員数)       1     千円       千円     千円       千円     千円       度     H	1 30年度 28	.5 H29 低低低	人 人 人 人 人 (年度 27
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	2,000 10,541 12,541 大会参加チーム数 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 夏に氷上競技が可 関係者が本市に訪れ	十円 千円 千円 千円 千円 大標名 の達成状況) 用対効果) 能ないます。競	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 ■ 高	単位 チーム 大会でを済地域経済	- × 従事時 10,54 10	職員数) 1 千円円	1 30年度 28 ロイ から800 与してし	.5 H29 近 低 低 と がます。	人 人 人 人 人 (年度 27
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業実績) 自己評価 自己評価の理由	2,000 10,541 12,541 大会参加チーム数 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 夏に氷上競技が可 関係者が本市に訪れ	十一千円 千一円 千一円 千一円 千一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 ■ 高 ■ 高 ■ か向し上や 大口が減少し	(平均給与 単位 チーム 大会でを済	- × 従事時 10,54 10	職員数) 1 1 F F F F F F F F F F F F F F F F F F	1 30年度 28 ロイ から800 与してい	.5 H29 佐 低 と ます。 も 地域が	人 人 人 人 人 (年度 27
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	2,000 10,541 12,541 大会参加チーム数 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 夏に氷上競技が可 関係者が本市に訪れ	十一千円 千一円 千一円 千一円 千一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 ■ 高 ■ 高 ■ か向し上や 大口が減少し	(平均給与 単位 チーム 大会でを済	- × 従事時 10,54 10	職員数) 1 1 F F F F F F F F F F F F F F F F F F	1 30年度 28 ロイ から800 与してい	.5 H29 佐 低 と ます。 も 地域が	人 人 人 人 人 (年度 27
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業実績) 自己評価 自己評価の理由	2,000 10,541 12,541 大会参加チーム数 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 夏に氷上競技が可 関係者が本市に訪れ	十一千円 千一円 千一円 千一円 千一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 ■ 高 ■ 高 ■ か向し上や 大口が減少し	(平均給与 単位 チーム 大会でを済	- × 従事時 10,54 10	職員数) 1 1 F F F F F F F F F F F F F F F F F F	1 30年度 28 ロイ から800 与してい	.5 H29 佐 低 と ます。 も 地域が	人 人 人 人 人 (年度 27
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業実績) 自己評価 自己評価の理由	2,000 10,541 12,541 大会参加チーム数 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 夏に氷上競技が可 関係者が本市に訪れ	十一千円 千一円 千一円 千一円 千一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 ■ 高 ■ 高 ■ か向し上や 大口が減少し	(平均給与 単位 チーム 大会でを済	- × 従事時 10,54 10	職員数) 1 1 F F F F F F F F F F F F F F F F F F	1 30年度 28 ロイ から800 与してい	.5 H29 佐 低 と ます。 も 地域が	人 人 人 人 人 (年度 27
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業実績) 自己評価 自己評価の理由	2,000 10,541 12,541 大会参加チーム数 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 夏に氷上競技が可 関係者が本市に訪れ	十一千円 千一円 千一円 千一円 千一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 ■ 高 ■ 高 ■ か向し上や 大口が減少し	(平均給与 単位 チーム 大会でを済	- × 従事時 10,54 10	職員数) 1 1 F F F F F F F F F F F F F F F F F F	1 30年度 28 ロイ から800 与してい	.5 H29 佐 低 と ます。 も 地域が	人 人 人 人 人 (年度 27
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総 計 評価指標(事業表) 自己評価 自己評価の理由	2,000 10,541 12,541 大会参加チーム数 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 夏に氷上競技が可 関係者が本市に訪れ	十一千円 千一円 千一円 千一円 千一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 ■ 高 ■ 高 ■ か向し上や 大口が減少し	(平均給与 単位 チーム 大会でを済	- × 従事時 10,54 10	職員数) 1 1 F F F F F F F F F F F F F F F F F F	1 30年度 28 ロイ から800 与してい	.5 H29 佐 低 と ます。 も 地域が	人 人 人 人 人 (年度 27
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業実績) 自己評価 自己評価の理由	2,000 10,541 12,541 大会参加チーム数 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 夏に氷上競技が可 関係者が本市に訪れ	十一千円 千一円 千一円 千一円 千一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・一円 ・	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 ■ 高 ■ 高 ■ か向し上や 大口が減少し	(平均給与 単位 チーム 大会でを済	- × 従事時 10,54 10	職員数) 1 1 F F F F F F F F F F F F F F F F F F	1 30年度 28 ロイ から800 与してい	.5 H29 佐 低 と ます。 も 地域が	人 人 人 人 人 (年度 27

款 02総務費

項 02企画費

目 03スポーツ振興費 事務事業番号 02020306

事業				- 目 03スホ				· 美番号	0202	
			年度		財	源	内	訳		
担当部	₹・課	(決	算額)	国道支出金	き 地方	債	そ(	の他	一般	財源
氷上スポー	 ツ育成事業	0.00	0 ~ m			<b>7</b> m	0 000			<b>7</b> m
総合政策部 スポ	ペーツ都市推進課	3, 22	3 千円	+	円	千円	3, 223	子円		千円
根拠法令					·					
実施方法	□ 直接実施	□ 業務委	≸託筌	■ 補助金	• 負扣金	• 助成:	<del></del>			
71,3737										
事業の目的・対象	幼児及び小学 ムを通じて体験 を目的としてい	してもらい								
事業の必要性	氷上スポーツ 小学校低学年のだき、氷都の将 す。	子どもたち	に氷上	スポーツの楽	€しさを遊	びやゲ	ームを	通じて	体験し	ていた
事業の内容										
7 7 7 7 7 7										
SDGs17の目標 3 YSGANE	1対市象の4分の期中10月所イ容心3スア内初4内初	ら3月(遁 ケート ケー	1回) ・ハイ・ ・ダイ: ・白鳥:	まで ランドスポー ナックスイス 王子 アイス、ス を通じて、ス	端アイス ソリーナ	アリー	ナ		を学び	ます。
						人件	費			
	コスト			職員構成	概算 (平均給与	章人件費 ×従事	哉員数)		事職員	数
事業費	コスト 3, 223	千円		旦当正規職員		章人件費 ×従事	· 職員数) 4 千円	C	事職員	人
		千円	]   [	旦当正規職員 嘱託職員		章人件費 ×従事	職員数) 4 千円 千円			人人
事業費		千P 千P		旦当正規職員 嘱託職員 再任用(フル)		章人件費 ×従事	<ul><li>職員数)</li><li>4 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	C		人 人 人
事業費 (R1年度決算額)	3, 223			旦当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 耳任用(ハーフ)		章人件費 ×従事	<ul><li>競員数)</li><li>4 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	(		人 人 人
事業費 (R1年度決算額)	3, 223			世当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 存任用(ハーフ) 任期付職員		章人件費 ×従事	<ul><li>競員数)</li><li>4 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>			人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	3, 223 3, 514	千P		旦当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 耳任用(ハーフ)	(平均給与	章人件費 ×従事 3,514	能員数) 4 千円 千円 千円 千円 千円		). 5	人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	3, 223 3, 514 6, 737	千P 千P 指標名		世当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 存任用(ハーフ) 任期付職員	(平均給与	算人件費 ×従事罪 3,514	# # # # # # # # # # # # # #	H30年度	). 5	人 人 人 人 人 人 9年度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	3, 223 3, 514 6, 737	千P 千P 指標名 一ル参加者		世当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 存任用(ハーフ) 任期付職員	単位人	章人件費 ×従事事 3,514 R1年 1,61	# # # # # # # # # # # # # #	H30年度 3,957	). 5 : H2	人 人 人 人 人 人 9年度 , 285
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	3, 223 3, 514 6, 737 エンジョイスク・ アイスホッケー	千P 千P 指標名 一ル参加者 コース参加	引用一种	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員	単位人人人	享人件費 ×従事明 3,514 R1年 1,61 1,18	職員数) 4 千円 千円 千円 千円 11	H30年度 3,957 594	). 5 : H2	人 人 人 人 人 9年度 , 285 779
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	3, 223 3, 514 6, 737 エンジョイスク・ アイスホッケー スピードスケー	千P 千P 指標名 一ル参加者 コース参加 トコース参	1 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	世当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 存任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位人人人人人人	享人件費 ×従事耶 3,514 R1年 1,61 1,18 214	職員数) 4 千円 千円 千円 千円 11	H30年度 3,957 594 276	H2 4	人 人 人 人 人 人 9年度 , 285
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	3, 223 3, 514 6, 737 エンジョイスク・ アイスホッケー スピードスケー 事業の有効性(	千円 千円 指標名 一ル参加者 コース参加 トコース参 効果の達成	1	世当正規職員 嘱託職員 再任用(7ル) 存任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位人人人人人	章人件費 ×従事耶 3,514 R1年 1,61 1,18 214	職員数) 4 千円 千円 千円 千円 11	H30年度 3,957 594 276	D. 5 H2 4	人 人 人 人 人 9年度 , 285 779
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	3, 223 3, 514 6, 737 エンジョイスク・ アイスホッケー スピードスケー	千円 千円 指標名 一ルースーの達成 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大力	1 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 ■ 高 本告費をかい	単位人人人人	算人件費 ×従事財 3,514 3,514 R1年 1,61 1,18 214 □ 中	職員数) 4 千円円円円 1 30 1 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	H30年度 3,957 594 276	D. 5 H2 4 低低	人 人 人 人 9年度 , 285 779 316
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	3, 223 3, 514 6, 737 エンジョイスク アイスホッケー スピードスケー 事業の有効性( 事業の効率性 この事業は、 団やアイスホッ	千円名大円1<		世当正規職員 嘱託職員 「個別では、10-7) 「任用(ハ-7) 任期付職員 「国際でする」。 高高をかって事者をつって事業のである。	(平均給与単人人人人 しな 業始 で時間 では	算人件事 3,514 R1年 1,61 1,18 214 □ 中 ・ るい ・ るい ・ るい	職4度1で。大千千千千千、、、今め、大者	H30年度 3,957 594 276 口 によい牧の まも事業者	0.5 H2 4 低低 ケ競 総確保	人人人人人の       9年度       7779       316       ト人       必苦

款 02総務費

項 02企画費

目 03スポーツ振興費 事務事業番号 02020307

事美	投 ℃正回貝	D1 左 由	1 00 // //	財	<u>?</u> 源	内訳	02020		
		R1年度	同学士山名				фП. Б	14 NE	
担当音		(決算額)	国道支出金	宝 地力	5債 📗	その他	一般	7次	
健康ウォー		317 <del>T</del>	円 千	刪	千円	千円	317	千円	
総合政策部スポ	ポーツ都市推進課	017	' '	' '	' ' '	113	017		
根拠法令		-	-	-	-	-			
	■ 直接実施 □	業務委託等	□ 補助金	・負担金	<ul><li>助成金</li></ul>	È			
事業の目的・対象	苫小牧の自然あふ 愛を深めながら健康							郷土	
事業の必要性	子どもから高齢者 で美しい街並みを再 業として継続してい	確認し、郷土	愛を深めなが						
事業の内容	毎年6月から10月	<u></u> の5か月間、	毎月1回ウォ	ーキング	<u></u>	を変えて実施	している	きす。	
サ未の内谷	10月の5回目はフ								
SDGs17の目標	全制覇賞を贈呈して	います。						=	
			心市街地周辺=			者:215人(	146人)		
3 #Atoak			大作戦!」との						
4. 1			もれびの道周辺			者:139人(			
_₩◆			トナイ小学校居						
			小牧駒澤大学周 ★朝の池田辺=			者:144人( 者:222 L (			
	10月14	口(月)壶。	太郎の池周辺コ	1-7		者:223人( 計:881人(	130人) 569人)		
						)は前年度	509人)		
	◆対象				<b>~</b> (	/ 14前千皮			
		4歳以上で	1人で5km程度	歩けるさ	ī				
	[5回目]		ース・小学			1人で歩ける	方		
	1000		・・ みコース 4 歳				, ,		
			ックウォーキン						
					人件費	<b>事</b>			
	コスト			<b>∔</b> Rπ 4		<u> </u>			
	171		職員構成	(平均給与		늹員数)	事職員	汝	
 事業費				(1 544 5	7, 730		. 1		
●未負 (R1年度決算額)	317	千円(	嘱託職員		7, 700	<u> </u>		ᄉ	
(11 千汉//开设/		<del> </del>	再任用(フル)			<u>- 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</u>		<del></del>	
人件費	7, 730	千円入	再任用(ハーフ)			千円		$\frac{2}{1}$	
		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				千円		<u> </u>	
総計	8, 047	千円				<u> </u>		ᄉ	
		<u> </u>	咖吋嘅貝	出八	D1左回		: Цоо	<u>八</u> 年 庶	
== != !!a !=		指標名		単位	R1年月		_	年度	
評価指標	健康ウォーキング事	<b>耒</b> 奓加人致		人	881	569	8	80	
事業実績)									
	事業の有効性(効果	の達成状況	■高		口中		低		
日乙計伽	事業の効率性(費	用対効果)	■高		口中		低		
	・								
自己評価の理由	この事業は、天候	に大きく左右	占される事業で	ごすが、傾	康増進	や体力向上の	きっかい	けづく	
自己評価の理由 事業の課題、 今後の方向性等	この事業は、天候	に大きく左右 事業効果が 人の運動不り め、高齢者 くは高齢者	日される事業で 非常に高いたが まで高齢者の優を含む全市民に	ですが、例 が は は は は は ま ま の の の も も も の も も も の も も の も り も り も も り も り	健康増進する い 延伸なで がななし	や体力向上の す。 ど、認知症予 していきます。	 防にもタ 。	加果が	
事業の課題、 今後の方向性等	この事業は、天候 りとして有効であり ウォーキングは成 あるとされているた また、参加者の多	に大きく左右 事業効果が 人の運動不り め、高齢者 くは高齢者	日される事業で 非常に高いたが まで高齢者の優を含む全市民に	ですが、例 が は は は は は ま ま の の の も も も の も も も の も も の も り も り も も り も り	健康増進する い 延伸なで がななし	や体力向上の す。 ど、認知症予 していきます。	 防にもタ 。	加果が	
事業の課題、	この事業は、天候 りとして有効であり ウォーキングは成 あるとされているた また、参加者の多	に大きく左右 事業効果が 人の運動不り め、高齢者 くは高齢者	日される事業で 非常に高いたが まで高齢者の優を含む全市民に	ですが、例 が は は は は は ま ま の の の も も も の も も も の も も の も り も り も も り も り	健康増進する い 延伸なで がななし	や体力向上の す。 ど、認知症予 していきます。	 防にもタ 。	加果が	

款 02総務費 項 02介画費 目 03スポーツ振興費 02020308 事務事業番号 事業名 R1年度 財 源 内 訳 (決算額) 担当部·課 国道支出金 地方債 その他 一般財源 ナショナルトレーニングセンター運営事業 18.748 千円 18.748 千円 千円 千円 千円 総合政策部 スポーツ都市推進課 根拠法令 実施方法 □ 直接実施 ■ 業務委託等 □ 補助金・負担金・助成金 スポーツ庁の事業として、アイスホッケーの競技力向上のために必要なトレーニング環 境の整備や医・科学サポートを行うための施設の高機能化を図り、ナショナルトレーニン 事業の目的・対象 グセンター(NTC)中核拠点との情報ネットワーク構築による、NTC競技別強化拠点施設 (白鳥王子アイスアリーナ) の充実を図るための事業として実施しています。 ナショナルレベルの競技者の集中的・継続的な強化活動、ジュニア競技者の育成、トッ プレベル競技者を強化する指導者の質の向上を推進する役割を担っており、女子アイス 事業の必要性 ホッケーにおいては、2022年北京オリンピックに出場決定するなど成果を上げていること |から、今後も実施していく必要があります。 事業の内容 〇トレーナーの配置や練習備品の購入等、各世代のアイスホッケー日本代表が強化活動 SDGs17の目標 (合宿等)を行う際の環境整備やサポートを行います。 中央競技団体による施設利用実績 ①男子ナショナルチーム強化合宿 (17日) ②女子ナショナルチーム強化合宿 (65日) ③男子ジュニアナショナルチーム強化合宿 (19日) ④女子ジュニアナショナルチーム強化合宿 (12日) ⑤強化合宿時以外のNF強化対象選手による練習 (165日) 2 強化・育成活動内容 ①ナショナルレベルの競技者の集中的・継続的な強化活動 ②競技者育成プログラムに基づくジュニア競技者の育成 ③医・科学セミナー講師によるメンタル講習 人件費 コスト 概算人件費 職員構成 従事職員数 (平均給与×従事職員数) 事業費 担当正規職員 3.514 千円 0.5 18.748 千円 (R1年度決算額) 千円 人 嘱託職員 千円 再任用(フル) 千円 人件費 3, 514 再任用 (ハーフ) 千円 任期付職員 千円 総計 22. 262 千円 臨時職員 千円 指標名 H29年度 単位 R1年度 H30年度 NTC事業延べ日数 В 278 162 147 評価指標 (事業実績) 事業の有効性 (効果の達成状況) 口中 □低 ■高 自己評価 事業の効率性(費用対効果) ■高 口中 □低 新型コロナウイルスの影響により、施設の閉館や団体でのトレーニングに制限があるな ど、3月に実施予定であった合宿等が中止となりましたが、女子日本代表チームに関して 自己評価の理由 は、2020年世界ランキング6位で2022年の北京オリンピックに出場決定するなど、NTC事 業としての効果が十分に出ていると評価できます。 日本代表選手の強化を担う日本アイスホッケー連盟、施設管理者である指定管理者との 事業の課題、 連携が課題となっており、今後はビデオ会議システム等の活用により、事業運営に対する 今後の方向性等 より円滑な連携を図っていきます。 特記事項

目 03スポーツ振興費 款 02総務費 項 02企画費 事務事業番号 02020309 事業名 R1年度 財 源 内 訳 国道支出金 (決算額) 一般財源 担当部·課 地方債 その他 障がい者スポーツ振興事業 148 千円 千円 千円 39 109 千円 千円 総合政策部 スポーツ都市推進課 根拠法令 実施方法 □ 補助金・負担金・助成金 ■ 直接実施 □ 業務委託等 身体障がい及び知的障がいの方が、スポーツに親しみ、交流することで社会参加の意欲 を促し、生活の質の向上を図ります。また、障がい者だけではなく、健常者の方々にも障 事業の目的・対象 がい者スポーツを理解していただくとともに福祉の担い手を増やす機会とします。 健常者の方の様々な障害に対する理解とサポートする心を醸成することは、非常に重要 事業の必要性 です。さらに障害をお持ちの方に社会参加意欲を促すためにも必要な事業です。 事業の内容 〇スポーツレクリエーション教室 ※( )は前年度実績 フライングディスク教室 令和元年6月15日(土)参加者43人 (44人) (49人) SDGs17の目標 ボッチャ教室 令和元年7月20日(土)参加者39人 ・車いすバスケットボール教室 令和2年2月22日(土)参加者28人 (38人) 10 APED パラアイスホッケー教室 令和2年3月14日(土)新コロナ中止(26人) 〇パラスポーツ体験会 ※令和元年度新事業 令和元年11月10日(日)参加者102人 (内容) 5種目の体験ブースを設置 車いすバスケットボール ・ボッチャ ・フライングディスク ・パラ陸上



コスト 事業費 148 千円 (

・サウンドテーブルテニス

人件費									
職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数) 従事職員第								
担当正規職員		1, 405	千円	0. :	2 人				
嘱託職員		3, 405	1	人					
再任用(フル)			千円		人				
再任用(ハーフ)			千円		人				
任期付職員	千円 .								
臨時職員			千円		人				
	234 LL		- 1	1100	1100				

(R1年度決算額)	140	''1	嘱託職員		3, 405 千	·円 1	人
	4, 810	千円	再任用(フル)		人		
NII R	1, 010		再任用(ハーフ)			·H	<u>_</u>
総計	4, 958	千円	任期付職員 臨時職員			·円 ·円	人
			<b> </b>	単位	TR1年度	·问 H30年度	人 H29年度
<b>动体长</b> 描	スポーツレクリエ-		<del></del>		110	157	- 1123千皮
評価指標 (事業実績)	パラスポーツ体験		グル1日			107	
(予不大順)		云 多 加 日			102	_	_
	事業の有効性(効	用の達成性に	人 102 -				
自己評価	事業の分別性(別)		■同■高		<u>□ 中</u> □ 中		
	争業の効学性()	貝用刈刈米/			<u> </u>		
自己評価の理由	パラリンピック( 「パラスポーツ体!!						
事業の課題、 今後の方向性等	2020年東京オリンポーツに対する理解 くと予想されます。 今後は、これまで 一層のネットワークポーツへの参加やす	解やバリアフリ 。 で以上に行政、 ク化を行い、ī	リーに関するこ 市民、スポー 市民へのパラス	となど、 ·ツサポー ·ポーツの	各まちづく -ター、パラ	りが更に活 ·スポーツ当	発化してい 事者とより
特記事項							

事務事業評価(主要事業レビュー) 目 03スポーツ振興費 款 02総務費 項 02企画費 事務事業番号 02020310 事業名 R1年度 財 源 内 訳 (決算額) 一般財源 担当部·課 国道支出金 地方債 その他 はつらつママさんバレー開催事業 349 千円 千円 千円 千円 349 千円 総合政策部 スポーツ都市推進課 根拠法令 実施方法 ■ 直接実施 □ 業務委託等 □ 補助金・負担金・助成金 日本バレーボール協会が推薦する選手(オリンピック、全日本経験者他)による親善試 合並びに指導者クリニック、バレーボール教室等を開催し、青少年の健全育成や、明るい 事業の目的・対象 まちづくりなどコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展 と住民福祉の向上に寄与することが目的です。 オリンピックや全日本等で活躍された選手達と親善試合や教室などで触れ合うことで、 市民の健康増進や見るスポーツを推進し、明るく健康な生活環境のきっかけとするため必 事業の必要性 要です。 事業の内容 令和元年8月24日(土) ・指導者クリニック SDGs17の目標 ・参加者との「ふれあい懇親会」 A MORI-MAI 令和元年8月25日(日) バレーボール教室(ママさんバレーボール連盟登録者) • 開会式 ・アトラクション ①スパイク百発百中 ②ドリブルつなげてリレー フレンドリーマッチ(地元チームとの試合) ・ドリーム抽選会 • 閉会式 人件費 コスト 概算人件費 従事職員数 職員構成 (平均給与×従事職員数) 4,216 千円 事業費 担当正規職員 0.6 349 千円 (R1年度決算額) 千円 人 嘱託職員 再任用(フル) 千円 4, 216 千円 人件費 再任用 (ハーフ) 千円 任期付職員 千円 総計 4, 565 千円 臨時職員 指標名 H29年度 単位 R1年度 H30年度 参加者数 人 284 評価指標 (事業実績) 823 人 |観客数 事業の有効性 (効果の達成状況) ■高 口中 □低 自己評価 事業の効率性(費用対効果) ■高 口中 □低

自己評価の理由	この事業は、宝くじの社会貢献広報事業で行われており、元オリンピックや全日本で活躍した選手に来苫いただき、とても費用対効果が高い事業であります。
今後の方向性等	この宝くじ「社会貢献広報事業」は全国で開催されており、名選手を派遣いただけるということもあり人気の高い事業となっています。 今後も実施機会がありましたら積極的に取り組み、市民に楽しんでいただける機会を 作っていきます。

特記事項

款 02総務費

項 02企画費

目 04スポーツ施設費

事務事業番号 02020401

担当部・課	水 021心/万良	投 化正凹貝				財		中加于		02020	101
双ポーツ施設整備 総合政策部 スポーツ和市推進課					同学士山人					6n. D.	LYE
総合政策部 スポーツ都市推進課			( ) ( ) ( ) ( )	)	国迫支出金	注 地 7	5賃	その	他	一般則	才源
表別の			56 722 =	ᇎᆔ	10 000 =	刪	エロ	30 346	<b>4</b> m	16 276	千円
実施方法	総合政策部 スオ	ポーツ都市推進課	00, 122		10,000	' '	1-1-3		1 13	10, 370	1 17
実施方法	根拠法令					-					
事業の目的・対象  スポーツ施設や器具の老朽化による改修や器具の入替え等に伴う整備のために必要な事業です。  事業の内容  SDGs17の目標  1 陸上競技場 (公認取得に伴う工事及び傭品等の購入) 2 ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ (整水車タイロットエンド外取替修繕、自家発電修証事、非常放送設備修繕、おお超毛動工事等 明子便所小便器取替工事) 3 総合体育館 (給湯安全中取替工事、屋上防水修繕、非常放送設備取替工事、美道豊の振入) 4 とましんスタジアム音響設備修繕 5 ハイランドスポーツセンター (ザンボニー修繕、重油地下タンクライニング) 6 旧スポーツハウスアスペスト分析調査等 7 川沿公園体育館 (PSB处分等、受配食商业修工事、空手用マットの購入) 8 日新温水ブール自動給外装置更新工事 9 屋内ゲートボール場外壁補修工事 9 屋内ゲートボール場外壁補修工事  1 陸二大作費 (PSB公分等、安配食商业修工事、空手用マットの購入) 9 屋内ゲートボール場外壁補修工事  1 大件費 (平均給与×従事職員数) 従事職員数 (平均給与×従事職員数) (基本職員を受益の関係を対しています。 (本の経)		□ 直接実施 ■	業務委託等	¥	□補助金	• 負扣余	• 助成	<del></del>			
事業の内容 SDGs17の目標 1 陸上競技場 (公認取得に伴う工事及び備品等の購入) 2 ダイナックス別 端アイスアリーナ (整水車タイットエンド外取替修繕、自家発電 (修経工事、球放送設備総議、 冷却塔更新工事等、男子便所小便器取替工事、 3 総合体育館 (給湯安全弁取替工事、屋上防水修繕、非常放送設備取替工事、柔道量の 4 とましんスタジアム書智設備修繕 5 ハイランドスポーツセンター (ザンボニー修繕、重油地下タンクライニング) 6 旧スポーツハウスアスペスト分析調査等 7 川沿公園体育館 (PG級分等、受電放備改修工事、空手用マットの購入) 8 日新湯水ブール自動給水菱皿製新工事 9 屋内ゲートボール場外型補修工事 9 屋内ゲートボール場外型補修工事 9 屋内ゲートボール場外型補修工事 1 (平均給与×延申級員数 (延事職員数 担当正規職員 7,027 千円 人 横費 7,027 千円 人 「毎月職員 千円 人 「毎月間保」 千円 人 「毎月間保」 「中円 人 「毎月間保」 「中円 人 「毎月間報」 「中円 人 「毎月間」」 「中円 人 「毎月間」」 「中円 「 年月」 「 年間報」						KIER	931%	<u> </u>			
************************************	事業の必要性		具の老朽化	.Iこ d	よる改修や器	異の入替	替え等に	半う整備	帯のた。	めに必要	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1 陸上競技場(公認取得に伴う工事及び備品等の購入) 2 ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ(整水車タイロットエンド外取替修繕、自家発電修繕工事、非常放送設備整稿、希知塔更新工事等、男子便所小便器取替工事、系造量の購入) 4 とましんスタジア人音響設備修繕 5 ハイランドスポーツセンター(ザンボニー修繕、重油地下タンクライニング) 6 旧スポーツハウスアスペスト分析調査等 7 川沿公園体育館(PCB処分等、受電設備改修工事、空手用マットの購入) 8 日新温水ブール自動給水装置更新工事 9 屋内ゲートボール場外壁補修工事 9 屋内ゲートボール場外壁補修工事 9 屋内ゲートボール場外壁補修工事 9 屋内ゲートボール場外壁補修工事 10 人件費 7.027 千円 総計 63,749 千円 人 (平均給与×後書職員数) 従事職員数 2 世位 R1年度 (平均給与×後書職員数) 「新程用 (ルーツ) 千円 人 (平別・10 年) 「中 人 (下)	事業の内容										
事業費		1 を 上 ( ス ) ( ス	認ノ放湯 アース(自取端送安 ムツアCB動得ア設全 音セス処外にイ備弁 響ンベ処水学の移名	ア繕替の備一トを置り、コーパーク・夏	リーカー エ 後 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(車タイロ 「工事等、 「水修繕、 「修繕、重	コットエ 男子便 非常が 油地下	所小便報 は送設備取 なとので	器取替. 収替エ ライニ	工事) 事、柔道	
#職員構成 (平均給与×従事職員数) 従事職員数 (平均給与×従事職員数) (平均給与×従事職員数 (平均給与×従事職員数) (平均給与×従事職員数 (平均給与×従事職員数) (平均給与×従事職員数 (平均給与×従事職員数) (平均給与×従事職員数 (平均給与×送事職員数 (平均給与×送事職員 (平均給与×送事職員 (平均給与×送事職員数 (平均給与×送事職員 (平均給与×送事職員 (平均給与×送事職員 (平均給与×送事職員 (平均給与×送事職員 (平均給与×送事職員 (平均給与×送事職員 (平均給与・送事職員 (平均給与・総員 (平均給与・送事職員 (平均給与・送事制制 (平均給与・送事職員 (平均給与・送事職員 (平均給与・送事職員 (平均給与・送事職員 (平均給与・送事職員 (平均給与・送事職員 (平均給与・送事職員 (平均給与・送事職員 (平均給与・送事職員 (平均給与・送事場員 (平均給与・送事場) (平均給与・送事場員 (平均給与・送事場) (平均給与・送事場員 (平均給与・送事場) (平均給与・送事場員 (平均給与・送事場) (平均給与・送事) (平均給与・送事場) (平均給与・送事場) (平均給与・送事) (平均給与・送事場) (平均給与・送事) (平均給与・送事) (平均給与・送事) (平均給与・送事								T			
(R1年度決算額)   7,027		コスト			職員構成		×従事	職員数)	従	事職員数	Þ
大件質		56, 722	千円(		嘱託職員		7, 02	千円		1	人人
総計 63,749 千円 任期付職員 千円 人 臨時職員 千円 人 臨時職員 千円 人 臨時職員 千円 人 福時職員 第二年度 H30年度 H29年度 日2評価 事業の有効性(効果の達成状況) ■ 高 中 日低 事業の効率性(費用対効果) 日高 中 日低 安心安全に利用いただくため、市民の一般開放や大会開催に伴う器具等の整備を行うなど、施設の老朽化による修繕等に対応しています。 スポーツ施設17施設のうち、9施設が築30年を経過しており老朽化が進んでいます。各 施設の改修箇所等の状況を把握し、優先順位を見極め適宜整備します。	人件費	7, 027	千円								人人
指標名 単位 R1年度 H30年度 H29年度  評価指標 (事業実績)  自己評価 事業の有効性(効果の達成状況) ■ 高 □ 中 □ 低  事業の効率性(費用対効果) □ 高 ■ 中 □ 低  安心安全に利用いただくため、市民の一般開放や大会開催に伴う器具等の整備を行うなど、施設の老朽化による修繕等に対応しています。  スポーツ施設17施設のうち、9施設が築30年を経過しており老朽化が進んでいます。各 施設の改修箇所等の状況を把握し、優先順位を見極め適宜整備します。	総計	63, 749	千円	_	任期付職員			千円			人人
評価指標 (事業実績)  自己評価  事業の有効性(効果の達成状況) ■ 高 □ 中 □ 低 事業の効率性(費用対効果) □ 高 ■ 中 □ 低  安心安全に利用いただくため、市民の一般開放や大会開催に伴う器具等の整備を行うなど、施設の老朽化による修繕等に対応しています。  本語の課題、 今後の方向性等  スポーツ施設17施設のうち、9施設が築30年を経過しており老朽化が進んでいます。各施設の改修箇所等の状況を把握し、優先順位を見極め適宜整備します。			指標名			単位	R1年		30年度	H294	主度
事業の有効性(効果の達成状況) ■ 高 □ 中 □ 低 事業の効率性(費用対効果) □ 高 ■ 中 □ 低	=== /== +比↓==		10 l/V. D			714	11.7	<u>~   ''</u>	- V T I又	1120-	. /文
自己評価  事業の有効性 (効果の達成状況)  事業の効率性 (費用対効果)  □ 高  □ 中  □ 低  事業の効率性 (費用対効果)  □ 高  □ 中  □ 低  安心安全に利用いただくため、市民の一般開放や大会開催に伴う器具等の整備を行うなど、施設の老朽化による修繕等に対応しています。  スポーツ施設17施設のうち、9施設が築30年を経過しており老朽化が進んでいます。各施設の改修箇所等の状況を把握し、優先順位を見極め適宜整備します。											
事業の効率性(費用対効果) □ 高 ■ 中 □ 低   安心安全に利用いただくため、市民の一般開放や大会開催に伴う器具等の整備を行うなど、施設の老朽化による修繕等に対応しています。   事業の課題、	(										
事業の効率性(費用対効果) □ 高 ■ 中 □ 低   安心安全に利用いただくため、市民の一般開放や大会開催に伴う器具等の整備を行うなど、施設の老朽化による修繕等に対応しています。   事業の課題、							<u> </u>				
事業の効率性(費用対効果) □ 高 ■ 中 □ 低    自己評価の理由 安心安全に利用いただくため、市民の一般開放や大会開催に伴う器具等の整備を行うなど、施設の老朽化による修繕等に対応しています。    事業の課題、	カコミル	事業の有効性(効果	の達成状況	!)	■高		中			低	
自己評価の理由 安心安全に利用いただくため、市民の一般開放や大会開催に伴う器具等の整備を行うなど、施設の老朽化による修繕等に対応しています。  事業の課題、 今後の方向性等 施設の改修箇所等の状況を把握し、優先順位を見極め適宜整備します。	日己評価										
今後の方向性等施設の改修箇所等の状況を把握し、優先順位を見極め適宜整備します。	自己評価の理由	安心安全に利用い	ただくため		市民の一般開	別放や大会		伴う器具			うな
特記事項										でいます	<sup>-</sup> 。各
	特記事項										

款 02総務費

項 02企画費

目 04スポーツ施設費 事務事業番号 02020402

款 02総務實	項 02企画質		- 目 04スホー				<u> </u>	02020	J4UZ
事業		R1年度		<u>財</u>	源	<u>内</u>	訳		
担当部	₿・課	(決算額)	国道支出金	地力	漬	そ0	D他	一般	財源
緑ケ丘公園サッ	カー場改修事業	70, 882 <del>+</del>	円 34, 461 千F	∄ 32, 100	) TM	3, 839	7 m	482	7 M
総合政策部 スホ	ポーツ都市推進課	7 /0, 002 T	134, 401 Tr	32, 100	, +13	ა, ია <del>ა</del>	千円	402	千円
根拠法令				·					
実施方法	□ 直接実施 ■	業務委託等	□ 補助金	• 色坦全	• 助成:	<del></del> 全			
入池乃石		本勿女正寸		吳正亚	431%	317			
事業の目的・対象	緑ケ丘公園サッカ します。	一場の改修二	[事と人工芝ピ	゚ッチの完	成に伴	<b>≟</b> うオー	プン記憶	念式典で	を開催
事業の必要性	人工芝ピッチに改 は照明設備を設置す			利便性 <i>の</i>	)向上と	∶利用者	の拡大を	を図るか	こめに
事業の内容									
事業の内谷									
SDGs17の目標									
3 THEORE THEFT OF THE PROPERTY	・人工芝ピッチ2面 ・サッカー場人工芝				! レモニ	∴一を開	催します	<b>广</b> 。	
	コスト		職員構成		人件 章人件費	Ì	従	事職員	Łα
				(平均給与					**
事業費	70, 882	千円()	担当正規職員		1, 40	5 千円		. 2	人
(R1年度決算額)	70,002		嘱託職員			千円			人
人件費	1, 405	<u>+</u> ⊢	再任用(フル)			千円			人
八八貝	1, 400	113	再任用(ハーフ)			千円			人
総計	70 007	- m	任期付職員			千円			人
称 古丁	72, 287	千円し	臨時職員			千円			人
		指標名		単位	R1年	度	130年度	H29	年度
評価指標		211,000							7 .2 2
(事業実績)								+	
( ) > > > < 130/								+	
	古来のナサ州 /カロ	るなみかいで						<u> </u> /rc	
自己評価	事業の有効性(効果				<u>□中</u>				
. , —	事業の効率性(費	(用対効果)	口高		■中			<b>性</b>	
自己評価の理由	夜間照明設備を新	シャン・レッ	5 <b>= PP+ 7</b>	の利田や	<b>ナ</b> 合の	. 7.T. E. <i>+</i> .>	10 - 1	h 士で!	u F M
			こ、市民団体で	י נהנייף כס	八五〇	延長な	ど、これ	וה כיי	<u>х</u> то)
事業の課題、 今後の方向性等		ます。	が整備されたこ	とで、更	[なる利	]用拡大	が図れる	ます。 <del>≤</del>	今後

款 02総務費

項 02企画費 目 04スポーツ施設費 事務事業番号 02020403

事業	名	R1年度		財	源	内	訳		
担当部	〗•課	(決算額)	国道支出金	注 地ブ	请	その	D他	一般	材源
白鳥王子アイスア	プリーナ改修事業	0.150			~ =	1 001		4 171	~
	ポーツ都市推進課	6, 152 千円	千	円	干円	1, 981	干円	4, 171	千円
根拠法令	· PHILIPIEZEDA								
		<b>坐</b> 双天打体	□ 날마스		마라				
実施方法	□ 直接実施 ■	業務委託等	□ 補助金	• 貝担玉	・ 助风:	並			
事業の目的・対象	白鳥王子アイスア	リーナの老朽	化した設備の	)更新が目	的です	0			
事業の必要性	経年劣化による設 新が必要です。	備の不具合が	発生しており	、安定的	つな施設	運用を	行うに	は、設値	#の更
事業の内容									
SDGs17の目標									
3 TATOLE	・ザンボニー ポン ・ザンボニー コン ・真空式温水器 暖	トロールボッ	クスほか取替		· ダー交	換修繕			
					人件	費			
	コスト		職員構成	概算 (平均給与	算人件費 ·×従事		従	事職員	数
事業費	コスト 6, 152	千円(	旦当正規職員		×従事	<ul><li>職員数)</li><li>子円</li></ul>	(	事職員3	人
		<u>+H</u>	旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル)		×従事	<ul><li>職員数)</li><li>3 千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	(		人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	6, 152 2, 108	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル)		×従事	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	(		人 人 人
事業費 (R1年度決算額)	6, 152	<u>+H</u>	旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 耳任用 (ハーフ) 任期付職員		×従事	競員数)       3 千円       千円       千円       千円       千円	(		人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	6, 152 2, 108 8, 260	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル)	(平均給与	·×従事取 2,108	職員数)       3     千円       千円     千円       千円     千円       千円     千円	(	). 3	人人人人人人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	6, 152 2, 108 8, 260	千円	旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 耳任用 (ハーフ) 任期付職員		×従事	職員数)       3     千円       千円     千円       千円     千円       千円     千円	(	). 3	人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	6, 152 2, 108 8, 260	千円	旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 耳任用 (ハーフ) 任期付職員	(平均給与	·×従事取 2,108	職員数)       3     千円       千円     千円       千円     千円       千円     千円	(	). 3	人人人人人人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	6, 152 2, 108 8, 260	千円	旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 耳任用 (ハーフ) 任期付職員	(平均給与	·×従事取 2,108	職員数)       3     千円       千円     千円       千円     千円       千円     千円	(	). 3	人人人人人人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	6, 152 2, 108 8, 260	千円十円十二十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	旦当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 存任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	× 従事明 2, 108 R1年	職員数)       3     千円       千円     千円       千円     千円       千円     千円	130年度	). 3	人人人人人人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	6, 152 2, 108 8, 260 事業の有効性(効果	千円千円十円十円十二十二十二十十円十円十円十円十二十二十二十二十二十二十二十二十	旦当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 存任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	× 従事町 2, 108 R1年	職員数)       3     千円       千円     千円       千円     千円       千円     千円	130年度	D. 3	人人人人人人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	6, 152 2, 108 8, 260	千円千円十円十円十二十二十二十十円十円十円十円十二十二十二十二十二十二十二十二十	旦当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 存任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	× 従事明 2, 108 R1年	職員数)       3     千円       千円     千円       千円     千円       千円     千円	130年度	D. 3	人人人人人人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	6, 152 2, 108 8, 260 事業の有効性(効果	十円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果)	旦当正規職員 嘱託職員 再任用(ハーフ) 任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	× 従事町 2, 108 R1年 □ 中	<ul><li></li></ul>	130年度	D. 3 H29 低低低	人 人 人 人 女 年度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	6, 152 2, 108 8, 260 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 千円 千円 千円 1標名 の達成状況) 第により、安	旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 □ □ 高	単位	×従事町 2,108 R1年 □ 中	職員数) 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	130年度	D. 3 H29 低低 ばも安心	

款 02総務費

項 02企画費

目 04スポーツ施設費 事務事業番号 02020404

事美	L =			一つ他設負		
+□ \/\ →	<b>美名</b>	R1年度		財源	内 訳	
1 担当首	₿•課	(決算額)	国道支出金	地方債	その他	一般財源
沼ノ端スケートセ	ンター休館補償金					
	パーツ都市推進課	555 千円	<b>1</b>	9  <del>千</del> F	9 千円	555 千円
	1 フ郁川推進誌					
根拠法令						
実施方法	┃ ■ 直接実施 □	業務委託等	□ 補助金	・負担金・助原	金	
事業の目的・対象	沼ノ端スケートセ	ンター冷却塔は	改修工事に係	る臨時休館補作	賞です。	
事業の必要性	工事による休館と	なるため必要	となります。			
事業の内容	休館補償金積算					
	·休館期間 令和 2	年3月10日~9	R1 FI			
SDGs17の目標		3月専用等利			779, 972円:	. ①
		~平成31年3		到田坳	2, 339, 916円	
3 #4toak	- 十八八29十	一十八八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十八十	万号用守干均		1,559,944円	
. ^	/士山)			<b>2</b> -(1) -	1, 559, 944	: (3)
<i>-</i> ₩/❤	(支出)	左 0 日志田学:	如田州 /日刊	`	160 E60EE	
	燃料料金)令和2				168, 569円:	
	平成29	年~平成31年	3 月専用寺平		337, 138円	
		<b>+ +</b>		(5)-4) =	168, 569円	
	電気料金)令和2				1, 083, 848円	
	平成29	年~平成31年	3 月専用等平		1,833,241円	
				8 - 7 =	749, 393円:	
	│ 上下水道)令和2				263, 645円:	
	平成29	年~平成31年	3月専用等平		<u>351, 526円</u>	: 11
				11 - 10 =	87, 881円:	: 12
	3- (6+	9+12) = 5	554, 101円 -	→ 555,000円		
		0 0.				
				人们	<u>+</u>	
	コスト					
	- A 1		職員構成	概算人件 (平均給与×従事		事職員数
事業費	555	千円 (   ‡	旦当正規職員	1, 4		0.2 人
(R1年度決算額)	333	' ' '	嘱託職員		千円	人
			再任用(フル)		千円	人
L 21 ===	4 405	\				
人件費	1, 405	<b></b>	<b>4.</b> (ハ−フ)		千田	
	1, 405		任用(ハーフ)		千円 エ田	人
人件費 総 計	1, 405 1, 960		任期付職員		千円	
	,	千円			千円 千円	人 人 人
	,		任期付職員	単位   R14	千円	人 人 人
総計	,	千円	任期付職員	単位 R14	千円 千円	人 人 人
総計	,	千円	任期付職員	単位 R14	千円 千円	人 人 人
総計	,	千円	任期付職員	単位 R14	千円 千円	人 人 人
総計  評価指標	1, 960	千円 千円 指標名	任期付職員 臨時職員		千円 千円 手度 H30年度	人 人 人 世 H29年度
総 計 評価指標 (事業実績)	1,960 事業の有効性(効果	十円 千円 指標名	任期付職員 臨時職員 ■ 高	口中	千円 千円 手度 H30年度	人 人 人 世 H29年度
総計	1, 960	十円 千円 指標名	任期付職員 臨時職員		千円 千円 手度 H30年度	人 人 人 世 H29年度
総 計 評価指標 (事業実績)	1,960 事業の有効性(効果	十円 千円 指標名	任期付職員 臨時職員 ■ 高	口中	千円 千円 手度 H30年度	人 人 人 世 H29年度
総 計 評価指標 (事業実績)	1,960 事業の有効性(効果	十円 千円 指標名	任期付職員 臨時職員 ■ 高	口中	千円 千円 手度 H30年度	人 人 人 世 H29年度
総 計 評価指標 (事業実績)	1,960 事業の有効性(効果	十円 千円 指標名	任期付職員 臨時職員 ■ 高	口中	千円 千円 手度 H30年度	人 人 人 世 H29年度
総計 評価指標 (事業実績) 自己評価	1,960 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果)	任期付職員 臨時職員 ■ 高	口中	千円 千円 手度 H30年度	人 人 人 世 H29年度
総 計 評価指標 (事業実績)	1,960 事業の有効性(効果	十円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果)	任期付職員 臨時職員 ■ 高	口中	千円 千円 手度 H30年度	人 人 人 世 H29年度
総計 評価指標 (事業実績) 自己評価	1,960 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果)	任期付職員 臨時職員 ■ 高	口中	千円 千円 手度 H30年度	人 人 人 世 H29年度
総 計 評価指標 (事業実績) 自己評価	1,960 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果)	任期付職員 臨時職員 ■ 高	口中	千円 千円 手度 H30年度	人 人 人 世 H29年度 低
総 計 評価指標 (事業実績) 自己評価	1,960 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果)	任期付職員 臨時職員 ■ 高	口中	千円 千円 手度 H30年度	人 人 人 世 H29年度 低
総 計 評価指標 (事業実績) 自己評価	1,960 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果)	任期付職員 臨時職員 ■ 高	口中	千円 千円 手度 H30年度	人 人 人 世 H29年度 低
総計 評価指標 (事業実績) 自己評価	1,960 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	十円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果)	任期付職員 臨時職員 ■ 高	口中	千円 千円 手度 H30年度	人 人 人 世 H29年度 低
総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	1,960 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 冷却塔改修工事を	十円 千円 十円 指標名 の達成状況) 用対効果)	任期付職員 臨時職員 ■高 □□高	□ <b>中</b>	千円 千円 手度 H30年度	人 人 人 長 H29年度 低 低
総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	1,960 事業の有効性(効果事業の効率性(費) 冷却塔改修工事を	十円 千円 十円 指標名 の達成状況) 用対効果)	任期付職員 臨時職員 ■高 □□高	□ <b>中</b>	千円 千円 手度 H30年度	人 人 人 長 H29年度 低 低
総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	1,960 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 冷却塔改修工事を	十円 千円 十円 指標名 の達成状況) 用対効果)	任期付職員 臨時職員 ■高 □□高	□ <b>中</b>	千円 千円 手度 H30年度	人 人 人 長 H29年度 低 低
総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	1,960 事業の有効性(効果事業の効率性(費) 冷却塔改修工事を	十円 千円 十円 指標名 の達成状況) 用対効果)	任期付職員 臨時職員 ■高 □□高	□ <b>中</b>	千円 千円 手度 H30年度	人 人 人 長 H29年度 低 低
総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	1,960 事業の有効性(効果事業の効率性(費) 冷却塔改修工事を	十円 千円 十円 指標名 の達成状況) 用対効果)	任期付職員 臨時職員 ■高 □□高	□ <b>中</b>	千円 千円 手度 H30年度	人 人 人 長 H29年度 低 低
総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	1,960 事業の有効性(効果事業の効率性(費) 冷却塔改修工事を	十円 千円 十円 指標名 の達成状況) 用対効果)	任期付職員 臨時職員 ■高 □□高	□ <b>中</b>	千円 千円 手度 H30年度	人 人 人 長 H29年度 低 低
総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由 事業の課題、 今後の方向性等	1,960 事業の有効性(効果事業の効率性(費) 冷却塔改修工事を	十円 千円 十円 指標名 の達成状況) 用対効果)	任期付職員 臨時職員 ■高 □□高	□ <b>中</b>	千円 千円 手度 H30年度	人 人 人 長 H29年度 低 低
総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	1,960 事業の有効性(効果事業の効率性(費) 冷却塔改修工事を	十円 千円 十円 指標名 の達成状況) 用対効果)	任期付職員 臨時職員 ■高 □□高	□ <b>中</b>	千円 千円 手度 H30年度	人 人 人 長 H29年度 低 低

款 02総務費

項 03防災費

目 01安心安全対策費 事務事業番号 02030101

事業	項 03防災費	(	目 01安心	女至刈束:	箕	務事業番号	02030	101
サ ホ	名	R1年度		財	源	内 訳		
担当部	• 課	(決算額)	国道支出金	シ 地方	5債	その他	一般則	<b></b> / 源
交通安全施設	***							
		- 4, 532 千日	편 주!	円 3,300	千円	千円	1, 232	千円
	市民生活課	17 -t- A						
根拠法令	苫小牧市防犯及び交	通安全に関す	「る条例					
実施方法	■ 直接実施 □	業務委託等	□ 補助金	<ul> <li>負担金</li> </ul>	<ul> <li>助成金</li> </ul>			
	市民を交通事故か	ら守るため	道路の事故発	4生状況や	<b>合除</b> 無	所を占権し	カーブ	î s
争未の日的 * 対家	ラーの設置や横断歩 を図ることにより、 す。	道灯などのる	通安全施設整	備に努め	るととも	に、道路環境	竟の整備	促進
事業の必要性	交通安全施設整備 などの要望もあり、				るため、	施設の老朽化	とや地域	住民
事業の内容	道路反射鏡 着工前(カーブミ		直灯(経年劣化 ┏前		−ルゾーン きエ前	看板(経年劣	化・大型	D
SDGs17の目標 11 state of the stat					37-10 34 H 31 G	P. S.		
	→ 設置後		₽ 設置後		1	設置後		
					スクール通学路徐行	1 (a)		
					人件費	}		13
1=	コスト		職員構成		人件費 算人件費 -×従事職	4¥1	事職員勢	t t
事業費 (R1年度決算額)	4, 532	千円(	職員構成 担当正規職員 嘱託職員		算人件費	員数) 従	事職員参	人
事業費			担当正規職員		算人件費 ·×從事職	<sub>員数)</sub> 従 <sup>3</sup> 千円 0.		<u> </u>
事業費 (R1年度決算額)	4, 532		担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員		算人件費 ·×從事職	美数) 千円 0. 千円 千円 千円 千円 千円		<del>\</del>
事業費 (R1年度決算額) 人件費	4, 532 1, 757	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ)	(平均給与	算人件費 -×従事職 1,757	美数) 千円 0. 千円 千円 千円 千円 千円 千円	25	\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\
事業費 (R1年度決算額) 人件費	4, 532 1, 757	手用	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員		算人件費 ·×從事職	美数) 千円 0. 千円 千円 千円 千円 千円 千円	25	\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	4, 532 1, 757	千円 千円 指標名	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員	(平均給与	算人件費 -×従事職 1,757	美数) 千円 0. 千円 千円 千円 千円 千円 千円	25	人人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標	4, 532 1, 757 6, 289 カーブミラー設置エ	千円 千円 指標名	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員	単位基基	章人件費 ·×從事職 1,757 R1年度		25 H294	人人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	4, 532 1, 757 6, 289 カーブミラー設置エ 横断歩道灯取替エ事	千円 千円 指標名	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員	(平均給与 単位 基 基	章人件費 -×従事職 1,757 R1年度 1	<ul><li>美数)</li><li>年円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>1</li><li>4</li></ul>	25 H294	人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	4, 532 1, 757 6, 289 カーブミラー設置エ 横断歩道灯取替エ事 警戒標識更新エ事	千円 千円 指標名	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	(平均給与 単位 基基基 基	章人件費 -×従事職 1,757 R1年度 1 4	<ul><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)<td>25 H293</td><td>人人人人人</td></li></ul>	25 H293	人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	4,532 1,757 6,289 カーブミラー設置エ 横断歩道灯取替エ事 警戒標識更新エ事 事業の有効性(効果	千円 千円 指標名 事	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位 基基基	章人件費 ·×従事職 1,757 R1年度 1 4	<ul><li>美数)</li><li>年円 0.</li><li>千円 十円 千円 千円 千円 1</li><li>十円 1</li><li>16 16 □</li></ul>	25 H294 2 4	人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	4, 532 1, 757 6, 289 カーブミラー設置エ 横断歩道灯取替エ事 警戒標識更新エ事	千円 千円 指標名 事	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位 基基基	章人件費 -×従事職 1,757 R1年度 1 4	<ul><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)</li><li>(基)<th>25 H294 2 4</th><th>人人人人人</th></li></ul>	25 H294 2 4	人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価	4,532 1,757 6,289 カーブミラー設置エ 横断歩道灯取替エ事 警戒標識更新エ事 事業の有効性(効果	千円 指標名 事 の達成状況) (用対効果)	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位基基基とよる更	算人件費 -×従事職 1,757 R1年度 1 4 10 □中		25 H294 2 4 2 低低	人人人人人人 年度 2 1 0 こ
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 部価指標(事業額) 自己評価 自己評価の理由	4,532 1,757 6,289 カーブミラー設置エ 横断歩道灯取替工事 養戒標識更新工事事業の有効性(効果 カーブミラーの設防	千円 千円 指標名 事 の達成状況) (用対効果)	担当正規職員 興託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 画 高 高 高 高 ・施 事 素 の 有 が	(平均給与 単基基基 よよは 通安全	章 人件要 ・× 従事 1,757  R1年年 4 10 中中  新率  施設の  を  を  を  を  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	受数) 従 デ	25 H294 2 4 2 低低 を ものと	人人人人人人度 こえ

款 02総務費

項 03防災費

目 01安心安全対策費

事務事業番号 02030102

事業	<b>全</b>	D1左F	#		財	源	内 訳	_	
		R1年 (決算額		国道支出金		<i>  </i>    方債	その他		般財源
担当音		( ) 八异台	供/	国坦又山田	工 地,	刀恨	ての他		放別派
違法駐車等		498	千円		円	千円	千	円 49	8 千円
	市民生活課						-		
根拠法令	苫小牧市違法駐車等	の防止に	関す						
実施方法	□ 直接実施 ■	業務委託	等	□ 補助金	・負担金	• 助成:	金		
事業の目的・対象	「苫小牧市違法駐委託による違法駐車					き、中心	街と住宅街	におい	て、業務
事業の必要性	違法駐車等の防止 好な交通環境を確保 ます。								
事業の内容									
SDGs17の目標	    違法駐車防止啓発地	域							
11 datuera	中心街:大町・錦町 時間:毎週1回(		20 : (	00) (月1回	ี่ 113 : 00∽	~15 : 00	))		
	住宅街:25町(4町)時間:月/3回(1)	~5町を	1ブ	ロックとし、	-				
	内 容:委託業者か 要請します。			た違法駐車車 半数以上駐車			小牧警察署	へ指導	取締りを
						人件	費		
	コスト			職員構成	概(平均給与	算人件費 F×従事		従事職	員数
事業費 (R1年度決算額)	498	千円		担当正規職員 嘱託職員		773	3 千円 千円	0. 11	人 人
人件費	773	千円	_	再任用(フル) 耳任用(ハーフ)			千円 千円		人人
総計	1, 271	千円		任期付職員 臨時職員			千円 千円		人人
		指標名			単位	R1年	度 H30年	度	H29年度
評価指標	違法駐車(中心街)				台	638	628	3	725
(事業実績)	違法駐車 (住宅街)				台	256			381
					Н	<del> </del>			
	   事業の有効性(効果	の達成性	治ノ	■高		一中		 □ 低	
自己評価	事業の効率性(費	. —		■同		<u>口中</u> 口中		□ 低 □ 低	
自己評価の理由	継続的に啓発活動が図られているもの	を実施す	るこ		5民の違法	<u> </u>			識の向上
事業の課題、 今後の方向性等	継続的に市民等及 が必要と考えていま 今後も関係機関と ける良好な交通環境	す。 連携を図	りな	がら、市民の	)違法駐耳	単に対す	る意識の向	上と、	
特記事項									

款 02総務費

項 03防災費

目 01安心安全対策費 事務事業番号 02030103

款 U2総務負	項 切防火貨						未留写	02030	7103
事業	<b>人</b>	L R1年度		財	源	内	訳		
担当音	⊮・課	(決算額)	国道支出金	と 地ス	5債	その	)他	一般則	け源
防犯対									
市民生活部	市民生活課	- 1,867 千	円 千	·円	千円		千円	1, 867	千円
根拠法令	   苫小牧市防犯及び交	<u> </u> : 涌安タに関す	<u>.</u> ナスタ⁄回				!		
				<b>₽</b> ₩ <b>₽</b>	마순소				
実施方法 	┃ □ 直接実施 ■	業務委託等	□ 補助金	・貝担金	・助队金	<del>2</del>			
事業の目的・対象	市、市民、事業者安心して暮らせる市				び啓発	活動や	防犯活動	動を推進	≛し、
事業の必要性	地域と行政が一体 向上を図る必要があ		罪予防対策を強	蛍化すると	ともに、	、地域	におけん	る防犯意	意識の
事業の内容									
SDGs17の目標									
11 GARDINAR INCOME	公共施設等におけ	·る犯罪抑止の	のため防犯カッ	くうを設置	<b>遣しまし</b> ;	<i>t</i>			
	コスト			<b>担</b> 耳4	人件	費			
	コスト		職員構成	概算	算人件費		従 <sub>-</sub>	事職員数	数
事業費	Т	TILL	職員構成担当正規職員		算人件費 ×従事職			事職員数	数 人
事業費 (R1年度決算額)	コスト 1,867	千円(			算人件費 ×従事職	战員数) 千円			人
(R1年度決算額)	1, 867	<del> </del>	担当正規職員		算人件費 -×従事職 1,405	战員数) 千円 千円	0		人人
	Т	手用	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル)		算人件費 -×従事職 1,405	<ul><li>提員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0	). 2	<u> </u>
(R1年度決算額) 人件費	1, 867 2, 318	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ)		算人件費 -×従事職 1,405	战員数) 千円 千円 千円 千円	0	). 2	人 人 人
(R1年度決算額)	1, 867	<del> </del>	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員		算人件費 -×従事職 1,405	<ul><li>計算数</li><li>并円</li><li>并円</li><li>并円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0	). 2	<u> </u>
(R1年度決算額) 人件費	1, 867 2, 318	手円	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ)	(平均給与	算人件費 -×従事職 1,405 913		0	). 2	人 人 人 人 人
(R1年度決算額) 人件費 総計	1, 867 2, 318 4, 185	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員	単位	算人件費 - × 従事職 1,405 913 R1年原		0 0 130年度	). 2 ). 2 . H29:	人 人 人 人 人 人 人 人 大
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標	1,867 2,318 4,185 防犯カメラ設置	千円 千円 指標名	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員	単位	算人件費 -×従事職 1,405 913 R1年月 3	美	0 0 130年度 3	0. 2 0. 2 H29:	人 人 人 人 人 人 ( 年度 8
(R1年度決算額) 人件費 総計	1,867 2,318 4,185 防犯カメラ設置 防犯グッズ等の作成	千円 千円 指標名	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員	単位台個	算人件費 - × 従事聯 1, 405 913 R1年月 3 900	美	0 0 130年度 3 1,000	0. 2 0. 2 1 H29:	人 人 人 人 人 大 年度 8
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標	1,867 2,318 4,185 防犯カメラ設置 防犯グッズ等の作成 防犯のまちづくり懇	千円 千円 指標名 話会開催	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位台個回	算人件費 - × 従事聯 1, 405 913 R1年月 3 900 0	美	0 0 130年度 3 1,000 2	0. 2 0. 2 1. H29:	人 人 人 人 人 人 ( 年度 8
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	1,867 2,318 4,185 防犯カメラ設置 防犯グッズ等の作成	千円 千円 指標名 話会開催	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位台個回	算人件費 - × 従事聯 1, 405 913 R1年月 3 900	美	0 0 130年度 3 1,000	0. 2 0. 2 1. H29:	人 人 人 人 人 大 年度 8
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標	1,867 2,318 4,185 防犯カメラ設置 防犯グッズ等の作成 防犯のまちづくり懇	千円 千円 指標名 記話会開催	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 再任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位日個回	算人件費 - × 従事聯 1, 405 913 R1年月 3 900 0	美	0 0 130年度 3 1,000 2	D. 2 D. 2 D. 2 H299 8 30 2	人 人 人 人 人 大 年度 8
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	1,867 2,318 4,185 防犯カメラ設置 防犯グッズ等の作成 防犯のまちづくり懇 事業の有効性(効果	千円 千円 指標名 話会開催 の達成状況) で開始があまり が、町内会が に対するもの。	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 高 高	単位台個回	算人件費 - ×従事職 1,405 913 913 - R1年 3 900 □ 中 □ 中	遺貨数) 千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千十十十十十十十十十十十	0 0 130年度 3 1,000 2 ロ	D. 2 D. 2 D. 2 H29 30 近低低低	人 人 人 人 年度 8 00 2
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	1,867 2,318 4,185  防犯カメラ設置 防犯グッズ等の作成 防犯のまちづくり態 事業の有効性(効果 事業の効率性(費  犯罪を防止するたれており、それを補	千 円 円 名 指標 (根状況) (表記) (表記) (表記) (表記) (表記) (表記) (表記) (表記	担当正規職員 国民規職員 再任用 (7ル) 再任用 (n-7) 任期時職員 高高 の犯し と、し乗 をときのの犯し と、見直し	マカ 単位 台 個 回 ・ で で で で で で で で で で で で で で で で で で	算人件事間 1,405 913 913 81年 900 0 中中 のしがあいますいる。		130年度   3	0. 2 0. 2 0. 2 1. H29 30 30 佐低 活動等か す。	   人   人   人   人   人   人   人   人   人 
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	1,867 2,318 4,185  防犯カメラ設置 防犯グッズ等の作成 防犯のまちづくり態 事業の有効性(効果 事業の効率性(費) 和罪を防止するを補 これにより、迷惑	千 円 円 名 指標 (根状況) (表記) (表記) (表記) (表記) (表記) (表記) (表記) (表記	担当正規職員 国民規職員 再任用 (7ル) 再任用 (n-7) 任期時職員 高高 の犯し と、し乗 をときのの犯し と、見直し	マカ 単位 台 個 回 ・ で で で で で で で で で で で で で で で で で で	算人件事間 1,405 913 913 81年 900 0 中中 のしがあいますいる。		130年度   3	0. 2 0. 2 0. 2 1. H29 30 30 佐低 活動等か す。	   人人人人人度   8 00 2   行 (状

款 02総務費 項 03防災費 目 01安心安全対策費 事務事業番号 02030104 事業名 R1年度 財 源 内 訳 一般財源 (決算額) 国道支出金 担当部·課 地方債 その他 防犯パトロール車両ドライブレコーダー設置事業 1. 106 1, 106 千円 千円 千円 千円 千円 市民生活部 市民生活課 根拠法令 実施方法 ■ 補助金・負担金・助成金 □ 直接実施 □ 業務委託等 防犯思想の普及、啓発、高揚のため自主防犯パトロール組織の防犯活動における、青色 回転灯装着車両及び実施者の安全確保、並びに地域の犯罪防止の観点から、苫小牧市防犯 事業の目的・対象 協会でドライブレコーダーを導入し貸与します。 青色回転灯装着車両による防犯パトロール実施者の安全を確保し、併せて地域の犯罪防 事業の必要性 止につながります。 事業の内容 SDGs17の目標 自主防犯パトロール組織の防犯活動において、地域の犯罪抑止及び青色回転灯装着車両 による防犯パトロール実施者の安全を確保する観点から、青パト車両にドライブレコ-ダーを無償貸与します。 人件費 コスト 概算人件費 従事職員数 職員構成 (平均給与×従事職員数) 事業費 担当正規職員 773 千円 0.11 人 1.106 千円 (R1年度決算額) 千円 人 嘱託職員 再任用(フル) 千円 773 千円 人件費 再任用 (ハーフ) 千円 任期付職員 千円 総計 1.879 千円 臨時職員 R1年度 H29年度 指標名 単位 H30年度 |防犯パトロール車両ドライブレコーダー設置 22 0 0 台 評価指標 (事業実績) 事業の有効性 (効果の達成状況) ■高 口中 □低 自己評価 事業の効率性(費用対効果) ■高 口中 □低 青色回転灯装着車両による防犯パトロール実施者の安全が確保され、業務の円滑な遂行 自己評価の理由 につながっているものと考えています。 希望している団体で、未貸与の団体があることから貸与希望について再度確認する必要 事業の課題、 があります。また、ドライブレコーダーを装着したことによる効果を検証する必要がある 今後の方向性等 と考えています。 特記事項

特記事項

	事務事	業評価	(主	要事業レヒ	ニュー)					
款 02総務費	項 03防災費			目 02災害	対策費		<b>事務事</b>	業番号	02030	0201
事業		R1年			財	源	内	訳		
担当部		(決算	額)	国道支出金	・ 地ブ	債	そ0	D他	一般見	財源
自主防災組織		1, 702	千円	 	刪	千円	600	千円	1, 102	千円
市民生活部	危機管理室	1, 702		'	` 1	111			1, 102	
根拠法令	災害対策基本法									
<u>実施方法</u>		業務委託		□ 補助金						
事業の目的・対象	災害発生時には、 ます。なかでも地域 く、組織育成のため 交付するなど、地域	における の防災請	「自身 体医等(	助」と「共助 の開催や自主	カ」を強化 Ξ防災組織	する自言	E防災	組織の役	割はナ	大き
事業の必要性	自主防災組織は平 速に結成が進んでい 自主防災組織の結成	ます。本	市に	おいても地域	成の防災力	を向上る	させ、	災害から	地域を	
事業の内容 SDGs17の目標 4 SAACENTE 11 SAACENTE 1	1 1 2 2 等開 を 1 3 を 1 (2)	と で で で で で で で で で で で で で	の 本爰 崔し幾令 か山舌1 等者 し、関和 ら火動で 2.支 ま日の2 1山体	3万円 731人制 し常専年 年防験 上 象難 体招 といい かい かい はい かい	は、37団 に地域防災 住所運営等 かな防災活 で、次の内	く (地震 に関す で講 を	· 津波 テーマ る人 を開催	、火山、 マで出前詞 オを育成す <b></b>	風水害 i座を ること こ。	
						人件費	B	V. (	E	
	コスト			職員構成	概算 (平均給与	算人件費 ×従事職	員数)		事職員数	<u></u> 数
事業費 (R1年度決算額)	1, 702	千円		型当正規職員 嘱託職員		2, 108 3, 065	千円	0.	9	人 人
人件費	7, 910	千円	\ <u> </u>	耳任用 (フル)		2, 284			5	ᄉ
	,			任用(ハーフ)			千円			_ 수
総計	9, 612	千円		任期付職員 臨時職員		452	千円		2	人
		<u>_</u> 指標名	$\overline{}$	<b></b>	単位	R1年度		<u>0.</u> H30年度		<u>へ</u> 年度
=== /== +E-1==	    自主防災組織の組織		キカ バ	_ 兹 )	96	K1年B	2   1	nou平度 89		平度 37
評価指標 (事業実績)	<u>日主防炎組織の組織</u>  活動助成金交付額	<del></del>	1. \1 \ \_	<del>'T'</del> /		982	+	843		77
(テネス順/	/11				117	902	-+	U <del>T</del> U	$+$ $\overset{\circ}{}$	' '
	   事業の有効性(効果	の達成性	<b>长:</b> □ /	■高		□中			I F	
自己評価	事業の分別性(別条			■高		<u>□ Ψ</u> □ 中				
自己評価の理由	自主防災組織が新 平成28年度に設立し 防災組織相互の連携	たに結成た「苫小	だされ <i>。</i> \牧市	- るなど地域 自主防災組織	5災力の一 戦連合会」	·層の向_ における	る事業	られまし 活動を通	. <i>t</i> c。ま	
事業の課題、 今後の方向性等	町内会役員の人手市的な結成には至っに、具体的な活動事るよう活動促進に向	ていませ 例を積極	tんが、 <b>図的に</b> 和	、未結成町内 紹介するなど	R会への働 、自主防	き掛ける	を引き	続き進め	るとと	Ŀŧ

款 02総務費	項 03防災費	1	目 02災害	対策費		事務事業	<b>養番号</b>	020302	202
事業	名	R1年度		財	源	内	訳		
担当部		(決算額)	国道支出金	と 地フ	方債	その	他	一般則	掠
防災備蓄品		   16,829 <del>  千</del> 円	900 +	·Ħ	千円	14, 904	千円	1 025	千円
市民生活部	危機管理室	,		<u>'                                    </u>		1 1, 001		1, 020	
根拠法令	災害対策基本法、災				IS				
実施方法	■ 直接実施 □	業務委託等	□ 補助金	・負担金	• 助成:	金			
事業の目的・対象	苫小牧市地域防災 象者10,000人に対応								
事業の必要性	災害時の備蓄につ の応援協定による必 麻痺することも懸念 については市が確保	要物資の確保 され、避難所	が進んでいま 運営等におし	kす。しか ヽて生命維	ヽし、災 <b>É</b> 持や生	害発生を 活に最低	刃期には	<sup></sup> 流通機	能が
事業の内容 SDGs17の目標 11 ***********************************	令和元年度に備蓄 ・備蓄用食糧とし ・備蓄用生活必需 ・災害用資機材と	て、アルファ 品として、紙	化米、保存月 おむつを購力	目ビスケッ ししました	.トなど <u>:</u> 。	を購入し	しました	Ξ.	
_ #	アルファ化米		紙おも	ごつ		ឫ	後害用蓄 かんりゅう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	電器	
	SOCIAL SECURITY SECURITY SOCIAL SECURITY SECURI	APPARENT OF THE PARENT OF THE					120	7	
					人件	費			
	コスト		職員構成	概算 (平均給与	算人件費 ×従事		従事	事職員数	ζ
事業費 (R1年度決算額)	16, 829	千円(「	担当正規職員 嘱託職員		4, 21	6 千円 千円	0.	6	人人
人件費	6, 043	<b>+</b>	再任用(フル)		1, 82	7 千円 千円	0.	4	人人
 総 計	22, 872	千円	任期付職員			千円			人
- 176- Д I	·		臨時職員	*** / _	D1 ==	千円	00 <del></del>	1 1100 6	人
== /== +b.4=	  備蓄用食糧充足率	指標名		単位	R1年 96		30年度	H29 <sup>±</sup>	
┃  評価指標 ┃  (事業実績)				%	81		84 74	84	
	災害用資機材充足率	<del>/</del>		%	93		80	7!	
	事業の有効性(効果	の達成状況)	■高		□ □中				
自己評価	事業の効率性(費		■高		<u>口中</u>				
自己評価の理由	地域づくり総合交品が順調に整備され	付金及び北海				i用し、が			備蓄
事業の課題、 今後の方向性等	食料等の備蓄につ し最低限の備蓄を確 供給体制の強化を図	保しつつ、民							
特記事項									

款 02総務費

項 03防災費 目 02災害対策費 事務事業番号 02030203

款 UZ総務負	現 切りの人負		,日 UZ火苦			等未留写	02030	203
事業	<b>差名</b>	R1年度		財	源	] 訳		
担当部	₿・課	(決算額)	国道支出统	と 地方	<b>責</b>	その他	一般則	才源
避難行動要支	援者支援事業							
市民生活部	危機管理室	┥4,639 千円	1 +	·円	千円	푸뛰	4, 639	千円
根拠法令	災害対策基本法				l	ļ		
		*******		<b>4.</b> □ Λ	TL -t A			
実施方法 	□ 直接実施 ■	業務委託等	□ 補助金	・貝担金	・助风金			
事業の目的・対象	災害時に配慮が必 要な要介護者や障が 組織、民生委員など	い者などの「	避難行動要求	を接者」を	支援するだ			
事業の必要性	災害対策基本法の 難支援等関係者への ている情報を一元的 の避難を迅速、円滑	提供等の規定 に取りまとめ	が設けられた 、情報共有個	ことを受	け、市関係	係部署がそれ	れぞれ管	理し
事業の内容 SDGs17の目標 11 計場の	1 各町内会に対し 2 要支援者名簿を 3 あらかじめ個人 行動要支援者名簿 4 各町内会が避難 ました。	避難行動要支 情報等の提供 を避難支援等 行動要支援者	援者名簿管理 に関して避業 関係者である	型システム 推行動要支 る各町内会	にて運用し 援者本人の に提供しま	、ています。 O同意を得; Eした。	。 た上で、	
		MONEGAME C. ABOUT C. MANAGE C. MANAG			・実施したの場所がは 会でありません。 ・実施を、変更をは ・実施を、変更をは ・実施を、変更をは ・実施を、変更をは ・実施をしたですす ・変数をのかったです。 ・変数をのかったです。 ・変数をのかったです。 ・変数をあるがあるできる。 ・変数をあるがあるできる。 ・変数をあるがあるできる。 ・変数をあるがあるできる。 ・変数をあるがあるできる。 ・変数をあるがあるできる。 ・変数をあるがあるできる。 ・変数をあるをあるできる。 ・変数をあるをあるできる。 ・変数をあるをあるできる。 ・変数をあるをあるできる。 ・変数をあるをあるできる。 ・変数をあるをあるできる。 ・変数をあるをあるをある。 ・変数をあるをあるをある。 ・変数をあるをあると、 ・変数をあるをあると、 ・変数をあるをあると、 ・変数をあるをあると、 ・変数をあるをあると、 ・変数をあるをあると、 ・変数をあるをあると、 ・変数をあるをあると、 ・変数をあるをなるをなるをなるをなるをなるをなるをなるをなるをなるをなるをなるをなるをなる	から日本ラムスター 近いでは一本の 近のでは、一本の 近のでは、一本の 近のでは、一本の をあるからなく、まくる 音楽にあるカンタボー をあるからなりを表す。 6 日本のではます。 6 日本のではなります。 6 日本のではます。 6 日本のではます。		
					人件費			
	コスト		職員構成		算人件費 ×従事職員	数)	事職員数	女
事業費 (R1年度決算額)	4, 639	千円(	担当正規職員 嘱託職員		Ŧ	-円	). 4	人人
人件費	6, 452	<b></b>	再任用(フル) 再任用(ハーフ)		Ŧ	-円	). 4	人人
総 計	11, 091	千円	任期付職員			-円		人
ואט בויו	11,001	'''] [ ]	臨時職員		1, 814 <del>T</del>	-円 0	. 8	人
		指標名		単位	R1年度	H30年度	H29:	年度
評価指標	町内会への避難行動	要支援者名簿	の提供	町内会	4	4	-	4
(事業実績)	個別計画の策定			町内会	2	3		9
( ). >(< )()()()	一   一   一   一   一   一   一			7171		<del>                                     </del>	+'	<u> </u>
	事業の七世紀 / 七田	の年代から	I p ÷		<b>-</b> +	<del></del>	<u> </u>	
自己評価	事業の有効性(効果		口高		<b>■</b> 中		_	
H I IIM	事業の効率性(費	用対効果)	■高		□ 中		低	
自己評価の理由	避難行動要支援者 時における支援体制 ともに、個別計画の	の構築を推進	しました。引	き続き、				
事業の課題、 今後の方向性等	地域における避難 の信頼関係を深めて ミュニケーションが	おくことが重	要です。今後	後は地域で	の防災訓練			
特記事項								

	事務事	業評価(3	主要事業レヒ	<b>ゴュー</b> )		
款 02総務費	項 03防災費		目 02災害	対策費	事務事業番号	02030204
事業	<b>美名</b>	R1年度		財 源	内 訳	
担当音	『・課	(決算額)	国道支出会	<b>业方债</b>	その他	一般財源
土砂災害対策環	境整備推進事業	0 004 T	П	m	T T T	0 004 7 111
市民生活部	危機管理室	8, 894 <del>T</del>	·円	·円   千l	71	8,894 千円
根拠法令	災害対策基本法、土	砂災害防止	<del></del>	<u>.</u>	<u>'</u>	!
 実施方法	□ 直接実施 ■	業務委託等	□ 補助金	・負担金・助原	 战金	
事業の目的・対象	災害関連情報を確 区別の土砂災害ハザー や対応方法を啓発し、	実に入手しī ードマップ:	市民に伝達でき を作成し、地域	域住民へ周知す		
事業の必要性	近年、市内では局 各種防災情報の収集 の土砂災害危険箇所 により周知し、注意	、管理、分れのうち、北流のうち、北流 かんしょう かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ	所及び適切な情 毎道が警戒区域	青報発信に必要 域に指定した箇	な環境整備を行	うほか、市内
事業の内容 SDGs17の目標	民間事業者が24時 「水防対策支援サー 防災情報サイト」で 体制の構築や情報の については対象区域	ビス」と市! 構成される 収集・発信! が無かった。	民向けにインタ 「総合防災情報 幾能の強化を図 ことから未作品	ヌーネットで防 最システム」を 図りました。な 戈となっていま	災情報を発信す 活用し、災害時 お、土砂災害ハ	る「苫小牧市 における初動 ザードマップ
		<b>後情報システ</b>	- (A)	L. The late of the	STATE OF THE PARTY	SOURCE PRINCES  LEGISLANCE  LE
					 件費	
	コスト			概算人件	弗	7 made 12 Mer
	-//		職員構成	(平均給与×従事		事職員数
事業費 (R1年度決算額)	8, 894	千円(	担当正規職員	(平均給与×従事 3,5	事職員数)	0.5 人
事業費		千円 千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ)	(平均給与×従事 3,5	事職員数)	0.5 人 人 0.4 人
事業費 (R1年度決算額)	8, 894	—— J	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル)	(平均給与×従事 3,5	事職員数)	0.5 人 人 0.4 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	8, 894 5, 341 14, 235	千円 千円 指標名	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員	(平均給与×従ョ 3,5 1,8	事職員数) (Manage of the partial of th	0.5 人 人 0.4 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	8, 894 5, 341 14, 235 苫小牧市防災情報サ	千円 千円 指標名 イト閲覧数	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員	(平均給与×従 3,5 1,8 単位 R1: 回 251	事職員数)	0.5 人 人 0.4 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	8, 894 5, 341 14, 235	千円 千円 指標名 イト閲覧数	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員	(平均給与×従 3,5 1,8 単位 R1: 回 251	事職員数)	0.5 人 人 0.4 人 人 人 人 集 H29年度 9 35,744
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	8,894 5,341 14,235 苫小牧市防災情報サー	千円 千円 指標名 イト閲覧数 ップ作成	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	<ul><li>(平均給与×従事</li><li>3,5</li><li>1,8</li><li>単位 R1:</li><li>回 251</li><li>地区</li></ul>	事職員数) 514 千円 千円 327 千円 千円 千円 千円 年度 H30年度 ,686 153,929	0.5 人 人 0.4 人 人 人 人 里 H29年度 9 35,744 6
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	8,894 5,341 14,235 苫小牧市防災情報サー 土砂災害ハザードマ 事業の有効性(効果	千円 千円 指標名 イト閲覧数 ップ作成 の達成状況	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	(平均給与×従 3,5 1,8 単位 R1: 回 251 地区	事職員数) 514 千円 千円 327 千円 千円 千円 千円 4 日 686 153,920 0 4	0.5 人 人 0.4 人 人 人 人 大 <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b>
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	8,894 5,341 14,235 苫小牧市防災情報サー	千円 千円 指標名 イト閲覧数 ップ作成 の達成状況 用対効果)	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員	(平均給与×従ョ 3,5 1,8 単位 R1: 回 251 地区 中 □ 中	事職員数) 4	0.5 人 人 0.4 人 人 人 長 H29年度 9 35,744 6 低 低
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	8,894 5,341 14,235  苫小牧市防災情報サービス・ 主砂災害ハザードマードマー・ 事業の有効性(効果・ 事業の効率性(費・ 防災ハンドブック・ た。	千 年 標別成 の用 や ザ 情を記している。 「	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	(平均給与×従ョ 3,5 1,8 1,8 1,8 1,8 1,8 1,8 1,8 1,8 1,8 1,8	事職員数) 4 5 14 千円 千円 千円 千円 千円 千円 4 153, 92 0 4 5 4 5 5 5 5 5 5 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	0.5 人 人 0.4 人 人 人 世 H29年度 9 35,744 6 低 低 低 で び び び び び び び び び び び び び び び び
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	8,894 5,341 14,235  苫小牧市防災情報サービス 主砂災害ハザードマ 事業の有効性(効果 事業の効率性(費) 防災ハンドブックた。 なお、土砂災害ハ	千 年 標別成 の用 や ザ 情を記している。 「	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	(平均給与×従ョ 3,5 1,8 1,8 1,8 1,8 1,8 1,8 1,8 1,8 1,8 1,8	事職員数) 4 5 14 千円 千円 千円 千円 千円 千円 4 153, 92 0 4 5 4 5 5 5 5 5 5 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	0.5 人 人 0.4 人 人 大 世 H29年度 9 35,744 6 低 低 低 で び び び び び び び が が ま り で び が ま り で び が ま り で が ま り で が ま り で が ま り で が ま り で が ま り で が ま り で が ま り で が ま り で が ま り で が ま り で 。 と が ま り で 。 と が ま と が ま と が ま と が ま と が ま と が ま と が ま と が ま と が ま と が ま と が ま と と も と も と も と も と も と も と も と も と も

款 02総務費

特記事項

項 03防災費

目 02災害対策費 事務事業番号 02030205

<u>款 U2総務質</u>	項 03防災質		日 02災害	· 对束質		<sub>分争</sub> 亲奋亏	02030	1205
事業		R1年度		財	源。			
担当部	⅓・課	(決算額)	国道支出会	金地ブ	5債	その他	一般則	け源
災害情報配信	環境整備事業	622 -	m -	·m	~ m	~ m	622	
市民生活部	危機管理室	633 <del>1</del>	·FI T	-円	千円	千円	633	千円
根拠法令	災害対策基本法							
実施方法		業務委託等	口油助会	・負担金	. 助战会			
事業の目的・対象	災害情報を電子メに対し必要な情報発	ールや電話、	FAXで一元的			整備するこ	とで、	市民
事業の必要性	市民が迅速に避難 達する必要がありま		るよう、様々ク	な媒体を活	新用し災害 <sup>†</sup>	青報を迅速』	且つ的確	雀に伝
事業の内容 SDGs17の目標 11 stations 11 tables	1 苫小牧市防報 市 が おける情報発信 おける情報を さい で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ステムと連打 強化を図り 式アカウン 情報をより	ました。 ト 多くの市民へf	云達するた	:め、LINE:	公式アカウン	ントを閉	<b>引</b> 設
	店/小牧 配例内容 (防災情報 (沖波・均減・気候 (その他 (では、対策・気候 (できる)				LINE			
	コスト		職員構成		算人件費 -×従事職員	数)	事職員勢	数
事業費 (R1年度決算額)	633	千円	担当正規職員 嘱託職員		-	f円	. 4	人人
人件費	2, 811	<u>+</u> ⊞≺	再任用(フル)			F円		<u>۲</u>
Alla	2,011		再任用(ハーフ)			千円		人
総計	3, 444	千円	任期付職員			千円		人
10 III	•		臨時職員	L		F円		人
		指標名		単位	RI年度	H30年度	H29	年度
評価指標	防災情報配信サービ	スメール登録	录者数	人	3, 975	3, 301	6	49
(事業実績)								
						1		
4	事業の有効性(効果	の達成状況	) ■ 高		口中	<u> </u>	低	
自己評価	事業の効率性(費		■高		<u> </u>			
	サネツが千年(貝	ハコハリカリ末/	<b>■</b> [ē]		<u> </u>		PO.	
自己評価の理由	防災情報配信サーカードを配布し、メーカードを配布し、メーカー また、新たに情報 先行運用しました。	ール登録者の	の増加につなり	ずました。				
事業の課題、 今後の方向性等	住民が迅速に避難 達する必要がありま この情報を住民が ど様々な機会を捉え	す。 的確に取得	することは、5	安全な避難	につながん	ることから、		

			E要事業レビ	<u>(ゴー</u> )				
款 02総務費	項 03防災費	Ī	目 02災害	対策費	事	務事業番号	02030	)206
事業	名	R1年度		財	源	内 訳		
担当部	〗• 課	(決算額)	国道支出金	: 地方	債	その他	一般見	<b></b> 排源
防災行政無	線整備事業	10 405 -	7	TI 10 100			٥٢	m
市民生活部	危機管理室	13, 435 ∓	†  †	円 13, 400	千円	千円	35	千円
根拠法令	災害対策基本法							
実施方法		業務委託等	□補助金	• 負担金 ·	助成金			
事業の目的・対象	市民への防災情報	の伝達方法の	)改善、拡張を	図ります。	0			
事業の必要性	市民が迅速に避難 す。			<b>報を迅速</b>	かつ正確	に伝達する。	必要があ	ありま
事業の内容 SDGs17の目標 11 ***********************************	防災行政無線 (同報 ・携帯通信網システ ・屋外スピーカー ・パトライト付スピ ・ソーラー式スピー ・LPWA送信局:31基 ・戸別受信機:1万	·ム : 107基 ·ーカー : 19基 ·カー : 1基 :(ドコモ電派	と(港湾区域) (樽前山7合) なを通信料無料	トのLPWA電	波に変換	し送信する。	麦置)	
			JP7-1	\$19.79C.MB	物体などののの を記述します。 を記述します。 を記述します。 を記述します。 を記述します。 を記述します。 を記述します。 を記述します。 を記述します。 を記述します。 を記述します。 を記述します。 を記述します。 を記述します。 を記述します。 を記述しまする。 をことしまする。 をことしまする。 をことしまする。 をことしまする。 をことしまする。 をことしまする。 をことしまする。 をことしまする。 をことしまする。 をことしまする。 をことしまする。 をことしまする。 をことしまする。 をことしまする。 をことしまする。 をことしまする。 をことしまする。 をことしまする。 をことしまする。 をことしまる。 をことしる。 をことしる。 をこと。 をことしる。 をことしる。 をことしる。 をことしる。 をことしる。 をことしる。 をことしる。 をことしる。 をことしる。 をことしる。 をことしる。 をことしる。 をことしる。 をことしる。 をこと。	BOX BAKE 7 D	2	
	コスト		職員構成	概算		(数) 従 <sup>[</sup>	事職員数	数
事業費 (R1年度決算額)	13, 435	千円()	担当正規職員 嘱託職員		7, 027	千円 千円	1	人人
人件費	7, 027	千円	再任用(フル) 再任用(ハーフ)			千円 千円		人人
総計	20, 462	千円	任期付職員			千円		人
/NO DI	20, 402		臨時職員			千円		人
		指標名		単位	R1年度	H30年度	H29	年度
評価指標								
(事業実績)								
自己評価	事業の有効性(効果	の達成状況)	■高		中		低	
日 5 計1 川	事業の効率性(費	用対効果)	■高		中		低	
自己評価の理由	各種調査、検討を し、配置計画を行い					り効果的な材	機材を選	選定
事業の課題、 今後の方向性等	東日本大震災を契 には北海道胆振東部 段の確立のため、全 有効な情報発信の方	地震における 市域へ防災行	がラックアウ で政無線を整備	ト発生時	の対応な	ど、安定し#	た情報多	き信手 しょうしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん か
特記事項 特記事項								

款 02総務費

項 03防災費

 1
 02災害対策費
 事務事業番号
 02030207

# 事業名 担当節・課	款 02総務費	項 03防災	り 費		目 02災害	対策費		事務事	業番号	02030	0207
	事第	<b></b>	R1年	度		財	源	内	訳		
災害用儀室倉庫整備事業   6,197 千円   5,330 千円 千円   331 千円   536 千円   有限注言部 危機管理室   実務委託基   実務委託基   実務委託基   工業の目的・対象   災害物の避難所として、計定されている方向中学校は、災害用債害品を保管する十分なスペースが無いため、災害用債害品については、災害時に違やかいに効変が物質を連やから、提供します。   14 助金・負担金・助成金   災害物の避難所として、計定されている方向中学校は、災害用債害品を保管する十分なスペースを活用して保管していますが、青翔中学校には条格教室等の空きスペースを活用して保管していますが、青翔中学校には条格教室等が無いため、屋外に災害用債害倉庫を整備しました。   197 千円   人件費   2,108 千円   2,108 千円   人件費   4 世位   1 千円   人 年刊   人件費   1 日本   1 日	担当音	⊮・課	(決算	額)	国道支出金	2 地2	方債	その	の他	一般	財源
市民生活館 危機管理室   6,19/ 千円   3,30 千円   1円   3,31 千円   5,36 千円   4 円   5,30 千円   5,30 千円											
現態法令   東海の温鏡地   東海の影響   東京の別等   東			6, 197	千円	5, 330 <del>  1</del>	円	千円	331	千円	536	千円
東北の日的・対象											
事業の目的・対象				h-h-		# 10 A	L				
事業の目的・対象	美施万法	■ 直接美施	□ 業務委託	<b></b>	□ 補助金	・負担金	• 助风:	金			
事業の必要性	事業の目的・対象	ペースが無いため									
30Gs17の目標	事業の必要性	う余裕教室等の空	<b>ミきスペース</b>	を活月	用して保管し	ています	けが、青				
コスト	事業の内容	   青翔中学校に2	基の災害用	]備蓄倉	倉庫を整備し	ました。					
コスト	SDGs17の目標										
事業費		市防災傷蓋倉庫			5.人 6元年度 1度日本1						
事業費											
(R1年度決算額)							人件	書			
大件費   2,108   千円   千円   人		コスト			職員構成		算人件費		従輩	事職員	 数
##	事業費	ı	千円		3当正規職員		算人件費 × 従事	<ul><li>競員数)</li><li>3 千円</li><li>千円</li></ul>	0		人
指標名 単位 R1年度 H30年度 H29年度    評価指標	事業費 (R1年度決算額)	6, 197			当正規職員 嘱託職員 耳任用(フル)		算人件費 × 従事	<ul><li>競員数)</li><li>8 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0		人 人 人
評価指標 (事業実績)  自己評価  事業の有効性(効果の達成状況) ■ 高 □ 中 □ 低  事業の効率性(費用対効果) ■ 高 □ 中 □ 低  再編交付金を活用し、整備しました。 当該避難所の備蓄品については、これまで備品庫の僅かなスペースに学校用具とともに保管されていたため、緊急時に取り出すことが困難であったり、他の避難所と比べて特に備蓄品目や数量が少ない状況でしたが、災害用備蓄倉庫を整備したことにより、他避難所と同規模の備蓄品を保管することができました。  東日本大震災に代表される大規模広域災害を想定した備蓄と併せて、多種多様な災害にも対応できるよう、従来の防災備蓄倉庫への一括保管のみならず、市内各所に設置される避難所へ物資を分散備蓄する必要があります。今後も苫小牧市災害時備蓄計画に基づき計画的な整備を進め、災害時に市民が安心して避難できる環境を確保します。	事業費 (R1年度決算額) 人件費	6, 197 2, 108	千円~	担理	型当正規職員 嘱託職員 延任用(フル) 任用(ハーフ) 任期付職員		算人件費 × 従事	議員数) 8 千円 千円 千円 千円 千円	0		人人人人人人人
(事業実績)  自己評価  事業の有効性(効果の達成状況) ■ 高 □ 中 □ 低 事業の効率性(費用対効果) ■ 高 □ 中 □ 低  再編交付金を活用し、整備しました。 当該避難所の備蓄品については、これまで備品庫の僅かなスペースに学校用具とともに保管されていたため、緊急時に取り出すことが困難であったり、他の避難所と比べて特に備蓄品目や数量が少ない状況でしたが、災害用備蓄倉庫を整備したことにより、他避難所と同規模の備蓄品を保管することができました。  東日本大震災に代表される大規模広域災害を想定した備蓄と併せて、多種多様な災害にも対応できるよう、従来の防災備蓄倉庫への一括保管のみならず、市内各所に設置される避難所へ物資を分散備蓄する必要があります。今後も苫小牧市災害時備蓄計画に基づき計画的な整備を進め、災害時に市民が安心して避難できる環境を確保します。	事業費 (R1年度決算額) 人件費	6, 197 2, 108	千円*	担理	型当正規職員 嘱託職員 延任用(フル) 任用(ハーフ) 任期付職員	(平均給与	算人件費 5×従事 2,100	<ul><li>職員数)</li><li>器 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0	. 3	人人人人人人人人人
自己評価  事業の有効性(効果の達成状況) ■ 高 □ 中 □ 低 事業の効率性(費用対効果) ■ 高 □ 中 □ 低 再編交付金を活用し、整備しました。 当該避難所の備蓄品については、これまで備品庫の僅かなスペースに学校用具とともに保管されていたため、緊急時に取り出すことが困難であったり、他の避難所と比べて特に備蓄品目や数量が少ない状況でしたが、災害用備蓄倉庫を整備したことにより、他避難所と同規模の備蓄品を保管することができました。  東日本大震災に代表される大規模広域災害を想定した備蓄と併せて、多種多様な災害にも対応できるよう、従来の防災備蓄倉庫への一括保管のみならず、市内各所に設置される避難所へ物資を分散備蓄する必要があります。今後も苫小牧市災害時備蓄計画に基づき計画的な整備を進め、災害時に市民が安心して避難できる環境を確保します。	事業費 (R1年度決算額) 人件費	6, 197 2, 108	千円*	担理	型当正規職員 嘱託職員 延任用(フル) 任用(ハーフ) 任期付職員	(平均給与	算人件費 5×従事 2,100	<ul><li>職員数)</li><li>器 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0	. 3	人人人人人人人人人
事業の効率性(費用対効果) ■ 高 □ 中 □ 低  再編交付金を活用し、整備しました。 当該避難所の備蓄品については、これまで備品庫の僅かなスペースに学校用具とともに保管されていたため、緊急時に取り出すことが困難であったり、他の避難所と比べて特に備蓄品目や数量が少ない状況でしたが、災害用備蓄倉庫を整備したことにより、他避難所と同規模の備蓄品を保管することができました。  東日本大震災に代表される大規模広域災害を想定した備蓄と併せて、多種多様な災害にも対応できるよう、従来の防災備蓄倉庫への一括保管のみならず、市内各所に設置される避難所へ物資を分散備蓄する必要があります。今後も苫小牧市災害時備蓄計画に基づき計画的な整備を進め、災害時に市民が安心して避難できる環境を確保します。	事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	6, 197 2, 108	千円*	担理	型当正規職員 嘱託職員 延任用(フル) 任用(ハーフ) 任期付職員	(平均給与	算人件費 5×従事 2,100	<ul><li>職員数)</li><li>器 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0	. 3	人人人人人人人人人
事業の効率性(費用対効果) ■ 高 □ 中 □ 低  再編交付金を活用し、整備しました。 当該避難所の備蓄品については、これまで備品庫の僅かなスペースに学校用具とともに保管されていたため、緊急時に取り出すことが困難であったり、他の避難所と比べて特に備蓄品目や数量が少ない状況でしたが、災害用備蓄倉庫を整備したことにより、他避難所と同規模の備蓄品を保管することができました。  東日本大震災に代表される大規模広域災害を想定した備蓄と併せて、多種多様な災害にも対応できるよう、従来の防災備蓄倉庫への一括保管のみならず、市内各所に設置される避難所へ物資を分散備蓄する必要があります。今後も苫小牧市災害時備蓄計画に基づき計画的な整備を進め、災害時に市民が安心して避難できる環境を確保します。	事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	6, 197 2, 108	千円*	担理	型当正規職員 嘱託職員 延任用(フル) 任用(ハーフ) 任期付職員	(平均給与	算人件費 5×従事 2,100	<ul><li>職員数)</li><li>器 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0	. 3	人人人人人人人人人
事業の効率性(費用対効果) ■ 高 □ 中 □ 低  再編交付金を活用し、整備しました。 当該避難所の備蓄品については、これまで備品庫の僅かなスペースに学校用具とともに保管されていたため、緊急時に取り出すことが困難であったり、他の避難所と比べて特に備蓄品目や数量が少ない状況でしたが、災害用備蓄倉庫を整備したことにより、他避難所と同規模の備蓄品を保管することができました。  東日本大震災に代表される大規模広域災害を想定した備蓄と併せて、多種多様な災害にも対応できるよう、従来の防災備蓄倉庫への一括保管のみならず、市内各所に設置される避難所へ物資を分散備蓄する必要があります。今後も苫小牧市災害時備蓄計画に基づき計画的な整備を進め、災害時に市民が安心して避難できる環境を確保します。	事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	6, 197 2, 108	千円*	担理	型当正規職員 嘱託職員 延任用(フル) 任用(ハーフ) 任期付職員	(平均給与	算人件費 5×従事 2,100	<ul><li>職員数)</li><li>器 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0	. 3	人 人 人 人 人
再編交付金を活用し、整備しました。 当該避難所の備蓄品については、これまで備品庫の僅かなスペースに学校用具とともに保管されていたため、緊急時に取り出すことが困難であったり、他の避難所と比べて特に備蓄品目や数量が少ない状況でしたが、災害用備蓄倉庫を整備したことにより、他避難所と同規模の備蓄品を保管することができました。  東日本大震災に代表される大規模広域災害を想定した備蓄と併せて、多種多様な災害にも対応できるよう、従来の防災備蓄倉庫への一括保管のみならず、市内各所に設置される避難所へ物資を分散備蓄する必要があります。今後も苫小牧市災害時備蓄計画に基づき計画的な整備を進め、災害時に市民が安心して避難できる環境を確保します。	事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	6, 197 2, 108 8, 305	千円 <sup>*</sup> 千円 指標名	担用用	型当正規職員 嘱託職員 存任用(7ル) 任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	算人件費 · X 従事間 · 2, 10:	<ul><li>職員数)</li><li>器 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0 H30年度	H29	人 人 人 人 人
事業の課題、 今後の方向性等 避難所へ物資を分散備蓄する必要があります。今後も苫小牧市災害時備蓄計画に基づき計画的な整備を進め、災害時に市民が安心して避難できる環境を確保します。	事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	6, 197 2, 108 8, 305 事業の有効性(交	千円 <sup>*</sup> 千円 指標名 加果の達成状	推,再,	型当正規職員 嘱託職員 存任用(フル) 任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	算人件費 → × 従事順 2,103 R1年	<ul><li>職員数)</li><li>器 千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0 H30年度	. 3   H29	人 人 人 人 人
特記事項	事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	6, 197 2, 108 8, 305 事業の有効性(交事業の効率性 再編交付金を活 当該避難所の値 保管されていたた 備蓄品目や数量か	千円 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		当当正規職員 嘱託職員 項任用(フル) 任用(ハーフ) 任期付職員 高高。まこ以でとまり	(平均給与単位 の値を見る の値を見る は できまま できまま かいしょう かいしょう かいしゅう はんしょう はんしょ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅう しゅうしゅう はんしゅう しゅうしゅう しゅう	算人件費車 2,100 R1年 中中 かかたり	は	日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	. 3 H29 低低 に 日具とべ	人人人人人を生物にに
	事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業実績) 自己評価 自己評価の理由	6, 197 2, 108 8, 305  事業の有効性(交事 無談がよりです。 (交事 無談がよりでは、 (交事 を) (で) (交事 を) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で	十 千 標 は	大人 はいちにこ 大災必要 はいり はいり はいり はいり はいり はいり はいり はいり はい	当 当 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 に 」 に に 用 ( が で に に に に に に に に に に に に に	(平)     単       山田     山田       山田 <td>算x 2, 10: ロー かっを 備みな牧 中中 なた整 蓄み牧牧 とら市</td> <td>議度ぺ、し併ず災サイナ・一一他たせ、害大のこで市時</td> <td>130年度 日日 付</td> <td>.3 H29 低低 見比、 様設置 などべ他 な置る</td> <td>人人人人人人度       は特難       にに所       にる</td>	算x 2, 10: ロー かっを 備みな牧 中中 なた整 蓄み牧牧 とら市	議度ぺ、し併ず災サイナ・一一他たせ、害大のこで市時	130年度 日日 付	.3 H29 低低 見比、 様設置 などべ他 な置る	人人人人人人度       は特難       にに所       にる

	事務事	業評価(主	要事業レヒ	ニュー)			
款 02総務費	項 03防災費	-17411	目 02災害	•	事務	务事業番号	02030208
事第	<b>人</b>	 R1年度		財	源	] 訳	
担当部	『・課	(決算額)	国道支出金	· 地方	債	その他	一般財源
総合防災	訓練事業	697 千円	<b>1</b>	Ħ	千円	千円	697 千円
市民生活部	危機管理室		'	' '	113	113	097 113
根拠法令	災害対策基本法、災害						
実施方法		業務委託等	□ 補助金				
事業の目的・対象	苫小牧市直下型地類 練を実施し、災害発生 す。また、北海道胆力 ことを目的に実施しる	生時の応急対 振東部地震の	策に関する核	食証・確認	と市民の防	方災意識の高	揚を図りま
事業の必要性	本市における災害; 防災訓練を通じて、ī	市民一人一人	の防災に対す				
事業の内容	1 災害対策本部		·····································				
7 X V / 1 L	2 情報発信・職員   3 避難所開設・i						
SDGs17の目標	4 受援力向上訓練						
	】    災害対策本語	部連営訓練			避難凡	f開設訓練	
				A A			
					人件費		
	コスト		職員構成		算人件費 ×従事職員	数)	耳職員数
事業費	697	千円(生	旦当正規職員		4, 216 ∃		
(R1年度決算額)	007		嘱託職員		341 7		
人件費	5, 470	<b></b>	耳任用(フル) エイエm(プス)		913 =		
			任用(ハーフ) 任期付職員			f用 f用	
総計	6, 167	千円 (  -	臨時職員			- 円	<del></del>
	:	指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
評価指標	苫小牧市総合防災訓網	棟 (実動訓練)	参加者数	人	400	-	550
(事業実績)							
自己評価	事業の有効性(効果の		■高		口中		
口口計叫	事業の効率性(費)	用対効果)	■高		口中		£
自己評価の理由	正副市長、消防長、 ら1週間までの対応 を行いました。あわり 昼食の炊き出し、災害 を実施し、関係機関な	こついて、陸- せて住民避難 書時応援協定線	上自衛隊や苫 訓練、避難列 締結企業によ	吉小牧警察 f運営を体 こる車両給	¥等の関係が 験するゲ−	機関を交えて −ムや陸上自	協議・検討  衛隊による
事業の課題、 今後の方向性等	本市における災害だ害に着目した防災訓練す。災害から市民の負局、さらには自主防災	棟の実施などI 生命や財産をf	こより市民- 呆護すること	-人一人の : を基本目	防災に対す	ける意識の向 5災関係機関	]上に努めま   や市関係部
特記事項							

款 02総務費	項 03防災費		目 02災害	対策費	事	務事業番号	02030209
事業	<b>美名</b>	R1年度		財	源	内 訳	
担当部		(決算額)	国道支出金	と 地ブ	请	その他	一般財源
避難所Wi-F	·i整備事業	421 <del>千</del> 円		·Ħ	千円	千円	421 千円
	<sup>総</sup> 務企画課	721 11	<u>'</u>	' '	'''	'''	721 113
根拠法令							
実施方法	□ 直接実施 ■	業務委託等	□ 補助金	・負担金	・助成金		
事業の目的・対象	避難所である市内 として無線LAN (Wi-I 用にのみ利用します:	Fi)のアクセ	スポイント	(AP) を設	置します	。平時は、こ	このAPを教育
事業の必要性	携帯キャリアのデ 避難者による情報収 去の災害でも確認さた教育ICT化の通信基	集や他者との れています。	連絡手段としまた、教育で	って非常に での利用に	:有効であ :ついても	ることは、創	熊本地震等過
事業の内容 SDGs17の目標 4 222	【平成29年度】 東部9小中学校を活用して整備しまして 【平成30年度】 再編関連訓練移転	<i>t</i> =。					
U	テム普及支援事業と 平成29年度内で 想定される屋内でい また、平時の教育 応じて、学校で購入 接続できるように設	して24校を対 同様に、避難 場及び校舎 ます。 利用に関して 済みのタブレ	象に整備しま 所としての を いち別教室 は、学校から ットをネット	ました。 削用が ≊1か所 らの要望に	1	3運動場でのAF	設置例】
	【令和元年度】 校舎の改築及び大:	規模改修を行	った2校へ雪	と備を行い		, — , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
					人件費		
	コスト		職員構成		算人件費 ·×従事職員	員数) 従某	事職員数
事業費 (R1年度決算額)	421	<u>+141</u>   [	担当正規職員 嘱託職員		1, 405	千円	. 2 人
人件費	1, 405	+HI / F	再任用(フル) 再任用(ハーフ)			千円 千円	人 人
総計	1, 826	千円	任期付職員 臨時職員			千円 千円	<u>人</u> 人
		指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
評価指標	整備実施校数			校	2	25	9
(事業実績)							
 自己評価	事業の有効性(効果	の達成状況)	■高		口中		低
日心計測	事業の効率性(費	用対効果)	口高		■中		低
自己評価の理由	既に整備が完了し ブレットや児童・生 また、避難所設備 震において、避難者 れたことが確認され	徒用タブレッ としての効果 による利用実	トに接続する については、	ることで、 平成30年	学習活動 9月に発	へ利用されて 生した北海	ています。 道胆振東部地
事業の課題、 今後の方向性等	本事業の対象とな 今後は、本事業に 習目的での利用、非	て整備された	Wi-Fi環境に	ついて、	平時には	見童生徒・教	員による学
——————— 特記事項							

款 02総務費

項 03防災費

目 02災害対策費 事務事業番号 02030210

	項 03防	災貨	目 02災害			事務事業		02030210
事業	<b>美名</b>	R1年度		財	源	内	訳	
担当音	<u></u> 『・課	(決算額)	国道支出金	迚 地方	·債	その	他	一般財源
防災車両	 整備事業							
市民生活部		—— 5, 570 <b>∓</b> F	ᆌ	円	千円	5, 570	千円	千円
根拠法令	災害対策基本法							
実施方法		口 类双条订体	ㅁ 쓮마스	- 444	마류			
<u> </u>	■ 直接実施	□ 業務委託等	□ 開助並	・負担金・	- 则风3	<u> </u>		
事業の目的・対象	より多くの支持 の安全安心につか	援物資を早急かつ ながります。	円滑に輸送し	、迅速に	支援物	資を運ぶ	ぶことは	、避難住民
事業の必要性	避難所での必要 保が速やかに整え	要物資を遅滞なく えれます。	届けることに	こより、避	難所に	おける郎	良好な生	活環境の確
事業の内容								
ず未の内骨	2トンアルミコ	フラットバン(ハ	パワーゲート作	け)を購入	しまし	た。		
SDGs17の目標								
OD GO I / OD III //K								
	コスト	-	職員構成		人件 [人件費		従事	≨職員数
Alle -++>	1			(平均給与:				
事業費	5, 570	千円 ( )	担当正規職員		/03	子円	0.	
(R1年度決算額)		J	嘱託職員		45-	千円		人
1	1, 160	+H1 / F	再任用(フル)		457	7 千円 千円	0.	
┃   人件費	1, 100					<b></b>		
人件貸	1, 100		再任用(ハーフ)			<del> </del>		수
人件貨       総計	6, 730		任期付職員			千円		人
		千円		出 <i></i>	D1 左	千円	20左由	人 人
総計		<del></del>	任期付職員	単位	R1年	千円	30年度	人
総 計 ※ 計 		千円	任期付職員	単位	R1年	千円	30年度	人 人
総計		千円	任期付職員	単位	R1年	千円	30年度	人 人
総 計 ※ 計 	6, 730	千円 指標名	任期付職員 臨時職員			千円		人 人 H29年度
総 計 評価指標 (事業実績)	6,730	千円 指標名 効果の達成状況)	任期付職員 臨時職員 ■ 高		〕中	千円		人 人 H29年度
総計	6, 730	千円 指標名 効果の達成状況)	任期付職員 臨時職員			千円		人 人 H29年度
総 計 評価指標 (事業実績)	6, 730 事業の有効性 (3 事業の効率性	千円 指標名 効果の達成状況) (費用対効果) 毎道市町村振興協	任期付職員 臨時職員 ■ 高 ■ 高	5用し、整	] 中 ] 中	千円 千円 度 H	口但	人 人 H29年度
総計 評価指標 (事業実績) 自己評価	6,730 事業の有効性(変 事業の効率性 寄付金及び北海全性が向上し、変	千円 指標名 効果の達成状況) (費用対効果) 毎道市町村振興協	任期付職員 臨時職員 ■ 高 ■ 高 ・ 画 高 ・ 対けできます。	5用し、整	中しま	千円 千円 度 Hú	□仮□は	人 人 H29年度

款 02総務費\_\_\_\_\_

 項 03防災費
 目 02災害対策費
 事務事業番号 02030211

担当部・課     (決算額)     国道支出金     地方債     その他       台風第19号災害見舞金     1,600 千円     千円     千円     千円     千円	
<b></b>	一般財源
	m 1 600 7m
市民生活部 危機管理室	円 1,600 千円
根拠法令	•
実施方法 ■ 直接実施 □ 業務委託等 □ 補助金・負担金・助成金	
事業の目的・対象 台風第19号により甚大な被害を受けた被災市に対し、災害見舞金を送り	ました。
事業の必要性 支援の意思を表明するとともに、被災地の早期復興を図る必要がありまで	<b>す</b> 。
事業の内容	
SDGs17の目標	
栃木県日光市 300,000円	
岩手県宮古市 1,000,000円	
東京都八王子市 300,000円	
人件費	
コスト 職員構成 概算人件費 職員構成 (双枚終長メ従事職員業)	
┃                        (平均給与×従事職員数)	従事職員数
事業典 (十均和子~從爭職員数/	0.04
(十均和子 / 從争喊貝奴)	
事業費 (R1年度決算額) 1,600 千円 (土均和子 × 從爭職員級) 担当正規職員 70 千円 嘱託職員 千円 再任用 (7%) 千円	0.01 人
事業費 (R1年度決算額)     1,600     千円 (早均結今×促争職員数)       人件費     1,600     千円 嘱託職員 千円 再任用 (フル) 千円 再任用 (ハ-フ) 千円	0.01 人
事業費 (R1年度決算額)     1,600     千円       人件費     70     千円       独計     1,670     エロー         世当正規職員     70     千円       再任用 (フル)     千円       再任用 (ハーフ)     千円       任期付職員     千円	0. 01 人 人 人
事業費 (R1年度決算額)     1,600     千円       人件費     70     千円       総計     1,670     千円       世当正規職員     70     千円       再任用 (フル)     千円       再任用 (ハ-フ)     千円       佐期付職員     千円       臨時職員     千円	0.01 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額)     1,600     千円 人件費     担当正規職員 70 千円 嘱託職員 千円 再任用 (フル) 千円 再任用 (ハーフ) 千円 再任用 (ハーフ) 千円 千円 千円 下円 千円	0.01 人 人 人 人 人
事業費	0.01 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額)     1,600     千円       人件費     70     千円       総計     1,670     千円       指標名     第注     第注       (十切結今 * 促爭職員数)     1       担当正規職員     千円       再任用 (フル)     千円       再任用 (ハ-フ)     千円       佐期付職員     千円       臨時職員     千円       指標名     単位     R1年度     H30年	0.01 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額)     1,600     千円       人件費     70     千円       総計     1,670     千円       指標名     単位 R1年度 H30年       評価指標 (事業実績)     単位 R1年度 H30年	0.01 人 人 人 人 人 大 性度 H29年度
事業費 (R1年度決算額) 1,600 千円 人件費 70 千円 総計 1,670 千円 総計 1,670 千円 指標名 「評価指標 (事業実績) 「事業の有効性 (効果の達成状況) ■ 高 「中 (十切結す * 従事職員数) 「担当正規職員 70 千円 「嘱託職員 千円 「再任用 (フル) 千円 「再任用 (ハ-フ) 千円 「臨時職員 千円 「臨時職員 千円 「監時職員 千円 「事業の有効性 (効果の達成状況) ■ 高	0.01 人 人 人 人 人 大 王度 H29年度
事業費 (R1年度決算額) 1,600 千円 人件費 70 千円 総計 1,670 千円 総計 1,670 千円 指標名 「評価指標 (事業実績) 「事業の有効性 (効果の達成状況) ■ 高 「中 (十切結す * 従事職員数) 「担当正規職員 70 千円 「嘱託職員 千円 「再任用 (フル) 千円 「再任用 (ハ-フ) 千円 「臨時職員 千円 「臨時職員 千円 「監時職員 千円 「事業の有効性 (効果の達成状況) ■ 高	0.01 人 人 人 人 人 大 性度 H29年度
事業費 (R1年度決算額) 1,600 千円 人件費 70 千円 総計 1,670 千円 総計 1,670 千円 指標名 「評価指標 (事業実績) 「事業の有効性 (効果の達成状況) ■ 高 「中 (十切結す * 従事職員数) 「担当正規職員 70 千円 「嘱託職員 千円 「再任用 (フル) 千円 「再任用 (ハ-フ) 千円 「臨時職員 千円 「臨時職員 千円 「監時職員 千円 「事業の有効性 (効果の達成状況) ■ 高	0.01 人 人 人 人 人 大 正度 H29年度
事業費 (R1年度決算額) 1,600 千円 人件費 70 千円 総計 1,670 千円 総計 1,670 千円 指標名 第正版員 千円 再任用 (ハ-フ) 年期付職員 千円 臨時職員 千円 臨時職員 千円 臨時職員 千円 コート に対抗等人促事職員数が ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	0.01 人 人 人 人 大 E度 H29年度
事業費 (R1年度決算額) 1,600 千円 人件費 70 千円 総計 1,670 千円 総計 1,670 千円 経計 1,670 千円 経期付職員 千円 再任用 (ハ-フ) 千円 佐期付職員 千円 臨時職員 千円 臨時職員 千円 臨時職員 千円 臨時職員 千円 国情標(事業実績) 自己評価 事業の有効性(効果の達成状況) ■ 高 □ 中 事業の効率性(費用対効果) ■ 高 □ 中 「 日日記評価 「中	0.01 人 人 人 人 上 注度 H29年度
事業費 (R1年度決算額) 1,600 千円 人件費 70 千円 総計 1,670 千円 総計 1,670 千円 指標名 第正指標 (事業実績)  事業の有効性 (効果の達成状況) ■高 □中 「 自己評価  事業の効率性 (費用対効果) ■高 □中 「	0.01 人 人 人 人 上 注度 H29年度
事業費 (R1年度決算額) 1,600 千円 人件費 70 千円 総計 1,670 千円 総計 1,670 千円 経計 1,670 千円 経期付職員 千円 再任用 (ハ-フ) 千円 佐期付職員 千円 臨時職員 千円 臨時職員 千円 臨時職員 千円 臨時職員 千円 国情標(事業実績) 自己評価 事業の有効性(効果の達成状況) ■ 高 □ 中 事業の効率性(費用対効果) ■ 高 □ 中 「 日日記評価 「中	0.01 人 人 人 人 上 注度 H29年度
事業費 (R1年度決算額) 1,600 千円 人件費 70 千円 総計 1,670 千円 総計 1,670 千円 経計 1,670 千円 経期付職員 千円 再任用 (ハ-フ) 千円 佐期付職員 千円 臨時職員 千円 臨時職員 千円 臨時職員 千円 臨時職員 千円 国情標(事業実績) 自己評価 事業の有効性(効果の達成状況) ■ 高 □ 中 事業の効率性(費用対効果) ■ 高 □ 中 「 日日記評価 「中	0.01 人 人 人 人 上 注度 H29年度
事業費 (R1年度決算額) 1,600 千円 人件費 70 千円 総計 1,670 千円 総計 1,670 千円 経計 1,670 千円 経期付職員 千円 再任用 (ハ-フ) 千円 佐期付職員 千円 臨時職員 千円 臨時職員 千円 国情標(事業実績) 事業の有効性(効果の達成状況) ■ 高 □ 中 事業の効率性(費用対効果) ■ 高 □ 中 「 日日証価の理由  「中国に対している。」	0.01 人 人 人 人 上 注度 H29年度
事業費 (R1年度決算額) 1,600 千円 人件費 70 千円 総計 1,670 千円 総計 1,670 千円 指標名 単位 R1年度 H30年  自己評価 事業の有効性(効果の達成状況) 事業の有効性(費用対効果) 自己評価の理由  災害見舞金のほか、市職員12名を岩手県宮古市に派遣し、復興の一助とた。	0.01 人 人 人 人 大 ま度 H29年度 □ 低 □ 低
事業費 (R1年度決算額) 1,600 千円 人件費 70 千円 総計 1,670 千円 総計 1,670 千円 を設けている。 1,670 千円 を設けでは、事業実績)  自己評価 事業の有効性(効果の達成状況) ■ 高 □ 中 □ 事業の効率性(費用対効果)  自己評価の理由 災害見舞金のほか、市職員12名を岩手県宮古市に派遣し、復興の一助とた。	0.01 人 人 人 人 大 ま度 H29年度 □ 低 □ 低
事業費 (R1年度決算額) 1,600 千円 人件費 70 千円 総計 1,670 千円 総計 1,670 千円 指標名 事業の有効性(効果の達成状況) 事業の有効性(効果の達成状況) 事業の効率性(費用対効果) 自己評価の理由  (下均晶子 * 従事職員数) 担当正規職員 70 千円 属託職員 千円 再任用 (ハ-フ) 千円 任期付職員 千円 臨時職員 千円 臨時職員 千円 国時職員 千円 国際職員 千円 国際工作 (利) 千円 国際工作 (ハ-フ) 千円 日期付職 (利) 千円 国際工作 (1) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0.01 人 人 人 人 大 ま度 H29年度 □ 低 □ 低
事業費 (R1年度決算額) 1,600 千円 人件費 70 千円 総計 1,670 千円 総計 1,670 千円 を設けている。 1,670 千円 を設けでは、事業実績)  自己評価 事業の有効性(効果の達成状況) ■ 高 □ 中 □ 事業の効率性(費用対効果)  自己評価の理由 災害見舞金のほか、市職員12名を岩手県宮古市に派遣し、復興の一助とた。	0.01 人 人 人 人 大 ま度 H29年度 □ 低 □ 低
事業費 (R1年度決算額) 1,600 千円 人件費 70 千円 総計 1,670 千円 総計 1,670 千円 を設けている。 1,670 千円 を設けでは、事業実績)  自己評価 事業の有効性(効果の達成状況) ■ 高 □ 中 □ 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回	0.01 人 人 人 人 大 ま度 H29年度 □ 低 □ 低
事業費 (R1年度決算額) 1,600 千円 人件費 70 千円 総計 1,670 千円 総計 1,670 千円 を設けている。 1,670 千円 を設けでは、事業実績)  自己評価 事業の有効性(効果の達成状況) ■ 高 □ 中 □ 事業の効率性(費用対効果)  自己評価の理由 災害見舞金のほか、市職員12名を岩手県宮古市に派遣し、復興の一助とた。	0.01 人 人 人 人 大 ま度 H29年度 □ 低 □ 低

款 02総務費

項 04賦課徴収費 目 01賦課徴収費 事務事業番号 02040101

*	名	R1年度			財	源	<u> </u>			
担当部	〗• 課	(決算額)	)	国道支出金	地	方債		その他	一般!	財源
固定資産	評価事業	4. 859	<sub>千円</sub>	千		_	·H	<b>1</b> 0	4, 859	千円
財政部	資産税課	4, 009	113	T	,			11.	4, 009	113
根拠法令	地方税法・苫小牧市税	条例・固定資	<b>資産</b>	評価基準・苫	小牧市固	定資産	土地	2)評価事剤	务取扱要领	Ĭ
実施方法	□ 直接実施 ■	業務委託等	<b>手</b>	□ 補助金	・負担st	金・助	成金			
事業の目的・対象	令和3基準年度の記 適正な評価を行うため た要領を作成していま 産鑑定士に該当する地	り、不動産鑑 Eす。また、	盖定: 地伯	士等の専門的 <mark>面下落の著し</mark>	知見を  い地域	取り入: こおい	れなが て価格	ら本市の記 の修正を行	平価事務で テうため、	を定め
事業の必要性	納税義務者に不利: 等による専門的な知							ためには、	不動産釒	監定士
事業の内容										
SDGs17の目標 11 gamusha 16 focale	1 固定資産評価資 不動産鑑定士を 税法及び固定資産 産評価に関する全 の評価替えに向け 成のため、標準宅	要する専門 評価基準の 般的なアド 評価の指針	業者 改引 バイ と た	皆に、道内に E並びに総務 イス等につい なる「苫小牧	おける 省から な対応 で対応 で 対応	の通知 しても 資産	1等に( ,らい、 (土地)	半う各種相 また、令 評価事務	談及び     和3基準   取扱要令	国定資 集年度
	2 標準宅地の時点 地価下落の著し 不動産鑑定士に当 らいました。	い地域の価	格を	を修正し、そ						
						人	.件費			
	コスト			職員構成	相 (平均給	既算人作 与×従		数)	<b>性事職員</b>	 数
事業費 (R1年度決算額)	コスト 4, 859	千円(	担	当正規職員 嘱託職員		与×従	事職員 027 - -	数) F円 F円	推事職員 1	数 人 人
事業費		千円	担再	当正規職員		与×従	事職員 027 = = =	致) F円	推事職員 1	人
事業費 (R1年度決算額)	4, 859 7, 027 11, 886	千円	担再再	当正規職員 嘱託職員 耳任用 (フル)		与×従 7,	事職員 027 = = = = = =	数/	1	人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	4, 859 7, 027 11, 886	千円	担再再	当正規職員 嘱託職員 任用(フル) 任用(ハーフ) 任期付職員		与×従 7,	事職員 027 = = = = =	数/	1	人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	4, 859 7, 027 11, 886	千円千円指標名	担再再	型当正規職員 嘱託職員 存任用(フル) 任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	(平均給	与×従 7,	事職員 027 = = = = = =	数7	1 度   H29	人人人人人人人人人人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	4, 859 7, 027 11, 886	千円 千円 指標名 打ち合わせ	担再再	型当正規職員 嘱託職員 存任用(フル) 任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	与×従 7, ː R1	事職員 027 = = = = = = = = = = = =	数/ F円 F円 F円 F円 F円 H30年月	1 度 H29	人 人 人 人 人 人 大
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	4, 859 7, 027 11, 886 評価資料作成に伴う	千円 千円 指標名 打ち合わせ	担再再	型当正規職員 嘱託職員 存任用(フル) 任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位回	与×従 7, ː R1	事職員 027 = = = = = = = = 年度 18	数7 F円 F円 F円 F円 F円 H30年月	1 度 H29	人 人 人 人 人 人 人 全 全 24
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	4, 859 7, 027 11, 886 評価資料作成に伴う	千円 千円 指標名 打ち合わせ 地点数	担再再化	型当正規職員 嘱託職員 存任用(フル) 任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位回	与×従 7, ː R1	事職員 027 = = = = = = = 年度 18 29	新	1 度 H29	人 人 人 人 人 人 人 全 全 24
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	4,859 7,027 11,886 評価資料作成に伴う 時点修正に伴う鑑定:	千円 千円 指標名 打ち合わせ 地点数	担再再化	型当正規職員 嘱託職員 存任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 目談回数	単位回	与×従 7, R1	事職員 027 = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	新	1 度 H29	人 人 人 人 人 人 人 全 全 24
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	4,859 7,027 11,886 評価資料作成に伴う語 時点修正に伴う鑑定: 事業の有効性(効果	千円 千円 指標名 打ち合数 の達成状況 用対効果)	担再再(	型当正規職員 嘱託職員 居任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 目談回数 ■ 高	単位回地点とで、	与 × 従 7, R1 中 中 税 税 ******************************	事職員 027 = = = = = 年度 18 29	が F円 F円 F円 F円 F円 H30年月 12 18	き H29 は に は り明確に	人 人 人 人 女 年度 24 11
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	4,859 7,027 11,886 評価資料作成に伴う語 時点修正に伴う鑑定: 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	千指打地の用専業信るそ円円名合数成効的有を価たを価たを価たる領令	担用再()・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	型当正規職員 運用 (フル) 任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任用 (ト型) 日間 (大型) 日間 (大型)	(平均)       単回地       で合、は不の固市動	5   R1     1   1     2   4     3   大     4   大     5   大     6   大     6   大     6   大     7   1     8   1     8   1     9   1     8   1     9   1     10   1     11   1     12   1     12   1     12   1     12   1     12   1     13   1     14   1     15   1     16   1     17   1     10   1     10 </th <th>事 027 = 年 18 29 対得 価視関 では 1 にが 評 をに関 では 1 にが に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に</th> <th>新 デ デ デ デ デ デ デ デ デ デ デ デ デ</th> <th>1   t   t   t   t   t   t   t   t   t  </th> <th>人人人人人度       24       11       常校       うし</th>	事 027 = 年 18 29 対得 価視関 では 1 にが 評 をに関 では 1 にが に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に	新 デ デ デ デ デ デ デ デ デ デ デ デ デ	1   t   t   t   t   t   t   t   t   t	人人人人人度       24       11       常校       うし

	争	務事業評価	四(土	安尹未レ	)				
款 02総務費	項 04賦	課徴収費		目 01賦課	徴収費	事	務事業番号	02040	102
事業	· 名	R14	年度		財	源	内 訳		
担当音	₿・課	(決算	算額)	国道支出会	<b>业方</b>	責	その他	一般則	₹ 才源
標準宅地鑑		10.50			_			40 500	
	資産税課	10, 58	8 千円	†	·円	千円	千円	10, 588	千円
根拠法令	地方税法・苫小	 牧市税条例	• 固定·		 纟· 苫小牧市	5固定資	産評価事務 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (		į
実施方法	□ 直接実施	■ 業務委			<ul><li>負担金・</li></ul>				,
事業の目的・対象	令和3基準年としています。						∷時価を求め	ることを	∄的
事業の必要性	固定資産評価 の属する年の前 られた標準宅地 による鑑定が必	年の1月1 の価格の7	日の地割を目	価公示価格及	び不動産銀	監定士等	による鑑定	評価から	求め
事業の内容	市内の標準宅 2年1月1日時 線価を設定し、	点の価格を	不動産	鑑定士に鑑え	<b>Eしてもらし</b>	ヽ、その	価格の7割		
SDGs17の目標		71年の卒年・	十段の	計画首んに	小 (兄担し	 	なした。		
11 SANIONAS 16 PRECEZE  TOTALE  TOTALE	・標準では、 では では では をい をい 割付 と な種格の は な種格の で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	、を設と幅を指の要る 価な路のの要る 価な路のの異ないの質をといる。 格ど線路の	当 よ の の の の の の の の に 乗 は の に の に の に の の に 。 に る に 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。		(準宅地)	0000	主要な街路		/ Comp
	L								_
						人件費			
	コスト			職員構成	概算, (平均給与×	人件費 人件費 : 従事職員	44	事職員数	<b>t</b>
事業費 (R1年度決算額)	コスト 10,588	千円		職員構成  世当正規職員  嘱託職員	(平均給与× 1	人件費 : 従事職員 1, 243	<sub>員数)</sub> 従 千円 千円	事職員数	<b>一</b> 人人
事業費		千円		旦当正規職員	(平均給与× 1	人件費 : 従事職員 1, 243 2, 284	<sub>員数)</sub> 従 千円 千円		人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	10, 588 13, 527	千円		旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 耳任用 (ハーフ) 任期付職員	(平均給与× 1	人件費 : 従事職員 1, 243 2, 284	<ul><li>(基数)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li></ul>	1. 6	人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額)	10, 588	千円		担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 耳任用(ハーフ)	(平均給与×	人件費 : 従事職員 1, 243 2, 284	<ul><li>美数)</li><li>従</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	1. 6 0. 5	人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	10, 588 13, 527 24, 115	千円 指標名		旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 耳任用 (ハーフ) 任期付職員	(平均給与×	人件費 : 従事職員 1,243 2,284 R1年度	<ul><li>美数)</li><li>従</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	1. 6	人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	10, 588 13, 527 24, 115 標準宅地鑑定地	千円 千円 指標名 点数		旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 耳任用 (ハーフ) 任期付職員	(平均給与×	人件費 : 従事職員 1, 243 2, 284	<ul><li>美数)</li><li>従</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	1. 6 0. 5	人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	10, 588 13, 527 24, 115	千円 千円 指標名 点数		旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 耳任用 (ハーフ) 任期付職員	(平均給与×	人件費 : 従事職員 1,243 2,284 R1年度	<ul><li>美数)</li><li>従</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	1. 6 0. 5	人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	10, 588 13, 527 24, 115 標準宅地鑑定地 ※前回実施は平	千円 千円 指標名 点数 成28年度	車	旦当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 存任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位 地点	人件費 : 従事職員 1, 243 2, 284 R1年度 187	<ul><li>(基数)</li><li>(基数)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)<td>1. 6 0. 5 E H294</td><td>人 人 人 人 人</td></li></ul>	1. 6 0. 5 E H294	人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	10, 588 13, 527 24, 115 標準宅地鑑定地	千円 千円 指標名 点数 成28年度	車	旦当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 存任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位 地点	人件費 : 従事職員 1,243 2,284 R1年度	<ul><li>(基数)</li><li>(基数)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)</li><li>(基本の)<td>1. 6 0. 5</td><td>人 人 人 人 人</td></li></ul>	1. 6 0. 5	人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	10, 588 13, 527 24, 115 標準宅地鑑定地 ※前回実施は平	千円 千円 指標名 点数 成28年度 効果の達成	状況)	旦当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 存任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	<ul><li>(平均給与×</li><li>1</li><li>単位</li><li>地点</li></ul>	人件費 : 従事職員 1, 243 2, 284 R1年度 187	<ul><li>(対数)</li><li>(対 千円 千円 千円 千円 十 円 十 円 十 円 十 円 十 円 十 円 十 円</li></ul>	1. 6 0. 5 E H294	人 人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	10,588 13,527 24,115 標準宅地鑑定地 ※前回実施は平 事業の有効性(	千円 指標名 点数 成28年度 効果の達成 (費用対効 疑念を抱か	状況)果)	旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 ■ 高	<ul><li>(平均給与×</li><li>1</li><li>単位</li><li>地点</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li><li>□</li></ul>	人件費 : 従事職員 1, 243 2, 284 R1年度 187 中中	後 千円 千円 千円 千円 千円 130年度 -	1.6 0.5 世 H29年 低低 低	人人人人人度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総 計 評価指標 (事業実績)	10,588 13,527 24,115 標準宅地鑑定地 ※前回実施は平 事業の有効性( 事業の効率性 納税義務者に 士による鑑定は	千円 指標 高成 が 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型		旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハ-フ) 任期付職員 高高 いら、 ころ	(平均給与× 単位 地点 固定有効性 おきき	人件事職員 1,243 2,284 R1年度 187 中中 主政び者	(基数) (税 ) (税	1.6 0.5 低低 低不動産	人人人人人度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価 自己評価の理由	10,588 13,527 24,115 標準宅地鑑定地 ※前回実施は平 事業の有効性( 事業の対率性 納税よず。 納税よす。	千円 指標 高成 が 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型		旦当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハ-フ) 任期付職員 高高 いら、 ころ	(平均給与× 単位 地点 固定有効性 おきき	人件事職員 1,243 2,284 2,284 R1年度 187 中中 主政び者	(基数) (税 ) (税	1.6 0.5 低低 低不動産	人人人人人度 定考

款 02総務費

項 05戸籍住民登録費 目 02住居表示整備費 事務事業番号 02050201

事業			- 日 021年店			ラ UZU3UZU1
		R1年度		<u>財</u> 源		
担当部	₩・課	(決算額)	国道支出金	<b>上</b> 地方債	その他	一般財源
住居表示机	反整備事業 反整備事業	0.015	_			- 0.015
市民生活部	窓口サービス課	<del> </del> 3, 915 <del>- ∓</del>	一円 千	円 千	円 千月	円 3,915 千円
根拠法令	住居表示に関する	<u></u>	<u>ー</u> も住民表示に関	<u>ー</u> 月する冬例		
					+ ^	
実施方法 	■ 直接実施	□ 業務委託等	□ 伸助金	・負担金・助用	火金	
事業の目的・対象		区域内に設置し に実施区域内の				を行います。 主者へ周知しま
事業の必要性			、住居番号表示	₹板を表示する	ことにより、化	主居表示実施区
事業の内容						
SDGs17の目標						
SDUST707日1宗	  令和元年度の事業	<b>美内容の主なも</b>	のは次のとおり	Jです。		
	以前は主に電	居表示街区表示 電柱に取り付け 更新を行いまし	られていたもの			が、塀や外壁
	2 住居番号表示 戸別訪問し、表	示板の表示され 表示するように		表示されてい	るが不明瞭な	建物を調査し、
	│ │※ 令和元年度事	 	町、明野元町	新明町、新聞	町、あけぼの	町の5町です。
				人	件費	
	コスト			概算人件	- 弗	
			職員構成 	(平均給与×従	事職員数)	従事職員数
事業費 (R1年度決算額)	3, 915	千円(	担当正規職員		事職員数) 千円	人
(R1年度決算額)	3, 915	——— J	担当正規職員属託職員		事職員数)	<u></u>
	1	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用(フル)		事職員数)	人 人 人
(R1年度決算額) 人件費	3, 915 3, 401	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ)		事職員数) 千円 千円 千円	Д Д Д
(R1年度決算額)	3, 915	——— J	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員	(平均給与×従	事職員数)	人 人 人 人
(R1年度決算額) 人件費	3, 915 3, 401	千円	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ)	(平均給与×従事 3,4	事職員数) 千円 千円 千円 千円 千円 千円	人 人 人 人 人
(R1年度決算額) 人件費 総計	3, 915 3, 401 7, 316	千円 千円 指標名	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員	(平均給与×従事 3,4 単位 R1	事職員数) 千円 千円 千円 千円 千円 千円 401 千円 年度 H30年	人 人 人 人 1.5 人 度 H29年度
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標	3, 915 3, 401 7, 316 住居表示街区表示	千円 千円 千円 指標名 下板 更新枚数	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	(平均給与×従 3,4 単位 R1 枚 5	事職員数)	人 人 人 人 1.5 人 度 H29年度
(R1年度決算額) 人件費 総計	3, 915 3, 401 7, 316 住居表示街区表示	千円 千円 指標名 示板 更新枚数 明瞭表示率(	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	(平均給与×従 <sup>2</sup> 3,4 単位 R1 枚 5	事職員数) ・ 千円 ・ 千円 ・ 千円 ・ 千円 ・ 千円 ・ 401 ・ 千円 ・ 年度 ・ H30年 ・ 572 ・ 540 49 ・ 56	人 人 人 人 1.5 人 度 H29年度 514 46
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標	3, 915 3, 401 7, 316 住居表示街区表示	千円 千円 千円 指標名 下板 更新枚数	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	(平均給与×従 <sup>2</sup> 3,4 単位 R1 枚 5	事職員数)	人 人 人 人 1.5 人 度 H29年度
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	3, 915 3, 401 7, 316 住居表示街区表示	千円 千円 指標名 「板 更新枚数 明瞭表示率() 明瞭表示率()	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	(平均給与×従 <sup>2</sup> 3,4 単位 R1 枚 5	事職員数)	人 人 人 人 1.5 人 度 H29年度 514 46
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標	3, 915 3, 401 7, 316 住居表示街区表示 住居番号表示板 住居番号表示板	千円 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	<ul><li>(平均給与×従事</li><li>3,4</li><li>単位 R1</li><li>枚 5</li><li>%</li><li>%</li><li>%</li></ul>	事職員数) 千円 千円 千円 千円 401 千円 年度 H30年 572 540 49 56 67 76	人 人 人 人 1.5 人 度 H29年度 514 46 68
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	3,915 3,401 7,316 住居表示街区表示 住居番号表示板 住居番号表示板 住居番号表示板 事業の有効性(対 事業の効率性	千円 千円 指標名 で板 更新枚数 明瞭表示率( 効果の達成状況 で費用対効果)	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 戸別訪問前) 戸別訪問後) ■ 高	(平均給与×従 3,4 単位 R1 枚 5 % 96 中 中	事職員数)	人 人 人 人 1.5 人 度 H29年度 514 46 68 〕低
(R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績) 自己評価	3,915 3,401 7,316 住居表示街区表示 住居番号表示板 住居番号表示板 事業の有効性(対 事業の効率性 電柱以外に塀やました。また、何	千円 千円 指標名 形板 更新枚数 明瞭表示率( 明瞭表示率( 効果の達成状況 (費用対効果) や外壁などに設け を対路番号表示板の 長期計画(10年)	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 戸別訪問前) 戸別訪問後) ) ■ 高 これ表示率が、 計画)ですが、	(平均給与×従 3,4 単位 R1 枚 5 % 96 96 96 1 中中  下明瞭な住居した。  計画年数が進	事職員数)	人 人 人 人 1.5 人 度 H29年度 514 46 68 〕低

款 02総務費

項 06選挙費

目 02北海道知事及び北海道議会議員選挙費 事務事業番号 02060201

款 02総務費	項 06選挙費		日 02北海道知事	事及び北海道議会		事務事		02060	7201
事業		R1年度		<u>財</u>	源	内	訳		
担当部	ያ・課	(決算額)	国道支出金	🗄 地ブ	与債	その	の他	一般見	<b>財源</b>
北海道知事及び北海	道議会議員選挙費	20 052 -	TI 27 404 -		7 m		- m	EGO	7 m
選挙管理委	員会事務局	38, 053 <del>↑</del> ।	円 37, 484 千	円	千円		千円	569	千円
根拠法令	公職選挙法、北海道	選挙管理委員	会規程	•					
実施方法		業務委託等	<u> </u>	●負担全	• 助成:	<del></del>			
J 7,110, J 144									
事業の目的・対象	北海道知事選挙及 つ適正に行われるこ います。								
事業の必要性	正確、迅速な選挙	事務の下、幻	☆正な選挙の執	执行管理か	「必要で	゙す。			
事業の内容									
SDGs17の目標									
16 TRACEZE 17 (1977-2077)  **********************************	<ul><li>選挙告示日 北京</li></ul>	任期満了につ 成31年4月7 海道知事選挙	Pき行われる♯ '日(日) 陸 平成3	比海道議会 1年3月2	:議員選 1日	挙			
11 daminina 12 ocase	・当日有権者数 北 北 ・投票率 北	海道議会議員 海道知事選挙 海道議会議員 海道知事選挙 海道議会議員	直選挙 142,5 52.68	82人 16人 %	9日				
<b>₫</b> -w <b></b>					人件	弗			
	<b>-</b> 1			ing 4			I		
	コスト		職員構成	概』 (平均給与		職員数)		下職員	数
事業費	38, 053	千円()	担当正規職員			8 千円			人
(R1年度決算額)	,		嘱託職員		1, 022	2 千円		3	人
人件費	4, 260	4周4	再任用(フル)			千円			入
	,		再任用(ハーフ)		1 10	千円		0	수_
総計	42, 313	チ田一ト	任期付職員		1, 130	0 千円		3	<u> </u>
	·		臨時職員	*** / 1	D1 =	千円		1 1100	<u> </u>
		指標名		単位	R1年		H30年度	H29	年度_
評価指標	投票率(北海道知事:			%	52. 6		_		
(事業実績)	投票率(北海道議会	議員選挙)		%	50. 5	3	_		
自己評価	事業の有効性(効果	の達成状況)	■高		口中			<b>E.</b>	
日七計1111	事業の効率性(費	用対効果)	■高		口中		□ 1	£.	
自己評価の理由	民主主義の基盤で 職選挙法を理解し、					争のル	ールなと	ぎを定め	かた公
事業の課題、 今後の方向性等	公職選挙法に適切	に対応すると	こともに、選挙	≛の適正な	管理執	行に努	がます。		
特記事項									

款 02総務費

項 06選挙費

目 03苫小牧市議会議員選挙費 事務事業番号 02060301

秋 UZ総務負	垻 00選字貨		日 の占小牧					02000	-
事業		R1年度		財	源	内	訳		
担当音	₿・課	(決算額)	国道支出金	注 地方	<b>5債</b>	その	他	一般則	<b>才源</b>
苫小牧市議会									
		76, 920 千円		円	千円		千円 7	6, 920	千円
選挙管理委			<u> </u>						
根拠法令	公職選挙法、苫小牧	市選挙管理委	員会規定						
	■ 直接実施 □	業務委託等	□ 補助金	<ul><li>負担金</li></ul>	• 助成会	<del></del>			
		**************************************	<u> </u>	<u> </u>	737701	<u></u>			
事業の目的・対象	苫小牧市議会議員 ことを確保し、もっ								れる
事業の必要性	   正確、迅速な選挙 	事務の下、公	正な選挙の執	に行管理が	必要で	す。			
事業の内容									
SDGs17の目標									
16 TREEZE 17 //1977-3077 SEEZERLES		任期満了につ 成31年4月21 成31年4月14	日(日)	ī議会議員	選挙				
	· 当日有権者数 14								
<b>万元出出</b> 5 %10分→平84 3 が450Åに 5 元表によう									
<b>⊕</b> -₩•									
					人件:	费			
		-	-						
	コスト		職員構成	概算 (平均給与	算人件費 ×従事職		従事	職員数	Ż
 事業費			担当正規職員		2 100	子円	0.	2	1
	76, 920	千円 [ ]							ᄉ
(R1年度決算額)			嘱託職員		1, 022	2 千円	0.	ა	人
人件費	4, 260	<b></b>	再任用(フル)			千円			人
八叶县	4, 200	''']   [	耳任用(ハーフ)			千円			人
to -1			任期付職員		1. 130	) 千円	0.	3	人
総計	81, 180	千円    -	臨時職員		1, 100	千円	•		$\overrightarrow{\lambda}$
			叫叫的妈妈	** / <b>T</b>	D1 左1		20左座	Lunna	一
	1	指標名		単位	R1年		30年度	H29₫	+ 戊
評価指標	投票率			%	46. 3	80		┸ -	
(事業実績)									
								<del>                                     </del>	
	古世のナセル /セロ	のはよいに	1 = ÷		<del></del>			<u> </u>	
自己評価	事業の有効性(効果	. —	■高		口中				
	事業の効率性(費	用対効果)	■高	]	口中		□组	£	
自己評価の理由	民主主義の基盤で 職選挙法を理解し、					争のルー	-ルなど	を定め	た公
事業の課題、 今後の方向性等	公職選挙法に適切	に対応すると	ともに、選挙	₹の適正な	管理執	行に努め	かます。		
特記事項									

款 02総務費

項 06選挙費

目 04参議院議員通常選挙費 事務事業番号 02060401

事業名		R1年度		財	財 源		訳	
担当部	: 課	(決算額)	国道支出金	地力	債	そ(	の他	一般財源
参議院議員通	常選挙経費	61, 703 <del>↑</del> 円	61,703 <del>↑</del> P		千円		千円	千円
選挙管理委員	員会事務局	01,703 +	01,703 +	1	ТП		TD	ТП
根拠法令	公職選挙法、北海道	選挙執行規程		-	-			
実施方法	□ 直接実施 □	業務委託等	■ 補助金	・負担金	· 助成:	金		
事業の目的・対象	参議院議員選挙が 確保し、もって民主							れることを
事業の必要性	正確、迅速な選挙	事務の下、公	正な選挙の執	行管理が	必要で	· <b>す</b> 。		
事業の内容								
SDGs17の目標								
16 TREBER 17 MARTINET 18 BERBELS 18 TO BERBE		任期満了につ 和元年7月20 和元年7月4	日(日)	議院議員	選挙			
<b>♣ ○</b>	・当日有権者数 14		口(水)					
5 %1.5 / - 1994								
					人件	費		
	コスト		職員構成	概算 (平均給与	拿人件費 ×従事		従事	職員数
事業費 (R1年度決算額)	61, 703		担当正規職員 嘱託職員		2, 108 1, 022		0.	3 人
人件費	4, 260	<b>+</b>	再任用(フル) 再任用(ハーフ)			千円 千円		人 人
総計	65, 963	千円	任期付職員 臨時職員		1, 130	0 千円 千円		3 人
		指標名		単位	R1年	度	H30年度	H29年度
評価指標	投票率			%	48. 2	22	-	_
(事業実績)								
自己評価	事業の有効性(効果	の達成状況)	■高		コ 中		□但	ŧ
	事業の効率性(費	用対効果)	■高		コ 中		□個	£
自己評価の理由	民主主義の基盤で 職選挙法を理解し、					争のル	ールなど	を定めた公
事業の課題、 今後の方向性等	公職選挙法に適切	に対応すると	ともに、選挙	の適正な	管理執	.行に努	ゔめます。	
特記事項								

款 02総務費

項 07統計調査費

目 01統計調査費

事務事業番号 02070101

事業	<b>安</b> 07 侧山 响	R1年度	¥	ן טוווטן	, н т ш/-	財	源	内	訳	02070101	
		(決算客		国道支出	니수			その		一般財源	
担当部・課 周期統計調査費		(八开位	只/	国坦又山	山並	地方	刀恨	ての		一权别师	
		7, 769	千円	7, 769	千円	3 l	千円		千円	千円	
総合政策部		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,									
根拠法令	統計法										
実施方法	■ 直接実施 □	業務委託	等	□ 補助	金・	負担金	<ul><li>助成:</li></ul>	金			
事業の目的・対象	各種基幹統計調査において本市が担う業務を滞りなく遂行し、正確なデータを得ること を目的としています。										
事業の必要性	未来を展望する上 件ずつ地道に回収し は必要です。										
事業の内容 SDGs17の目標	1 各種統計調査の実施 令和元年度は以下の調査を実施しました。 ◇2019年経済センサスー基礎調査 対象:全事業所(農林業及び漁業除く)対象件数:約7,000件 実施時期:6~11月 調査員:19人 説明会:3回 ◇2019年全国家計構造調査 対象:世帯 対象件数:約200件 実施時期:9~12月 調査員:18人 指導員 :6人 説明会 :4回 ◇2020年農林業センサス 対象:農林業経営体 対象件数:約500件 実施時期:12~2月										
	対象・展体条件名体 対象件数・約300件 実施時期・12.6 2月   調査員:8人 指導員:1人 説明会:1回   2 令和2年国勢調査に係る調査区設定業務   新たに導入した統計調査支援システムなどを用いて調査区の設定を行いました。   調査区設定数:1,634調査区 1調査区当たりの世帯数:50~80世帯   実施時期:5月~3月										
					人件費						
	コスト			職員構成	(		概算人件費 ]給与×従事職員数)			従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	7, 769	千円(		旦当正規職 嘱託職員			8, 432	2 千円 千円	1.	2 人 人	
人件費	12, 203	<u>+H</u>		再任用(フル) 耳任用(ハーフ	_		千円 千円				
総計	19, 972	千円		任期付職員 臨時職員	Į	2,637 千円 1,134 千円			0.7 人		
		指標名				単位	R1年		80年度	H29年度	
評価指標	周期統計調査費によ		計調	 査		調査	3		2	2	
(事業実績)		F1 190F		_		par-3 -1-1-				<del>  -</del>	
. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	<del></del>									<del>                                     </del>	
	車業のちが性 /が田	の存む件	:01							<u> </u>	
自己評価	事業の有効性(効果			■高			<u> </u>				
自己評価の理由	事業の効率性(費用対効果) ■ 局 □ 甲 □ 世 □ 世 □ 世 □ 世 □ 世 □ □ 世 □ □ 世 □ □ □ □ 世 □										
事業の課題、 今後の方向性等	年々、個人情報保護意識や防犯の意識が高まっていることに加え、厚生労働省による統計不正問題の発覚、更には新型コロナウイルスの影響により調査活動が困難な状況となっています。様々な統計データは、1枚1枚の調査票の積み重ねによって得られるものであることを広く知ってもらい、調査の協力が得られる環境づくりに向けてPR活動や出前講座を実施します。また、調査員及び調査客体の安全確保を優先して、説明会時間の短縮や少人数で複数回の開催、非接触による調査などを検討していきます。										

款 02総務費

項 07統計調査費

目 01統計調査費

事務事業番号 02070102

事業名		R1年度		財			内 訳			
担当部	₿•課	(決算額)	国道支出金	地方	債	そ	の他	一般則	才源	
統計調査支援シ	ステム構築事業	2 620			7 117			0 600		
総合政策部	政策推進課	2,630 千円	千P	ור	千円		TH	2, 630	千円	
根拠法令			-	•			·······!			
 実施方法	□ 直接実施 ■	業務委託等	□ 補助金	· 負担金	• 助成:	<del></del>				
事業の目的・対象	統計調査支援シス 管理、調査区の設定 の軽減・効率化及び	テムの導入に ・調査員の割	より、統計調 当て・調査区	査員情報 地図の作	: (個人	.情報・				
事業の必要性	従来のシステムは構 新たな統計調査システー とにより、統計調査員 定や調査員の割当て等	ムの導入が必要 のデータ管理 <i>の</i>	となっています みならず、各種	す。新たに 重統計調 <mark>査</mark>	ニ統計調 聲で使用	査支援 <sup>・</sup> するこ	システム	を導入す	るこ	
事業の内容										
SDGs17の目標										
	・統計調査支援シス <sup>・</sup> 新たな統計調査シ テムに移行させ、I 上を図りました。	ステムを構築	・導入し、従							
		_			人件					
	コスト		職員構成	概算 (平均給与	算人件費 ×従事	哉員数)		事職員数	枚	
事業費 (R1年度決算額)	コスト 2,630	千円(1	職員構成 世当正規職員 嘱託職員		算人件費 ×従事		3 C	事職員数	<b>数</b> 人	
事業費		<del>+</del> H	世当正規職員 嘱託職員 再任用(フル)		算人件費 ×従事	<ul><li>競員数)</li><li>3 千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	3 C		人 人 人	
事業費 (R1年度決算額)	2, 630	<del>+</del> H	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員		算人件費 ×従事	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	3 C		人 人 人 人	
事業費 (R1年度決算額) 人件費	2, 630 703 3, 333	千円	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル)	(平均給与	章人件費 ·×従事取 703	議員数) 3 千円 千円 千円 千円 千円	3 C	). 1	人 人 人 人 人	
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	2, 630 703 3, 333	千円千円十円十円十二十二十二十十二十十二十十二十十二十十二十二十二十二十二十二十	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	(平均給与	算人件費 ×従事項 70公	議員数) 3 千円 千円 千円 千円 千円	3 C	). 1	人 人 人 人	
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	2, 630 703 3, 333	千円千円十円十円十二十二十二十十二十十二十十二十十二十十二十二十二十二十二十二十	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	(平均給与	章人件費 ·×従事取 703	議員数) 3 千円 千円 千円 千円 千円	3 C	). 1	人 人 人 人 人	
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	2, 630 703 3, 333	千円千円十円十円十二十二十二十十二十十二十十二十十二十十二十二十二十二十二十二十	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	(平均給与	算人件費 ×従事項 70公	議員数) 3 千円 千円 千円 千円 千円	3 C	). 1	人 人 人 人 人	
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	2, 630 703 3, 333 統計調査支援システ.	千円 千円 千円 指標名 ムの構築・導	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 再任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位件	章人件費 ×従事耶 703 R1年 1	議員数) 3 千円 千円 千円 千円 千円	1 C 1 1 1 1 1 1 1 H30年度	H29	人 人 人 人 人	
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	2,630 703 3,333 統計調査支援システ. 事業の有効性(効果	千円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員	単位	章人件費 ×従事耶 703 R1年 1	議員数) 3 千円 千円 千円 千円 千円	(   (   (   (   (   (   (   (   (   (	D. 1 H29	人 人 人 人 人	
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	2, 630 703 3, 333 統計調査支援システ.	十円 千円 千円 指標名 ムの構築・導 の達成状況) 用対効果) する各種統計した。	担当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 入	単位は、正確で	算人件費×従事耶 700 R1年 1 中口中	議員数) 3 千千千千千 度 対応 が	(1)   (1)	H29 低低低	人 人 人 人 度 -	
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	2,630 703 3,333 統計調査支援システ. 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 国勢調査を始めと ら有効性は高としま	十一千円 一千円円円 千標構築・導 の達対効果) の達対効を移ったが図がある。図ができる。のでは、カード	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハ-フ) 任期付職員 臨時職員 入 ■ 高 に お	(平均給与単位 件 で と 実施する	章× (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	登録 ・ 一 一 一 一 一 一 一 一 一 か か か か か か か か か か	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	M29 低低 なったこ	人人人人人度	